

平成3年度
保健医療・人口家族計画協力プロジェクト
年間計画

平成3年2月1日

国際協力事業団
医療協力部

JICA LIBRARY
1104912191

25025

国際協力事業団
25025

平成3年度保健医療・人口家族計画協力プロジェクト年間計画

保健医療協力事業

(1) パンラデシュ	リウマチ熱・リウマチ性心疾患抑制パイロット	1	(21) ブラジル	ベネズエラ大学免疫病理学センター	365
(2) 中国	中日友好病院	15	(22) ブラジル	カンピナス大学消化器病	377
(3) 中国	肢体障害者リハビリテーション 研究センター	33	(23) ドミカ (共)	消化器病研究臨床	389
(4) 中国	中日医学教育センター	59	(24) ホンデュラス	看護教育強化	403
(5) インド	カンジャイガンジ 医科学研究所	81	(25) パラグアイ	シャガ病等寄生虫症研究	433
(6) インドネシア	生ワクチン製造基盤技術	93			
(7) ネパール	医学教育	111	人口家族計画協力事業		
(8) ネパール	結核対策	139	(1) インドネシア	家族計画・母子保健	449
(9) パキスタン	イスラマバード 小児病院	157	(2) ネパール	家族計画・母子保健	465
(10) パキスタン	看護教育	173	(3) リー・ラカ	人口情報	481
(11) フィリピン	食品医薬品検定センター	185	(4) エジプト	家族計画・母子保健	495
(12) リー・ラカ	国立医学研究所	201	(5) トルコ	人口教育促進	513
(13) タイ	国立衛生研究所	217	(6) ケニア	人口教育促進	527
(14) イエメン	結核対策	239	(7) ベルギー	家族計画・母子保健	539
(15) エジプト	カイロ大学小児病院 (第2期)	253			
(16) スーダン	ハルム 教育病院	273			
(17) ガーナ	野口記念医学研究所	289			
(18) ケニア	感染症研究対策	303			
(19) ザンビア	感染症	331			
(20) ザンビア	ザンベジ総合病院	343			

(1) バングラデシュ

リウマチ熱・リウマチ性心疾患抑制パイロット

		1991年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
目標	1) 管理運営	1-1. プロジェクト・運営・維持・管理の費用算出とバ側政府の予算化を要請する。(テイク・オフに備えて) 1-2. プロジェクトに配置されたカウンターパート人員を” 出向” から” ポスト・創設” による配置に変更させていく。 1-3. 諸手続き(特に官庁における書類の動きについて)の停滞を改善するように要求していく。 1-4. プロジェクトの地方への拡大につき指導助言をしていく。 1-5. プログラム全体の調整・管理運営につき指導助言をしていく。 1-6. 定期刊行物の発行を指導していく。 1-7. 各種教材づくりの指導。												
	2) 臨床部門	2-1. 溶連菌性咽頭炎の臨床診断方法(ペニシリン投与基準)の確立。(一次予防) 2-2. 急性期リウマチ熱の治療方法の確立 2-2-1. ステロイド療法法の基準化 2-2-2. 入院・安静療法法の徹底化 2-3. リウマチ熱心疾患の心カテ適応基準と手術適応基準の策定 2-4. リウマチ熱既往患者の再発予防徹底化(二次予防) 2-5. 学会発表の指導助言 2-6. シンポジウムの開催 2-7. 各部門の医師への本疾患の診断・治療・予防の徹底化(勉強会の開催) 2-6-1. 循環器医 2-6-2. 小児科医 2-6-3. 整形外科医 2-6-4. 耳鼻咽喉科 2-6-5. 一般医												
	3) 疫学	疫学	1. 学校検診調査					細菌学	1. 検査材料の扱い方指導	医療器材保守管理	1. 器材の日常定期点検指導			
	4) 細菌学		2. 家庭訪問調査						2. 細菌の分離、同定法指導		2. 各器材の分解掃除、補修部品の交換方法の指導			
	5) 血清学		3. データー分析及び解析						3. 細菌の血清学的同定法指導		3. 故障、障害が生じた場合の応用に対する指導			
	6) 医療器材保守管理		4. 各種アンケート調査						4. 細菌学的研究の指導					
		5. Follow Up-Study					血清学	1. 検査材料の扱い方指導						
								2. 免疫化学分析の指導						
								3. 精度管理指導						
								4. 血清学研究の指導						

調査団の派遣		
専門家の派遣	<p>長期専門家(分野、氏名)</p> <p>1) チームリーダー(吉武克宏) 後任 チームリーダー</p> <p>2) 疫学 (渡慶次重美)</p> <p>3) 業務調整員 (大嶋健男) 後任 業務調整</p> <p>4) 機材保守管理 (鈴木一代)</p> <p>5) 臨床検査 (久野豊)</p>	<p>プロジェクト・ディレクターは適格な人材が日本側にいないようであれば、現在のチーム・リーダーに年に2~3回の短期専門家としての来訪を乞い、指導助言を受けたいとの意向である。</p> <p>88/11-----91/5/02 91/04/02-----92/11まで</p> <p>88/11-----92/11まで</p> <p>88/11-----91/5/31 91/04/31-----92/11まで</p> <p>89/09-----91/9/15</p> <p>90/03-----92/11まで</p>
	<p>短期専門家(分野、氏名等)</p> <p>(1) 疫学</p> <p>(2) 細菌学</p> <p>(3) 血清学</p> <p>(4) カラードップラー操作指導</p> <p>(5) 視聴覚教育</p> <p>(6)</p> <p>(7)</p>	<p>91年2月中旬から3月中旬、但し、予算上不可能であるならば、4月以降6月までに</p> <p>91年2月中旬から3月中旬、但し、予算上不可能であるならば、4月以降6月までに</p>
研修員	(分野、氏名等)	
	<p>(1) 疫学 未定</p> <p>(2) 細菌学 未定</p> <p>(3) 循環器病学 未定</p> <p>(4) 臨床検査 未定</p> <p>(5) 医療機材保守管理 未定</p>	
供与機材	平成 3年度分 30,000 千円	
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	<p>(1) 現地業務費臨時支給</p> <p>(2) プロジェクト基盤整備費</p> <p>(3)</p>	<p>動物飼育管理舎の建設 (60万円)</p> <p>プロジェクト・センター増築計画 (2千万円)</p>

項目	専門家チームの要望					備考	
	計画	内容					
(1) 調査団派遣	巡回指導 平成3年6月	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由: リーダー及び業務調整員交替後、プロジェクトの運営方針に互いに 協議し再確認が必要(場合により、その方針に適合する者の変更あり)				機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと *別紙(専門家派遣計画表) - 1
		① 細菌学	未定	平成3年8月	1ヶ月	平成3年6月頃	*別紙-2
		② 血清学	未定	平成3年9月	1ヶ月	平成3年6月頃	*別紙-3
		③ 疫学	未定	平成3年11月	1ヶ月	平成3年6~7月頃	*別紙-4
		④ 視聴覚教育	未定	平成3年5月	15日	平成3年3~4月頃	*別紙-5
		⑤ 循環器病学(カラー・ドップラー診断指導)	未定	平成3年4月	2ヶ月	平成3年2~3月頃	
(3) 供与機材	30,610千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携行機材	3,000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 時期 ① 臨床検査・試薬 500千円 4~6月 ② 試薬 500千円 7~9月 ③ 試薬 500千円 10~12月 ④ 試薬 500千円 1月~3月 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 機材保守・バッテリー充電装置 500千円 5月 ⑨ 直流安定化電源 500千円 5月 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬					

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 吉 武 克 宏	チーム・リーダー 循環器病学	昭63年11月2日 平成3年5月2日	交替を希望	*リーダーおよび業務調整の後任については 現地に於いて業務の引き継ぎが可能となるように 少なくとも1ヶ月間の幅を持たせて後任者の派遣 をして頂きたい。
	② 大 嶋 健 男	業 務 調 整	昭63年11月2日 平成3年5月31日	交替を希望	
	③ 渡 慶 次 重 美	疫 学	昭63年11月2日 平成4年11月2日	平成4年11月2日までの延長を希望します。 (但し、これ以上の任期延長はしません)	
	④ 鈴 木 一 代	医療機材・保守管理	平成元年9月16日 平成3年9月15日	交替を希望	
	⑤ 久 野 豊	臨 床 検 査	平成2年3月28日 平成4年3月27日	任期満了で交替を希望	
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(6) カウンターパート受入	5名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	A2-37フォーム取付状況	(早期通報分については、3年3月までに、年度末通報分については、3年7月末までに、A2-37フォームを取り付けること！) *12月19日現在、カウンターパート氏名は未定につきこの氏名についてはリーダー会議に出席する時にリーダーが特参する予定である。
	早期通報分 1名	①(氏名未定)	循環器病学	平成3年4月以降	4ヶ月	平成3年3月迄に取付け予定	
	年度末通報分 4名	②(氏名未定)	細菌学	平成4年1月以降	4ヶ月	平成3年7月迄に取付け予定	
		③(氏名未定)	疫学	平成3年10月以降	4ヶ月	平成3年7月迄に取付け予定	
		④(氏名未定)	臨床検査	平成3年10月以降	4ヶ月	平成3年7月迄に取付け予定	
		⑤(氏名未定)	医療機材保守	平成3年10月以降	12ヶ月	平成3年7月迄に取付け予定	
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		⑨					
		⑩					

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	600千円を希望	5百万円	*溶連菌培養検査に用いる羊血液寒天培地を作るためには羊血液を得ることが必要である。この羊を飼う為の動物飼育管理舎の建設が必要。	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	20,000千円を希望	円		*プロジェクト基盤整備費によるプロジェクト・センター増築計画 計画打ち合わせ調査団の来訪の折に行われた日本側の提案に対して、バ国政府が同意した結果、カウンターパートの配置が急速に進み当初予定していた人数以上の人員が配置され現在のセンターのスペースでは既に手狭になってきている。またプロジェクトの活動も高まりいくつかの作業所やデータ保管場所などのための部屋が必要になってきた。幸い本センターはこのような事態の出来事を予想して増築可能な設計になっている。またバ側でもこの事に対しこの国としての予算申請の動きもある。(LDCであることからあまり期待はできないが)以上の事に鑑み2階への増築のためのプロジェクト基盤整備費の申請を行いたい。詳細はリーダー会議の折資料持参の予定
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		バングラデシュ・リウマチ熱及びリウマチ性心疾患抑制パイロット・プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	1	検査機器及び器具		1,982.0
	2	検査機器補修部品		1,356.8
	3	検査試薬		16,989.1
	4	現地調達		7,500.0
		輸送費		2,782.8
		合計		30,610.0
供与の目的		<p>・全体計画における位置付け</p> <p>・今回供与の主要眼点</p> <p>・技術移転上の役割</p> <p>・緊急性</p> <p>主要供与機材は既に供与されている為に、来年度は、それらを長期間に渡って稼動する為に必要な検査試薬及び検査機器補修部品等に重点を置いた。</p>		
現地調達の可否		(1) 可 (マイクロバス、ブレドニン) (2) 否		
A47フォーム取付状況		(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定		

機 材 実 施 計 画 書								
優先度	機 材 名 その 仕 様	金額 (単価)	金額 (合価)	用 途	銘柄指定有無	現地調達可否	保守、修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等の留意点
I	検査機器及び器具							
1	心電計 (220V, 50Hz)	310,000	1,240,000	リウマチ性心疾患の診断	ソクク電子	否	熱ペンの交換が必要	電極等一式が必要
2	心電図記録用紙	45,000	450,000	リウマチ性心疾患の診断	フクダ電子	否		上記装置専用のもの
3	ディスポ注射器 (10ml)	40,000	200,000	患者血液採血用	JMS	否		
4	試験管 (A-採血用)	57	57,000	患者血液採血用	村中	否		形式 : 246-002-17
5	試験管 (A-凝集用 JIS)	35	35,000	患者血液採血用	村中	否		形式 : 246-002-08
II	検査機器補修部品							
1	pH標準液 (500ml, pH 6.86)	800	2,400	pHメーター用消耗品	東亜医用電子	否		
2	pH標準液 (500ml, pH 4.01)	800	2,400	pHメーター用消耗品	東亜医用電子	否		
3	カーボンブラシ	300	1,500	高速遠心機用消耗品	日立	否		
4	クングステンランプ	1,000	5,000	分光光度計用消耗品	日立	否		
5	活性炭フィルター	7,200	144,000	蒸留水製造装置用消耗品	ヤマト科学	否		
6	缶石洗浄剤 (オルガソール)	2,400	14,400	蒸留水製造装置用消耗品	ヤマト科学	否		
7	心電計スタイラスペン	7,500	135,000	心電計用消耗品	フクダ電子	否		
8	紫外線ランプ	5,000	15,000	培地作製装置用消耗品	東京エムアイ	否		テクノマット125用
9	蛍光灯	1,500	12,000	蛍光灯付拡大鏡用消耗品	池本医理化	否		#25-0353 用
10	コロニーカウンターランプ	1,000	6,000	コロニーカウンター用消耗品	エルマ	否		#05-102-0 用
11	マイクロプレートランプ	1,000	3,000	マイクロプレート用消耗品	三光純策	否		リーディングミラー用
12	ボードコピーマシーン感熱紙	500	5,000	ボードコピーマシーン用消耗品	プラス	否		
13	ボードコピーマシーンマジック	200	8,000	ボードコピーマシーン用消耗品	プラス	否		赤、青、緑、黒、各10本
14	キムワイブ	12,595	12,595	精密機器清掃用	十條キンバリ	否		
15	粉末洗剤 (ネオデッシャー, A8)	17,000	51,000	全自動器具洗浄器用消耗品	村中	否		
16	リンス液 (ネオデッシャー, N)	14,500	43,500	全自動器具洗浄器用消耗品	村中	否		
17	イオン交換樹脂	448,000	896,000	全自動器具洗浄器用消耗品	村中	否		

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	循環器病学・カラードップラーによる診断指導
2. 派遣期間・時期	2ヶ月間、1991年4月頃
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIには記載がないが、リウマチ性弁膜症の診断技術向上に必要。
4. 先方の希望内容	下記の5. に述べられた指導内容での専門の派遣を強く希望している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 心臓弁膜症の病態診断に有用なカラードップラー心臓超音波検査の検査技術の指導。 2. 超音波検査データの整理と保管方法の指導 3. 超音波検査関連のテーマの学会報告の指導
6. 必要とされる携行機材・額	派遣専門家が決定した時点で、当人と協議の上決定したい。(カラードップラー用教科書等)
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	視 聴 覚 機 材 取 扱
2. 派遣期間・時期	15日間、1991年4月頃
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	視聴覚機材を有効利用した技術指導の合理化を図る。
4. 先方の希望内容	ビデオ編集装置、スライド作成機器の操作、取り扱い方法の習得を強く希望している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>*視聴覚機材の有効利用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 教育用ビデオテープの作成、編集に関する指導。 2. スライドフィルムの作成、編集に関する指導。 3. 上記媒体を通しての応用技術の指導
6. 必要とされる携行機材・額	ブルースライドを作成するための薬品および材料
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	細菌学
2. 派遣期間・時期	1ヶ月間、1991年8月から
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIでは年2回の短期派遣になっている。今回もこれに順次で計画をする。
4. 先方の希望内容	細菌学研究及び検査に関する指導助言
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 細菌学検査の指導助言 (理論と実技) 2. 細菌学検査研究方法、データ分析の指導 3. 検査データの精度管理指導
6. 必要とされる携行機材・額	派遣前に派遣予定専門家と協議して決定したい
7. その他備考	派遣専門家については91年1月に短期専門家 (国内委員) が来バされるので協議する。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	血清学
2. 派遣期間・時期	1ヶ月間、1991年9月から
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIでは年2回の短期派遣となっている。今回もこれに順次計画する。
4. 先方の希望内容	血清学研究及び検査指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 血清学検査の指導 (理論と手技) 2. 血清学検査研究方法、データ分析の指導 3. 検査データの精度管理指導
6. 必要とされる携行機材・額	派遣前に派遣専門家と協議して決定したい。
7. その他備考	派遣専門家については91年1月に短期専門家 (国内委員) が来バされるので協議する。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	公衆衛生学・疫学
2. 派遣期間・時期	1991年11月頃
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	医師で公衆衛生学方面で疫学を専門としている疾患予防対策につき政策的な提言ができる人材。
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 疫学調査データをもとに予防対策までにまとめ上げ、この国のリウマチ熱及びリウマチ性心疾患の予防政策に提言する。 2. その提言に至るまでのプロセス、方法、内容等につき現地で指導に当たっている疫学専門家と協議の上で指導をする。
6. 必要とされる携行機材・額	派遣前に派遣予定専門家と共に協議して決定したい。
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	動物飼育管理舎建設
2. 目的:	<p>* 溶連菌培地検査を行う際に必要な羊血液寒天培地の羊血液を恒久的に供給する為に動物飼育管理舎が必要である。</p> <p>・ 必要性</p> <p>・ 緊急性</p> <p>・ 先方が負担できない理由</p> <p>・ 効果</p> <p>* これまで他の医療機関から必要な羊血液をそのたびに買っていたが、検体数の増加に伴い他の医療機関から買らうだけでは間に合わなくなってきた為に自前の羊を飼育する必要があり、その血液が必要な時に必要なだけ採血出来る事が可能になる。</p>
3. 計画・経費	<p>必要な部屋</p> <p>1. 羊飼育室</p> <p>2. 管理及び羊血液採取室</p> <p>3. 飼料保存室</p> <p>4. 準備室</p> <p>経費</p> <p>1. 建設費 400. 千円</p> <p>2. 羊 (雌雄各2匹ずつ) 50. 千円</p> <p>3. 飼育用檻 50. 千円</p> <p>4. ガス、水道、電気設備 70. 千円</p> <p>5. 机、椅子、棚等 30. 千円</p> <p>総計 (600. 千円)</p>

プロジェクト実施情の問題点、要望事項、改善案等

問題点-1 (運営・管理部門)

プロジェクト人員(カウンターパート)の配置が進み始めて、その活動が上
がってきている所で主として施設関係の支援・供与に不足が出て来ている。
例えば、1. センター内のスペース
2. 動物飼育管理舎
3. コンピューター
4. その他

改善案、要望事項-1

せっかく人造りということで、相手国が望ましい反応をしてきており、また
専門家も比較的潤沢に張り付き技術移転が旨くいきそうにある時、それが更に
旨くいような施設面での援助には十分対応して欲しい。

問題点-2 (運営・管理部門)

カウンターパート研修やプロジェクト予算執行などこの国内部の諸手続きに
極めて時間がかかり、この為せっかくの計画の進捗に障害を来している。

改善案、要望事項-2

さしあたっては専門家やJICA現地事務所から政府関係機関への働き掛け
をするしかないが、場合によっては外交ルートからの申し入れも必要と考えて
いる。

問題点-3 (臨床部門)

当該プロジェクトが地方拡大する為にはその拠点となる地方医科大学検査室
の検査技術レベルの向上が必要である。

改善案、要望事項-3

地方の拠点となる医科大学病院の検査技師をプロジェクト・センターに招集
して検査技術レベルを向上させる為の研修を開催する予定である。

問題点-4 (機材保守管理部門)

機材保守の業務が施設の運営に必要な部門に必要な部門としての認識が乏し
い。

改善案、要望事項-4

人員配置のみではなくこの部門における年間予算を確保し、恒常化させるよ
うに働き掛ける。

問題点-5 (疫学部門)

統計家配置の不備

改善案、要望事項-5

週一回の割合でDG:DIRECTOR HEALTH SERVICEから一人来ているが、新しい動
きを考慮して毎日くる事になっている。

問題点-6 (疫学部門)

作業場の不備と狭さ、部屋が狭いので拡充が必要となってきた。

- 6-1 疫学調査補助員の作業場がない
- 6-2 カウンターパートのデスクの置き場所が無い
- 6-3 コンピューター設置場所がない

改善案、要望事項-6

- 6-1 会議室を使用している。
- 6-2 検査室の一室を臨時的に借りて机を置いている。
- 6-3 検査室の一室を臨時的に借りて置く予定をしている。

(2) 中 国

中日友好病院

		1991年度																				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
目標		1) 普通外科 臓器移植			2) 脳外科 悪性腫瘍治療比較の第2段階 顕微血管減圧術、海綿質内直接手術 脳脊髄腫瘍の免疫治療			3) 消化器内科 内視鏡の診断 胆道引流術 超音波内視鏡の臨床応用			4) 画像診断 超音波PTCD治療 超音波腫瘍治療 超音波胆石除去治療 腹部CT診断技術			5) 病理 糖尿病血管合併症の指導 リンパ、単核細胞、血管内皮の筋の細胞分離機能などの 測定方法			6) 内科総合診断 プライマリーケア			7) 看護 プライマリーケア		
調査団の派遣		————— 計画打合せ																				
専門家の派遣	(1) 看護 (手嶋 綾子) (2) 業務調整 (川鍋 佳子)	x 交替																				
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) (2) (3) (4) 別紙参照 (5) (6) (7)	別紙参照																				
研修員	(分野、氏名等) (1) 普通外科 (2) 消化器内科 (3) 放射線診断科 (4) 生化・病理	_____ _____ _____																				
供与機材		—————																				
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) (2) (3) (4)																					

短期専門家の派遣	4	5	6	7	8	1991年 9	10	11	12	1	2	3
(1) チーフアドバイザー	—————					—————				—————		
(2) 普通外科						—————	—————	—————				
(3) 消化器内科						—————	—————	—————				
(4) 脳外科								—————	—————			
(5) 画像診断						—————	—————					
(6) 病理						—————	—————					
(7) 総合診療	—————					—————	—————			—————		
(8) 看護	派遣期間は中国側の希望											
(9) 薬剤科												92年5月迄
(10) 歯科	中国側よりの希望											
(11) 放射線治療						91年3月	—————					
(12) 整形外科	—————	—————	—————	—————								
(13) 心臓内科	—————	—————	—————	—————	—————							

項目	専門家チームの要望						備考																																																						
	計画	内容																																																											
(1) 調査団派遣		調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 計画打合せ専門家チーム 理由: フォローアップ協力も2年目に入り、派遣専門家、来日研修員の分野について検討すべき時期に来ていること、また、フォローアップ3年間の中間的な評価を行なう必要がある。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																																						
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																																						
		①脳外科	未定	91/11	2W	未																																																							
		②普通外科	未定	91/9	3M	未																																																							
		③消化器内科	未定	91/9	3M	未																																																							
		④看護	未定	未定	未	未																																																							
		⑤病理	未定	91/9	1M	未																																																							
		⑥画像診断	未定	91/9	1M	未																																																							
		⑦総合診断	未定	91/5	1M	未																																																							
(3) 供与機材	30,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																																											
(4) 携行機材	4,200千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>時期</th> <th></th> <th>金額</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①脳外科</td> <td>50万円</td> <td>91年11月</td> <td>⑧看護</td> <td>60万円</td> <td>91年6月</td> </tr> <tr> <td>②普通外科</td> <td>50万円</td> <td>91年9月</td> <td>⑨業務調整</td> <td>60万円</td> <td>91年12月</td> </tr> <tr> <td>③消化器内科</td> <td>50万円</td> <td>91年9月</td> <td>⑩</td> <td></td> <td>91年12月</td> </tr> <tr> <td>④画像診断</td> <td>30万円</td> <td>91年9月</td> <td>⑪</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤病理</td> <td>30万円</td> <td>91年9月</td> <td>⑫</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥総合診療</td> <td>90万円</td> <td>91年5月</td> <td>⑬</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td>91年9月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>91年1月</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						金額	時期		金額	時期	①脳外科	50万円	91年11月	⑧看護	60万円	91年6月	②普通外科	50万円	91年9月	⑨業務調整	60万円	91年12月	③消化器内科	50万円	91年9月	⑩		91年12月	④画像診断	30万円	91年9月	⑪			⑤病理	30万円	91年9月	⑫			⑥総合診療	90万円	91年5月	⑬			⑦		91年9月						91年1月				
	金額	時期		金額	時期																																																								
①脳外科	50万円	91年11月	⑧看護	60万円	91年6月																																																								
②普通外科	50万円	91年9月	⑨業務調整	60万円	91年12月																																																								
③消化器内科	50万円	91年9月	⑩		91年12月																																																								
④画像診断	30万円	91年9月	⑪																																																										
⑤病理	30万円	91年9月	⑫																																																										
⑥総合診療	90万円	91年5月	⑬																																																										
⑦		91年9月																																																											
		91年1月																																																											

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 手嶋 綾子	看 護	90/6 ~ 91/5	後任が未定の場合延長を希望	
	② 川鍋 佳子	業務調整	90/2 ~ 92/10		
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家のチームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、平成3年3月までに、年度末通報分については、平成3年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)	
	早期通報分 名	① 張 剣	泌尿器科	91/2は 或いは3	1年間		
	年度末通報分 名	② 杜 雨雲	中医内科				
		③ 黄 林平	普通外科				
		④ 曾 高	形成外科				
		⑤	普通外科				
		⑥	消化器内科	92/2 或いは3	1年間		
		⑦	放射線診断				
		⑧	生化・病理				
		⑨					
		⑩					
		⑪					

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	800千円を希望	円	短専が多いため車両借上げ・通信が多い。中国側との打合せに要する費用が不足している。	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		中日友好医院		
主要 機材 の 概 要	分野	品目	数量	金額(千円)
	病理学 ウイルス学 免疫学 細菌学 他	他 輸送費	 合計	
供与の目的 ・全体計画に ける位置付 ・今回供与の 眼点 ・技術移転上 役割 ・緊急性		①共同テーマと符合している ② 臨床科に重点をおこうとしている。 病院の方針		
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否		
A47フォーム取付状況		(1)一括取付済 ②2年1月取付予定		

プロジェクト名：中日友好医院

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額 単 位 (Rs)	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ ・ 試 薬 等 ・ 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	経皮胆道鏡	1.200千円	普通外科	RTORZ	否		
2	ディスカッション装置	786.8千円	普通外科病理研究	リッパス	可	現地にサービスステーション有	BH2-D0-3
3	小型遠心器	1.000千円		クボタ			M-i-C-R-O-II-KM1100
4	誘発電位検査機	4.500千円	脳外科 神経系の検査用	三栄			7S12
5	電動ドリル(頭蓋骨)	1.500千円	脳外科 手術用	松本 医科			278-000
6	VTR	80千円	脳外科 手術用	リッパス	可	現地にサービスステーション有	現有する機材との兼合い
7	Micro Surgery ビデオ・カメラ	300千円	脳外科 手術用	リッパス	可	現地にサービスステーション有	現有する機材との兼合い
8	輸液ポンプ	332.9千円	消化器内科病棟用	テルモ			STC-503
9	PTCDセット	600千円	消化器内科 胆道引流術用	リッパス	可	現地にサービスステーション有	
10	ビデオ内視鏡	5.989千円	消化器内科・研究・教育用	リッパス	可	現地にサービスステーション有	System EVIS-100 (胃カメラ・ERCPを含む) 現有する機材との兼合い
11	点滴処置台	257千円	看護部病棟用	アトム			
12	E-1エマージェンシーカート	268千円	看護部	アトム			RO-650
13	ディスカッション装置	2.500千円	病理科 研究・教育用	リッパス	可	現地にサービスステーション有	現有する機材との兼合い
14	Coulter ZX Cell counter	2.000千円	病理科 液体中の細胞数測定	無			
15	Fluorescence Inverted Microscope	1.500千円	病理科 培養した細胞の観察	ニコン			
16	フリーザー	1.450千円	病理科	リッパ-			MDF-382
17	PHメーター	387.3千円	病理科PH測定用	堀場			F-15
18	Flow cyfometry	不明		無			

専門家派遣計画表

1. 指導科目	普通外科
2. 派遣期間・時期	1991年9月から3ヶ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	肝臓移植の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	動物を使つての肝臓移植の技術指導
6. 必要とされる携行機材・額	PTCDチューブ
7. その他備考	将来実際に臨床に応用したいと思っている。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	消化器内科
2. 派遣期間・時期	1991年9月から3ヶ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	以下と同じ
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内視鏡の治療、例えば乳頭部切開、胆管の石をとる、胆道ファイバー 2. PTC及びPTCDの技術指導 3. 食道静脈流の内視鏡を使つての止血、及び食道拡張術
6. 必要とされる携行機材・額	特にPTC及びPTCDチューブ、針など
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	脳外科
2. 派遣期間・時期	1991年11月頃より2週間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	脳腫瘍の共同研究 化学・免疫療法 (悪性脳腫瘍の維持治療)
5. 派遣目的および 具体的指導内容	悪性脳腫瘍臨床 維持療法の共同研究 主な化学療法と免疫療法
6. 必要とされる携 行機材・額	小型(卓上)コピーマシン(結果分析用) 免疫薬物IL-2
7. その他備考	教授ないしは病院の部長クラスの専門家の派遣 を希望する。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	放射線診断科
2. 派遣期間・時期	1991年3月より3W 1991年9月より2W
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	血管介入に関する診断と治療 血管形式術と取栓
5. 派遣目的および 具体的指導内容	血管介入に関する比較的新しい方法を教授して 頂きたい
6. 必要とされる携 行機材・額	カテーテル
7. その他備考	助手クラスの専門家の派遣を希望

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理科
2. 派遣期間・時期	1991年9月より1ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	糖尿病の研究を始めとする血管合併症の発生機理の研究
5. 派遣目的および具体的指導内容	①糖尿病の高血糖、蛋白糖化、血細胞及び血管壁細胞と基質の影響、相互関係に関する研究 ②細胞分子レベルで発病段階を研究 ③細胞培養、細胞形態機能の測定、免疫組織化学及び遺伝子方面の研究
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	東京女子医科大糖尿病研究センターからの専門家を希望

専門家派遣計画表

1. 指導科目	外国人外来部
2. 派遣期間・時期	1991年4月～6月 8月～10月 1月～2月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	プライマリーケア (総合診療)
5. 派遣目的および具体的指導内容	外国人外来部におけるプライマリーケア指導
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	看護部
2. 派遣期間・時期	1991年4月-1992年3月、1年間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	病棟 (リハビリ病棟を含む) の看護管理と看護の実際指導と講義 (看護部長・婦長の管理を含む)
5. 派遣目的および具体的指導内容	①病棟管理 環境整備、サービス、患者の病状別基礎看護 ②看護婦長業務管理 人材育成、看護業務のレベルアップ、外国の管理法の学習 ③看護婦の専門的訓練 急救技術、検査・術後のケア等に関する新しい技術、ICU、CCU、臓器移植等
6. 必要とされる携行機材・額	特に③の指導にかかるビデオ、スライド、その他資料
7. その他備考	中田満江先生に来て頂きたい

専門家派遣計画表

1. 指導科目	薬剤科
2. 派遣期間・時期	1991年6月~92年5月迄、1年間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	制剂室のGMP管理
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 原材料・容器・成品など全体的品質管理の内容・方法 2. 臨床薬学と臨床薬理の内容、方法及び管理
6. 必要とされる携行機材・額	1. GMPに関する全ての資料 2. 可能であれば新しい分析法の開発、救急中毒の分析に使用 (チェック用) する標準試料の薬品 (5gもあれば良)
7. その他備考	カルバマゼピン、サイクロフェノバルビタール ジャゼパム、メタカロン、フェニトインナトリウム、デキサメタゾン、ヒドロコルチゾン

専門家派遣計画表

1. 指導科目	歯科
2. 派遣期間・時期	1991年前半(3月~10月) 1名 1991年後半(10月~3月) 1名
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	口腔外科手術の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 口腔外科学 a. 人工歯根植入手術(Implant) b. レーザーメスの臨床応用 2. 口腔修復(補綴)学
6. 必要とされる携行機材・額	a. 人工歯根に関する材料及び機器 b. 口腔補綴に関する新しい材料
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	放射線治療科
2. 派遣期間・時期	1991年9月ないし10月、3週間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	打抜照射の臨床応用、臨床応用過程中的技術問題
5. 派遣目的および具体的指導内容	眼球と脊髄の打抜照射方法の指導。(中日友好医院では脊髄は未だテスト段階で臨床には至っていないので臨床段階にもってゆけるよう希望している) 打抜体の選択、放置部位 打抜体の作成、劑量学的問題の解決
6. 必要とされる携行機材・額	可能であれば打抜体作成に必要なパターン(型) 或いは型の作成に関する資料と1mmφのタングステン
7. その他備考	愛知県癌センター 森田 皓三 部長と 技師 1名

専門家派遣計画表

1. 指導科目	整形外科
2. 派遣期間・時期	1991年4月～同年7月迄 3ヶ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	寛骨骨切り術 特発性大腿骨頭壊死と変股症
5. 派遣目的および具体的指導内容	骨盤骨切り術、Chiari手術、 股関節内・外反骨切り術 (西尾法) 大腿骨頭前方回転骨切り術 (杉岡法) 寛臼回転骨切り術
6. 必要とされる携行機材・額	電気ドリル (手術器具) 骨切り刃 (手術器具)
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	心臓内科
2. 派遣期間・時期	1991年4月～9月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	心血管系治療
5. 派遣目的および具体的指導内容	①PTCA (冠動脈拡張術) ②弁膜形成術 (二尖弁、肺動脈、狭窄症例に対しバルーン付きカテーテルを用い拡張術を行なうこと) の手術指導
6. 必要とされる携行機材・額	PTCA、弁膜形成用のカテーテル
7. その他備考	聖マリア病院より専門家を派遣してほしい 中日友好医院では、冠動脈造影検査が行なわれている。以前アメリカ人医師と①、②を1度だけ行ったことがある

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	中日友好医院
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<p>1) 専門家が使う機材、知っている機材は輸入品である為、任地が負担できない。</p> <p>2) 任地に到着して、初めて消耗品の不足が分かる為、現地商社を通じて購入が必要となる</p> <p>3) 中国製で先づ代用してみるが、使用途中で使用出来なくなる。</p>
3. 計画・経費	

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
1. 医療機器の定期点検がなされていない	MEの中央化をはかる。必要な消耗品・スベアパーツの供与
2. ビルの保守管理がなされていない	ビルメンテナンスのチームを派遣
3. 画像診断部門と各科の連携が悪い	放射線画像診断部で管理経験のある医師専門家の派遣
4. 薬剤管理が不十分	薬剤管理専門家を派遣
5. 一般外来はサービスが不十分	看護管理方面の専門家を派遣

(3) 中 国

肢体障害者リハビリテーション研究センター

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	(1)リハビリテーション医療(チームリーダー) (2)医師研修会(片麻痺、脊髄損傷、脳性麻痺、切断) (3)理学療法 (4)作業療法 (5)リハビリテーション看護 (6)言語療法 (7)身体障害者スポーツ指導 (8)ケースワーク	(1)プロジェクトを円滑に実施。リハビリテーション医療がチーム医療であることの認識、技術の習熟 (2)5年以上の臨床経験のある医師に対して、3麻痺1切断の基本的リハビリテーション技術の習熟 (3)理学療法、作業療法各技術の習熟(日本人専門家がなくても、PT、OTができる。) (4)カウンターパートが多く、各分野の中で更に障害別に担当が細分化されているため、長期専門家のみでは目標の達成は困難がある。 (5)リハビリテーション看護に対する基本理念の習熟及び、赴日研修員経験者に対するリハビリテーション看護の習熟(看護部門におけるリーダーとしての独立の促進) (6)中国における言語療法の確立及び習熟(赴日研修経験者のフォロー) (7)中国における身体障害者スポーツの普及、及び習熟(赴日研修経験者のフォロー) (8)身体障害者のケースワーク(社会、医療)の習熟											
調査団の派遣	最終評価、巡回指導	7/25-8/1											
専門家の派遣	長期専門家等 (1)業務調整 藤井 晃 (2)作業療法 宮田美恵子 (3)理学療法 奥座奇世子 継続 継続 継続 短期専門家(分野、氏名等) リハビリテーション医療(鷹野)(チームリーダー) 継続 (1)リハビリテーション医療(木村)(チームリーダー) 4/19 (2)リハビリテーション医療(野島)(チームリーダー) 5/9-6/22 (3)リハビリテーション医療(長谷川)(チームリーダー) 7/25-8/7 (4)医師研修会(片麻痺)(江藤) 4/11-5/4 (5)医師研修会(片麻痺)(森山) 4/11-5/11 (6)医師研修会(片麻痺)(選考中) 4/11-4/27 (7)医師研修会(片麻痺)(選考中) 4/25-5/11 (8)医師研修会(脊髄損傷)(赤津) 5/9-6/8 (9)医師研修会(脊髄損傷)(選考中) 5/9-6/8 (10)医師研修会(脊髄損傷)(選考中) 5/9-5/25 (11)医師研修会(脊髄損傷)(飛松) 5/23-6/8 (12)医師研修会(脳性麻痺)(坂口) 6/6-7/6 (13)医師研修会(脳性麻痺)(選考中) 6/6-7/6 (14)医師研修会(脳性麻痺)(選考中) 6/6-6/22 (15)医師研修会(脳性麻痺)(飛松) 8/20-7/6 (16)医師研修会(切断)(沢村) 7/4-8/3 (17)医師研修会(切断)(田沢) 7/4-8/3 (18)医師研修会(切断)(武智) 7/4-7/20 (19)医師研修会(切断)(渡辺) 7/18-8/3 (20)理学療法(武田) 4/11-5/11 (21)理学療法(兵庫リハ) 5/9-7/20	11/24 11/24(7/1-延長) 11/24(7/1-延長)											

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望	
	① 藤 井 晃	業務調整	継続 11.24 まで		11月24日をもってプロジェクト終了 中国側は、宮田・奥座長期専門家の延長を 希望せず、中国側は、7月1日～11月24日で 助教級クラスのセラピストの派遣を望んでいる。
	② 宮田美恵子	作業療法	継続 6.30 まで	11月24日までの延長の希望有り	
	③ 奥座奇世子	理学療法	継続 6.30 まで	11月24日までの延長の希望有り	

項 目	専 門 家 テ ー ム の 要 望						備 考					
	計 画	内 容										
(6) カウンターパート受入	5名を希望	候補者氏名	分 野	受入希望時期	期間		宮殿蘭氏を除いて、他の4名の日本語のレベルが低いので、赴日後の言語上のフォローが必要になる場合、研修目標を達成できないという点も予想される。					
	早期通報分							5名	① 洪 毅	リハビリテーション医療	4月1日	1年
									② 王 安慶	リハビリテーション医療	4月1日	1年
									③ 宮 殿蘭	リハビリテーション医療	4月1日	1年
									④ 劉 健宇	理学療法	4月1日	1年
									⑤ 顧 東	作業療法	4月1日	1年

項目	専門家チームの概要					備考
	計画	内容				
(1) 調査団派遣	7.25~8.1	評価調査団、巡回指導 理由:本プロジェクトは平成3年11月24日をもって終了するため、プロジェクトにより実施した各専門職の技術移転の状況調査及びその評価を行う。				
(2) 短期専門家派遣		分野 ①チームリーダー ①医師研修会 ③実務指導	候補者 (1)リハビリテーション 医療 木村哲彦 (2)リハビリテーション 医療 野島 (3)リハビリテーション 医療 長谷川恒範 (4)片麻痺 江藤 (5)片麻痺 森山 (6)片麻痺 選考中 (7)片麻痺 選考中 (8)脊髄損傷 赤津隆 (9)脊髄損傷 選考中 (10)脊髄損傷 選考中 (11)脊髄損傷 飛松治基 (12)脳性麻痺 坂口亮 (13)脳性麻痺 選考中 (14)脳性麻痺 選考中 (15)脳性麻痺 飛松好子 (16)切断 沢村誠志 (17)切断 田沢英二 (18)切断 武智秀夫 (19)切断 渡辺 (20)理学療法 武田功 (21)理学療法 兵庫リハ (22)理学療法 小山信行 (23)理学療法 山本吉晴 (24)作業療法 園田啓示 (25)作業療法 大塚進 (26)作業療法 選考中 (27)作業療法 宮前珠子 (28)看護 選考中 (29)看護 落合英美子 (30)看護 落合英美子 (31)言語療法 選考中 (32)スポーツ 水田賢二 (33)ケースワーク 選考中	派遣時期 5月 7月 10月 4月 4月 4月 4月 5月 5月 5月 5月 5月 6月 6月 6月 7月 7月 7月 7月 4月 5月 7月 9月 4月 6月 8月 10月 4月 7月 10月 4月 9月 6月	期間 1. 5月 1. 5月 1. 5月 3週 1月 2週 2週 1月 1月 2週 2週 1月 1月 2週 2週 1月 1月 2週 2週 1月 2月 2月 2月 2月 2月 1月 1. 5月 1. 5月 1. 5月 1月 2月 3月	(中国側の基本的希望) チームリーダー及び医師研修会の派遣については、基本的に同意。(期間、人数) 実務指導の短期専門家内、理学、作業療法2つの分野においては、長期専門家の継続という意味で、各1名の短期専門家のみを想定している。(通訳の不足) 言語療法、体育(スポーツ)療法、ケースワーク、看護婦については、医師研修会終了後の8月より各1名を派遣してほしいとのこと。期間は看護は1ヶ月を除いて、残りは3ヶ月。 (補則)短期専門家の派遣数に伴い、中国側は、2つのグループを日本に研修に送りたいと考えている。又は(3ヶ月間)第1グループ(びたマヒ)4名:医師2名(内通訳兼業務)PTSTOT.1名.看護婦1名 第2グループ(つひマヒ)4名: 日本派遣が不可能なら、OT・PTの専門家を除いて、かわりに医師3名(SCI, SCI, Amputa)の短期派遣を希望(8月以降)

項 目	専 門 家 チ ー ム の 概 要		備 考
	計 画	内 容	
(3) 供与機材	30,000千円を希望		
(4) 携行機材	千円を希望	金額 時期 (20)理学療法 (21)理学療法 (22)理学療法 (23)理学療法 (24)作業療法 (25)作業療法 (26)作業療法 (27)作業療法 (28)看護 (29)看護 (30)看護 (31)言語療法 (32)スポーツ (33)ケースワーク	

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	800千円を希望	円	①派遣専門家の増加に伴い、ローカルスタッフ、通訳等の備上も予定。 ②国内委員会(国立リハ等)との連携や連絡に伴う通信費関連の費用増大が予想される。 ③交通手段の不備のため、派遣専門家の交通手段を確保するため。(中国側負担のフォロー)	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		中国肢体障害者リハビリテーション研究センター		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		理学療法 作業療法 スポーツ 訓練 言語療法 医療 義肢装具 (予定)	他 訓練及び医療関連器具詳細 は、機材実施計画書記載の とおり。 ※中国側は、供与機材枠に 水処理施設を入れている が、これは検討中である。 (医療協力部) 輸送費 未定	
			合計	
供与の目的		リハビリ医学をより当センターに伝播するために、これまで理学、作業療法、研究所中心であったものをより、広範囲に広げて、特に言語療法、義肢装具の部門を中心に行なっていく。全体計画から見るとより、すそのを広げていく段階に入っている。医療関連の器具は、当センターの附属病院の機材整備にせひとも必要としている(中国側)。リハビリ関係より一般医療部門に中国側の計画では、力点をおいているが、このあたりはバランスのとれた機材実施計画を作成していく必要がある。これまで援助の少ないリハビリ部門(言語療法、義肢装具)を中心にするのが理想的だが、そのあたりの調整が必要。R/Dから見てもこの部門の整備は緊急性を要するものと考えられる。現在、中国側を交渉中である。(正式な実施計画書は奥座専門家に持参させるものとする。)		
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否		
A47+M取付状況		(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定		

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額 (円)	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守・修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ 試 薬 等、購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	硬水処理系統	32,000,000		有	否		
2	歯科治療チェア-マウントユニット	4,000,000	歯科用	有	否		
3	繊維喉頭鏡	625,000	耳鼻咽喉科用	有	否		
4	耳鼻咽喉総合治療ユニット	1,500,000	耳鼻咽喉科用	有	否		
5	脂肪(培養)熔化装置	300,000	歯科技工用	有	否		
6	非接触脳眼圧計	1,500,000	眼科用	有	否		
7	阻道内窺鏡	625,000	婦人科用	有	否		
8	Bカタ超音波診断装置 SAL-55AS	4,300,000	婦人科用	有	否		腹部用探針SM-308M
9	新生児黄疸測定計	150,000	産科用	有	否		
10	保育器(附光線治療 ユニット)	1,100,000	産科用	有	否		
11	記録紙等消耗品	5,100,000		有	否		
12	化学試薬	600,000	検査科用	有	否		
13	高速液体クロマトグラフ部 品	1,300,000	附 LC-6A	有	否		
14	光敏固化器		歯科	有	否		
15	液体窒素冷凍治療装置	20,000	耳鼻咽喉科用	有	否		
16	胎児監視装置	2,660,000	産科用	有	否		
17	分娩監視装置	2,500,000	産科用	有	否		
18	語言治療科用品	7,328,000					

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (康 復 工 程 研 究 所 医 用 機 材 研 究 室)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ ・ 試 薬 等 ・ 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	ディスクMF2-DD (088-58571-01)	10,000 (1pak)	クロマトバック C-RCA 用				
2	2チャンネル ボード (223-01486-90)	20,000	LC-6A 高速液体 クロマトグラフ				
3	デジタル I/O(PC-16N) (221-21193-91)	40,000	(同 上)				
4	カレントループ C-R4A用 (221-21187-90)	40,000	(同 上)				
5	示差屈折計検出器 RID-6A (228-16510-)	290,000	(同 上)				
6	GPC Program Disk (223-02243-90)	50,000	(同 上)				
7	Shim-pack GPC-804 (228-20807-91)	130,000	(同 上)				
8	カラム HSG-30 (227-00430-91)	130,000	(同 上)				
9	保護カラム Shim-pack GPC-800P (228-20812-91)	50,000	(同 上)				
10	カラム Shim-pack OHB- 806 (228-00688-91)	200,000	(同 上)				
11	保護カラム Shim-pack B-800P (228-00689-91)	50,000	(同 上)				
12	Standard polystyrene (201-39360-16) 5g	2,000	(同 上)				
13	ATR-2A attachment (202-32015)	250,000	RI-470用				
14	Vibrating mill (200-92500)	5,000	(同 上)				
15							

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (理学療法部門<専門家>)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	サカイのフット T-0542 B/A/D フットシャックルウェッジ T-0542W	150,000	CPの治療に使用	有	否		フット 3種類の大きさがB/A/D です。フットシャックルウェッジは Mが 2個 Lが 1個
2	サカイのロッカバラン T-0811	100,000	CPの治療に使用	有	否		
3	ローラーチェア (高さ調節式)	40,000 (20,000 × 2)	片麻酔の治療に使用	無	否		
4	オーバーテーブル (木材寝台)	50,000 (25,000 × 2)	片麻酔の治療に使用	有	否		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (作業療法部門<専門家>)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 査可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	スプリングバランサー SB-100 (ハラキン)	360,000 (180,000 × 2ヶ)	頸損の治療に使用	有	否		スプリングアーム、バランサー支柱は各 2ヶ ト、フックは左右用各 1。
2	プレストン (PC 2769L 56cm) Neuro Develop- mental Training Ball	15,000	CP治療器具	有	否		
3	Standing Frame (5.6才児 用) (パツフィクサフイ)	40,000	CP治療器具	有	否		
4	Motor Age Test 用具 一式		CP検査器具	無	否		
5	補高便座 TALL- ETTE II (ABLEWARE)	80,000 (10,000 × 8ヶ)	病棟指導用	有	否		
6	重鎮バンド (ADLキスプレス社) T-150-25 T-150-30 } 各 T-150-50 T-150-70 } 1ヶ T-150-025 T-150-05 } 各 T-150-075 T-150-10 } 2ヶ T-150-15 T-150-20 } 2ヶ	100,000 (16ヶ分)	訓練用	有	否		
7	作業台 (電動上下調整式)	600,000	患者の体格に合わせた 環境設定のため	無	否		
8	スベリ止めマット 40cm巾 10m (ノスリフット)	80,000 (40,000 × 2ヶ)	患者治療器具	無	否		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (言語療法部門＜専門家＞)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義	金 額	用 途	銘指指 定有無	現地調 査可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Visi-Pitch(バイビッチ) KAY Elemetric 6095/6097	878,000	声の高低・強弱の訓練 プロソディの訓練	有	否		下記コンピューターシステムに接続して使 用。単体では使用不可。
2	NEC パーソナルコンピューター式	800,000	①上記バイビッチを接続 ②教材作成③訓練ソフト ④データ管理	有	否		本体PC 9801-RX51.ラムディスク ディスプレイ PC KD854N プリンター PC PR201G
3	7ブランチクワイエ言語プログラム (株式会社アイシー)	95,000	言語訓練	有	否		
4	新生児用オーディオメ リフTB-03	125,000	新生児幼小児の聴力検 査	有	否		
5	パソコンソフト ①中国語Ni-Hao ②絵カードF98 1-2	120,000 130,000	教材作成、言語訓練	有	否		
6	ビデオカメラシステム 松下 ①NV-M10Eo②NV-L15BD ③TC-2187XRT	220,000 72,000 97,000	言語訓練の記録 療法士指導教材の作成	有	可		①カメラ ②デッキ ③モニターテレビ
7	聴力検査室 リオンAT-65	1,170,000	聴力検査	有	否		
8	訓練用教具	500,000 程度	言語訓練	有	否		
9	MS パチ用 プラスチックシート	200,000 程度	教材作成	有	否		'90年購入機材の消耗品
10	肺機能検査器 カチガイクロンパイロ 533-5610	198,000	発声・呼吸の肺機能検 査	有	否		
11	騒音計 リオンNA-24	153,000	BOA 聴力検査音源の音 圧測定	有	否		
12	補聴器特性測定装置	2,500,000	補聴器の特性測定	有	否		
13	電動式人口喉頭	70,000	喉頭摘出者用人口喉頭	有	否		
14							
15							

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (看護部門<専門家>)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	スベアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	頸損用車椅子 (JRE)	2,400,000 (120,000 × 20台)	頸損者のADL訓練に必要	有	否		特殊形状の為、指定メーカーでないと調達不可能
2	マットレス パラクソ (木村)	250,000 (25,000 × 10枚)	頸損患者のベッド上起居 動作、移乗の為	有	否		
3	ID-Sep	20,000 (1,000 × 20本)	呼吸訓練の為	有	否		
4	フローテーションマット (サカイ アクトマット)	900,000 (30,000 × 30個)	褥創予防に床上で使用	有	否		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：中国肢体障害者リハビリテーション研究センター
 (スポーツ訓練部門<専門家>)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	スポーツ用車椅子	2,550,000 (170,000 × 15台)	車椅子バスケット及び スラロム用	有	否		
2	車椅子スラロム競技用セット	300,000	車椅子スラロム競技に使用	有	否		
3	バスケットゴール	100,000 (10,000 × 10個)	車椅子バスケットゴール用	有	否		
4	アチェリ競技用セット	300,000	車椅子アチェリ競技用	有	否		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	リハビリ医療チームリーダー（4名）
2. 派遣期間・時期	3月7日～4月19日、5月9日～6月22日、 7月25日～9月7日、10月10日～11月24日、
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	OT、PT研修会、リハビリテーションチーム指導終了後のフォローとして継続的に行なわれる実務指導、医師研修会又はプロジェクトの総括者としてプロジェクトを円滑に実施することを目的とする。
4. 先方の希望内容	チーム指導終了後の個別カウンターパートの技術指導を総括し、リハビリテーション医療技術の仕上げとしての指導を希望する。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	病院関係者とともプロジェクト達成のために、その方針及び運営計画を定め、技術指導を行なうとともに、各カウンターパートに対する指導を総括する。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	リハビリ医学 片麻痺（4名）
2. 派遣期間・時期	4月11日～5月11日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初、1990年度に計画されていたが、中国側の強い希望によりグループ指導を繰り上げて行なったため、本年度の実施となった。リハビリテーション医師研修会の指導分野のひとつである。
4. 先方の希望内容	片麻痺のリハビリテーション医療における診断及び治療技術の向上に対する技術協力。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	5年以上の臨床経験のある医師に対して片麻痺の基本的リハビリテーション技術の指導。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	リハビリ医学 脊髄損傷 (4名)
2. 派遣期間・時期	5月9日～6月8日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初、1990年度に計画されていたが、中国側の強い希望によりグループ指導を繰り上げて行なったため、本年度の実施となった。リハビリテーション医師研修会の指導分野のひとつである。
4. 先方の希望内容	脊髄損傷のリハビリテーション医療における診断及び治療技術の向上に対する技術協力。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	5年以上の臨床経験のある医師に対して脊髄損傷の基本的リハビリテーション技術の指導。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	リハビリ医学 脳性麻痺 (4名)
2. 派遣期間・時期	6月6日～7月6日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初、1990年度に計画されていたが、中国側の強い希望によりグループ指導を繰り上げて行なったため、本年度の実施となった。リハビリテーション医師研修会の指導分野のひとつである。
4. 先方の希望内容	脳性麻痺のリハビリテーション医療における診断及び治療技術の向上に対する技術協力。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	5年以上の臨床経験のある医師に対して脳性麻痺の基本的リハビリテーション技術の指導。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	リハビリ医学 切断 (4名)
2. 派遣期間・時期	7月4日～8月3日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初、1990年度に計画されていたが、中国側の強い希望によりグループ指導を繰り上げて行なったため、本年度の実施となった。リハビリテーション医師研修会の指導分野のひとつである。
4. 先方の希望内容	切断のリハビリテーション医療における診断及び治療技術の向上に対する技術協力。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	5年以上の臨床経験のある医師に対して切断の基本的リハビリテーション技術の指導。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	理学療法 (長期専門家)
2. 派遣期間・時期	7月1日～11月24日(延長希望)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初任期は1991年6月30日であるがプロジェクト全体計画の中で、理学療法分野のリーダーとして短期専門家間の継続性を確保する。
4. 先方の希望内容	理学療法技術の一層の指導を希望。しかし、中国側は、長期専門家の延長を希望せず。新規に7月1日から11月24日まで助教授クラスの短期専門家を希望している。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	最終的に日本専門家の指導がなくても、理学療法が独立して行なえるまでの技術水準にもっていく事を目的に据え、短期専門家と連携し、各疾患に対する治療技術指導、PT部門としての管理運営手法等の指導を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	理学療法 (短期専門家) 4名
2. 派遣期間・時期	4月11日～5月11日、5月9日～7月20日、 7月18日～9月21日、9月19日～11月24日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	OT, PT後期研修会及びチーム指導終了後のフォロー及び実務指導。
4. 先方の希望内容	理学療法技術の一層の向上に向けた技術協力。長期専門家の任期終了とともに助教クラスに短期専門家を希望している。通訳の問題があり、多数の専門家を中国側は受け入れることができず、難しいと考えている。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	OT, PT後期研修会及びチーム指導終了後の技術移転状況の評価分析及びCP、片麻痺、脊損、切断の4大疾患に対する継続的な技術指導、特にCP、片麻痺に関しては、技術移転状況に遅れをきたしているため重点的な指導を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	作業療法 (長期専門家)
2. 派遣期間・時期	7月1日～11月24日(延長希望)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初任期は1991年6月30日であるがプロジェクト全体計画の中で、作業療法分野のリーダーとして短期専門家間の継続性を確保する。
4. 先方の希望内容	作業療法技術の一層の指導を希望。しかし、中国側は、長期専門家の延長を希望せず、新規に7月1日から11月24日まで助教クラスに短期専門家を希望している。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	最終的に日本専門家の指導がなくても、作業療法が独立して行なえるまでの技術水準にもっていく事を目的に据え、短期専門家と連携し、各疾患に対する治療技術指導、PT部門としての管理運営手法等の指導を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1 指導科目	作業療法 (短期専門家) 4名
2 派遣期間・時期	4月11日～6月8日、6月6日～8月17日、 8月15日～10月26日、10月24日～11月24日
3 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	OT、PT後期研修会及びチーム指導終了後のフォロー及び実務指導。
4 先方の希望内容	作業療法技術の一層の向上に向けた技術協力。長期専門家の任期終了とともに助教クラス短期専門家を希望している。通訳の問題があり、多数の専門家を中国側は受け入れることができず、難しいと考えている。
5 派遣目的及び具体的指導内容	OT、PT後期研修会及びチーム指導終了後の技術移転状況の評価分析及びCP、片麻痺、脊損、切断の4大疾患に対する継続的な技術指導を行なう。技術移転状況に遅れをきたしているため重点的な指導を行なう。
6 必要とされる携行機材・額	
7 その他、備考	

専門家派遣計画表

1 指導科目	リハビリテーション看護 (2～3名)
2 派遣期間・時期	5月9日～6月22日、7月25日～9月7日、 10月10日～11月24日
3 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	リハビリテーション看護研修会、チーム指導後のフォロー及び技術指導の仕上げ。
4 先方の希望内容	リハビリテーション看護技術に対する技術協力。
5 派遣目的及び具体的指導内容	リハビリテーション看護に対する基本理念の習熟、技術指導及び赴日研修員経験者に対し、病棟のリーダーとして独立できるようにフォローすること。具体的指導の内容としては、看護過程及び書式のフォロー、ADL自立援助、合併症予防の技術、看護管理。
6 必要とされる携行機材・額	車椅子マット、車椅子、呼吸訓練量 マットレス (アセバス無圧)
7 その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	言語療法
2. 派遣期間・時期	①4月1日～7月31日(1名選考中) ②10月25日～11月24日(白坂)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	①現在指導中の短期専門家よりの継続及び赴日研修者の帰国後のフォローとして ②現在指導中の業務のフォロー。
4. 先方の希望内容	中国における言語療法の確立に向けて評価、訓練方法の技術指導を希望。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	①・現在指導中の短期専門家の支援。 ・同じく新たに作成した検査法等についての引継ぎ ・現在、日本で研修中の中国スタッフのフォロー ②・現在行なっている各種中国版検査法を一定期間使用しての後の改訂作業について援助、フォローする。 ・中国リハセンターST室の実務指導に関するフォロー ・北京市内及び全国STに対する講習会のフォロー ・現在設立準備中のST学会の運営のフォロー
6. 必要とされる携行機材・額	各50万円程度
7. その他、備考	添付資料参照

JICAプロジェクトの来年度(1991年4月より1991年11月まで)日本人言語療法専門家の中国リハセンターへの派遣について

言語療法士の派遣について、以下の3案を呈示する。

1. 内容

- ①1991年4月1日から7月31日の4か月言語療法専門家を1名派遣し、同年11月1日より30日までの1か月白坂を派遣する。
- ②1991年8月1日から11月30日の4か月間、言語療法専門家を1名派遣し、同年11月1日より30日までの1か月白坂を派遣する。
- ③1991年10月1日より11月30日の2か月間、白坂を派遣する。

2. 目的

- ①案および②案は、4か月間の言語療法の実務指導と、日本での研修を終了した田嶋氏のフォローならびに白坂の1990年度の指導のフォローである。派遣人員は2名合計5か月間である。
- ③案は、派遣人員が1名の場合の案で、2か月で、実務指導、研修生のフォロー、90年度の指導のフォローを行う。

3. 理由と留意点

- ①現在進行中の90年度の指導では、中国語版の失語症、言語発達遅滞、構音障害、語音聴力検査などの検査法を全く新たに作成する。また、北京市内、中国全土の講習会を実施し、センターのみならず、全国規模でこれらの普及を行う。これらについて、一定期間をおいて後、検査法の改定等に取り組まなければならない。そのためのフォローがプロジェクトの最終時期に絶対に必要である。これに関しては、実際に作成指導ならびに講習を実施した白坂があたりざるをえない。
- ②しかし、白坂が長期間滞在することは不可能なので、加えて実務指導を主たる目的に、成人の言語障害ならびにCPの言語障害を指導できる専門家1名を4か月程度派遣することが望ましい。
- ③実務指導については、新たに作成した種々の検査法の理解と習熟が必要のため、白坂が滞在中の4月の最初より派遣し、1か月の引き継ぎ期間を現地(中国)で持つが、逆に、白坂専門家帰国後に、数か月の引き継ぎ期間を置いて、日本で引き継ぎを行う必要がある。
- ④白坂と引き継ぎのための重複期間が無かったり、あるいは短期間であれば、指導は無意味となる。したがって、4月に派遣する場合は、4月第一週には到着していなければならない。ただし、それが可能であれば、白坂の指導の支援にもなるので、①案が最も望ましい。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1 指導科目	身体障害者スポーツ指導
2 派遣期間・時期	
3 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	リハビリテーション技術移転計画のうち医療に対する分野は、多くの研修を通じて消化されてきた。本科目は医学的リハビリテーションの後期～社会的リハビリテーションの技術移転として位置づけられる。
4 先方の希望内容	中国国内では未知の分野である。後期医学的リハビリテーション及び社会的リハビリテーションを担う身体障害者スポーツの分野での技術指導を希望する。
5 派遣目的及び具体的指導内容	医学的リハビリテーションの仕上げの段階及び社会的リハビリテーションの手段としての身体障害者スポーツの技術指導及び中国国内への普及、赴日研修者に対するフォロー。
6 必要とされる携行機材・額	
7 その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1 指導科目	ケースワーク
2 派遣期間・時期	6月6日～9月7日
3 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	プロジェクト終期の計画としてリハビリテーション医療技術の円滑な移転のために必須の分野である。
4 先方の希望内容	中国の社会事情に合ったケースワークの技術指導を希望する。
5 派遣目的及び具体的指導内容	リハビリテーションの流れの中で医学的リハビリテーションの効果を社会生活に効果的に生かして行くため、中国と内事情にあったケースワークの技術を指導する。
6 必要とされる携行機材・額	
7 その他、備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	水治療室の軟化装置の設置
2. 目的:	<p>当センター周辺の水質は硬質であり、軟化装置が完備してなければ、故障が発生する可能性が非常に大であり、現実に故障が発生した。水治療室はリハビリセンターにはなくてはならないものであり、使用できないことはリハビリセンターとしては致命的欠陥となる。水治療室が一刻も早く稼働できるようにする必要がある。</p> <p>そのほか、中国のリハビリテーションの波及を促進する上にも重要な意味をもっており、緊急に対処していかねばならない。中国側の1990年度の予算は、赤字が予想され、公共性の高いリハビリテーションにも関わらず、独立採算制の波にあらわれており、現状で、滞り経営は、楽ではない。当初、予定した収益も予想を下回っており、赤字経営が続いている。軟化装置の設置は、急いで用事であり、ローカルコストを負担する必要性が生じている。軟化装置をつけることで、水治療室の定時的・恒常的稼働がみこされ、より一層のリハビリテーションの発展と近代的当センターの順調な発展を中国側に推進できる。</p>
・必要性	
・緊急性	
・先方が負担できない理由	
・効果	
3. 計画・経費	<p>故障の詳細な原因を調査中。(日中相手) その結果について、経費を精算する予定。 ※中国側17,1991年度の供与機材の枠にも、水治療室の軟化装置の費用を載せている。</p> <p style="text-align: right;">総計 (円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
チームリーダーの不在	1 チームリーダーの不在により、プロジェクトの全体を鳥瞰し、日本側の医療協力を一貫して中国側に指示、指導できない。チームリーダーの長期的派遣が不可能な場合に短期的派遣を検討して頂きたい。1991年度の計画にチームリーダーの派遣が決まる。
通訳の不足	2 当プロジェクトは人材の育成、つまり教育の部分のウエイトが高く、また分野が多岐に渡っている。どうしても派遣専門家の人員数が多い。これに伴い中国側の通訳の不足があり、技術援助の大きな障害となっている。派遣専門家を減らすか、通訳を増やすかだが、リハビリテーション医学の知識は新しい分野であり、一般の通訳では難しい面もあり、中国側は、今回の日本側の派遣計画に対して派遣人員の精鋭かを望んでいる。日本側、特に現場にタッチされてきた専門家から見ると派遣専門家が足りないといった意見もあり、日本側の派遣計画をそのまま採用するなら臨時現地業務費を増やして頂き、通訳の確保を計って頂きたい。
水治療室の軟化装置の設置問題	3 水治療室の軟化装置の問題が1990年の計画打合せ会議で討議され、中国側の責任と日本側のフォローに関する話し合いがもたれた。当初は中国側が独自で付けることになっていたが、当センターの資金難からか、現在の当センターの財政状況では難しい。中国側は1991年の供与機材の枠に水治療室の軟化装置の機材を要求してきている。当センターの重要な施設のひとつである水治療室が早期に使えるようになり、また恒常的に稼働するようになることが現状では望ましい。日本側の前向きな対応を願いたい。

問題点	問題点、要望事項
事務分野のローカルスタッフの不足	<p>4. 外事処の人員及び日本人専門家室のローカルスタッフの不足により事務処理の遅滞が見られる。特に専門家派遣の多い当プロジェクトは、少人数で大所帯を処理していかなばならず、個々の専門家の援助を必要とすることもあり、技術援助の趣旨からすると専門家に事務処理を任せることはよいこととはいえない。1990年の打合せ会議でスタッフの充実のことは要望した。また約束どおりのスタッフが集まらない時は、臨時策として専門家室として人員を雇用していきたいと考えている。このため臨時業務費等を増やしてほしい。</p>
機材検収チームの派遣考慮	<p>5. 5年目の最終年度であり、機材の故障や機材の散逸が見られるので機材検収チームの派遣を考慮願いたい。</p>
当センターの赤字経営	<p>6. 1990年度の当センターの予算措置の報告を受けた。国家財政部からの援助が550万元、センター業務収入が1000万元、合計で1550万元となる。支出は、給料支払いが500万元、動力費用が400万元、医療・科学研究費用が500万円、その他300万元で合計1700万元となる。差し引いて約150万元程の赤字が出ている計算になる。この赤字の幅は、センターの報告より諸般の状況を判断するともっと大きいと予測される。この財政の問題が、当センターの経営方針に少なからず影響を及ぼしていることは明らかである。特に公共性の高いリハビリテーション事業が独立採算制を採用している現在の中国で必ずしも公共事業として一致していない状況があるといっても過言でない。リハビリテーション病院経営が恒常的に継続されるよう援助の基礎を固めていく必要がある。具体的に言うとう当センターの経営上の赤字を解消できるような支援又は援助をリハビリテーション事業の理念を考慮に入れて考えていくことが望まれる。</p>

(4) 中 国

中日医学教育センター

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	(1) カリキュラム開発 (2) 教材開発 (3) 教授法開発 (4) 臨床技術指導 (5) 共同研究	(1) カリキュラム開発 1-1 新しい教育計画を提出し、日中双方の委員会に意見を求めて同計画を確定		(2) 教材開発 2-1 各学科の教科書の主要綱目を編集 2-2 教科書編集可能な学科より随時開始		(3) 教授法開発 3-1 専題総合講座及びC.P.C は継続することとし、更に新案があれば適宜・施行 3-2 L.L 設備の導入及び同教授法の実施・施行		(4) 臨床技術指導 4-1 外来・病棟に於ける臨床技術の指導 4-2 医療機器操作の訓練及び指導		(5) 共同研究 5-1 双方の研究情報の交換 5-2 共同研究テーマを設定し、随時実施			
調査団の派遣	巡回指導	↔											
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名等) (1) チーフアドバイザー (長野 政雄) (2) 業務調整員 (立場 正夫)	90/5継続 _____ 92/5 90/5継続 _____ 92/5											
	短期専門家(分野、氏名等) (1) 放射線診断学 田中清 (廣応) (2) 循環器内科 未定 (3) 病理解剖学 未定 (4) 薬理・血液内科・一般外科・胸科外科のうち一科 未定 (5) 呼吸器内科 未定 (6) 一般外科 未定 (7) 有機化学 未定 (8) 呼吸器内科 未定 (9) 一般外科 九州大第一外科 (10) 衛生学 未定 (11) 微生物学 森良一(九大) (12) 解剖学 未定 (13) 内分泌内科 未定 (14) 眼科 未定 (15) 免疫学 深沢義村(廣応) (16) 脳神経外科 未定	91/5 _____ 91/7末 91/9 _____ 91/11末 91/11 _____ 92/1末 92/3~92/5末											
研修員	(分野、氏名等) 5名 (1) 血液内科 肖衛国 (2) 産婦人科 憑 戈 (3) 心臓外科 解 強 (4) 一般外科 劉 啓 (5) 人体解剖学 陳肖華	92/3 ~93/3末 _____ _____ _____											
供与機材		△仕様書提出 _____ ▲現地到着希望											
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 現地業務費臨時支給 (2) 技術普及広報費 (3) 現地セミナー開催費	△申請書提出 _____ ▲事業実施・完了 △申請書提出 _____ ▲完了 △申請書提出 _____ ▲完了											

注：本分野は中国側より90年度実施要望があったが日本側の都合により未実施
中国側から再度要請した。

中日医学教育センタープロジェクト実施目標

1989年 4月 提出
 1990年10月 修正
 1990年12月 修正

項目	年度	1990・5 - 1991・3	1991・4 - 1992・3	1992・4 - 1993・3	1993・4 - 1994・3	1994・4 - 1995・3
(1) 教育計画開発	新しい教育計画及びカリキュラムの改革	(1)-1 両国医学教育モデルの現状及び教育計画特徴について双方の調査と検討	(1)-2 カリキュラム開発 新しい教育計画を提出し、日中双方の委員会に意見を求めて同計画を確定	(1)-3 本計画の試行 (一部)	(1)-3 本計画の試行 (全面)	(1)-4 新教育計画に対して初歩的な評価を出す。
(2) 教材開発	中国学生向けの日本語教材を開発する。	(2)-1 現在使用中の教材について調査し、そして主な参考書を指定する。	(2)-2 教材開発 各学科の教科書の主要綱目を編纂可能な学科より随時開始	(2)-3 中核学科の教材応用及び全面的に開発	(2)-3 開発内容を充実し、新教材を全般的に使う様にする。	(2)-4 新教材に対する評価
(3) 教授法開発	教授法の研究	(3)-1 教授法の現状を調査し、臨床通論を試行する。	(3)-2 教授法開発 専題総合講座及びC.P.Cは継続することとし、更に新案があれば検討し、適宜試行する。	(3)-3 新案の試行	(3)-3 新案の試行と修正	(3)-4 新案に対する評価
	L.L教材の導入と編纂 (スライド、ビデオ、模型など) 学生用のL.L閲覧室を設ける。	各学科のL.L設備及びL.L教育現状を調査し、L.L設備の増進を確認する。	L.L設備の導入及び同教授法の実施試行	L.L設備と教材を充実し、日本語クラス向けのL.L閲覧室を設ける。	全般的に活用	L.L教育に対する評価
(4) 臨床技術指導		(4)-1 臨床実習に関する現状調査	(4)-2 臨床技術指導 ・外来・病棟に於ける臨床技術の指導 ・医療機器操作の訓練及び指導	(4)-3 臨床技術指導 ・外来・病棟に於ける臨床技術の指導 ・医療機器操作の訓練及び指導	(4)-4 臨床技術指導 ・外来・病棟に於ける臨床技術の指導 ・医療機器操作の訓練及び指導	(4)-5 医療機器操作の訓練指導 ・臨床技術指導の評価
(5) 共同研究		(5)-1 中国側の研究テーマ及び研究能力に関する調査	(5)-2 共同研究 双方の研究情報の交換 共同研究テーマを設定し、随時実施	(5)-3 共同研究 ・双方の研究情報の交換 ・共同研究テーマを設定し、随時実施	(5)-4 共同研究 ・双方の研究情報の交換 ・共同研究テーマを設定し、随時実施	(5)-5 研究結果の取りまとめ及び公発表

活 目	専 門 家 チ ーム の 要 望					備 考		
	計 画	内 容						
(1) 調査団派遣	巡回指導 9月中旬頃を希望	調査団の種類: 巡回指導調査団 理由: プロジェクトも中期に入り、これまでの技術協力成果を把握するとともに今後の協力方針を更に明確にする必要から派遣を希望する。						
(2) 短期専門家派遣	合計: 16名 1カ年を4期に分割し、各4名の短期専門家を要請する	分 野	候補者があればその氏名	派遣期間	期 間	A1フォーム取付状況		
		①放射線診断学	田中 清 (慶應)	91/5 ~ 91/7 末	3カ月	91年1月申請予定		
		②循環器内科	無	91/5 ~ 91/7 末	3カ月	91年1月申請予定		
		③内理解剖学	無	91/5 ~ 91/7 末	3カ月	91年1月申請予定		
		④薬理・血液内科・一般外科・胸外科のうち一科目	無	91/5 ~ 91/7 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑤呼吸器内科	無	91/9 ~ 91/11 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑥一般外科	無	91/9 ~ 91/11 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑦有機化学	無	91/9 ~ 91/11 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑧呼吸器内科	無	91/11 ~ 92/1 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑨一般外科	九大・第一外科	91/11 ~ 92/1 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑩衛生学	無	91/11 ~ 92/1 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑪微生物学	森 良一 (九大)	91/11 ~ 92/1 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑫解剖学	無	91/11 ~ 92/1 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑬内分泌科	無	92/3 ~ 92/5 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑭眼科	無	92/3 ~ 92/5 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑮免疫学	深沢義村 (慶應)	92/3 ~ 92/5 末	3カ月	91年1月申請予定		
		⑯神経外科	無	92/3 ~ 92/5 末	3カ月	91年1月申請予定		
(3) 供与機材	85674千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	4960千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 (千円) 時期				具体的内容については『専門家派遣計画表』を参照		
		① 35mmカメラ	300	91/5	⑨ NEC PC-9801N コンピュータ		400	91/11
		② Compupace TM Packing	300	91/5	⑩ NEC PC-9801N コンピュータ		360	91/11
		③ NEC PC-9801N コンピュータ	300	91/5	⑪ NEC PC-9801N コンピュータ		300	91/11
		④ 未定	300	91/5	⑫ 未定		300	91/11
		⑤ 試薬	300	91/9	⑬ 浸透圧計、参考書籍		300	92/3
		⑥ NEC PC-9801N コンピュータ	300	91/9	⑭ 手術器具等		300	92/3
		⑦ NEC PC-9801N コンピュータ	300	91/9	⑮ NEC PC-9801N コンピュータ		300	92/3
		⑧ NEC PC-9801N コンピュータ	300	91/11	⑯ 手術器具		300	92/3

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリングを記載のこと結果)	
	① 長野 政雄	チーフアドバイザー	90/5 ~92/5	継続・着任間無いので来年度検討予定	
	② 立場 正夫	業 務 調 整	90/5 ~92/5	継続・着任間無いので来年度検討予定	
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望					備 考
	計 画	内 容				
(6) カウンターパート受入	5 名を希望 早期通報分 0名 年度末通報分 5名	候補者氏名	分 野	受入希望時期	期 間	<p>(早期) 通報分については、3年3月まで、年度末通報分については、3年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)</p> <p>90年9月に来京したの巡回指導調査団が6名を選抜し、平成3年度の研修員候補者としたがその後李松柏氏(放射線診断科)が中国の出国規制により派遣できないことが判明し、研修員候補者から削除することとなった。</p>
		① 肖 衛 国	血液内科	92/3~93/3	1カ年間	
		② 馮 戈	産婦人科	92/3~93/3	1カ年間	
		③ 解 強	心臓外科	92/3~93/3	1カ年間	
		④ 劉 啓	一般外科	92/3~93/3	1カ年間	
		⑤ 陳 肖 華	解剖学	92/3~93/3	1カ年間	
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				
		⑩				
		⑪				
		⑫				
		⑬				

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	897千円を希望	0円	短期専門家派遣に係る中国・国内線航空券購入及び国際直通電話(FAX 兼用回線の設置と年間電話料金に関する必要な経費である。	長期専門家2名のため、一般現地業務費が4万円/月と極めて少額で円滑なプロジェクト運営が困難。
②技術普及広報費	1,693千円を希望	0円	中日医学教育センターのパンフレットを作成し、本プロジェクトで開発される新たな日本語医学教材・教授法等の技術を中国国内の関連医学教育部門に広く知らし、本件技術協力の普及を図る。	
③現地セミナー開催費	1,154千円を希望	0円	日本語による医学教育を実施している機関の関係者を集め、新しい教授方法(視聴覚教材の活用、基盤、臨床との合同教育方法など)を日本人専門家及びカウンターパートが講師として、その技術を伝授するとともに教授方法改善に伴う、意見交換を行なう。	
④技術交換費	千円を希望	0円		
⑤応急対策費	千円を希望	0円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	0円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名： 中国・中日医学教育センター				
	分野	品目	数量	金額(千円)
主要機材の概要	一般教育用機材	スライド作成機	1	1000
		シャーカステン	2	400
		講義用放送機器	1	2520
	基礎医学用機材	視聴覚ビデオ機材	32	16000
		マイクローン	2	4500
		マイクローン イメージアナライザ	1	9500
		UV/uisスペクトロフォトメータ	4	5200
		ガス・液体クロマトグラフ	4	13400
		CO ₂ インキュベータ	4	2700
		ステレオタック インシュメント	8	8960
	その他		18494	
	輸送費		3000	
	注：優先順位により予算の範囲で供与希望		合計	85674
供与の目的	<p>本プロジェクトの業務内容としての教授法開発が順調に実施されている。平成3年度においては16名の短期専門家が来華し、新しい教授方法のデモンストレーション及び中国人教師への訓練が計画されている。併せて、基礎医学分野における技術指導を行う予定である。今年度はこれに必要な測定機器を中心にリストアップした。</p> <p>加えて、90年度供与機材計画分で未実施の医学教育用機材と短期専門家からリコメンドあった基礎・臨床分野の医療、研究機材も一部リストアップした。</p> <p>これらの機材は中国国内で調達不可能なものはがりで今後派遣される専門家が本件機材を使用する。</p>			
現地調達の可否	▲(1) 可(一部機器は可能オシロコープ) (2) 否			
A47-A取付状況	(1) 一括取付済 ▲(2) 2年1月取付予定			

1991

プロジェクト名: CHINA JAPAN MEDICAL EDUCATION CENTER

DEC 18 1990

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機材名その仕様	金額	用途	銘柄指定有無	現地調達可否	保守、修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等、購入にあたっての留意事項
1.	Slide Making Apparatus	1,000,000	Making teaching slides	no	no		
2.	Viewing Apparatus for X-Ray Film, 8-View	2 sets 400,000	For radiology teaching	no	no		
3.	Wireless Microphone System	2,520,000	Teaching Discussion	no	no		
4.	IND. Learning System	16,000,000	Japanese Language Teaching	no	no		For 32-person. If the cost is not enough, may be decreased to 16.
5.	CO2 Incubator	4 sets 2,700,000	Microbiological, Biological & Patho. Teaching	no	no		
6.	Inverted Microscope	8 sets 2,400,000	- ditto -	no	no		
7.	Microscope with Image Analyzer	9,500,000	- ditto -	no	no		
8.	UV/VIS Spectrophotometer	4 sets 5,200,000	Chemistry Teaching	no	no		
9.	Infrared Spectrophotometer	2 sets 4,500,000	Organic Chemistry Teaching	no	no		
10.	Gas Chromatograph	2 sets 4,400,000	Chemistry Teaching	no	no		
11.	Liquid Chromatograph	2 sets 9,000,000	Organic Chemistry Teaching	no	no		
12.	Fluorescence Spectrophotometer	1,300,000	Chemistry Teaching	no	no		
13.	Electronic Analytical Balance	8 sets 3,000,000	Chemistry Teaching	no	no		
14.	Refrigerated Microtome	2 sets 4,500,000	Pathology and Biology	no	no		
15.	Ultraspeed Centrifuge	3,750,000	Biology and Biochemistry	no	no		
16.	Freeze Vacuum Freezer	2 sets 1,900,000	Biology and Biochemistry	no	no		
17.	Oscilloscope	8 sets 1,344,000	Physics and Bioengineering	no	yes		
18.	Stereotaxic Instrument	8 sets 8,960,000	Physiological & Pharmacology	no	no		

専門家派遣計画表

1. 指導科目	放射線診断学
2. 派遣期間・時期	91年5月～91年7月 (3か月)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	1.放射線診断学分野の教科書編纂及び教授方法の紹介と指導 2.91年度日本語クラス学生に対する講義
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的： 教学レベルを高めるとともに新しい教育技術の紹介と指導 内容： 1. 91年度日本語クラス放射線診断学授業の指導教学 周2回 (毎回2時間) 2. 末梢気道造影とTBNAの開発技術
6. 必要とされる携行機材・額	35mmシネフィルムの映写機 (35mmカメラを有している) 合計30万円
7. その他備考	慶應大学医学部放射線科の田中満先生 または胃腸分野の専門家を希望

専門家派遣計画表

1. 指導科目	循環内科
2. 派遣期間・時期	91年5月～91年7月 (3ヵ月間)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	心臓カテーテル検査の専門家を希望 特にPTCAとDDD型永久ペースメーカー 僧帽弁拡張術などの指導を希望
5. 派遣目的および具体的指導内容	1) 心臓カテーテル検査の専門. PTCA とDDD型永久ペースメーカー, 僧帽 弁拡張術についての技術指導 2) 循環内科教材の編纂と教授方法の指導 3) 循環内科の講座 ①心臓の聴診 ②心筋梗塞治療の最新技術の紹介 ③PTCAの方法, 臨床的意義と 合併症について
6. 必要とされる携行機材・額	compupace™ pacing system computer Intermedics inc モデル番号80-5590-6700/0 9/79 を希望 する 合計30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理解剖学
2. 派遣期間・時期	91年5月～91年7月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	教科書の編纂及び教授方法の指導 動脈硬化分野の専門 腫瘍研究の専門(肺癌)
5. 派遣目的および具体的指導内容	・教科書の編纂及び教授方法の指導 心血管系分野内容の講義(具体的内容については別途協議) ・動脈硬化の成り立ち機序に関する共同研究を希望
6. 必要とされる携行機材・額	NEC-PC-9801N プリンター付 ディスプレイ(三光純薬株式会社) 300,000PU(5g) × 5 約4万円 合計30万円
7. その他備考	九州大学医学部病理学教室居石克夫教授

専門家派遣計画表

1. 指導科目	呼吸器内科
2. 派遣期間・時期	91年9月～91年11月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	教科書の編纂及び教授方法の指導 BALF中の諸成分に関する分析方法の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	・BALF中の諸成分の分析方法 1) マクロファージ型と培養 2) 蛋白成分と酵素の分析 ・教材の編纂 ・呼吸器病に関する学生への講義(具体的には別途協議)
6. 必要とされる携行機材・額	1) Coiiagenase 検品 2) Eiasfase 検品 3) Inferieukin I、II、III、IV、V 標準品 4) Anti-macrophage-monoclonal antibody EMB/11 合計30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	一般外科
2. 派遣期間・時期	91年9月～91年11月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	肝臓(特に肝ガン)の専門分野であり、加えて血管外科(末梢血管)分野についても指導を希望
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 肝臓外科についての手術技法の指導(或は血管外科における主要疾患についての手術技法の指導) 一般外科における主要疾患の診断、治療に関する指導及び教材の編纂指導 日本語クラスにおける肝臓分野の授業を担当。具体的な内容については派遣者が決まり次第打合せることとする。
6. 必要とされる携行機材・額	<ul style="list-style-type: none"> NEC PC-9801NOTE及びプリンター 金額20万円 Fogartyカテーテル(成人用) 金額10万円 <p style="text-align: right;">合計30万円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	有機化学
2. 派遣期間・時期	91年9月～91年11月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の編纂指導 教授方法の紹介及び指導 学生に対する実習指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の編纂指導 稲山誠一教授(慶応大学)と協議し、教科書の要目を作成済 教授方法の紹介及び指導 毎週一回づつの学生に対する講義を実施 講義内容 <ul style="list-style-type: none"> 有機化学の電子理論 有機化学の反応メカニズム 天然有機化合物の構造と性質 有機化学の立体性等 学生に対する実習指導 <ul style="list-style-type: none"> 液体クロマトグラフィー 赤外スペクトログラフィー
6. 必要とされる携行機材・額	<ul style="list-style-type: none"> 有機化学実験の基本操作のスライド VTRテープ HPLC用充填カラム Protein Column I-250 (Nihon Water Ltd) 1本 ワープロ Canon P50 1台 <p style="text-align: right;">合計30万円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	呼吸器内科
2. 派遣期間・時期	91年11月～92年1月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	RICUに関する専門家
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・RICU RICUの設置に関する指導 (現在は一部の機器を有しているが新病棟にて同施設を強化・拡充したい) ・教材の編纂 学生に対する講義用の教科書を新たに編纂する。
6. 必要とされる携行機材・額	<ul style="list-style-type: none"> ・NEC PC-9801Note 及びプリンター 20万円 ・Tube Tracheale (成人用) 10万円 <p>合計30万円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	一般外科
2. 派遣期間・時期	91年11月～92年1月(3ヵ月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器ガンに対する廓清術についての指導 ・閉塞性黄疸に対するPTCD・ESTについての指導 ・臓器移植についての技術、術前・術後の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・直腸ガンに対する骨盤内臓器全摘出術についての具体的な手術技法の指導 ・肝門部胆管ガンに対する拡張切除、外瘻術、内瘻術についての具体的な技術指導 ・膵頭部領域ガンに対する拡大合併切除についての具体的な技術指導 ・閉塞性黄疸に対するPTCD・ESTについての指導 ・消化器ガンに対する集中的な治療の紹介
6. 必要とされる携行機材・額	<ul style="list-style-type: none"> ・NEC PC-9801NOTE 及びプリンター 金額20万円 ・Forgartyカテーテル(成人用) ERCP・PTCA・ATOM Tube 金額20万円 <p>合計40万円</p>
7. その他備考	九州大学第一外科を希望

専門家派遣計画表

1. 指導科目	衛 生 学
2. 派遣期間・時期	91年11月～92年1月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	衛生学全般及び産業医学分野の専門家 衛生学に関する教科書の編纂及び教授方法の指導を希望
5. 派遣目的および	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語医学クラスの授業を毎週一回実施(産業医学及び環境衛生分野) ・衛生学分野における教授方法の指導 ・衛生学分野における教科書編纂の指導(現行のテキストを元に新たなテキストを開発する。)
6. 必要とされる	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロ NEC PC-9801/n プリンター各1台 26万円 ・衛生学・公衆衛生学に関する教科書及び参考書 10万円 <li style="text-align: right;">合計36万円
7. その他備考	

衛生学・公衆衛生学に関する教科書

著者	題名	出版社	出版年
安倍 三史	新衛生公衆衛生学	南山堂	1975
和田 功	衛生公衆衛生学	医学書院	1984
小泉 明	環境衛生入門	朝倉書院	1975
小泉 明	環境保健学	南山堂	1975
山宣 明	公害保健読本	中央法規	1972
植杉 稔	健康統計学	金原出版	1970
上村 桂	医学統計学	文永堂	1981
日本学校保健会	学校保健の動向	東山書房	1982
大木保男	労働衛生	中央労働災害防止協会	1975
三浦豊彦	新労働衛生ハンドブック	労働科学研究所	1974
高田 昂	作業環境測定概論	コロナ社	1981

専門家派遣計画表

1. 指導科目	微生物学
2. 派遣期間・時期	91年11月～92年1月(3ヵ月間)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する
4. 先方の希望内容	・日本語の医学微生物教科書を基に共同編纂する。また、本教室の研究項目であるヘルペスウイルス研究に関する指導を希望 ・ウイルス学における専門家を希望
5. 派遣目的および具体的指導内容	教育方法の改善、教科書の開発： 1.教科書内容お編纂に執筆すること 2.学生の講義：五回（毎回2時間、毎週2回） 具体内容：ウイルス学総論（詳しくは追って協議） 研究指導： 1.研究の設計と実験手技を指導 2.必要な研究試剤の購入
6. 必要とされる携行機材・額	1.新しく（1990-1992年）出版した日本語の教科書及び参考書 2.研究用試薬（具体的な品名、数量は追って協議） 合計30万円
7. その他備考	九州大学教授 森良一医学部長或は教授の推薦した助教授の派遣を希望 （現在使用中の教科書は森良一先生の編纂した微生物学である） （1986年4月15日発行第5版 第1刷c）

専門家派遣計画表

1. 指導科目	解剖学
2. 派遣期間・時期	91年11月～92年1月(3ヵ月間)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	90年度未度実施あったため、本年度において実施（中国側要望）
4. 先方の希望内容	1. 日本語クラスの人体解剖学の教科書の編さく指導 2. 学生に対する神経解剖学の講義。 3. 中枢神経解剖の研究
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 人体解剖学 2. 日本語クラスの神経解剖学の講義全体で56時間、2回/周、4時間/回 3. 教授方法の開発及びデモンストレーション 4. 本教室の中枢神経解剖の研究の指導或は共同研究
6. 必要とされる携行機材・額	1. 35mmスライド Projector 2. 免疫組織化学用ABC試剤抗体I. 例えばCGRP, K物質 3. 電顕用試剤、例えばオスミン酸など 合計30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	内 分 泌 内 科
2. 派遣期間・時期	92年3月～92年5月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	糖尿病分野の専門家
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>1. 内分泌内科分野の教科書編纂及び学生に対する内分泌内科の講座(総論、Graves病、糖尿病Cushing病等)具体的には別途協議</p> <p>2. 毎週回診し、各患者の病歴を検討</p> <p>3. 糖尿病慢性合併症、特に腎疾患の侵襲的性早期診断の技術指導</p>
6. 必要とされる携行機材・額	<p>1. 滲透圧計(相当人民幣1万元)</p> <p>2. 高精度連続加糖器(50~500UL)2台</p> <p>3. 定量に調節することができる加糖器(20~200UL)2台</p> <p>4. GH療の治療薬-SMS</p> <p style="text-align: right;">合計30万円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	眼 科
2. 派遣期間・時期	92年3月～92年5月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に則って派遣を希望する
4. 先方の希望内容	<p>1. 眼科分野の教科書編纂及び教授方法の指導</p> <p>2. 緑内障手術技法の指導</p> <p>3. 硝子体手術技法の指導</p>
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>1. 教科書編纂に関する指導</p> <p>2. 教授方法に関する技法の紹介と指導</p> <p>3. Trabeculotomyの指導</p> <p>4. Schlemm's 切開術の指導</p> <p>5. vitrectomyによる網膜剝離手術の指導</p> <p>6. vitrectomy手術の指導</p>
6. 必要とされる携行機材・額	<p>Vannas剪刀 Mcpherson's 鋸</p> <p>Sinsky 鉤 Pushand pull鉤</p> <p>trabcular 切開刀、隅角切開刀</p> <p>Schlemm 手術中使用される隅角鏡</p> <p>(数量等具体的内容は別途協議)</p> <p style="text-align: right;">合計30万円</p>
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	免疫学
2. 派遣期間・時期	92年3月～92年5月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	日本語による免疫学教科書の共同編纂と本教室の研究項目(免疫細胞とサイトカイン)に対する指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>教育の改善、教科書の開発:</p> <ol style="list-style-type: none"> 教科書の編纂大綱を策定 教科書を共同執筆 学生への講義6-8回(毎回2時間)を担当(具体内容は後で相談) <p>研究指導:</p> <ol style="list-style-type: none"> 研究計画と実験手技の指導 必要な研究試剤の提供
6. 必要とされる携行機材・額	<ol style="list-style-type: none"> NEC PC-9801Nnote プリンター付 26万円 新しく(1990-1991年)出版された日本語と英語の教科書及び参考書 研究用試剤(品名と数量は別途協議) 合計30万円
7. その他備考	<p>慶応大学医学部衛生学教室の深沢義村教授 或は教授の推薦した助教授の派遣を要望</p> <p>(梁再斌先生がJICAルートにて慶応大学で研修中である。)</p>

専門家派遣計画表

1. 指導科目	脳神経外科
2. 派遣期間・時期	92年3月～92年5月(3ヵ月間)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に沿って、派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> DAIについての紹介及び指導 Gliomaの免疫治療の研究指導 頭蓋底腫瘍の手術指導 海綿洞動脈瘤手術指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>教育の改善、教科書の開発:</p> <ol style="list-style-type: none"> 日中双方が協力し、脳神経外科分野の教科書を共同編纂 日本語医学班の学生に対する授業(脳腫瘍分野)具体的には別途協議 頭蓋底腫瘍の手術技法の指導 海綿洞動脈瘤手術技法の指導 脳動脈瘤の手術技法の指導
6. 必要とされる携行機材・額	<ol style="list-style-type: none"> オベレック-C(電気手術器) ヤサーギルPhynox動脈瘤クリップ 吸収性局所止血剤 <p>合計30万円</p>
7. その他備考	

ローカルコスト負担業務計画書

1. 事業名	一般現地業務費臨時支給分
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	(1) 短期専門家派遣に係る中国・国内線航空券購入 平成3年度において16名の短期専門家を受入れる計画である。これらの専門家は北京経由で沈陽に赴任することとなるが中国・国内線が東京で予約出来ないことから北京～東京間の往復航空券のみで派遣されてる。よって北京～沈陽間の往復航空運賃を支給申請する。 (2) 国際直通電話の設置費および電話料金 当地での郵便事情が悪いため、止もう得ず中国医科大学の内線電話と市内電話を使用しているが交換手や電話管理者が不在など長距離電話の使用が極めて不便である。よって、JICA本部・中国事務所・日本の関連大学との業務連絡および緊急事態に十分な対応ができるため、日本人専門家室に国際直通電話(FAX兼用)を設置・運営したい。中国側はプロジェクト開始間もないため、本経費の支出が困難。
3. 計画・経費・	(1) 短期専門家派遣に係る中国・国内線航空券購入 北京～沈陽片道航空券 @ 218元 @ 218元 X 2 X 16名 = 6976元 (2) 国際直通電話の設置費および電話料金 設置費 4000元 電話料金 2000元/月 4000元 + (2000元 X 12ヵ月) = 28000元 (3) (1)+(2) = 合計 6976元 + 28000元 = 34976元 レート:90/12月現在 1人民元 = 25. ** 日本円 34976元 X 25. ** 円 = 896785 円 総計 (897000円)

ローカルコスト負担業務計画書

1. 事業名	技術普及広報費
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	本プロジェクトは中国における中日両国間の医学交流の窓口としての位置付けと中国における日本語による医学教育の改善および新しい医学教育内容・方法の開発を目的として実施されているものである。 中国においては日本語による医学教育を行なっている教育機関は中国医科大学のみならず白求恩医科大学、延辺医学院・大連医学院・錦州医学院等の機関がある。ついてはこれらの医学教育機関および現在JICAが実施している中日友好病院・中国リハビリセンターに対し本プロジェクトの内容を理解せしめ、広くプロジェクト成果の技術普及に努める必要がある。 よって、本件技術普及広報活動のパンフレットとして『中日医学教育センタープロジェクト概要』(仮称)を作成することとしたい。なお、中国側はプロジェクト開始間もないため、右経費を捻出することができない。
3. 計画・経費・	仕様: A. 判サイズ 1冊24枚程度 日本語・中国語・英語併記 部数: 3000部 概算: オフセット印刷費 経費 @ 15元 X 3000部 = 45,000 元 原稿作成費 @ 60元 X 1440枚 = 1,440 元 翻訳費 @ 60元 X 1440枚 = 1,440 元 校正費 @ 60元 X 1440枚 = 1,440 元 製本費 @ 60元 X 1440枚 = 1,440 元 撮影費 @ 50元 X 20枚 = 1,000 元 小計 51,760 元 51,760元 X 25. ** 円 = 1,592,552 円 レート:90/12月現在 合計 (1,593,000 円) 1人民元 = 25. ** 日本円

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
継続的交流の確認	<p>短期派遣の各大学カウンターパートはマニュアル作製のために</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 派遣前前から中国側カウンターパートよりの接触に対応し協力する。 2) 短期派遣中にマニュアル作製を終了する。 3) 帰国後も最終目的である教科書作製のための協力を継続する。 <p>以上の三点を再確認する。</p>
中国人研修員の増員の必要性	<p>研修目的を明確化する必要あり。日本語による講義を行い得る教官の育成を強調する。また日本語可能な教官が少なく、日本語クラスの教官の日本語再教育も必要。従って予定の研修枠を全25名より増員する必要がある。更に日本の大学における手持ちの留学生枠があれば本プロジェクトのため幹旋してもらおう。</p>
宿舍の居住性について	<p>多くの問題があるが現在検討中。現状では室温では20℃以上に維持できないので冬期派遣は困難、アルミサッシ二重窓が必要。</p>

(5) イ ソ ド

サンジャイガンジー 医科学研究所

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	<p>1.プロジェクトの対象分野 神経内科、脳神経外科、循環器内科、心臓血管外科、消化器内科、消化器外科、腎臓内科、泌尿器科、内分泌内科、内分泌外科、遺伝、免疫、放射線科、核医学、麻酔科、病理学、臨床検査医学、微生物学、寄生虫学、輸血、放射線治療</p> <p>2.プロジェクトの目標 (1) SGPGI が第三次医療センター及び医学卒業研究教育機関（大学院大学）として十分な教育研究活動を発揮し得るための支援・協力 (2) SGPGI の上記各部門の研究の促進 (3) SGPGI 医療機材無償供与計画（昭和61、62年度）でSGPGI へ供与された医療機材、特に先端医療機器に関する技術の修得の促進 (4) SGPGI が上記各部門の高度専門知識と技術を備えた医師、技師、看護婦等の人材供給機関として機能し得るための支援・協力</p>												
調査団の派遣	指導助官												
専門家の派遣	長期専門家	<p>1990年 2月R/D 締結時のTSI の初年度計画では、3ヶ月を上限の派遣期間とし、それぞれの派遣期間の派遣専門家の上限を6名とすることになり、1990年11月から第一次、第二次、専門家が派遣された。平成3年度以降については、昨年11月頃に計画打合わせ調査団が派遣されてSGPGI 側と協議して決めることになっていたが、本プロジェクトの開始がインド側の事情により遅れ、計画打合わせ調査団の派遣時期が本年 2月21日より 3月 1日までとなった。従って、現在の段階では具体的な派遣計画は未定である。名古屋大学医学部としては、上記各分野に属する専門家約50名を派遣要員として準備している。SGPGI 側の希望、SGPGI 各部門の人的及び施設・設備面での整備状況等を参考にして、上記目標を達成するために最適な派遣計画を立てる予定であるが、別紙に暫定案を記した。</p>											
	短期専門家												
研修員		<p>TSI では上記各分野に属するSGPGI 所属メンバーから5名を選び、それぞれ1年間主として名古屋大学医学部で研修することになっていたが、平成2年度分として2名の手続きが進行中である。平成3年度については入選中である。</p>											
供与機材		▲仕様書提出						▲現地着希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 現地業務費臨時支給分												

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣	Advisory Mission (1991年11月頃)	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由: 1990年2月に締結したR/D中のTSIでは、1990年11月頃計画及び打合わせミッション(実際には遅れて1991年2月21日～3月1日)、1991年11月頃Advisory Missionを派遣する計画になっている。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと 機材修理チームが必要か否かは、1991年2月21日からの計画及び打合わせミッション派遣後でないと不明である。	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと 派遣分野、人選がこれから行なわれるために各専門家については記載できないので、別紙専門家派遣計画表には、各分野に共通な点について記載した。	
(3) 供与機材	70,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	専門家1人当たり500千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと		金額	時期	金額	時期	上記のように派遣専門家の人選がこれから行なわれるため、具体的な携行機材計画は人選終了後となる。
		①		⑧				
		②		⑨				
		③		⑩				
		④		⑪				
		⑤		⑫				
		⑥		⑬				
		⑦						

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①				1990年2月に締結した R/D では平成2年度の専門家派遣(第一次及び第二次)の期間として、SGPGI 側の希望により最長3ヶ月と決められた。平成3年度もこの方式で専門家派遣計画を実施するか、あるいは分野によっては長期専門家派遣を行なうかは未定である。1991年2月21日から派遣される計画及び打合せ調査団の協賛事項の一つである。 (2) 短期専門家派遣の項に記した分野のうち一部の分野では長期派遣希望がSGPGI 側から寄せられている。
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考	
	計 画	内 容						
(6) カウンターパート受入	名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！！) 平成2年度分で2名が内定して現在手続きが進行中。	
	早期通報分 名							①
	年度末通報分 名							②
								③
								④
								⑤
								⑥
								⑦
								⑧
								⑨
								⑩
	⑪							

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	5,000千円を希望	円	①家具付宿舍が提供されるとのR/D 締結時の約束が充分履行されず、整備状況が不良なので、家具、エアコン、冷蔵庫等を必要とする。	これらのうち、供与機材予算で購入可能なものもあると思われるが、ここに記した。
②技術普及広報費	千円を希望	円	②SGPGI の給水の浄化設備が不良で、大腸菌が多数検出されるので、飲料水確保のための、蒸溜装置を緊急に必要とする。	
③現地セミナー開催費	千円を希望	円	③日本のみならず、ニューデリーとの電話も通じ難いので、ファクシミリを不可欠とする。	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

プロジェクト名：インドSGPGIプロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額 (千円)	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	乗用車	4,000	専門家野外研究活動	無	否		
2	蒸溜装置 ヤマト科学 WF-12	2,000	飲料水確保	有	否		
3	電気冷凍冷蔵庫×8	3,000	検体保存	無	否		
4	ファクシミリ×2	600	情報交換	無	否		
5	手術用双眼顕微鏡 永島医科 6FD	13,000	脳神経外科	有	否		
6	マイクロチェア 瑞穂医科 MC-860	3,000	脳神経外科	有	否		
7	脳外科用多目的ヘッドレ-A 瑞穂医科 07-981	1,500	脳神経外科	有	否		
8	杉田動脈瘤クリップ各種 瑞穂医科 07-940	1,500	脳神経外科	有	否		
9	ハイラ凝固装置×2 東海理化 BP-100	1,000	脳神経外科	有	否		
10	手術顕微鏡ビデオシステム その他	5,000	脳神経外科	有	否		
11	ヘキサ細胞分離・プラスフェ レンス装置及び血液銀行に 必要な装置一式	20,000	輸血部	有	否		
12	分光光度計 島津 UV265 ×4	6,000	医学生物学研究機器	有	否		
13	冷却遠心機 ×4 日立/久保田 CR20 B2	8,000	医学生物学研究機器	有	否		
14	冷却槽 サコ-メディアMPR 1010R ×4	1,400	医学生物学研究機器	有	否		
15							

専門家派遣計画表

1. 指導科目	Annual Work Planに記載した21分野
2. 派遣期間・時期	1991年 4月から1992年 3月 派遣時期、期間は分野により異なる。
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSI では1991年 4月以降の専門家派遣計画は、1990年11月頃派遣される計画打合わせ調査団と協議することになっていたが、同調査団の派遣が1991年 2月21日～ 3月 1日に遅れたので、具体的案はこれから決めることになる。
4. 先方の希望内容	SGPGI 各部門の人的及び施設・設備面での整備状況が異なるので各部門の希望は多様である。各部門からの希望の内容の主要なものは、本プロジェクト実施協議調査団報告書(1990年 2月)に記載した。
5. 派遣目的および具体的指導内容	派遣目的はAnnual Work Planに記載したプロジェクトの目標に一致する。 具体的指導内容は一部は目標と重複するが以下の通りである。 ①無償供与された先端医療機器を用いる医療技術の修得の促進 ②各分野の高度の知識、技術を備えた医師、技師、看護婦等医療従事者の養成の支援・協力 ③インド国で未だ克服されていない各種疾病の治療・予防・根絶のための協力
6. 必要とされる携行機材・額	派遣専門家の分野、人選が終り次第機材の種類は決定されるが、額は 1人当たり50万円。
7. その他備考	TSI では本プロジェクトの開始は1990年 8月となっていたが、インド側の事情により 2ヶ月間遅れ、全体的に計画の推進が遅れている。

専門家派遣計画表

Fiscal Year (April-March)	1990/91												1991/92											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. Dispatch of Japanese Experts to India																								
(1) Team Leader																								
(2) Coordinator																								
(3) Special research departments																								
a. Neurology and neurosurgery																								
b. Cardiology and cardiovascular surgery																								
c. Gastroenterology medical & surgical																								
d. Urology and nephrology																								
e. Endocrinology medical & surgical																								
f. Genetics and immunology																								
(4) Other investigative departments																								
a. Radiology & nuclear medicine																								
b. Anesthesiology																								
c. Pathology-clinical laboratory medicine																								
d. Microbiology -parasitology																								
e. Transfusion medicine																								
f. Radiotherapy																								

実線：実施済みあるいは決定済み。

点線：専門家派遣可能分野、派遣期間、時期、人数は未定。

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地業務費順時支給分
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	①チームリーダー、調整費、派遣専門家のための 宿舎の家具、エアコン、冷蔵庫等の整備 ②飲料水確保のための蒸溜装置 ③ファクシミリ
3. 計画・経費	①チームリーダー 1人 調整費 1人 } のための宿舎用 派遣専門家 6人 } のテーブル、椅子、ソファ、本棚等、 冷蔵庫、エアコン等 ②蒸溜装置 1式 ③ファクシミリ 2台 総計 (5,000千円)

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
SGPGI 側の 研修費の数と 期間について	1990年 2月に月締結した本プロジェクトR/D では各年度に 5名を受け入れ、研修期間は 1年間とすることがとり決められた。平成3 年度から、1人の研修期間を短かく (例えば3ヶ月) として、できるだけ多くの研修員を受け入れ得るようにすべきであると考え、その理由は次の通りである。 ① SGPGIの医師は全インドから優秀なメンバーを選考して集めており、医学知識の水準はかなり高く、研修期間は比較的短期間で十分な成果が期待できる。 ② SGPGIに派遣された短期専門家の経験では、ある医療技術を短期間のうちに手際よく施行すべきことを百万言を費やして説明し、修練しても、時間に拘束されない悠久の世界に生きているかの如き、生活習慣が身にしみ込んでいるせいか、実効があがり難い。出来るだけ多くの若手医師に来日の機会を与え、日本人医療従事者の仕事ぶりに直接接しながら研修した方が過かに大きな効果が期待できる。 但し、研修期間を短期にすると、外国人留学医師に与えられる暫定的医師免許の発行事務手続きを促進するようにしないと、研修の効果を、充分あげられないことになりかねないので、この点の改善をあわせて行なう必要がある。
専門家派遣に ついて	現地からの情報では、チームリーダー、調整員、派遣専門家の宿舎の整備が、R/D 締結時の約束通り行なわれていない。派遣専門家の生活の基盤になる宿舎の整備が不十分だと、活動そのものに悪影響を及ぼす恐れがあるので、至急改善されることを希望する。 また、平成 2年度派遣専門家、特に第一次の分についてのA1フォームの提出に円滑さを欠いた。この点についての改善も望まれる。

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		インドSGPGIプロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		共通 脳神経外科 輸血部 免疫・遺伝 等	乗用車 他 13品目 輸送費 不明	32 合計
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性	①派遣専門家及びカウンターパートの各種の野外研究材料の収集活動の円滑化 ②飲料水の確保 ③情報伝達の迅速化 ④特に部門の整備及び医療協力活動の進捗している脳神経外科の手術用機材の補充 ⑤輸血部における血液銀行機能の強化 ⑥医学・生物学研究用機器の整備			
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否			
A47a-A取付状況	(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

(6) インドネシア

生ワクチン製造基盤技術

【麻疹ワクチン】		1991	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1992	1	2	3	
目 標	1. ワクチン製造、品質管理に関するガイドラインの作成	→ 90/3 → 91/9														
	2. ワクチン製造、品質管理の基礎技術の移転	→ 89/9 → 91/9														
	3. SPF卵の製造とモニタリング	→ 91/3 → 94/8														
	4. ワクチンの試験製造とその品質管理	→ 92/3														
	5. 試作ワクチンの野外接種試験	→ 92/2 → 92/4														
調査団の派遣	1. 巡回打合せ(無償Ⅰ期竣工に伴う)	→ 91/4														
	2. 供与機材打ち合せ	→ 91/3														
	3. 巡回打合せ(無償Ⅱ期竣工に伴う)	→ 91/11 → 91/12 → 92/2 → 92/3														
専門家の派遣	1. 長期専門家 (1)麻疹ワクチン製造、品質管理の基礎技術の移転とガイドライン、標準書の作成 (2)業務調整	→ 89/9 → 91/9 → 93/9														
		→ 90/3 → 92/3														
	2. 短期専門家 (1)CAN-70ワクチンの野外試験('90年度)	→ 91/1 → 91/4														
	(2)ワクチン原液の試験製造	→ 91/5 → 91/10														
	(3)ワクチンの分注包装、凍結乾燥	→ 91/7 → 91/10 → 92/1														
	(4)品質管理と品質保証-1.2 (5)試作ワクチンの野外接種試験(3名) (6)GMPの整備と管理-1.2	→ 91/4 → 91/7 → 91/9 → 91/12 → 92/2 → 92/3 → 92/4														
研 修 員	1. ワクチンの分注包装、凍結乾燥 (Mr. マン)	→ 91/4 → 91/10														
	2. 細胞の維持管理、細胞接種試験 (Mrs. リニ)	→ 91/4 → 91/7														
	3. 生物製剤技術(ル-ア-トレーニング)	→ 91/4 → 92/3														
供 与 機 材	1. 供与機材	91/1-2 A-4取付 → 91/5 → 91/9 → 91/10 → 91/11 → 92/1 → 92/2														
	2. 携行機材	91/4 機材仕様最終決定 → 91/7 → 91/8 → 91/9 → 91/10 → 91/12 → 92/2														
各種事業 ローカルコスト 負担事業等	現地業務費臨時支給分	91/5 申請 → 91/8 実施 → 91/10 申請 → 92/1 実施														

【ポリオワクチン】		1991	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1992	1	2	3	
目 標	1. GMP外整備	→ 91/12														
	2. 種クハス作製	→ 92/1														
	3. 品質管理技術の確立	→ 91/12														
	4. 製造準備	← 91/9 → 92/3														
調査団の派遣	＜麻疹と同様＞															
専門家の派遣	1. 長期専門家 (1) 現在のところ予定無し (2) 業務調整 ＜麻疹と同様＞															
	2. 短期専門家 (1) 品質管理技術 ('90年度) (堀江)	91/2	→ 91/5													
	(2) " -1 (田野)	← 91/5 → 91/8														
	(3) " -2 (?)	← 91/8 → 91/9														
	(4) " -3 (安部)	← 91/9 → 91/12														
	(5) 製造技術 (山本)	← 91/9 → 91/12														
	(6) 製造、品質管理総括 (土居)	← 91/12 → 92/4 ← 92/3 → 92/4														
研 修 員	1. 品質管理、神経毒力試験 (Mr. アリス) ('90年度)	90/9	→ 91/9													
	2. 製造技術 (Mr. マツ)	← 91/4 → 91/10														
	3. " (Mr. トリ)	← 91/7 → 92/1														
	4. " (Mr. マツ)	← 91/9 → 92/3														
	5. 品質管理技術 (Mr. マツ)	派遣日程は未定														
	6. " (Mrs. ガンゾー)	"														
	7. " (Mrs. ヲ)	"														
供与 機材	1. 供与機材 ＜麻疹と同様＞															
	2. 携行機材	91/3 ▲申請	▲91/5 ▲91/7 ▲91/9 ▲92/1 ▲92/3 ▲91/8 ▲91/8 ▲91/10 ▲91/12 ▲91/8 ▲91/10 ▲91/12													
各種事業 R-ガムイスト 負担事業等	＜麻疹と同様＞															

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(1) 調査団派遣	1991年3月~4月、1ヵ月間 ('90年度) 1991年11月~12月、1ヵ月間 1991年11月~12月、1ヵ月間 上記3調査団を計画	調査団の種類: 巡回打ち合せ 理由: 無償Ⅰ期工事竣工に伴い開始が予定されている、麻疹ワクチン試験製造の計画打ち合せ、国内委員会(準備中)の第1回巡回計画打ち合せ 調査団の種類: 供与機材打ち合せ 理由: 機材費の不足が懸念されている'93年度以降の供与機材の詳細計画打ち合せ 調査団の種類: 巡回打ち合せ 理由: 無償Ⅱ期工事竣工に伴開始が予定されている、ポリオワクチン試験製造及び、麻疹ワクチンの大量製造の計画打ち合せ、国内委員会(準備中)の第2回巡回計画打ち合せ					
(2) 短期専門家派遣	8分野、計12名を計画	分野	候補者氏名	派遣時期	期間	A170-A取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、専門家の派遣目的指導内容等、必要事項を記載
		【麻疹ワクチン】					
		① ワクチン原液の試験製造	未定	'91/ 5~'91/10	5ヵ月	'91/2申請予定	
		② ワクチンの分注包装、凍結乾燥	未定	'91/10~'92/ 1	3ヵ月	'91/2申請予定	
		③ 品質管理と品質保証-1	未定	'91/ 7~'91/10	3ヵ月	'91/2申請予定	
		④ 品質管理と品質保証-2	未定	'91/12~'92/ 3	3ヵ月	'91/2申請予定	
		⑤ 試作ワクチンの野外接種試験	3名未定	'92/ 2~'92/ 4	3ヵ月	'91/2申請予定	
		⑥ GMPの整備と管理-1	未定	'91/ 4~'91/ 7	3ヵ月	'91/2申請予定	
		⑦ GMPの整備と管理-2	未定	'91/ 9~'91/12	3ヵ月	'91/2申請予定	
		【ポリオワクチン】					
		⑧ 品質管理技術-1	田野良夫	'91/ 5~'91/ 8	3ヵ月	'91/2申請予定	
		⑨ 品質管理技術-2	未定	'91/ 8~'91/ 9	1ヵ月	'91/2申請予定	
		⑩ 品質管理技術-3	安部 忍	'91/ 9~'91/12	3ヵ月	'91/2申請予定	
		⑪ 製造技術	山本 浩	'91/12~'92/ 4	4ヵ月	'91/2申請予定	
		⑫ 製造、品質管理総括	土居 稔	'92/ 3~'92/ 4	1ヵ月	'91/2申請予定	
(3) 供与機材	総額120,000千円を希望	【麻疹: 20,000千円】 【ポリオ: 100,000千円】 別紙の機材実施計画書に詳細を記載					
(4) 携行機材	総額 11,500千円を希望	金額	時期	金額	時期		
		【麻疹ワクチン】		【ポリオワクチン】			
		① 1,000 千円	'91/ 5	⑧ 500 千円	'91/ 5		
		② 1,000 千円	'91/10	⑨ 500 千円	'91/ 8		
		③ 1,000 千円	'91/ 7	⑩ 1,000 千円	'91/ 9		
		④ 1,000 千円	'91/12	⑪ 1,000 千円	'91/12		
		⑤ 3,000 千円	'92/ 2	⑫ 500 千円	'92/ 3		
		⑥ 500 千円	'91/ 4				
		⑦ 500 千円	'91/ 9				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替、延 長 の 要 望	インドネシア長期専門家、及び「プロジェクトリーダー」の派遣を強く希望する。これは先方機関である BIO FARMAの意向でもある。
	① 宮 武 克 昌	麻疹ワクチン製造、品質管理の基礎技術	'89/ 9~'91/ 9	交替要員が見つかり次第交替希望	
	② 未 定	麻疹ワクチン製造、品質管理の基礎技術	'91/ 9~'93/ 9		
	③ 島 本 照 美	業務調整	'90/ 3~'92/ 3	交替要員が見つかり次第交替希望	
	④ 未 定	業務調整	'92/ 3~'94/ 3		
	⑤ 未 定	麻疹ワクチン製造、品質管理の基礎技術	'91/ 4~'93/ 4		
	⑥ 未 定	プロジェクトリーダー	'91/ 4~'93/ 4		

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
		分 野	候補者氏名	受入希望時期	期 間	A2-370-A取付	優先順位
(6) カンパ-ト受け入れ	5分野、計9名を計画 早期通報分 : 5名 年度末通報分 : 3名 グローバル-リンクコース: 1名	【麻疹ワクチン】					
		① ワクチンの分注包装、凍結乾燥	Mr. マン	'91/ 4~'91/10	6ヶ月	'91/2申請予定	①
		② 細胞の維持管理、接種試験	Mrs. リ-	'91/ 4~'91/ 7	3ヶ月	'91/2申請予定	⑥
		③ グローバル-リンクコース	未定	'91/ 4~'92/ 3	12ヶ月	'91/2申請予定	③
		【ポリオワクチン】					
		④ 製造技術	Mr. ヴァン	'91/ 4~'91/10	6ヶ月	'91/2申請予定	②
		⑤ 製造技術	Mr. トリ-	'91/ 7~'92/ 1	6ヶ月	'91/2申請予定	④
		⑥ 製造技術	Mr. マン	'91/ 9~'92/ 3	6ヶ月	'91/2申請予定	⑤
		⑦ 品質管理技術	Mr. マン	未定	未定	'91/6申請予定	⑦
		⑧ 品質管理技術	Mrs. マン	未定	未定	'91/6申請予定	⑧
⑨ 品質管理技術	Mrs. ヴァン	未定	未定	'91/6申請予定	⑨		

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ロ-コスト負担経費				詳細については別紙用紙に記載
①現地業務費臨時支給	25,000 千円を希望	8,062 千円	無償供与から削除された機材の内クリ-ム用スプリ製品(作業台、棚、動物ケ-ジ等)の現地作製、冷蔵庫、洗濯機、乾燥器、掃除機、車両等の現地購入、また無償一期施設竣工後予定されている、ワ-ンの試験製造のための、SPF卵の購入費、運送費、また無償施設移転のための備品購入費、専門家の交通費、宿泊費等	
②技術普及広報費	0 千円を希望	0 千円		
③現地セミナー開催費	0 千円を希望	0 千円		
④技術交換費	0 千円を希望	0 千円		
⑤応急対策費	0 千円を希望	5,783 千円		
⑥中堅技術者要請対策費	0 千円を希望	0 千円		
⑦プロジェクト基盤整備費	0 千円を希望	0 千円		
(8) 予算新規項目	本プロジェクトでは現在、無償施設一期、二期工事が進行中だが、基本設計時に比べ、各機器の価格の高騰、施設資材費の高騰等で、無償二期で供与予定の機材の内、約1億4千万円分の機材が、当初のリストより削除された。機材の内容、価格とも技協機材費の総額ではとても手当出来ない状況である。現在のところ、来年度12月に無償施設が竣工しても、ほとんどの機材(特に大型機器)が入らない状況では、ワ-ン製造はもとより、施設を稼働することも不可能な状況である。我々プロジェクトサイトとしても、上記の様に現地業務費臨時支給等を極力活用して、機材の現地調達また、既存機器の利用、さらには無償一期、89、90年度の技協供与機材の転用も考えてはいるが、それにも限度がある。また91年度の技協機材費は、小機器、ガラス器具、原材料の購入で現在提示されている予算をオーバーする見通しである。このような現状をご理解戴き、何とか91年度、また91年度以降についても、技協供与機材費の大幅な増額をお願いしたい。			

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		インドネシア国生ワクチン製造基盤技術プロジェクト		
	分野	品目	数量	金額(千円)
主 要 機 材 の 概 要	製 造	超低温槽、-80℃、360L、フュー リヤ-、-20℃、880L、ケルネ- ア-リンクタンク、150L、攪拌機付き	3	7,500
		顕微鏡、オリンパス、CK-2	4	2,800
		ホ-瓶、北東型、1.5L、小倉ガラス	4	4,000
		動物舎	1000	1,200
	動 物 舎	卵用ケ-ジ、スイングハリア-型	30	2,000
		小動物ケ-ジ(マウス、モザット、ウサギ)	70	8,000
		ケ-ジ用ラック	10	1,000
	其 他 共 用	無塵衣、クラス100、10000用クラス100000用	170	500
		洗濯機、乾燥機	10	3,400
	其 他 多 数	ステンレス作業台、棚、台車	100	1,000
輸送費			10,000	
			合計	120,000 千円
供与の目的		1991年度は6月に無償第一期工事、12月に二期工事が竣工予定 となっている。麻疹、ポリオそれぞれに施設竣工後、ワクチンの試験 製造が予定されており、プロジェクトが本格的に稼働する重要な 時期を迎える。		
1. 全体計画におけ る位置付け				
2. 今回供与の主眼 点		89年度供与機材は主に基本技術の移転用、90年度供与機材は 麻疹、ポリオの品質管理試験、麻疹の試験製造用機材として申請 (未だ供与されていない)、91年度は主にポリオ試験製造用、動物 飼育、試験用として申請予定である。		
3. 技術移転上の役 割		1991年度供与機材は上述の通り、ポリオ試験製造用、動物飼育、 試験用の機材が中心であるため、ほとんどの機材が供与され ないと、それらの技術移転はもとより、12月竣工予定の無償施 設まで稼働しない状況になる。		
4. 緊急性		遅くとも、91年12月までに全ての機材を供与願いたい		
現地調達可否		(1) 可 (一部可能な機材有り) (2) 否		
A-474-B 取付状況		(1) 一括取付済 (2) 平成3年2月取付予定		

優先度	機材名、仕様	金額	用途	銘柄指定 有 無	現地調達 可 否	保守、修理上の留意点	SPA-A-7, 試薬等, 購入にあたっての留意事項
1	超低温槽 -80℃ 360L 円筒-		種ウイラス, 単価A ⁷ の保存	有	否		温度記録計用紙, イクのSPA ⁷ -必要
2	顕微鏡 オリンパス CK-2		腎細胞培養観察	有	否		光源ランプの予備必要
3	フーリンクタンク 150L 攪拌機付き		単価A ⁷ , 3価混合A ⁷ の調製	有	否		
4	フリーズ -20℃ 880L 縦型		個別ウイラス培養の保存	有	否		温度記録計用紙, イクのSPA ⁷ -必要
5	フリーズ -20℃ 712L 横型		3価混合, 小分製品の保存	無	否		温度記録計用紙, イクのSPA ⁷ -必要
6	細胞用ケージ スインクA ⁷ 型		製造用, 試験用細胞の飼育	無	可		
7	各種滅菌缶		各種ガラス器具, ガラス栓, 栓類の滅菌用	無	可		
8	細胞瓶 北東型 小倉ガラス		細胞培養用	有	否		
9	フィルターホルダー SANTI3G723 5'-ル		単価A ⁷ の調製用	有	否		
10	無塵衣 クラス 1,000-10,000用 クラス 100,000用		クリーンルーム内作業用	有	否		メーカーの指定有り 要必要(帽子, 靴, 靴下, マスク)
11	H-199, DMEM, MEM, RPMI-1640等培養基類		細胞培養用	有	否		要冷蔵
12	トリプシン, デキサメタゾン等酵素類		腎細胞培養用	有	否		要冷蔵
13	仔牛血清		細胞培養用	有	可		要冷凍 使用前に品質試験を要す
14	ウイラス I, II, III型種ウイラス		個別ウイラス培養	有	否		要冷凍
15	その他多数						

専門家派遣計画表

1. 指導科目	ワクチン原液の試験製造
2. 派遣期間、時期	1991年5月～10月、5ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添い、具体化された計画 1991年3月中旬の無償第一期工事竣工後、開始が予定されているワクチンの試験製造の内の原液製造部分
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAは1991年6月～1992年2月末の期間に試験製造を終了したい考えであるが、それに添った派遣計画である
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)原液試験製造開始にあたって、各施設、機器の準備、調整 (2)自主生産が開始されるSPF鶏卵を使用しての、小規模ワクチン原液製造 (3)本格製造規模の細胞培養、ウイルス培養技術の移転、試作
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	ワクチンの分注包装、凍結乾燥
2. 派遣期間、時期	1991年10月～1992年1月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添い、具体化された計画、当初計画では分注包装と凍結乾燥は二分されていたが、今回同一とした1991年3月中旬の無償第一期工事竣工後、開始が予定されているワクチンの試験製造の内の最終段階部分である、ワクチンの分注、凍結乾燥、包装
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAは1991年6月～1992年2月末の期間に試験製造を終了したい考えであるが、それに添った派遣計画である
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)ワクチンの試験製造にあたって、各施設、機器の準備調整 (特にバイアル洗浄機、分注機、凍結乾燥機、分注包装資材) (2)試験製造原液を用いて、小規模最終バルクの調整、分注、凍結乾燥、包装技術の移転 (3)本格製造規模の分注、凍結乾燥、包装技術技術の移転、試作
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	品質管理と品質保証-1
2. 派遣期間、時期	1991年7月～10月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添い、具体化された計画、当初計画では6カ月の専門家を4回派遣する計画だったが、前3回は供与機材の遅れ、派遣元の都合等もありまだ派遣できていない。当初計画では4回目になるが、今回3カ月2回に分割。1991年3月中旬の無償第一期工事竣工後、開始が予定されているワクチンの試験製造の内の品質管理、品質保証部分
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAは1991年6月～1992年2月末の期間に試験製造を終了したい考えであるが、それに添った派遣計画である
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)試験製造された原液の品質管理にあたって各施設、機器の準備、調整 (2)ワクチンの試作原液の各品質管理試験 (3)ワクチン製造原材料の品質管理試験
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	品質管理と品質保証-2
2. 派遣期間、時期	1991年12月～1992年3月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添い、具体化された計画、当初計画では6カ月の専門家を4回派遣する計画だったが、前3回は供与機材の遅れ、派遣元の都合等もありまだ派遣できていない。当初計画では4回目になるが、今回3カ月2回に分割した内の2回目。1991年3月中旬の無償第一期工事竣工後、開始が予定されているワクチンの試験製造の内の品質管理、品質保証部分
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAは1991年6月～1992年2月末の期間に試験製造を終了したい考えであるが、それに添った派遣計画である
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)無償二期工事竣工に伴う、動物試験室の各施設、機器の準備、調整と動物試験 (2)ワクチンの試作原液の各品質管理試験 (3)試作ワクチンの品質管理試験
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	試作ワクチンの野外接種試験
2. 派遣期間、時期	1992年2月～1992年4月、3ヶ月間、3名
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添い、具体化された計画 試験製造で得られた、試作ワクチンの野外接種試験 この結果を見て、本格的ワクチン製造が開始予定される予定である
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAは1991年10月頃 試作ワクチンの野外接種試験をしたい考えであるが、時間に難しいと考えられる。また専門家については3～4名を希望している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)野外における試作ワクチンと、現行のCAM-70ワクチンの比較接種試験 (2)試作ワクチンの有効性、安全性の確認 (3)ワクチン接種、採血、副反応調査、抗体検査の指導と技術移転
6. 必要とされる携行機材、額	3,000 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	GMPの整備と管理-1
2. 派遣期間、時期	1991年4月～7月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)には無かったが、全体計画の上では是非必要であると判断し、今回3カ月、2回に分けて専門家の派遣を計画
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAも最近GMPに対する関心は高く、またインドネシア全体としても製薬メーカーに対する規制き厳しくなっている、等の理由でBIO FARMAもGMPの専門家の要請を強く希望している
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)GMP基準書の基本案作製 (2)製造、品質管理におけるSOP、作業記録の整備 (2)製造の各工程、機器のパリテーションデータの集積 (3)GMP教育訓練
6. 必要とされる携行機材、額	500 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	GMPの整備と管理-2
2. 派遣期間、時期	1991年9月~12月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)には無かったが、全体計画の上では是非必要であると判断し、今回3カ月、2回に分けて専門家の派遣を計画 その内の2回目
4. 先方の希望内容	先方機関であるBIO FARMAも最近GMPに対する関心は高く、またインドネシア全体としても製薬メーカーに対する規制が厳しくなっている、等の理由でBIO FARMAもGMPの専門家の要請を強く希望している また無償二期工事が竣工する1991年12月までに、基本的なGMP整備を終了したいと考えている
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)GMP基準書の作製 (2)製造、品質管理におけるSOP、作業記録の作製 (2)製造の各工程、機器のパリテーションデータの作製 (3)GMP教育訓練
6. 必要とされる携行機材、額	500 千円
7. その他、備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	品質管理技術-1、細胞培養関連試験
2. 派遣期間、時期	1991年5月~8月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添う
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)細胞培養を用いたウイルス含量、ウイルス同定 (2)サル初代腎細胞の外来性ウイルスのチェック (3)細胞培養関連試験用各型特異抗血清の作製
6. 必要とされる携行機材、額	500 千円
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指 導 科 目	品質管理技術-2、製造手技、品質管理基準作製
2. 派遣期間、時期	1991年8月~9月、1ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)無し
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	GMPに適合する製造管理、品質管理、衛生管理の各基準の作製
6. 必要とされる携行機材、額	500 千円
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指 導 科 目	品質管理技術-3、神経毒力試験
2. 派遣期間、時期	1991年9月~12月、3ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)に添う
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)ワクチンウイルスのカニクイザルにおける、神経毒力試験 (2)同上、臨床病理学的検討
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指 導 科 目	製造技術、本格製造準備
2. 派遣期間、時期	1991年12月～1992年4月、4ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)無し
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	無償施設竣工に伴う、製造開始に合わせた準備と小規模試験製造
6. 必要とされる携行機材、額	1,000 千円
7. その他、備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指 導 科 目	製造、品質管理総括
2. 派遣期間、時期	1992年3月～4月、1ヶ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画(TSI)無し
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	(1)GMP関連施設の整備 (2)GMP関連基準書、記録類の整備 (3)品質管理全般を総合的に調整
6. 必要とされる携行機材、額	500 千円
7. その他、備考	

1. 事業名	現地調達機材の購入費等																								
2. 目的 必要性、緊急性、先方が負担出来ない理由、効果等	<p>現地業務費臨時支給</p> <p>無償機材から削除された1億4千万円の機材の内、日本より供与する必要のある機材の中で、最低必要数は91年度技協供与機材としてリストアップしたが、コントロール用ステンレス製品(作業台棚、動物用ケージ-類)等は現地調達可能である。もちろん品質の面から言えば、日本から供与する方が良いが、価格、輸送費等を考慮すれば現地調達機材でも使用可能である。また車両、洗濯機、乾燥機、掃除機等も同様である。これらの機材は、高額でしかも量的にも膨大であるので、先方機関であるBIO FARMAのカウンターパートではとても購入出来ない額である。さらに現在90年度の応急対策費を活用してSPF鶏卵の製造準備が進められているが、コントロール-種卵の供給の遅れ、施設改良工事の遅れ等もあり、実際に産卵を始めるのは91年6月頃が予想される。しかし無償一期工事の竣工予定は91年3月中旬で、それに併せて、89、90年度の技協供与機材、無償供与機材も供与予定であるのに、麻疹ワクチンの出発材料であるSPF卵が無ければ、試験製造も出来ない状況である。そこで4月~5月の2カ月間、日本から卵を供給したいと考えている。そのためのSPF鶏卵の購入費、輸送費を手当したい。またその他には無償施設移転に伴う、備品の購入、また90年度と同様に専門家の交通費、宿泊費の負担もお願いしたい。</p>																								
3. 計画、経費	<p>(1)事業実施計画 第1回：1991年5月申請書提出 第2回：1991年10月申請書提出 1991年8月事業実施 1992年1月事業実施</p> <p>(2)事業実施経費(推定)</p> <table border="0"> <tr> <td>1)コントロール用ステンレス製品</td> <td>10,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>2)車両</td> <td>4,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>3)洗濯機、乾燥機、掃除機</td> <td>3,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>冷蔵庫</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4)SPF鶏卵の購入、輸送費</td> <td>6,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>5)施設移転に伴う備品購入費</td> <td>1,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>6)専門家の交通費、宿泊費</td> <td>1,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25,000</td> <td>千円</td> </tr> </table>	1)コントロール用ステンレス製品	10,000	千円	2)車両	4,000	千円	3)洗濯機、乾燥機、掃除機	3,000	千円	冷蔵庫			4)SPF鶏卵の購入、輸送費	6,000	千円	5)施設移転に伴う備品購入費	1,000	千円	6)専門家の交通費、宿泊費	1,000	千円	合計	25,000	千円
1)コントロール用ステンレス製品	10,000	千円																							
2)車両	4,000	千円																							
3)洗濯機、乾燥機、掃除機	3,000	千円																							
冷蔵庫																									
4)SPF鶏卵の購入、輸送費	6,000	千円																							
5)施設移転に伴う備品購入費	1,000	千円																							
6)専門家の交通費、宿泊費	1,000	千円																							
合計	25,000	千円																							

問題点	要望事項、改善案、等
1. 供与機材費の不足	<p>本プロジェクトでは現在無償一期工事、無償二期工事が同時に進行中だが、基本設計時の見積りに比べ、同一の機器においても価格の高騰により、一期工事で発注した機材と、二期工事で発注した機材では10%~20%も高騰した機材がほとんどで、これは建築資材においても同様である。結局このような現状で無償二期工事が当初の見積りより約2億2千5百万円もオーバーし、その結果、二期の無償供与機材も推定1億4千万円分削除された。結局、無償二期で供与される機材は、施設に付随する大型機器例えば、オートクレーブ、冷室、フリーズ室、ミキサー等だけで、実際ワクチン製造、動物飼育、動物試験に使用される機器のほとんど削除された状況である。我々プロジェクトとしても、無償一期、89、90年度技協供与機材の一部分を転用することや、臨時現地業務費等を申請して、現地調達を試みたり、BIO FARMAで購入可能な器具、試薬類は先方に協力を依頼したりするつもりだが、額益ともに膨大であるため、困惑している状況である。このままだと竣工後の無償施設が稼働しない状況も予想される。我々プロジェクトも、もう一度施設稼働のために必要最低限の機材の洗い直しをする予定にしております。JICAにおいても、91年度はもちろんのこと、91年度以降においても技協供与機材費の大幅増額、ローカルコスト負担の承認をご検討戴きたいと強く希望致します</p>
2. 財長期専門家の不在	<p>これについては、事ある事に要求しているが、未だ実現されていない。現在、本プロジェクトには、私が麻疹の長期専門家として派遣されている他、業務調整員だけである。もちろん私にはプロジェクトの経験も無く、知識も少ないため、供与機材の問題、無償関係の問題、C/P、専門家派遣の問題、短期専門家が不在中の技術移転の問題、等等財研まで手が回らないのが現状である。また技術的にも麻疹に比べ、はるかに難しく、問題も多い様でまたさらには、91年12月には無償施設も竣工し、試験製造が開始される予定になっているので、財研の事情もあるでしょうが、出来るだけ早い時期に財研の長期専門家を派遣戴けますよう、お願い致します。これに付いては、BIO FARMAからも強い要望が何度も出されており、何とか実現出来るよう、財研と交渉致します。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

インドネシア国生ワクチン製造基盤技術プロジェクト

問題点	要望事項、改善案、等
3. プロジェクトチームリーダーの不在	5年間の本プロジェクトはスタートしてから1年4ヶ月が経過しましたがご存じの様に、問題が山積みで、麻疹の長期専門家として派遣されている私だけでは、処理しきれない問題も増えてきました。また91年度は無償施設も竣工予定で、プロジェクトも本格的に稼働する時期を迎え、それに併せて、短期専門家も多数派遣予定になっています。チームリーダーについては、人選も困難を要すると思いますが、是非実現して戴けます様、お願い致します。
4. 国内委員会の早期設置	90年10月によく国内委員会設置のための準備委員会が開かれましたが、現在まで設置には至っていません。我々プロジェクトとしても技術的な問題は、それぞれ微研、財研に打診してきましたが、供与機材、無償施設に関する様な大きな問題については、両者が協議できる機会もなかなか難しく、時間的に無駄を生じる事もあるかと思えます。是非早期に国内委員会を設置して戴き、日本国内からご指導、ご支援頂けたら、有難いと思えます。また3月に無償一期工事、12月に無償二期工事が竣工予定になっていますので、この機会に国内委員会の巡回調査団を派遣願ひ、実際にプロジェクトを視察戴き、種々の問題について協議できればと考えています。これについても実現して戴けますよう希望します。
5. 携行機材の早期受取	これまでに何度か短期専門家の同時携行として、また別送で携行機材を送付戴きましたが、一度としてスムーズに通関出来た事はありません。何日も空港、港に泊めらりたり、長いものでは2ヶ月も引き取れないケースもありました。そのたびに、高い保管料を取られていたのでは、我々の少ない業務費ではやって行けません。短期専門家の早期派遣決定、それに合わせた機材リストの作製依頼、調達、またインボイスの早期現地送付等、スムーズに事をもう一度再検討戴き、今後スムーズな通関が出来ますよう協力をお願い致します。

以上

(7) ネットワーク

医学教育

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1. 医学教育の充実 当 IOM 出身者の MD 称号を国際的水準にまで上げる。 1-1 内科、外科の教育の充実 1-2 基礎医学教育の刷新と研究のスタート 2. 病院診療施設の充実 2-1 機材の更新 2-2 新規機材の導入	1) 内科関係教育の充実 従来内科派遣専門家の人材が得難く経過したので、候補者に強気に働きかけ交渉が実を結びつつある。 2) 外科関係教育の充実 佐藤専門家の後任の人選を進めている。外科セミナーを開き日本の権威者を招き外科の教育の新生面を開き研究への関心を高める。泌尿器科は結石の治療にすでに入手した新機器を活用する。CT導入のための人および環境整備の準備を開始する。 3) 基礎医学教育の振興 基礎医学棟の完成に備えて教育人材の確保、実習の充実、研究スクートの環境作りを進める。											
調査団の派遣	計画打ち合わせ	91/7											
専門家の派遣	長期専門家 (分野、氏名等) 1) チームリーダー 山野俊雄 後任者 2) 外 科 学 佐藤芳邦 後任者 3) 臨 床 検 査 中西 守 後任者 4) 業 務 調 整 寺崎義則 後任者 5) 麻 酔 科 学 萩原理江 6) 機 材 保 守 笹川健造 7) 看 護 管 理 藤吉ユリエ 8) 薬 局 管 理 前田京子 9) 生 化 学 立石紀子	90/8					91/8						
		88/5		91/6									
		87/2				91/8							
		83/12					91/8						
		90/8					91/8						
		89/11							91/11				
		88/5											92/5
		90/12											92/12
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 細菌学 久保 隆 (2) 内科学 (3) 泌尿器科 (4) 細菌、原虫	90/10		91/4									
研修員	(分野、氏名等) 1) 病 理 Dr. H. G. Shrestha 2) 外 科 Dr. G. K. Shrestha 3) 内 科 Dr. S. Sharma 4) 麻 酔 Dr. K. P. Karna 5) 生化学 Mr. S. S. Malla 6) C T Dr. R. P. Ghimeire												
供与機材		▲仕様書提出						▲現地書希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 現地セミナー開催費 (2) 現地セミナー開催費 (3) 技術普及広報費 (4) 学術資料情報提供費	▲事業実施						▲事業実施					
		▲申請書提出			▲申請書提出			▲申請書提出			▲申請書提出		
		▲申請書提出			▲事業実施			▲事業実施			▲事業実施		

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣	7月頃	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム):計画打ち合わせ 理由: T S Iにあるとおり協力期間2年目以降の協力計画打ち合わせの必要がある					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと	
		① 内科	神前講師	4月	3ヶ月	取付済		
		② 泌尿器科	島田講師	4月	3ヶ月	取付済		
		③ 細菌、寄生虫	矢野教官	8月	6ヶ月	取付中		
		④						
		⑤						
		⑥						
		⑦						
(3) 供与機材	4千万円の内示を受けてる千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	6000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと				金額	時期	機材保守の専門家が派遣されているが故障機材の部品調達のための予算処置制度がないため携行機材の予算枠で対応願いたい。
		① 笹川専門家	100万円	6月末	⑥ 生化学	50万円	4月	
		② 笹川専門家	100万円	9月末	⑦			
		③ 笹川専門家	100万円	12月末	⑧			
		④ 笹川専門家	100万円	3月末	⑨			
		⑤ 泌尿器科	50万円	4月	⑩			
		⑥ 内科	50万円	4月	⑪			
		⑦ 細菌、寄生虫	50万円	4月	⑫			

	専 門 家 チ ャ ーム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 山野俊雄	チームリーダー	平成 2年 8月22日 平成 3年 8月21日	交替希望	
	② 前田京子	薬局管理	平成 2年12月 7日 平成 4年12月 6日		
	③ 富吉ユリエ	看護管理	昭和元年 5月14日 平成 4年 6月30日		
	④ 笹川健造	機材保守	平成元年11月 7日 平成 3年11月 6日	延長希望	
	⑤ 荻原理江	麻酔科学	平成 2年 8月22日 平成 3年 8月21日	考慮中	
	⑥ 中西 守	臨床検査	昭和62年 2月21日 平成 3年 8月 1日	交替希望	
	⑦ 佐藤芳邦	外科学	昭和63年 5月14日 平成 3年 6月30日	交替希望	
	⑧ 寺崎義則	業務調整	昭和58年12月 2日 平成 3年 8月21日	交替希望	
	⑨ 立石紀子	生化学	平成 年 月 日 平成 年 月 日	新規派遣	
	⑩		平成 年 月 日 平成 年 月 日		
	⑪		平成 年 月 日 平成 年 月 日		
	⑫		平成 年 月 日 平成 年 月 日		
	⑬		平成 年 月 日		

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望					備 考	
	計 画	内 容					
(6) カウンターパート受入	名を希望 早期通報分 6名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)	
	年度末通報分 名	① Dr. H. G. Shrestha	病理				
		② Dr. G. K. Shrestha	外科				
		③ Dr. S. Sharma	内科				
		④ Dr. K. P. Karna	麻 酔				
		⑤ Mr. S. S. Malla	生化学				
		⑥ Dr. R. P. Ghimeire	C T				
		⑦					
		⑧					
		⑨					
⑩							

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費		千円	(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	986円		
②技術普及広報費	1000 千円を希望	円	プロジェクト紹介冊子刊行	
③現地セミナー開催費	2000 千円を希望	2400 円	外科セミナー及び高山生理病理シンポジウム開催	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
⑧学術資料情報提供費	1000 千円を希望		臨床検査学テキストの作成	
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成2年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ネパール国医学教育プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	1) 病院 2) 基礎医学棟・各教室・共同研究室	他		
		輸送費	合計	40000
供与の目的		<p>医学教育プロジェクト全体計画のなかには病院医療機械の更新新規医療機械がもちろん含まれるが、今回の特色としては基礎医学棟建設に伴う実習機器の充実が期せられる。更に基礎医学棟の共同研究室には研究スタートのための基本機器も含まれている。基礎棟にはメンテナンスの要員の配備を要請し良好な稼働状況を維持でき技術移転は支障ないものにする。いずれも時期的に緊急性は高い。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性 				
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能 但しごく一部) (2) 否		
A47+M取付状況		(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	ハンソル型 ケガキ針-SK-P 超硬 チップ付 10本	11,520					
2	ハンソル型 ケガキ針-SK-PK 替芯 10	6,000					
3	超硬 チップ付 センターポンチ S型 77mm 10	11,560					
4	圧力スイッチBN1218 日本精器 3	23,040					
5	H級チエンプロックス-バ-100 SH-05 0.5t 1	35,600					
6	H級チエンプロックス-バ-100 SH-20 2t 1	63,000					
7	ゴールドジャガー-三脚ベッド VK-3 1	18,200					
8	ゴールドジャガー-パワーウィンチ HP-2 1	3,800					
9	マサダミニタイプ油圧ジャッキ MMJ-5C 2	40,000					
10	マサダミニタイプ油圧ジャッキ MMJ-5T 2	74,400					
11	ドリル 研磨機DL-1 φ2.0~φ13.0mm 1	134,800					
12	ユニプロッドボ-ダブルスポット 溶接機 UP-8S 1	550,000					
13	モンキーレンチ エビ印 EM-250 250mm 6	19,920					
14	プライヤ- エビ印 EC-250T 250mm 6	13,440					
15	9本組六角ボ-ルレンチ AZS-0910 5	7,280					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 称 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	神鋼ドリルセットSD-13S HSS 1.5mm-6.5mmとび 5Set	31.800					
2	神鋼ドリルセットSD-41S HSS 6.0mm-10mm×0.1mm 5Set とび	277.000					
3	神鋼ドリルセットSD-25S HSS 1.0mm-13mm×0.5mm 5Set とび	149.000					
4	ヤマワハンドタップSKSM ₂ M ₂ (×0.4) Set 20Set	19.160					
5	ヤマワハンドタップSKSM ₃ M ₃ (×0.5) Set 20Set	15.840					
6	ヤマワハンドタップSKSM ₄ M ₄ (×0.7) Set 20Set	15.840					
7	ヤマワハンドタップSKSM ₅ M ₅ (×0.8) Set 20Set	17.840					
8	ヤマワハンドタップSKSM ₆ M ₆ (×1) Set 20Set	19.160					
9	ヤマワハンドタップSKSM ₈ M ₈ (×1.25) Set 20Set	33.000					
10	ヤマワハンドタップSKSM ₁₀ M ₁₀ (×1.5) Set 20Set	48.840					
11	ヤマワハンドタップSKSM ₁₂ M ₁₂ (×1.75) Set 20Set	72.600					
12	ヤマワハンドタップSKSM ₁₄ M ₁₄ (×2) Set 20Set	96.000					
13	超硬 チップ付コンパス SPC-100 100mm 1	2.196					
14	超硬 チップ付コンパス SPC-200 200mm 1	2.652					
15	超硬 チップ付コンパス SPC-300 300mm 1	4.308					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 称 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	精密時計ドライバ-HOZAN D-225本セット 10	14,500					
2	ペンチ(絶縁カバー付) メリ-印 1050H-200 6	21,840					
3	スタンダードニッパー-No450 メリ-印 450P-150 6	17,520					
4	ハンゲルハサミ200mm 41100-201 5	7,800					
5	OH鉄製ハンマー- HK-02#1/4 6	6,840					
6	OH鉄製ハンマー- HK-10#1 6	6,840					
7	防爆用モンキーレンチ MB-150M 2	16,560					
8	防爆用モンキーレンチ BR-300M 2	45,360					
9	防爆用ウォーターポンププライヤー- BR-250W 2	30,600					
10	防爆用パイプレンチ200m BR-200P 2	36,720					
11	防爆用パイプレンチ300m BR-300 2	64,080					
12	防爆用両口メガネレンチ BRR-5507 5.5×7mm 2	10,440					
13	防爆用両口メガネレンチ BRR-0810 8×10mm 2	10,440					
14	防爆用両口メガネレンチ BRR-0911 9×11mm 2	10,440					
15	防爆用両口メガネレンチ BRR-1012 10×12mm 2	12,960					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	防爆用両口メガレンヂ BRR-1113 11×13mm 2	12.600					
2	防爆用両口メガレンヂ BRR-1214 12×14mm 2	13.320					
3	防爆用両口メガレンヂ BRR-1317 13×17mm 2	14.040					
4	防爆用両口メガレンヂ BRR-1921 19×21mm 2	19.800					
5	防爆用両口スパケ BRS-5507 5.5×7mm 2	4.860					
6	防爆用両口スパケ BRS-0809 8×9mm 2	4.500					
7	防爆用両口スパケ BRS-1013 10×13mm 2	6.480					
8	防爆用両口スパケ BRS-1214 12×14mm 2	6.840					
9	防爆用両口スパケ BRS-1317 13×17mm 2	7.200					
10	防爆用両口スパケ BRS-1924 19×24mm 2	14.760					
11	ｼｰﾌﾞ-電氣半田ｺｰﾄﾞ SC-40 40W 220V 5	6.300					
12	白光電氣半田ｺｰﾄﾞ 918 420℃ 2	14.920					
13	半田除去器具220v用 ﾊｯｼﾞ-ｲｰｽ 484 1	69.000					
14	半田除去器白光 DS01 5	10.500					
15	半田除去器白光 /X/ DS01-N 10	4.500					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	ネーサン手提工具セット HKC-S10 10	156,000					
2	ダイヤモンドヤスリED-23S ダイヤモンドツール 1Set	78,900					
3	壺三ヤスリ 鉄工用 150mm 中 (N) 10	5,130					
4	壺三ヤスリ 鉄工用 200mm 荒 (L) 10	6,840					
5	壺三ヤスリ 鉄工用 200mm 中 (N) 10	6,840					
6	壺三ヤスリ 鉄工用 200mm 細 (S) 10	8,820					
7	壺三ヤスリ 鉄工用 300mm 荒 (L) 10	13,230					
8	壺三ヤスリ 鉄工用 300mm 中 (N) 10	13,230					
9	壺三ヤスリ 鉄工用 300mm 細 (S) 10	16,920					
10	壺三ヤスリ 組ヤスリ 10S 10本組 中 (N) 10	43,650					
11	魚地球印精密用ヤスリ P-8 8本組 10	50,000					
12	ステンレス(切削用ヤスリ) SKS-8 種鋼SU-150(平) 2	1,892					
13	ステンレス(切削用ヤスリ) SKS-8 種鋼SU-150半丸 2	2,880					
14	ステンレス(切削用ヤスリ) SKS-8 種鋼SU-150丸 2	1,892					
15	ゴールドジャガー印GS-33 一眼サイド付セーフティグラス 10	13,000					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	エシボンド G17-50 50ml 20	7,000					
2	エシボンドクリヤー GC-50 50ml 20	8,400					
3	エシボンドビニル用ボンド VL-50 50ml 20	7,000					
4	エシボンドユニーク BAGI-110 110g 10	17,200					
5	エシボンドクイックメンダー BQM-100 100g A.B 10組	22,400					
6	エシボンドアロンアルファ 木工用 2g BAAM-2 10	4,900					
7	エシボンドコーキング 白 BC-500 10	9,200					
8	スリーボンドバフ20C (1kgセット) TB20C 水中硬化タイプ 10	79,400					
9	スリーボンドバフ15D 合成ゴム系接着剤 150cc 10	8,600					
10	スリーボンドバフ270A 脱脂洗浄剤機械部品用 10	21,200					
11	スリーボンドバフ29A 200ml TB29A 帯電防止剤 10	28,200					
12	スリーボンドバフ29B 480g TB29B 電子機器クリーナー 20	67,200					
13	スリーボンドバフ29C 480g T29C フリーシチュエーター 20	56,400					
14	日本デフコンHRS-バ-3000 HRS-3000高温 0.5kg 高圧補修用 1組	36,400					
15	地球モリダススプレー WG-420SP 420ml 12	32,400					

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ 、 試 薬 等 、 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	ニトロンパイプ 20巻 95×15 0.1×13×15m	5,460					
2	ニトロンパイプ 50巻 95×5 0.1×13×5m	45,500					
3	ビニールテープ 100巻 21R-20 0.2×19×20m	88,400					
4	ソドガストチ CGTガス付(206)	5	43,200				
5	ソドガストチ用CGB 耐風バーナ T1550	5	9,400				
6	ソドガストチ用CGSW 細口火口 T1700	5	9,400				
7	ソドガストチ用2002 錫ハンダ 2002	5	12,600				
8	ソドガストチ用2005 銀ロウ棒 2.0φ フラックス付10		86,400				
9	真空機工製油回転真空 ポンプ GC-100D 220V 50Hz用	1	149,600				
10	春日配線用遮断機 220V KB 123CA 125A	1	22,800				
11	日置ディジタルハイテスター 3242 ACDC500V 20MΩ	3	34,080				
12	日置テスター--3000-01	5	40,000				
13	エビ印スリ-7圧着工具 AK-60	1	31,860				
14	エビ印スリ-7圧着工具 AK-18	1	12,640				
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	X線フィルム現像機 NE-2400 220用						
2	トライモーター-N-24602-B 1						
3	トライモーター-NE-2400- 220用 N-24603-B コンデンサ 1						
4	トライモーター-NE-2400- 220用 N-24604-Bキヤ-ヘッド 1						
5	ワッパス 内視鏡光源 ADクランプ 50本 CLV-10用 JC24V 150W						
6	光源反射鏡モリク LED Ecellent用 5Set						
7	電球 12V75WSモリク LIGHTEL DP-075用 6本						
8	サクションユニット モリク ENT. UNIT GU-1-S6 1台						
9	Heating Rod TypeES- 200 Rated Power1φ - 230V2KW NIHON ITOMIC CO. LTD 12		Generated Colorifle- 172K cal/h				
10	Xenon Flash Lamp Nidek Electric Response Recorder Model EVG-1B 1						
11	Pilot Lamp 10V 4A For Goldman Perimeter TAKATA WT-40 6						
12	Halogen Lamp 12V 4.2A For Slit Lamp INAMI Ne L0160HL 6						
13	LBO Bulb for Neitz Direct Ophthalmos- cope 12						
14	L10 Bulb for Neitz For Indirect Ophthalmoscope 4						
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 称 仕 様	金 額	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ 、 試 薬 等 、 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	ハンドピース (リモート式) 10本		"MERA" Model: E-11R Electro Surgical Unit用	有	否		
2	対極板 1枚			有	否		
3	ハンドピース (リモート式) 10本		KAIBA Solid-Stage Electrosurgery Unit with Bipolar Coagulation Device	有	否		
4	対極板 1枚			"TAKEI" Model: FL- 101-BP用	有	否	
5	ハンドピース (リモート式) 10本		Solid State Electrosurgical Unit "SENKO MERA" Model: MS- 1100用	有	否		
6	対極板 1枚			有	否		
7	ハンドピース (リモート式) 10本		AESCULUP Electrosurgical Unit No. 001479 Model: 100用	有	否		
8	対極板 1枚			GK34, AC220-240 GK34, AC220-240	有	否	
9	Oxygen Monitor MERA Model: DX-161 6台						
10	ヒューズ 307747 2個		"NEC-SANEI" CARDIOPAC Model: 3M01用				
11	バッテリー 1個						
12	バッテリー 1個			"NEC-SANEI" Heart Scope Apparatus			
13	EKGコード 赤 黒 黄 各 1本		Heart memory Model: 2E26用				
14	EKGコード 赤 黒 黄 各 1本		"NEC-SANEI" ECG Monitor BIOVIEW Type 2E61 用				
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Cutting Loop 24Fr (リセクト用ループ導子) 10本		Fiber Optic Rotating Resectoscope (TAKEI)	有	否		
2	Cutting Loop 26Fr (リセクト用ループ導子) 10本		Cat.No.TU-200R用	有	否		
3	Loop electrodes A2184, 12° 20本		高周波焼灼電源装置 OLYMPUS Model:UES-10用	有	否		
4	Knife electrodes A2193, 12° 30' 2本			有	否		
5	Roller electrodes A2189, 12° 30' 10本			有	否		
6	Stone Basket 76cm Long Fr5 5本		Kaiba-Dormiya type "TAKEI" Cat.No.TU-816用	有	否		
7	Stone Basket 76cm Long Fr6 5本			有	否		
8	尿道刃 KARL STORZ, 27068K 4本			有	否		
9	Irrigation Bottle (ガラス製のビフ) 2本		Janet's Bladder Irrigator System with Heater "TAKEI" 用	有	否		
10	Rubber Tip KARL STORZ, 27550D 24個			有	否		
11	替刃 "MIZUHO" 03-034-02 20個		"MIZUHO" フリ-ハフドナルト-A用	有	否		
12	吸引用チップ 0.5mm 2個		"Inami" A. I. D II Aspiration & Irrigation Device Model:M-1500 用	有	否		
13	吸引用チップ 0.3mm 1個			有	否		
14	Bipolar 1個		Cautery Unit "INAMI" Wet Field Coagulator Model:440E 用	有	否		
15	Cautery Coard 22-1202 1個		Cautery Unit "INAMI" Wet Field Coagulator Model:440E 用	有	否		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ 、 試 薬 等 、 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1	Sealed Beam Cool Ray Bulb #145-3B 36個		} Operating Light "YAMADA" Model CTC-CR-ST9855-56EL CR5656 CR5796	有	否		
2	Sealed Beam Cool Ray Bulb #CR-110 20個			有	否		
3	スベアランプ、2個 径27cm、光量 28,000Lux		SKYLUX PALLAS "YAMADA" SHADOWLESS LAMP Model N.250用	有	否		
4	Coldmirror reflector Lamp # Kr52 径20cm Krypton Halogen 24V- 50W 2個		KRYPTON SKYPET "YAMADA" No. Kr395-M用	有	否		
5	スチームプレッシャー ボルブ 1個		} "SAKURA" A Sereis Small Steam Sterilizer Model:FBA-6SIPCE 用の部品	有	否		
6	フットスイッチ 2個			有	否		
7	Lamp for Starting Switch 2個			有	否		
8	Lamp for cycle indication 10個			有	否		
9	Recorder chart 10巻			有	否		
10	1 μ水フィルター 14個		} Water Sterilizer "DAIKYO" Model:811-A 用の部品	有	否		
11	フットスイッチ 5個			有	否		
12	Soap Dispenser (Tonokura Ika RT-107) 用のフットスイッチのみ 7個			有	否		
13	中山ベック針又は大槻針 (茨第14号) 200本/箱 50箱		中山胃腸吻合器用の消 耗部品	有	否		
14	Spare Lamp (Halogen Lamp) 15V-150W		フタバ-177タイプ用 光源装置 "TAKEI" Model:FL-150A Cat. No. TU-230A 用の部品	有	否		
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 査可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Calibrated inoculating loop loopdiameter 4mm shaft length 50mm (2)	10,000		無	否		
2	Oil immersion object (X 100) (1)	15,000	Nikon microscope Model Labophot	有	否		
3	Filtration. Glass (1set)	30,000	Millipore	有	否		
4	Membrane filter 47mm pore size 0.45 micrometer (200)	100,000	Millipore	有	否		
5	Membrane filter 47mm pore size 0.22 micrometer (200)	100,000	Millipore	有	否		
6	Variable volume Dispenser 1-10ml (1)	50,000	平沢 (Autoclavable)	有	否		
7	Inoculating wire holders (5)	5,000		無	否		
8	Microscopic lamp 25w Model CH220-30V (6)	6,000	Olympus	有	否		
9	Medical Ozonless 15w Sterilizing lamp (12)	12,000	東芝	有	否		
10	Liquoid (Sodium poly- anethol sulphonate (50g)	20,000	WAKO Chem Co. (試薬特級)	有	否		
11	Salmonella sera Polyvalent (2ml x 3)		栄研化学	有	否		
12	Salmonella sera Sal. Typhi (2ml x 1)		栄研化学	有	否		
13	Salmonella sera Sal. ParaA (2ml x 1)		栄研化学	有	否		
14	Salmonella sera Sal. ParaB (2ml x 1)		栄研化学	有	否		
15	コラーゲ棒 (2,000)	20,000	日水製薬	有	否		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 称 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Shigella sera polyvalent flexneri (2ml×1)		栄研化学	有	否		
2	Shigella sera Dysenteriae (2ml×1)		栄研化学	有	否		
3	Shigella sera Boydii (2ml×1)		栄研化学	有	否		
4	Shigella sera Sonnei (2ml×1)		栄研化学	有	否		
5	Grouping Streptococci Group A, B, C & G		栄研化学	有	否		
6	Seroidin strepto Kit (100)						
7	Glass petri dishes φ 100mm (100)	30,000		無	否		
8	Glass Dessicator φ 200mm (2)	30,000		無	否		
9	Conical flask capacity 1000ml (20)	30,000		無	否		
10	Conical flask capacity 500ml (20)	15,000		無	否		
11	Conical flask capacity 200ml (25)	10,000		無	否		
12	Test tubes with metallic cap 110mm × 12mm (2000)	60,000		無	否		
13	Antibiotic disc/ differentiating disc Novobiocin (2)	2,400	日水製薬	有	否		
14	Antibiotic disc/ differentiating disc Metronidazole (2)	2,400	日水製薬	有	否		
15	Antibiotic disc/ differentiating disc Optochin (12)	14,400	日水製薬	有	否		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 称 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Antibiotic disc X factor disc (12)		日水製薬	有	否		
2	Antibiotic disc V faector dise (12)		日水製薬	有	否		
3	Antibiotic disc Bacitracin disc (12)		日水製薬	有	否		
4	Monopotassium phosphate KH ₂ PO ₄ (2Kg)	14.400	WAKO Chem. Co (試薬特級)	有	否		
5	Sodium Glutamate (2Kg)	6.000	WAKO Chem. Co (試薬特級)	有	否		
6	Glycerin (2Kg)	4.000	WAKO Chem. Co (試薬特級)	有	否		
7	Marachite Green (100Kg)		WAKO Chem. Co (試薬特級)	有	否		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	モルモット 補体 1ml × 10 (5)	100.000	生化学工業	有	否		低温保存
2	風疹H1抗原 (10)	50.000	デフカ(株)	有	否		低温保存
3	麻疹H1抗原 (10)	50.000	デフカ(株)	有	否		低温保存
4	ムンプスH1抗原 (10)	50.000	デフカ(株)	有	否		低温保存
5	単純ヘルペス1AHA抗原 (10)	50.000	阪大微研会	有	否		低温保存
6	サイトメガロ1AHA抗原 (10)	50.000	阪大微研会	有	否		低温保存
7	ロウイウス PHAキット (5)			無	否		低温保存
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Ultrasonic nebulizer "ATOM" Soniclizer 205" with stand(for 220V, 50HZ, AC) 1台	205,000		有	否		
2	カウネルリア消毒器 大型 2台	340,000		有	否		
3	結研式 低圧持続吸引器 モデル RT101 4台		結研式 低圧持続吸引器 モデル RT101 予備用	有	否		
4	ポンセット 4個			有	否		
5	圧ゲージ 4個			有	否		
6	吸引ビン 4個			有	否		
7	マイクログラフ S35TYPE 3007レ-フ	100,000	病理組織切片作成用	有	否		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	CATHETER PG.3-35-100-M-8S-PIG × 5	90.000	血管造影用	COOK	否		
2	CATHETER BPS6.5-38-100-M-NS ² -JA × 5	90.000		COOK	否		
3	CATHETER P5.OB-32-100-M-NS ² -JB × 5	90.000		COOK	否		
4	ARTERIAL-VENOUS SET WITH WIRE GUIDE TSS-7.5-35 × 50	250.000		COOK	否		
5							
6	PUNCTURE NEEDLE ELASTER TYPE 19G × 200PCS	100.000		HAKKO	否		
7	PUNCTURE NEEDLE ELASTER TYPE 15G × 200PCS	100.000		HAKKO	否		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	GUIDE WIRE 0.7-75-925 TYPEJ × 10	18,000×10 =180,000	血管造影用	COOK	否		
2	GUIDE WIRE 0.9-75-925 TYPEJ × 10	18,000×10 =180,000		COOK	否		
3	GUIDE WIRE TSCF-35-145-3 × 10	18,000×10 =180,000		COOK	否		
4	GUIDE WIRE TSCM-35-145-3 × 10	18,000×10 =180,000		COOK	否		
5	GUIDE WIRE TSF-21-145 STRAIGHT × 10	18,000×10 =180,000		COOK	否		
6	GUIDE WIRE TSFB-35-145 BENTSON × 10	18,000×10 =180,000		COOK	否		
7	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS-RCI × 5	90,000		COOK	否		
8	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS-RH × 5	90,000		COOK	否		
9	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS-RIM × 5	90,000		COOK	否		
10	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS-RS × 5	90,000		COOK	否		
11	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS-RLG × 5	90,000		COOK	否		
12	CATHETER BPS-6.5-38-65-M-NS- TWIST × 5	90,000		COOK	否		
13	CATHETER BPS-6.5-38-100-M-NS-H1 × 5	90,000		COOK	否		
14	CATHETER P-6.5-35-70-M-NS-HK1.0 × 5	90,000		COOK	否		
15	CATHETER BPS-8.2-38-100-N-NS- SIM × 5	90,000		COOK	否		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	カラ 卓上オートクレーフ 220V 50HZ SP-203 3台	930,000	手術室(一般)1 手術室(婦人科)1 中材1	有	否		
2	カラFBA-6SIPCE オーバホール 部品 3台分			有	否		
3	オートフィルムチェンジャー			有	否		
4	定温循環槽 NESLAB RTE-100 1台	280,000		有	否		
5	フランクショコレクター メルソFC-80 1台	350,000		有	否		
6	ゲルトリクス天秤 1712 MP8 1台	500,000		有	否		
7	放射温度計0-300℃ IT-330 掘場製作所 1台	70,000	メンテナンス 動力活線温度測定用	有	否		
8	掘場PHメータ-M-11 1台	140,000		有	否		
9	掘場PHメータ-M-13 1台	300,000		有	否		
10	溶液口過措置 7ファンテックRGS-47 1台	30,000		有	否		
11	クロフトチャンバー-MC-20 D H 内法 108× 655× 1420 220V 50HZ 1台	980,000		有	否		
12	超低温保存庫 PF-210 マガジンラック トレイ5個 各1台分付 1式	1,300,000		有	否		
13	パーソナルコンピューター ACR 1式	650,000		有	可		
14	カメラ SONY 2235A 1台	305,000		有	否		
15	刺激発生器 1台			有	否		

プロジェクト名：ネパール国医学教育プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	日立冷却遠心機 ローター2ヶ付 1式	2,000,000					
2	バッテリー 1個		"NIHON KOHDEN" EKG Model:0EC-6102K用				
3	EKG用-F 赤 黒 黄 各 1本						
4	麻酔器呼吸気弁の F-Aキャップ 2個		"MERA" Model:MD-100 用				
5	麻酔器呼吸気弁の F-Aキャップ 2個		"MERA" Model:MD-500 用				
6	麻酔器呼吸気弁の F-Aキャップ 1個		"ACOMA" Model:PH-3F 用				
7	ガラスビン 5000ml (バキューム用) 6個		Kick Type Vaccum Trap Bottle "SHARP" Model:V-5000G 用				
8	バキューム用ガラスビン 8000ml 6個		Kick Type Vaccum Trap Bottle "SHARP" Model:V-8000G 用				
9	THERMAL FUSE 10個		"OLYMPUS" Operating Microscope Model:OME-G'B 用				
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	泌尿器科
2. 派遣期間・時期	平成3年4月～7月 3ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	Endo-Urology Open Urethroplasty
5. 派遣目的および具体的指導内容	既に供与されている超音波腎結石摘出内視鏡及びUro-flowmeterを使用した手技の技術移転を行う。
6. 必要とされる携行機材・額	フォーリーカテーテル カッピンググループ 等約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	細菌学、寄生虫学
2. 派遣期間・時期	平成3年4月～10月 6ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIで協力期間の3年目以降にこの分野の専門家の派遣が予定されている。
4. 先方の希望内容	既に久保専門家派遣要請理由として1. 臨床検査の充実2. 基礎医学細菌学教室独立に寄与出来る専門家を希望した。
5. 派遣目的および具体的指導内容	既に細菌ウィルスの専門家として派遣された久保隆専門家は臨床検査における当部門の充実と基礎医学的細菌学教室の実習指導研究スタートに成果をあげた。この二方向を充実させるとともに更にネパールで頻度の高い寄生虫に関して上記の二方向での活躍を期待している。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	生化学
2. 派遣期間・時期	平成3年8月より1年間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	基礎医学振興の線に沿ってこの分野の派遣が望ましい。
4. 先方の希望内容	生化学教室の独立がR/Dで期待されている。
5. 派遣目的および具体的指導内容	生化学教室独立に際し人材の要請カウンターパートの選択など教室の充実が望まれる。 指導内容：実習項目の選択、教員要員の指導研究スタートについての助言。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	内科
2. 派遣期間・時期	平成3年4月～7月 3ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIでは協力期間の最初より派遣される予定であったがリクルートがつかず派遣が遅れている。
4. 先方の希望内容	内科全般
5. 派遣目的および具体的指導内容	R/Dに循環器内科の確立をうたっているがそれをなすためには内科全般の底上げが不可欠である。専門家派遣によりTUTHの内科の問題点、現状を把握してもらい今後の協力の方向づけを行う。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	外科セミナー
2. 目的:	現在当プロジェクトには外科及び麻酔科の医師が派遣されているが外科系の国内委員に一週間程度一時期に来ネしてもらい、プロジェクトの進捗状況を確認して頂きかつ協力に対する助言をいただくとともに、術前術後管理、消化管外科及び胸部外科をそれぞれ担当して頂きセミナーを開催することは外科協力の上で多大の効果が期待出来る。
・必要性	
・緊急性	
・先方が負担できない理由	
・効果	
3. 計画・経費	<ul style="list-style-type: none"> ・1991年5月頃開催。 ・日本より、藤田、宇都宮、澤村、各教授に来ネ願う。 ・麻酔科及び外科のカウンターパート参加。 <p style="text-align: right;">総計(50万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	高山生理病理シンポジウム
2. 目的:	ネパールは世界に誇るヒマラヤ王国でありトレッキング観光客も増えつつある。学問的にも高度順化高山病発生の機構解明に適している8000mを越え諸峰がそびえ研究条件が自然に整え得る。ネパール国にとっては観光立国の立場からも緊急である。当然のことながら当国の財政事情は逼迫しておりシンポジウムを開催し研究の活性化を図ることは困難である。
・必要性	
・緊急性	
・先方が負担できない理由	
・効果	
3. 計画・経費	<p>基礎医学棟の完成が1992年3月に予定されているのでそれに合わせて新講堂を披露して行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日時:平成4年3月末 2. 場所:基礎医学棟新講堂 3. 参加予定者:100名 4. 組織委員会:委員長・プロジェクトチームリーダー 委員・荻原理江、JICA専門家 Dr. Amartya (IOM生理) <p style="text-align: right;">総計(150万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ネパール医学教育プロジェクト紹介冊子刊行
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	当プロジェクトは教育病院の設置を含む第一期から発展して第二期に入る大きなプロジェクトである。基礎医学棟は1992年に完成が予定されている。現在当プロジェクトにおけるJICAの最大のものである。その実績を日本国内のみならずネパール側にもJICAの努力を広報する必要がある。情報紹介の必要性に対するネパール側に出版を支持する財源はない。
3. 計画・経費	<p>1. 内容:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネパール医学教育プロジェクトの主旨紹介 ・教育病院の繁栄ぶりの紹介 ・基礎医学棟完成の紹介 ・病院拡張、酸素プラント予定の紹介 <p>2. 印刷:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B5版カラー上質紙印刷 <p style="text-align: right;">総計 (100万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	臨床検査学テキストの作成
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	ネパールでは臨床検査の教育は英語にて行われているが、欧米のテキストはネパールでは市販されていないため手に入らない。又、当地出版界でこのような狭い領域の出版は採算が取れないため行なわれない。このため、学生は図書館などの本を利用するに留り学習に支障をきたしている。今後の教育レベルの向上をはかるためにテキストの作成は重要な課題となっている。
3. 計画・経費	<p>1. タイトル: "TEXTBOOK OF CLINICAL LABORATORY TECHNOLOGY"</p> <p>2. 執筆者: カウンターパート、JICA専門家等</p> <p>3. 製図製版: IOM 出版センターに依頼</p> <p>4. 部数: 300部</p> <p style="text-align: right;">総計 (100万円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
	<p>1. 再々報告書に記した様に当医学部（IOM）には Non-private clinic, Private clinicの問題が煩っており、現在は前者が制度として生きている。我々はprivate clinicが許されるとドクターがIOMの診療をおろそかにするかIOMの施設を個人の利益に利用しないかをおそれ懸命に現制度の継続に努力している。</p> <p>2. カウンターパートの候補者には十分観察を重ねて慎重な人選を行いまた研修後の追跡調査を行う必要がある。</p> <p>3. 供与機材についても確実な登録、掌握利用状況の追跡の必要がある。</p> <p>4. 当病院ではようやくCT（Computer Tomography）の導入の時期に来ており人員の準備予算の計上について検討を願いたい。</p>

(8) ネットワーク

結核対策

平成 3年度年間計画

ANNUAL WORK PLAN

プロジェクト名: ネパール王国結核対策

		1991						1992					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) マンパワー養成計画 結核専門医、スーパーバイザー マイクروسコピスト、ヘルスポ ストスタッフ、統計専門家 2) オペレーショナルリサーチ (I) オペレーショナルリサーチ (II) 3) ワークショップ、セミナー 4) NGO との技術交換 5) 保健教育、 6) パイロットサーベイ。												
調査団の派遣	プロジェクト最終エバルエション												
専門家の派遣	長期派遣専門家 1) 香川 務 (チームリーダー) 2) 小野崎郁史 (結核対策医) 3) 高橋基久 (検査技師) 4) 望月聡子 (保健婦) 5) 山田智恵里 (保健婦) 6) 細谷たき子 (保健婦) 7) 佐藤よし江 (調整員) 8) 未定 (疫学、公衆衛生) 9) 未定 (結核対策医師)												
	短期専門家 (分野、氏名等) 1) 島尾忠男 (セミナー講師) 2) 齋木正和 (結核対策) 3) 未定 (機器維持)												
研修員	(分野、氏名等) 1) Ram Krishna Kayastha 検査技師 2) Leela Rai 保健婦 3) Pradyumna Bhandari 疫学統計 4) Jank Bahadur Karki 結核対策 5) Devi Prasad Bhusal 結核対策 6) 未定 放射線科医師 7) 未定 臨床病理科医師	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定
供与機材	機材実施計画書に記載	A4 フォーム提出											
各種事業ローカルコスト員担事業、等	ローカルコスト負担事業計画書に記入	現地到着											

医療協力部

項目	専門家チームの要望						備考																																					
	計画	内容																																										
(1) 調査団派遣		調査団の種類（プロジェクト最終エバリュエーション） 理由：ネパール王国結核プロジェクト最終年度					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと。																																					
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと 注：ツベルクリンナーズは日本にいない為、オランダから招聘、結核サーベイに不可欠。																																					
		① セミナー講師 ② 結核対策医師 ③ 医学統計専門家 ⑤ 医学統計専門家 ⑥ 機器管理技術者 ⑦ ツベルクリンナーズ	島尾忠男 青木正和 未定 未定 未定 未定	91/10 頃 91/ 9/1-91/ 9/30 91/12/1-91/12/31 91/ 9/1-92/ 2/28 91/10 頃	2 週間 1 月 1 月 6 月 2 週間	未 未 未 未 未																																						
(3) 供与機材	20,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																										
(4) 携行機材	7,000千円を希望	<p>専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>金額</th> <th>時期</th> <th>⑤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①香川 X線バツ一式 (詳細別紙)</td> <td>1,000千円</td> <td>91年4月</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>②小野崎 バイク</td> <td></td> <td></td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>キヤワードワー他</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>③高橋 顕微鏡7台</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>④望月 キヤワードワー、 バイク他</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>⑤山田 桌上製本機他</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥細谷 バイク他</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦佐藤 キヤワードワー他</td> <td>1,000千円</td> <td>4月</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						①	金額	時期	⑤	①香川 X線バツ一式 (詳細別紙)	1,000千円	91年4月	⑤	②小野崎 バイク			⑥	キヤワードワー他	1,000千円	4月	⑦	③高橋 顕微鏡7台	1,000千円	4月	⑧	④望月 キヤワードワー、 バイク他	1,000千円	4月	⑨	⑤山田 桌上製本機他	1,000千円	4月		⑥細谷 バイク他	1,000千円	4月		⑦佐藤 キヤワードワー他	1,000千円	4月		
①	金額	時期	⑤																																									
①香川 X線バツ一式 (詳細別紙)	1,000千円	91年4月	⑤																																									
②小野崎 バイク			⑥																																									
キヤワードワー他	1,000千円	4月	⑦																																									
③高橋 顕微鏡7台	1,000千円	4月	⑧																																									
④望月 キヤワードワー、 バイク他	1,000千円	4月	⑨																																									
⑤山田 桌上製本機他	1,000千円	4月																																										
⑥細谷 バイク他	1,000千円	4月																																										
⑦佐藤 キヤワードワー他	1,000千円	4月																																										

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
(5) 長期専門家派遣	(1) 香川 務	チームリーダー	90/8/31 92/4/16	平成3年度特になし	ナショナルサーベイを担当する疫学公衆衛生専門家の赴任を希望している。医師である事を条件としないが、医師でなければ、別に結核対策医師の赴任を必要とする。何れにしても、若くて、山に入る事を苦にしないやる気のある人を希望する。
	(2) 小野崎郁史	結核対策医師	90/3/18 92/4/16	平成3年度特になし	
	(3) 高橋基久	結核菌検査	89/7/26 91/7/25	92/4/16まで任期延長希望	
	(4) 望月聡子	保健婦	89/7/26 91/7/25	任期延長の意志なし	
	(5) 山田智恵里	保健婦	89/10/15 92/3/15	92/4/16 迄任期延長希望	
	(6) 細谷たき子	保健婦	89/10/15 92/4/16	平成3年度特になし	
	(7) 佐藤よし江	調整員	89/8/9 92/4/16	平成3年度特になし	
	(8) 未定	疫学公衆衛生専門家	91/4/1 92/4/16		
	(9) 未定	結核対策医師	91/7/26 92/4/16		

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(6) カウンターパート受入	名を希望 早期通報分 2名	(1) Mr. Ram Krishna Kayastha	検査技師 (細菌検査)	受入希望時期 1991.10-1992.1	期間 4か月	1990年度CP派遣中止 となった。	(早期通報分については、年3月までに、 年度末通報分については、年7月末までに、 A2-3フォームを取り付けること!!) 注: 候補者の順位については未定です。	
	年度末通報分 1名							
	未定 4名	(2) Ms. Leela Rai	保健婦	1991.7-1992.2	8か月			
		(3) Mr. Pradyumna Bhandari	結核疫学統計	未定	未定			第3国研修
		(4) Mr. Jank Bahadur Karki	結核対策	未定	4か月			
		(5) Dr. Devi Prasad Bhushal	結核対策医師	1991.7-1991.10	4か月			
		(6) 未定	放射線科医師	未定	未定			
	(7) 未定	臨床病理科医師	未定	未定		NTCに放射線科医師のポストはあるが、現在は空席である。保健省に内科医師の採用を要請している。それが実現したら、胸部X線診断を主にした放射線科医師として、日本で訓練して欲しい。		
						上記医師の他に内科医1名の採用を保健省に要求中である。実現したら、かく痰検査を含む検査全般を指導出来る臨床病理科医師として、日本で訓練して欲しい		

項 目	専門家チームの要望		備 考
	計 画	2年度実績	
(7) ローカルコスト負担経費			
①現地業務費臨時支給分	0千円を希望	0千円	
②技術普及広報費	5,500千円を希望	2,500千円	
③現地セミナー開催費	2,600千円を希望	0千円	
④技術交換費	2,808千円を希望	0千円	
⑤応急対策費	0千円を希望	0千円	
⑥中堅技術者養成対策費	320千円を希望	0千円	
⑦プロジェクト基盤整備費	20,285千円を希望	0千円	
(8) 予算新規項目： （プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）			

専門家派遣計画表

1. 指導科目	セミナー講師
2. 派遣期間	1991.10.1~1991.10.14
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	全国レベルでのNTP遂行に先立ち、WHOで発言力のある島尾先生に講師として来ネを要請し、NTCの問題点を保健衛生行政担当者(中央、地方保健衛生行政担当官)やNATA等NGOs等に理解してもらう為のセミナーを開催して欲しいとのNTC側の希望あり。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	セミナー講師として、本プロジェクトのネパール王国のみでなく、SAARC、更に、世界的に見たNTPに於ける重要性について、特に、ネパール保健衛生行政担当者、NATAを始めNGOsに理解を深め、NTCの運営について、理解と協力を求める事が目的である。
6. 携行機材・額	不要
7. その他備考	島尾先生、青木先生、森先生等のWHOで発言力のある有力な講師である事が必要。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	結核対策医師
2. 派遣期間	未定(派遣専門家の都合に合わせて)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的及び具体的指導内容	(1) 第一期ORの最終評価にかんするアドバイス、 (2) 第二期ORに関する評価、指導、 (3) サーベイに関する検討、 (4) NTP立案に関する指導、
6. 必要とする携行機材、額	
7. その他備考	NTP立案の可能な高度の専門家が必要とする。

専 門 家 派 遣 計 画 表

専門家派遣計画表

1. 指導科目	医学統計専門家
2. 派遣期間	1991/ 8/ 1-1991/9/ 1 1991/12/15-1992/1/15
3. 当初計画での位置づけ	(1) NTC, RTC外来部門へのコンピューター技術と統計技術の導入、 (2) NTC, RTCの薬剤その他必要資材の合理的管理、 (3) ナショナルサーベイに向けてのパイロットサーベイでのコンピューター技術と統計技術の導入、 以上、NTC, RTC運営の合理化とナショナルサーベイの実現の為に必要である。
4. 先方の希望内容	上記と同じ。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	(1) dBASEIII 又 RBase Pro を使用して、NTC, RTCの日常業務の管理、ナショナルサーベイに必要なアプリケーションソフトを開発する、(2) アプリケーションソフトを使用してNTC, RTC外来部門の合理化、薬剤その他資材の管理、ナショナルサーベイに必要なコンピュータ業務をするオペレータの養成。
6. 必要とする携行機材、額	RBase Pro を使用する時は RBase Pro のソフト (IBM用) が必要。 IBMパソコン2台、ハードデスクはNTC, RTC, ナショナルサーベイ用の3台が必要。その他、付属品。
7. その他	現在NTCにはdBaseのソフトあり。しかし、RBase Pro はプログラム自動作製機能を持っており、各種アプリケーションが簡単に出来る。訓練が容易である。何れにしても、医学統計の専門家であり、アプリケーション開発に充分経験のある事が必須の条件である。

1. 指導科目	機器メンテナンス
2. 派遣期間・時期	6ヶ月 ・ 1991年9月
3. 当初計画 (TS1) と全体計画での位置付け	当初計画では派遣予定がない。しかし、NTC・RTCは多くの医療機器が設置されている。ネパール国内では、これら機器の保守・管理が出来ないのが最大の問題となっている。NTC・RTCでも同様の状況が考えられ、上記専門家の派遣は必要である。
4. 先方の希望内容	ネパール側も、メンテナンスが問題となると考えており派遣を希望している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	NTCならびにRTCに設置されている医療機器の保守・管理を目的とする。 主に、X線装置および検査機器が故障した場合、故障箇所を発見し修理できるよう指導する必要がある。しかし、種々の問題があり容易ではないが、故障内容を正確にFAX等でメーカーに伝達し、指示内容を正確に実施できる能力は最低限必要である
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ネパール王国結核対策		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		細菌検査	インキュベーター	1
顕微鏡				1,500
		輸送費		
		合計		2,600
供与の目的		インキュベーター NTCに於ける培養、および薬剤感受性試験に使用し、中央検査施設としての検査体制を整えて行く。 顕微鏡 結核対策を全国的に拡げてゆく為、DPHO、HPに配布し、検査体制を整えてゆく。		
<ul style="list-style-type: none"> 全体計画における位置付け 今回供与の主要眼点 技術移転上の役割 緊急性 				
現地調達可否		インキュベーター、顕微鏡共に不可		
A470-A取付状況		(1) 一括取付中		

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ネパール王国結核対策		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
			バイク 90cc	2台
バイク 50cc			2台	200
		抗結核薬		10,000
		合計		10,500
供与の目的		(1) Operational Researchと結核サーベイを遂行するに際して、ネパールの地理的条件、交通網の未発達の状態を考えるとバイクの供与は必要不可欠である。 (2) プロジェクトの実施に必要な抗結核薬であり、その供与はR/Dに明記されている。		
<ul style="list-style-type: none"> 全体計画における位置付け 今回供与の主要眼点 技術移転上の役割 緊急性 				
現地調達の可否		(1) 可 (一部機器は可能)		
A470-A取付状況		(1) 一括取付済		

平成2年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ネパール王国結核対策		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
			キャノンコピー機(NP-155)用 ドラム トナー	5本 2ダース
		輸送費		
			合計	100
供与の目的	無償資金協力により供与されたキャノンコピー機用のパーツである。保健衛生教育用教材のコピーが多数必要であり、コピー機の使用頻度が高く、パーツの供給が必要である。			
・全体計画における位置付け				
・今回供与の主眼点				
・技術移転上の役割				
・緊急性				
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能)			
A474-4取付状況	(1) 一括取付済			

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ネパール結核対策プロジェクト			
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)	
	放射線分野		X線フィルム 14×14	5000	1,659
現像液、定着液 等			72	213	
自動現像機			1	4,000	
撮影用ベッド			2	60	
間接撮影用プロテクター			1	100	
増感紙			20	299	
ロールフィルム 100mm×23M			110	1,122	
X線フィルム 12×10			300	63	
輸送費					
			合計		7,606
供与の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け NTCおよびRTCはX-rayスクリーニングの診療体制であり、X-ray部門は重要な位置付けとなっている。 ・今回供与の主眼点 X線診断結果を出来るかぎり早く被検者に伝えることを主眼とする。 ・技術移転上の役割 タンク現像の場合、写真の仕上りは不均一となることがある。自動現像機の場合、機械の設定条件により現像されるため、写真の仕上りは均一となり診断も容易になる。 ・緊急性 3年9月までに供与する必要あり。 				
現地調達の可否	(1) 可 (2) 否				
A474-4取付状況	(1) 一括取付済 (2) 3年1月取付予定				

プロジェクト名：ネパール王国結核対策

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	X線フィルム 14x14 12x10 100x23mm	2,844 千円	N T C、R T Cのクリ ニックで使用する。	無	可能	特になし	
2	現像液 (20L) 30Box 現像補充液 (20L) 30Box 定着液 (20L) 12Box	213 千円	同じ	無	可能	特になし	
3	自動現像機 (220W, 50Hz) 機種検討中	4,000 千円	N T Cでは年々患者の 発見が増加しており、 X線フィルムの現像が 外來能率化のネックに なっている。	有	可能	英文サービスマ ニュアルの添付 必要	現機用現像液 12 box 定着液 12 box 現像液スターター 5 box 間接用オートフィーダ 1 set 水洗フィルター 10 個 現像フィルター 10 個 スペアキット 1 set
4	増感紙 TOSHIBA E-20 14x14 12x10	299 千円		有	可能	特になし	
5	間接撮影用プロテクター (ミラーカメラフーフ支柱に取 り付け可能のタイプ) 1台	100 千円		無	可能	特になし	
6	撮影用ベッド N T C 1 pc. R T C 1 pc.	60 千円		無	可能	特になし	
7	インキュベーター 1台	1,100 千円	結核菌培養検査に必要	有	不可		
8	キャノンコピー機 NP-155用ドラム 5本	20 千円	衛生教育等資料の作成 に必要	有	不可		
9	キャノンコピー機 NP-155用トナー 2ケース	80 千円	上記と同じ用途	有	不可		
10	顕微鏡 10台	1,500 千円	結核菌検査	有	不可		
11	バイク-90cc. 2台 バイク-50cc. 2台	500 千円	O/R、結核サーベイで フィールド活動に必要	無	可能		
12	抗結核薬	10,000千円	O/Rで使用、抗結核薬 の提供はR/Dで協定済	無	可能		

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地セミナー
2. 目的 必要性 緊急性 先方が負担出来ない理由 効果	<p>(1) 政府高官、医療技術関係行政官、結核対策関係者の結核対策知識と技術の普及。</p> <p>(2) ネパール全国レベルでの同一内容の対策を遂行する為に必要。</p> <p>(3) ネパールはS A A R Cでの結核担当国である。1992年からN T C内にS A A R C事務局を開設する事になっており、関係者の結核対策知識のレベルを上げる必要に迫られている。</p> <p>(4) ネパール政府の財政は印度ネパール紛争、所謂デモクラシーの影響もあり、非常に厳しい状況にあり、ネパールがセミナー費用を負担する事は困難である。</p> <p>(5) 保健行政、結核担当行政官にたいする結核対策知識の普及は今後のネパール更にS A A R C各国の結核対策を遂行する上で極めて大きな効果をもたらすものと考えられる。</p> <p>(6) この機会を利用し、I U A Tからツベルクリナーを招聘し、ツベルクリン標準判定者を育成し、結核サーベイに備える予定である。</p>
3. 計画・経費	<p>セントラル、西部の二つの地区においてセミナーを開催する予定である。特にセントラル地区のセミナー開催時にはI U A T (オランダ) からツベルクリナーを招聘する予定である。</p> <p>セントラル、西部各地区のセミナー出席予定者数は各70名である。</p> <p>経費 セミナー開催費 1,000X2=2,000千円 ツベルクリナー招聘費 600千円</p> <p>合計 2,600千円</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	結核知識普及												
2. 目的 必要性 先方が負担出来ない理由 効果	<p>結核の知識の普及 我々の実施したO/Rの結果では受診後一か月以内の死亡が結核登録者の1/3を占めた。この結果は結核の早期受診の重要性を示しており、それを徹底するために、結核に関する知識を啓蒙する必要がある。</p> <p>1991年はプロジェクト最終年度に当たるので、結核対策のキャンペーンを大きく行ないたい。</p> <p>N T C健康教育予算は僅か25万円である。</p> <p>カレンダー、ビデオ等は視聴覚教材として関心をもって見られている。ラジオは国民の3/4が聞いている。マッチ箱はU N I C E Fも用いた方法であり、安価で多くの国民が手にするものである。ステッカーも、この国では珍しく人々が欲しがらるものである。</p>												
計画・経費	<p>技術普及広報費</p> <table> <tr> <td>カレンダー</td> <td>1,000 千円</td> </tr> <tr> <td>ビデオ制作</td> <td>1,000 千円</td> </tr> <tr> <td>ステッカー</td> <td>1,300 千円</td> </tr> <tr> <td>マッチ箱キャンペーン</td> <td>1,200 千円</td> </tr> <tr> <td>結核キャンペーンソング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>のラジオ放送費</td> <td>1,000 千円</td> </tr> </table> <p>総計 (5,500 千円)</p>	カレンダー	1,000 千円	ビデオ制作	1,000 千円	ステッカー	1,300 千円	マッチ箱キャンペーン	1,200 千円	結核キャンペーンソング		のラジオ放送費	1,000 千円
カレンダー	1,000 千円												
ビデオ制作	1,000 千円												
ステッカー	1,300 千円												
マッチ箱キャンペーン	1,200 千円												
結核キャンペーンソング													
のラジオ放送費	1,000 千円												

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術交換 (印度バンガロー結核研究所)
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出 ・来ない理由 ・効果	ネパールはS A A R C域内において結核対策の担当責任国と決められており、1992年にはN T C内にS A A R C事務所が開設される事が決定した。N T Cもそれを予定して設立された。それに先立ち、現在S A A R C域内である印度のバンガロー結核研究所を視察し、技術交換及びS A A R C域内の結核対策のあり方について、意見交換をする事は極めて重要である。
3. 計画・経費	<p>時期 1991年7月頃 (5泊6日)</p> <p>出張者 N T C側 4名 J A T側 4名</p> <p>経費 域内旅費 旅費 50,000x8 = 400,000 円 弁当、宿泊費 10,000x8x5= 400,000 円 現地活動費 200,000 円 資料送付費 20,000 円</p> <p>合計 1,020,000 円</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	国際会議派遣
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出 ・来ない理由 ・効果	結核対策のためには保健教育が極めて重要である。1991年6月フィンランドのヘルシンキで開かれる第14回国際保健教育会議に出席し、 1) 結核対策のための国際的戦略と結核対策計画、 2) P H C従事者による効果的保健教育と予防の実際、 3) 患者のための保健教育、等について勉強し、将来S A R Cのトレーニングセンターの中核になる保健婦養成のための国際的知識、感覚を身につける。保健教育関係予算は政府から支給されない。質の高いP H N養成を目的とする。
計画・経費	<p>技術交換費 会議開催時期 6月16日～6月21日 会議の参加者 J A T保健婦 2名 カウンターパート 1名</p> <p>経費 会議登録費 77,760x3=233,280円 滞在費 (9泊10日) 2号1名 231,200x1=231,200円 4号2名 196,900x2=393,800円 航空運賃 309,825x3=929,475円</p> <p>合計 1,787,755円</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	中堅技術者養成対策
2. 目的	結核対策を全国的に末端レベルまで広げてゆくためには、ヘルスポストで患者発見が出来なければならない。しかし現状では結核検査の出来るマイクロコピストが殆どない。ヘルスポストにいないため、患者発見は主として、DPHO検査室、病院で行われている。今後、より効果的に結核対策を進めてゆく為にNTCはヘルスポストのマイクロコピストを対象とした研修を計画しているが、十分な予算がない為に、多くは研修出来ない。よって、ネパール側は日本側のサポートを期待しており、我々も又サポートする事によって十分な効果が上げられるものと思っている。
3. 計画・経費	マイクロスコピスト研修 研修回数： 9回 研修人数： 10名/回 期間： 6日間/回 研修費： 9回 X 10名 X 6日 X 500円 = 270,000円 教材費： 50,000円

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト基盤整備(1)
2. 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出来ない理由 ・効果 (1) 井戸の必要性 ネパールは給水システムが不整備の為、水の供給が不安定、不十分である。更に、NTC付近は農耕地帯である為、農繁期にはNTCへの給水管が途中で切断され、水田用に起こっている。断水は不衛生のみでなく、レントゲン写真の現像や検査室での検査を不可能とし、プロジェクト遂行上大きな障害になって居る。井戸の掘削は緊急を要する。
3. 計画・経費	(1) 経費 約 12,000 千円 (見積書コピー添付) 総計 (12,000) 千円

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト基盤整備(2)
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出来ない理由 ・効果	(2) 発電機の取り替え、又は増設の必要性 NTC周辺は毎日の様に停電があり、発電機が不可欠である。無償資金協力によって設置された発電機は発電容量が小さく且つ配線のミスによりNTCの一部にしか配電出来ない。停電時にはレントゲン室、検査室の機能が停止し、プロジェクト遂行上障害になっている。
3. 計画・経費	(2) 経費 8,110 千円 (見積書コピー添付)
	総計 (8,110)千円

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト基盤整備(3)
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出来ない理由 ・効果	(3) 水中ポンプ設置 NTCの敷地は低地であるため、雨季になると床下の湧水が多く、床下の電気配線が水に漬かってしまい非常に危険な状態である。従って床下の水を常に排水する必要がある。今年度は清水建設の水中ポンプを借用し対処した。
3. 計画・経費	(3) 175 千円 (見積書コピー添付)
	(1) + (2) + (3) 総計 (20,285) 千円

現在の問題点

ネパール結核対策
December 26, 1990

1. ナショナルサーベイ

RDで決められているナショナルサーベイは諸般の事情により未だ始められていない。現時点でナショナルサーベイが必要であるか、又可能であるかを十分に検討すべきである。現在第二期ORが2地方で始まっており、脱落者の追跡をも計画して居る。医師1名はORに専念する必要があり、従って、来年早い時期に公衆衛生専門家の赴任が実現しなければ山岳地区を含むサーベイは技術的に困難ではないかと考えています。その際にはクライ地方のサーベイの可能性を考えています。

2. NTC、RTCの行政組織の問題

結核を含むPHCはRegional Office、DPHO、HPの各行政組織を通じて行なわれるのが理想的である。現実にはNTCはRegional Officeを統括している次官補とは別の次官補のもとにあり、NTCはRegional Officeを直接統括する組織になって居ない。この事からNTP遂行上のいろいろの問題が生じて居る。

RTC運営上の問題もこれに起因して居る。現在の行政組織上RTCの位置づけが明確でない。NTCのもとにあるRTCとRegional Office(地方衛生部)との関係は極めて不明確である。NTC所長は"RTCはDPHOの上であり、それを支配している"と言っているが、RTCのあるKaski州のRegional Director(衛生部長)は"RTCはRegional Officeとは関係はなく、従って、結核は我々の仕事でない"と言っている。Regional Officeは行政組織としてDPHOを統括し、DPHOはHPを統括する。従って、現在の行政機構ではNTC、RTC共にDPHO、HPに直接命令する事が出来ず、その結果、NTCはNTPを遂行する際にネパールのPHC行政に最も重要な意味を持つHPを十分に活用出来ない。HPを末端の行政組織として必要とするPHCにかんする衛生行政を国家的レベルで一元化(例えば、NTCとRegional Officeを統括する次官補を同じくする)する事が必要と思われる。

3. RTC運営上の問題点

NTCの医師はRTCに赴任する事を好まない。その結果、医師の免許を取ったばかりの若い医師がRTCの所長代理としてRTC勤務を命じられ種々の問題の原因になって居る。若いRTC所長代理が薬劑、カルテ等がなくなりNTCに要求しても無視され、補給されない。又、職員が命令に従わない等の問題が生じて居る。我々の要求により、本年12月から、上級の医師が所長としてRTCに赴任したが、3か月の期限付きであり、巡回指導団の来ネに対する一時的人事の様である。3月以後のRTC所長の人事について注目して居る。

4. NTC医師の日本での研修について

NTCの医師を日本で研修しても、NTPの為に役立っているとは思えない。日本で研修を受けた医師がRTCにすら行こうとしない。NTP遂行の為に人材の養成を根本的に見直す時期に来ている(後述)。

5. JICAは何をすべきか

NGOsでも出来る事をJICAがする必要はないのではないか、JICAでなければ出来ない仕事は何か

- (1) 結核を含むPHCを専門とする医師、マイクロスコピスト、スーパーバイザー等の人材の養成(後述)。
 - (2) 全国的な衛生教育(テレビ、ラヂオ放送、教科書)。
 - (3) 全国で8か月短期療法実現の為に援助(初年度のみ30,000千円、その後は今まで通りの10,000千円)。
 - (4) ネパールで実績のあるNGOsに対する援助。
- 等NGOsに出来ない事に重点を置くべきであると考えます。

6. ネパールおよびSAARC結核対策に当たる人材の養成について、

ネパール(又は日本)の若い医師を募集し、清瀬結核研究所で結核対策、タイ国のPHC教育センターでPHCの専門家としての教育を受けさせる。更にネパールで活動中のNGOsに依頼し、山岳地帯等厳しい条件下の土地での防疫活動の訓練を受けさせる。教育訓練期間は1年~1.5年。その後、一定の期間を山岳地帯等で結核を含むPHC活動をする事を義務づける。この間にその土地のDPHO、HPでマイクロスコピスト、スーパーバイザー等を養成し、結核対策、PHC活動の拠点を作りそれを維持する(すべてのDistrictに医師を置く事は不可能で、医師がいなくなっても結核対策を含むPHC活動が可能である様に訓練する)。一定期間(例えば3年)後、JICA専門家として採用。JICAは人材養成資金を援助すると同時に、育てた人材はJICA専門家として、ネパール、その他SAARC各国、または他の開発途上国の結核対策、PHC向上の為に人材として役立てる。ネパール人医師にとって、将来国際的に働く資格を取る事は大きな魅力であると思われる。また日本では医師は過剰気味であり、国際機関で働きたい医師も今後増加すると思われる。

7. プロジェクトの編成について

プロジェクトの編成をする場合、その国の行政組織に合わせる事が良いのではないか。ネパールでは結核対策を含むPHCはDPHO、HPで行なわれて居る。結核、家族計画の様にDPHO、HPが末端行政組織として必要なプロジェクトを統合する事により、より合理的なプロジェクトを組むことが出来ると思われる。人材の育成、機材の運搬、セミナー開催等に無駄を省き、合理的にプロジェクトを推進する事が可能になると思われる。来年度、結核対策と家族計画とが少なくとも一つの地域でプロジェクトを行なう事になったが、これは、非常に重要な意味のある試みである。成功すべく努力したい。ネパールでは上記の様にPHC行政機構が統一されて居ない。結核対策と家族計画プロジェクトの部分的ではあるが、同一地域で行なう事が成功すればネパールにおけるPHC行政の統一をはやめる効果も期待される。

4~7の問題点についてはリーダーの独断と偏見と考えて頂いて結構です。その中に、何か有用な点があれば参考にして頂ければ幸いです。

ネパール王国結核対策
チームリーダー 香川 務

9) パキスタン

イスラマバード小児病院

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		1991年度											
目標	イスラマバード小児病院を『診断・教育・研究』の中核施設として機能させる	新外来棟開棟 小児医学セミナー開催 1. 病院各部門の診療機能の充実と教育体制の確立 2. 研究活動支援											
調査団の派遣		←機材修理											
専門家の派遣	長期専門家 (1) 新生児学・リーダー (伊藤) (2) 業務調整 (関口) (3) 臨床検査 (橋本、小山田) (4) 手術室看護 (松永) (5) 小児外科看護 (瀧上)	88/12											
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 新生児ICU看護 (山木) (2) 小児外科学 (矢加部) (3) 麻酔科学 (榎木) (4) 臨床検査 (近藤) (5) 理学療法 (山中) (6) 小児看護 (7) 小児感染症学 (阪田)												
研修員	(分野、氏名等) (1) 小児神経学 (Dr. 711-7) (2) 臨床検査 (Mr. 1714) (3) 小児外科 (Dr. 72774) (4) 看護管理 (Ms. 1714)												
供与機材		▲ (仕様書提出・A4フォーム取付) ▲ 現地着希望											
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 現地セミナー開催費 (2) 応急対策費 (3)	▲申請書提出 ▲事業実施 ▲申請書提出 ▲事業実施											

項目	専門家チームの要望						備考																																								
	計画	内容																																													
(1) 調査団派遣	機材修理	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由:					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																								
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																								
		①小児外科学	矢加部 茂	3年5月頃	1ヶ月	一括取付済																																									
		②麻酔科学	榎木 康弘	3年5月頃	1ヶ月																																										
		③小児感染症	阪田 保隆	3年4月	1ヶ月	3年4月 取付予定																																									
		④理学療法	山中 善詞	3年4月	2ヶ月																																										
		⑤小児腎臓病	伊藤 雄平	3年10月	2ヶ月																																										
		⑥小児看護		3年7月	3ヶ月																																										
		⑦臨床検査	近藤 重信	3年10月	1ヶ月																																										
(3) 供与機材	30,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																													
(4) 携行機材	4,000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額(千円)</th> <th>時期</th> <th>金額(千円)</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①小児外科学</td> <td>500</td> <td>3年5月</td> <td>④リーダー</td> <td>500 4年2月</td> </tr> <tr> <td>②麻酔科学</td> <td>500</td> <td>3年5月</td> <td>⑤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③小児感染症</td> <td>500</td> <td>3年4月</td> <td>⑥</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④理学療法</td> <td>500</td> <td>3年4月</td> <td>⑦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤小児腎臓病</td> <td>500</td> <td>3年10月</td> <td>⑧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥小児看護</td> <td>500</td> <td>3年7月</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦臨床検査</td> <td>500</td> <td>3年10月</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							金額(千円)	時期	金額(千円)	時期	①小児外科学	500	3年5月	④リーダー	500 4年2月	②麻酔科学	500	3年5月	⑤		③小児感染症	500	3年4月	⑥		④理学療法	500	3年4月	⑦		⑤小児腎臓病	500	3年10月	⑧		⑥小児看護	500	3年7月	⑨		⑦臨床検査	500	3年10月		
	金額(千円)	時期	金額(千円)	時期																																											
①小児外科学	500	3年5月	④リーダー	500 4年2月																																											
②麻酔科学	500	3年5月	⑤																																												
③小児感染症	500	3年4月	⑥																																												
④理学療法	500	3年4月	⑦																																												
⑤小児腎臓病	500	3年10月	⑧																																												
⑥小児看護	500	3年7月	⑨																																												
⑦臨床検査	500	3年10月																																													

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①伊 藤 晴 通	新生児学、リーダー	88/12 ~91/6	延 長	
	②関 口 洋 史	業務調整	89/6~91/6	交 替	
	③橋 本 好 司	臨床検査	89/12 ~91/6	交 替	
	④小山田 一 法	臨床検査	89/10 ~91/6	交 替	
	⑤淵 上 桂 子	小児外科看護	90/6 ~91/6	交 替	
	⑥松 永 美 紀	手術室看護	89/6 ~91/6	交 替	
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望					備 考
	計 画	内 容				
(6) カウンターパート受入	4名を希望 早期通報分 3名 年度末通報分 1名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3チームを取り付けること！！)
		①Matloob	小児神経	3年6月	5ヶ月	
		②Iqbal	臨床検査	3年9月	7ヶ月	
		③Sher Afzal	小児外科	3年6月	6ヶ月	
		④Mumtaz	看護管理	4年1月	2ヶ月	
		⑤				
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				
		⑩				

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名: パキスタンイスラマバード小児病院

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	1,000千円を希望	0円	小児医学セミナー(当院主催のパキスタン小児科学会に合わせて)	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	3,000円を希望	0円	ガス滅菌室と手術室・ICUとの連絡通路増築工事	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		イスラマバード小児病院		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	小児外科	麻酔器 他		13,000
	臨床検査	炎光光度計 他		7,500
	小児科	酸素流量計 他		2,300
	X線	保守用部品		900
		輸送費		5,000
		合計		28,700
供与の目的	協力最終年度であり、病院機能充実に伴う、小機材の導入と、これまでの供与機材の保守用部品が主眼となっている。 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性			
現地調達可否	①可(一部機器は可能) (2)否			
A474-M取付状況	(1)一括取付済 (2)2年1月取付予定			

プロジェクト名：パキスタンイスラマバード小児病院

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スベアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	麻酔器	5,000千円		無	可		アコマ不可
2	X線用部品	900千円		無	否		
3	ふ卵器	1,500千円		無	否		
4	カウンターショック	3,000千円		有	可		
5	保温マット cf サ-モイスタフェンジャー	800千円		無	否		
6	パルスオキシメーター × 3	700×3 2,100千円		無	可		
7	外科手術室用 ホースドライヤー	600千円		無	否		
8	酸素流量計 × 40	1,400千円		有	可		
9	上記加湿ボトル × 60	600千円		有	可		
10	酸素測定器用セル × 10	300千円		有	可		
11	オートスチル	1,000千円		無	否		
12	電気メス	1,500千円		有	可		オリンパス
13	炎光光度計	5,000千円		有	可		コーニング
14							
15							

専門家派遣計画表

1. 指導科目	小児外科学・麻酔科学
2. 派遣期間・時期	1ヶ月 3年5月頃
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIに準ずるものであり、既に実績もある。
4. 先方の希望内容	現行のままで可
5. 派遣目的および具体的指導内容	1) 外科・麻酔科の技術及び学問的指導 2) 手術室におけるスタッフ相互の協力の意義の指導 3) 手術室と病棟の連携及び術後管理
6. 必要とされる携行機材・額	技術移転に関わる諸器具 1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	小児腎臓病学
2. 派遣期間・時期	
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIに準じているが、C/P不在のため予定からは遅れた時期となった。
4. 先方の希望内容	小児に特異な腎臓病の管理に対する助言・指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	1) 腎臓病の管理についての技術移転 2) 腎透析技術の移転 3) 研究活動への手ほどき
6. 必要とされる携行機材・額	技術移転に関わる器具類 500千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	理学療法
2. 派遣期間・時期	
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSI に準ずる、今年度初めて派遣を載いたが、評価は極めて高かった。
4. 先方の希望内容	現行通り
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児の理学療法
6. 必要とされる携行機材・額	技術移転用諸器具 1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	小児感染症学
2. 派遣期間・時期	3年4月頃より1ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	本國小児疾患の主体をなす分野であり、意義は大きい。
4. 先方の希望内容	診療・教育はもとより、研究活動の助言・指導を望んでいる。
5. 派遣目的および具体的指導内容	1) 感染症の治療効果向上 2) 研究活動への Supervise
6. 必要とされる携行機材・額	技術移転に関わる器具類 500千円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	小児医学セミナー	
2. 目的:	<p>当院主催のパキスタン小児科学会が開催されるにあたり、日本の医学事情の紹介等を含めプロジェクトの成果を発表する良い機会である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果 <p>先方では、予算が乏しいため日本よりの講師招聘などの余裕がない。プロジェクト5年の成果と日本の業績を内外に広報することは、多大な波及効果が期待できる。</p>	
3. 計画・経費	ポスターパンフレット等印刷費 300千円 講演開催諸費 500千円 交 通 費 100千円 雑 費 100千円	総計 (1,000千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ガス滅菌室及び手術室・ICU通路	
2. 目的:	<p>89年度予算で設置されたホルマリン滅菌器は、現在、不潔区域を通過することになっているため、清潔通路が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果 <p>技術移転上もこの措置は不可欠であるが、先方が予算不足で見込が立っていない。可及的早期に必要である。</p> <p>これが完成すれば、現在の清潔区域を拡大することができ、技術移転上重要な事業である。</p>	
3. 計画・経費	工事諸費 2,800千円 雑 費 200千円	総計 (3,000千円)

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>・RDの目標が病院全体であるため、部門のプライオリティー付けに苦心している。この様な規模のプロジェクトに対しては、C/P研修のワークを増やすなど、各部門に均等な機会を与える工夫が欲しい。</p> <p>また、現地業務費の制限が病院プロジェクトの現状に促していないと思われるので、緩和をお願いしたい。</p>
先方の問題	<p>・近代病院における管理ができない。先進国とは事情が異なるため、単純に解決できないが、様々な方法で援助することは可能と考える。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
	<p>1. 相手国側の財政事情とその問題点</p> <p>本病院の昨年度の支出、今年度の予算請求額、実際の割り当てを別添資料1に示す。専門家の活動に最もかかる項目は、000従業員への給料、120機器購入費と590医薬品である。</p> <p>1) 従業員の給料：今年度要求額は、現在働いている職員に対する支払いと、保健省自らが立てた下級職員の15%ベースアップを含めた額である。現在各職員の当然の権利である福利厚生費は全員には支払われておらず、今年度全職員に当然の支払いをすれば表のような額になる筈であるのに、昨年とほぼ同額の割り当てしかない。すなわち、allowanceの一部は無期限支払い停止のままであろうし、問題は、現在充足されていないC/Pのポストに新規採用をとることが困難なことである。</p> <p>2) 機器購入及び修理：今年度の予算はわずか300万円強である。これでは数個の小機器しか買えない。</p> <p>また、無償年次供与での主要機器の保守は日本チームが主導しており、これに関しても現在の支出は大幅に少なく計上されている。実際の要請はこの10倍であるから、現在は年次供与と業務費でこれが充填されていることになる。日本の関与が無くなった場合に多少増額になることはあろうが、今後の機材保守、償却機器に対する対策等には決して充分ではないであろう。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
	<p>3) 医薬品：この項目の中には、治療薬、X線用フィルム・消耗品、検査室試薬・消耗品、医療ガス（酸素・麻酔ガス）、外科器具が含まれている。これまではこの予算項目の中での部門別割り当てがなく、年度末は、治療薬が不足するなど、大混乱を呈していた。今年度より、割り当てを決めることになったが、今年度の要請は、昨年未払い分が含まれており、実際の割り当ては、これを下回っているわけであるから、既に少なくとも同額の赤字が分かっているわけである。</p> <p>予算不足に対して病院側が取っている対策は、一部有料化である。しかし表2で示したように、現在のところ年度予算の1/10の収入である。また、貧困の無料患者に対しても、治療薬や消耗品を院外から買って来させるなど、潜在的な課徴もかなりあり、治療が遅れるなど新たな問題も生じている。</p> <p>表3には、保健省の全体予算と他の国立病院の予算を比較としてあげている。全体予算が約49億円、内43億が運営コスト、このうち約1/5が当医科学研究所にふり分けられている。さらにこの1/4が小児病院のものである。同規模の他の国立病院は当医科学研究所の50-60%の予算で賄われていることになり、全体予算が増えない限り当病院の予算増額も困難であろう。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
<p>問題点</p>	<p>2. 財政上の問題の影響と我が国の対応 以下プロジェクト施行上の問題点と考えられる対策について述べる。</p> <p>1) C/Pの員数不足と能力不足 予算不足により、技術移転の対象になる人員の十分な配置が出来ない。新規雇用の制限の他、首都圏の物価高騰による住宅不足、交通の問題にも潜在的につながっている。このため、公共医療セクターでの人材不足は深刻で、たとえ予算を確保しても現在の状況では優秀な人材を集めにくい。</p> <p>さらに一般学校教育の問題が、専門技術移転の足かせとなることも少なからず経験されている。</p> <p>2) 機材の不足 予算不足により充分数の優良機材が購入できないだけでなく、低廉な機材は寿命が短く、悪循環となっている。技術移転が完了しても、試薬、器具の補給がないために、技術が利用されなかったり、維持できないこともある。また公共機材に対して粗雑な扱いが多く、消耗も早い。公共病院の小器具を私立の病院に移動させる例も取り沙汰されている。罰則はもろ刃の刃であり、移転技術の発展を妨げることもつながるため、現在は施行出来ないでいる。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
	<p>3) 機材の保守 前述の予算不足は、単純に物品が買えないという問題ばかりではなく、修理がなかなかできないという問題にもつながっている。保守要員の基礎教育の欠如のため、比較的単純な修理にも信頼がおけない。単純に要員を配置するという発想では解決できない問題である。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
対 策	<p>グループ・トレーニングの再考：現在、内容種類共に素晴らしいと思うが、職種によっては日本のレベルに比べ開きがありすぎ、ついていけない例も経験している。特別な前教育の導入など、より柔軟な対応をして頂ければ、より効果が大いのではないだろうか。個別研修へグループ研修の方法を指針として呈示することも考えて載きたい。</p> <p>教育指針ないしは基礎教育マニュアルの作成：医療エンジニアに対する電気の基礎、看護婦への計算の指導など、専門技術以前の問題を克服するため、基礎教育の指針を作ることができるのではないだろうか。</p> <p>広域保健医療分野での戦略転換：現在広域医療の普及で障害となっている要素に、雇用費、薬品購買費の不足といった、比較的国際協力機関には支出しにくい部分がある。マルチやNGOとの連携あるいは廉価で長期的な無償協力など新しい方法の開発を望む。</p> <p>病院プロジェクトに於ける協力形態の見直し：予算の配置、機材の保守管理など、病院の自立には、より長期的展望に立った協力が必要であると痛感している。</p> <p>また、日本研修の効果はかなり大きく、研修員帰国後の波及効果も大であることから、研修枠の拡大、研修予算の多人数への分配など、より多くの人数に研修の機会が与えられることを希望している。</p>

(10) パキスタン

看護教育

		1991年度																							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
目標	1)看護管理・教育 2)ICU/CCU看護 3)公衆衛生看護 4)学校運営・管理 5)視聴覚教材製作技術 6)小児看護	1)1-1 カリキュラムの整備 1-2 教授法の技術移転 1-3 教材作成												3)3-1 臨地実習方法の指導 3-2 カリキュラムの改善 3-3 教材作成											5)5-1 編集機材の活用方法及び保守管理の技術移転 5-2 視聴覚教材の製作技術指導
		2)2-1 カリキュラムの整備 2-2 教材作成 2-3 教授法の技術移転 2-4 実習場の整備・技術移転												4)4-1 効果的の学校運営の技術移転 4-2 物品保守・管理方法の技術移転											6)6-1 小児保健指導領域の技術移転 6-2 カリキュラムの再検討及び改善 6-3 教授技術向上のための技術移転
調査団の派遣																									
専門家の派遣	1)チーム・リーダー 2)看護管理・教育 (永 雄) 3)ICU/CCU看護 (山 崎) 4)公衆衛生看護 5)小児看護 6)調整員 (小野寺)	(リクルートできしだい) (90/12/10) (90/6/18)																						92/6 92/6 92/6 92/6 92/6 92/6	
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 視聴覚製作技術: 平井 朗 (2) (3) (4) (5) (6) (7)																							1991年11月 (3ヶ月)	
研修員	(分野、氏名等) (1) 看護管理・教育 (2) 視聴覚教材製作技術 (3) 公衆衛生看護 (4) ICU/CCU看護	現在選考中												現在選考中										92/7 92/7 92/7	
供与機材																								▲仕様書提出	
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 現地セミナー検討中 (2) (3)																							▲現地着希望 ↔ 2日間	

項目	専門家チームの要望						備考																		
	計画	内容																							
(1) 調査団派遣	評価調査団	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由:					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																		
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと 長期派遣が無理であれば短期の派遣を希望する。																		
		①視聴覚教材製作技術 ② ③公衆衛生看護 ④小児看護 ⑤ ⑥ ⑦	平井 朗	1991年11月より	約3ヶ月	送付済																			
(3) 供与機材	25,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																							
(4) 携行機材	千円を希望 検討中	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと</th> </tr> <tr> <th>金額</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>⑬</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと		金額	時期	①	⑧	②	⑨	③	⑩	④	⑪	⑤	⑫	⑥	⑬	⑦		
専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと																									
金額	時期																								
①	⑧																								
②	⑨																								
③	⑩																								
④	⑪																								
⑤	⑫																								
⑥	⑬																								
⑦																									

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 小野寺 良明	調整員	1990.6.18 ~ 1992.6.30	任期延長なし	} 長期が無理であれば、短期の派遣を希望する。
	② 永 雄 邦子	看護管理・教育	1990.12.10~ 1992.6.30	任期延長なし	
	③ 山 崎 房子	ICU/CCU看護	1990.6.18 ~ 1992.6.30	任期延長なし	
	④ 現在未定	チーム・リーダー	出来るだけ早い時期		
	⑤ 現在未定	公衆衛生看護	出来るだけ早い時期		
	⑥ 現在未定	小児看護	出来るだけ早い時期		
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)
	早期通報分 名	①未定	看護管理	1991年9月	10ヶ月	現在選考中	
	年度末通報分 名	②Tanveer Ahmad Malik	視覚教材製作技術	1991年5月	6ヶ月		
		③未定	公衆衛生看護	1991年9月	10ヶ月	現在選考中	
		④未定	ICU/CCU看護	1991年9月	10ヶ月	現在選考中	
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		⑨					
		⑩					

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：パキスタン看護教育プロジェクト

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	0円		
②技術普及広報費	千円を希望	0円		
③現地セミナー開催費	500千円を希望	0円	検討中（クリティカル・ケアについて）	
④技術交換費	千円を希望	0円		
⑤応急対策費	千円を希望	0円		
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	0円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	0円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

専門家派遣計画表

1. 指導科目	チームリーダー
2. 派遣期間・時期	1992年6月30日迄 出来るだけ早い時期の派遣を希望する。
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	1990年6月末に前任者が帰国したので、後任者の早期派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	看護管理・教育に造詣が深く、看護教育機関の運営・管理に関する助言・指導の出来る専門家を希望する。
5. 派遣目的および具体的指導内容	・学校関係者（特に校長）と共にプロジェクト達成のため、管理・運営の技術指導を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	公衆衛生看護
2. 派遣期間・時期	1992年6月30日迄 出来るだけ早い時期の派遣を希望する。
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	1990年6月末に前任者の任期が終了したので、後任者の派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	臨地実習及びカリキュラム改善に際し助言・指導の出来る専門家の派遣を希望する。
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>本国の保健医療事情により、今後、ますます多くの公衆衛生看護従事者を養成していく必要がある。</p> <p><具体的指導内容></p> <p>①臨地実習方法（計画・実施・運営）についての指導</p> <p>②カリキュラムの検討及び改善</p> <p>③ 公衆衛生看護教育のための教材作成</p>
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	小児看護
2. 派遣期間・時期	1992年6月30日迄 出来るだけ早い時期の派遣を希望する。
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	1990年6月末に前任者の任期が終了したので、後任者の派遣を希望する。
4. 先方の希望内容	本国の保健医療事情に則した看護内容にカリキュラム改善ができ、小児保健領域に於いても助言・指導のできる専門家の派遣を希望する。
5. 派遣目的および具体的指導内容	本国の保健医療事情に則した小児看護開発のための助言・指導を行なう。 ①カリキュラムの改善 ②小児保健領域の充実 (本国の実情に則した内容に) ③教授法の指導・助言 (特に臨床実習指導方法において)
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	視聴覚教材製作技術
2. 派遣期間・時期	1991年11月頃から3カ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	現在活用している編集機材の効果的利用及びフォロー・アップ
4. 先方の希望内容	視聴覚教材の作成技術及び、編集機材の操作・保守管理の技術移転
5. 派遣目的および具体的指導内容	視聴覚教材の作成技術、A/V用編集機材の応用操作、効果的利用、保守管理の技術移転
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地セミナー（案）
2. 目的：	<ul style="list-style-type: none"> ・クリティカル・ケアの概念の普及、及びパキスタンにおけるクリティカル・ケア検討の機会とする。 ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果
3. 計画・経費	<p>時 期：1992年2月頃（2日間）</p> <p>対 象：看護婦及び、医療従事者 （パキスタン全土）</p> <p>形 式：パネルディスカッション形式 パネラー：5～6名</p> <p>交 通 費：100,000円</p> <p>日当宿泊費：200,000円</p> <p>運 営 費：200,000円</p> <p>総計（500,000円）</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>プロジェクト開始後、約3年が経過した現在、College of Nursingは一応の形を整え、教育機関として機能し始めている。</p> <p>フォロー・アップの段階においては、学校管理・運営面の整備と前回専門家が派遣されなかったコースのカリキュラム作成、教材作成及び教授法の指導等の技術移転が特に主要な課題と考える。</p>
#1	<p>しかし、現在、チーム・リーダーが派遣されておらず、学校運営・管理の技術移転が十分に行なえない状況が続いている。また、専門家はICU/CCU看護及び看護管理・教育（1990年12月より）コースに派遣されているが、パキスタンにおいて特に必要と考えられる公衆衛生看護及び小児看護の専門家がいないため、フォローアップができない状態が続いている。現在派遣されている専門家も、学校運営等から派生する問題に手をとられがちで専門分野に十分な時間を費やせない状況にあるので、至急チーム・リーダー及び専門家の派遣されることを希望する。</p>
#2	<p>パキスタン側の予算配分が不十分であるため、①教員定数に欠員がある。②物品保守管理に支障をきたしている。③実習教材の運用資金が不足しているため教材の活用を控えようとする姿勢が見られる。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点 #3	<p>学生数が定数に満たない。</p> <p>その理由として、①看護婦数の不足や修学金の問題で一年間離職することが困難である。②卒業後直接的な特典が保障されていない。③その他、本学の教育内容が十分に知られていないことや、本国の医療事情と設置コースの専門性を必要とするレベルに至っていないこと等が考えられる。</p>
#4	<p>看護教員の不足（質的・量的側面）</p> <p>①予算との関係上増員困難</p> <p>②正規に登録されている教員は医師のみである。</p> <p>③看護教員（カウンターパート）の大部分は主婦であり、仕事と家事の両立が困難な状況にある。そのため計画的に一貫した技術移転を行なうのに支障をきたす一因となっている。（家族の拘束と社会的慣習）</p>
#5	<p>臨床実習場での看護の水準や看護婦の地位は低く、医師中心の体制が顕著である。</p> <p>医師のアシスタント的看護体制が続いている。</p> <p>看護知識・技術は専門性を発揮出来る程高くはなく、ただ医師のオーダーの下に働いている状況である。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点 #6	<p>看護大学内部の人間関係がうまくいっておらず校長を中心とした組織的、一貫した協力がほとんど得られない状況となっている。</p> <p>・カリキュラムに必要な情報、学生に関する事、授業の進度に関するなどほとんど情報が得られない状況である。</p> <p>・医師・看護婦間・宗教の違いによる問題・学歴差による差別などに起因したconflicts が教員間に存在している。</p>
#7	<p>プロジェクト専門家の交代により、（前任者全員が帰国し、新任者が担当することになった）以前の経過がわからず適切な対応が出来ないことがある。</p>

(11) フ ィ リ ピ ン

食 品 医 薬 品 検 定 セ ン タ ー

平成2年度・3年度年間計画

項目	項目 2	平成元年度前	平成2年					平成3年					平成3年度以降
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
専門家の派遣	リーダー	氏家53/5/25	2Y										03/7/24
	調整員	田坂62/4/25	浅野02/5/17 4Y 3M										03/7/24
	動物飼育管理	中曾62/10/7											03/7/24
	" (動物繁殖)		赤羽 (ウサギ) 4/6 → 4/20					1M → (モルモット) 1M → (ウサギ) 1M → (動物検疫)					
	動物実験	西垣01/10/25	水野 (抗生物質) 7/22 → 8/11					3W → (食中毒) 石綿 (容器包装) 12/6 → 2/5 豊田 (マイコトキシン) 1/25 → 2/3					03/7/24 森野 小野or水谷
	微生物												
	食品理化学分析												
	"												
	医薬品理化学分析	三浦01/12/18	小室 7/10 → 8/10					坂上 10/17 → 12/20 (医薬品機器分析・標準品製造) 岡田 10/17 → 10/26 斎藤 (化粧品分析) 木島 10/12 → 12/11 1/10 →					03/7/24
	化粧品分析 監視管理 (食品)		酒井 7/11 → 8/7					中崎 4W 2W 2W					衛試 武田明治 厚生省食品保健課 大阪府薬務課
" (医薬品)		柳田 7/11 → 7/25 芝野 7/11 → 7/25											
調査団							評価						
機材供与	(60,000千円)	実施協議					契約 納品・送付						
各種事業													
カウンターパート	1. 実験動物飼育管理 (生物検定・毒性試験) 2. 食品添加物 3. 食中毒 (自然毒性) 4. 医薬品分析 (安定性試験) 5. 薬品行政 6. 輸出入食品検査		Ms. E. Garcia 9/20					(森野研究所) 02/12/6					03/3/20
		Ms. M.V.B. Paburua 5/15	(国立衛生試験所食品添加物部)										
		Ms. M.U. Martinez 5/15	(国立衛生試験所食品部)										02/12/6
		Mr. E.J. Villeda 5/15	(国立衛生試験所薬品部)										02/12/6
								Ms. M. K. Arana → 2M ~ 3M (大阪府環境保健部薬務課) Ms. H. D. Sevilla → 1M					
	5ヶ年計画 有・無	国内委員会等 開催日	新リーダー 派遣前5/17					氏家リーダー 帰国報告6/29					評価方針協議 リーダー会議

* JICA 集団研修コース
** JICWELS 薬事行政専門家研修

フィリピン国食品医薬品検査センタープロジェクト物定実施計画進捗状況 (□:計画 ■:実施済)

	FY1986	FY1987	FY1988	FY1989	FY1990	FY1991	
国費国費	'86.7 実施計画	'87.12 計画打合せ	'88.12 巡回指導	'90.2巡回指導	エバリュエーション		
経済協力人民	食物教育: '86.10	'87.3 実践食物教育・管理		実践食物教育・管理			
	食物実験:	'87.10 生物検定		'89.7 生物検定	'90.9 生物検定・毒性試験		
	微生物学:	'87.10 巡回試験・検定	食中毒細菌 抗生物質・非菌類薬剤	'89.7 食中毒細菌			
	食品分析:	'87.5 食品添加物	'88.11	'89.4 容器包装	'90.5 食品添加物		
	医薬品分析:	'87.3 薬 品		'89.3 薬 品	'90.5 食中毒		
	監視・管理:	食品(薬品) '86.9	食品(薬品)	食品(薬品) '88.8	食品(薬品)	'90.5 安定性試験	
	その他:		医薬品(厚生省) '88.4 (2)	医薬品(厚生省) '88.6 (2)	医薬品(厚生省) '90.3(2)	食品(薬品)食品(薬品): JICA薬品コース 食品(薬品): JICA薬品コース 行政専門実習所	
専門実習生	チームリーダー: '87.4	'88.5	'90.5				
	河原口:	'87.4					
	食物教育:	'86.11	'87.10 食物管理	食物管理	食物管理	食物管理(調理現場?)	
	食物実験:	'86.11(2)	'88.5 (2) (マウス・ラット)	'89.3 (マウス・ラット)	'90.4 (ワサキ)	'90.7 (モルモット) (ワサキ)	
	微生物学:	'86.11	リーダー 微生物	'88.8 抗生物質	'89.10 抗生物質・微生物	'90.7 抗生物質 微生物	
	食品分析:	'86.11	カビ・電子顕微鏡 '87.9	'88.11 カビ・電子顕微鏡		'90.12 食品添加物	
	医薬品分析:	'86.11	'87.2 食品分析	'88.10 薬 品	'89.12 医薬品化学分析	'91.1 マイコトキシン	
監視・管理:	'87.2	'87.5 医薬品化学実習会	'88.1 化学分析	'89.8 医薬品化学分析	'90.7 医薬品化学分析・検体検査 化学分析		
実施員数	53,000千円	62,000千円	65,000千円	69,000千円	80,000千円		

		1991年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
目標	1) 動物実験 (毒性学) 2) 医薬品理化学分析 3) 動物飼育管理	1) 動物実験 (毒性学) 1-1 亜急性毒性試験 2) 理化学分析 (医薬品) 1-1 化学分析一般技術指導 1-2 薬用植物の研究指導					3) 動物飼育管理 1-1 病原微生物モニタリング (モニタリング手技の獲得 手方の確立・細菌培養 反応・ウイルス抗体検査 などを目標とする)					1-2 モルモット繁殖とケージの決定 1-3 飼料の品質管理 1-4 床敷の品質管理 1-5 交配方法の確立 1-6 施設管理の検討		
調査団の派遣	(延長計画打ち合せ)	→												
専門家の派遣	長期専門家 1) リーダー (浅野) 2) 調整員 (田坂) 3) 動物飼育管理 (中倉) 4) 動物実験 (西田) 5) 医薬品理化学分析 (三浦)	90/5	→	→	→	→	91/7							
	短期専門家 (分野、氏名等)	平成2年度繰り越し (3ヶ月間) 平成2年度繰り越し (3ヶ月間)												
	(1) 微生物 (食中毒)	91/4 → 91/6												
	(2) 動物繁殖 (モルモット)	91/4 → 91/7												
	(3) 眼毒性学 (ラット)	91/5 → 91/6												
	(4) 病理標本作製	91/5 → 91/7												
	(5) 血清電気泳動	91/5 → 91/6												
	(6) 薬用植物	91/5 → 91/7												
	(7)													
研修員	(分野、氏名等)	(HPLC, GC/MS研修) 91/4 → 91/5					※ 延長の場合は機器修理専門家を希望する。							
	(1) 機器保守 (2名)	(HPLC, GC/MS研修) 91/5 → 91/6												
	(2) 動物生産&病理学	1年間 91/6 → 92/5												
	(3) EDGAR L. CALBITAZA													
	(4)													
供与機材	30,000千円	▲仕様書提出						▲現地着希望						
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 技術普及広報費 (2) 応急対策費 (3) プロジェクト基盤整備費	▲申請書提出 ▲申請書提出 ▲申請書提出 (資料添付)					(▲事業実施) (▲事業実施) (▲事業実施)							

(延長点)

項目	専門家チームの要望						備考																																				
	計画	内容																																									
(1) 調査団派遣	6月頃希望	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由: 1. 延長計画打合せチーム希望(7月で終了のため) 2. 機材の保守管理専門家派遣希望(空調関係)					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																				
(2) 短期専門家派遣	1名 1名 1名 1名 1名 1名	分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																				
		①微生物(食中毒)	赤羽氏 (北山ラベス)	91.3~5	3ヶ月	No. 863756 口上書使用																																					
		②動物繁殖(モット)		91.3~5	3ヶ月	"																																					
		③眼毒性学(ラット)		91.4~6	3ヶ月	"																																					
		④病理標本作製		91.4~7	4ヶ月	"																																					
		⑤血清電気泳動		91.5~6	2ヶ月	"																																					
		⑥薬用植物		91.5~7	2ヶ月	"																																					
		⑦				(Sep. 24. 1986) サイン済																																					
(3) 供与機材	30,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																									
(4) 携行機材	1,700千円を希望	<table border="0"> <thead> <tr> <th colspan="2">専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと</th> <th>金額</th> <th>時期</th> <th>金額</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①遠心機用比重計</td> <td>30,000</td> <td rowspan="7">1991年度 5月頃迄</td> <td rowspan="7">⑧ビペットコンテナ</td> <td>38,000</td> <td rowspan="7">1991年度 5月頃迄</td> </tr> <tr> <td>②包埋カセット</td> <td>210,000</td> <td>⑨ビペットスタンド</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>③固定用瓶</td> <td>80,000</td> <td>⑩解剖器具</td> <td>150,000</td> </tr> <tr> <td>④プラスチック瓶</td> <td>7,000</td> <td>⑪スタンド</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>⑤コンテナ</td> <td>16,500</td> <td>⑫自動包埋用スワーカー式</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>⑥コマゴメビペット</td> <td>6,000</td> <td>⑬モルモット繁殖専門家</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td>⑦ホールビペット</td> <td>18,000</td> <td colspan="2">の携行機材</td> </tr> </tbody> </table>						専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと		金額	時期	金額	時期	①遠心機用比重計	30,000	1991年度 5月頃迄	⑧ビペットコンテナ	38,000	1991年度 5月頃迄	②包埋カセット	210,000	⑨ビペットスタンド	17,000	③固定用瓶	80,000	⑩解剖器具	150,000	④プラスチック瓶	7,000	⑪スタンド	20,000	⑤コンテナ	16,500	⑫自動包埋用スワーカー式	100,000	⑥コマゴメビペット	6,000	⑬モルモット繁殖専門家	100,000	⑦ホールビペット	18,000	の携行機材	
専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと		金額	時期	金額	時期																																						
①遠心機用比重計	30,000	1991年度 5月頃迄	⑧ビペットコンテナ	38,000	1991年度 5月頃迄																																						
②包埋カセット	210,000			⑨ビペットスタンド		17,000																																					
③固定用瓶	80,000			⑩解剖器具		150,000																																					
④プラスチック瓶	7,000			⑪スタンド		20,000																																					
⑤コンテナ	16,500			⑫自動包埋用スワーカー式		100,000																																					
⑥コマゴメビペット	6,000			⑬モルモット繁殖専門家		100,000																																					
⑦ホールビペット	18,000			の携行機材																																							

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①三浦 孝子	医薬品理化学分析	1989.12.18～ 1991.7.24	無し	・本プロジェクト延長の可能性があれば、平成3年度の実施計画を全面的に修正しなければならない (西垣) ・大体の技術移転は終了しつつあるが、技術のレベル、理解度が低く、延長の必要性あり(中曾)
	②西垣 敏明	動物実験	1989.10.25～ 1991.7.24	プロジェクト延長の場合、希望あり	
	③中曾 正次	動物飼育管理	1987.10.7～ 1991.7.24	プロジェクト延長の場合、希望あり	
	④田坂 厚	調整員	1987.4.25～ 1991.7.24	プロジェクト延長の場合、交替	
	⑤浅野 信夫	リーダー	1990.5.17～ 1991.7.24		
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望					備考				
	計画	内容								
(6) カウンターパート受入	3名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)				
	早期通報分 1名						①未定(2名)	機器保守	未定	2ヶ月
	年度末通報分 名						②EDGAR L. CALBITAZA	動物生産・病理学	91年6月	1年
							③			
							④			
							⑤			
							⑥			
							⑦			
							⑧			
							⑨			
							⑩			

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：フィリピン国食品医薬品検定センタープロジェクト

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	1,000千円を希望	円	・クリーンベンチ・無菌フィルター交換、5ヶ所	
②技術普及広報費	3,000千円を希望	円	・生物検定試験の普及（2～3件の出張） ・生物動物の供給先の開拓のためのパンフレット作成	
③現地セミナー開催費	3,000千円を希望	円	・「毒性試験について」秦野研究所（今井清博士） 国立衛生試験所（林祐造博士）	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	3,000千円を希望	32,000千円	・空調機器のバックアップ方式を考慮した改造のため給水系統の変更	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	60,000千円を希望	円	・動物舎の空調の湿度改善（1/17に日本設計・岡田氏訪比） ・水処理装置のシステムをシンプル化する（資料添付）	
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

プロジェクト名：フィリピン国食品医薬品検定センタープロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	超音波ビベット洗浄器	26万円	各種ビベット洗浄	柴田	可		
2	粘度計用恒温水槽	48万円	(シロップ) 医薬品粘度測定	柴田	可		
3	粘度計、数種	20万円	(シロップ) 医薬品粘度測定	柴田	可		
4	HPLC W/CDD			島津	可		
5	HPLC用 low pressure pump			島津	可		
6	HPLC Detector 用 Xe lump	6万円		島津	可		
7	フィルターホルダー	2.4万円	HPLC用溶媒濾過装置	柴田	可		
8	コンピューター	100万円	資料整理	IBM	可		
9	冷却槽 (循環水槽)	22.8万円	エバポレーター冷却水	柴田	可		
10	ミニポンプ	45万円	濾過用	柴田	可		
11	溶媒蒸留装置一式	6万円	溶媒精製	柴田	可		
12	S O ₂ ガス蒸留装置一式	8万円	食品検査	柴田	可		
13							
14							
15							

プロジェクト名 フィリピン国食品医薬品検定センタープロジェクト (動物実験分)

単位=千円

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スベアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	血清自動分析装置	10,000	血清分析	有	可	一定温度下に設置	指定銘柄と期限切れに留意
2	血清検査用キット	500	血清検査	有	可		指定温度下に保存
3	蒸留水作製装置	1,500	機器分析、機器洗浄	有	可	プレフィルターの交換	指定銘柄
4	電子天秤(4台)	550	動物及び試薬測定	有	可		
5	冷凍庫(-85℃)	1,700	血清、臓器、細胞の保存	有	可		
6	滅菌装置	495	ガラス器具の滅菌	有	可		
7	クリオスタット(刀付)	3,035	病理標本作製	有	可		
8	水浴(振とう装置付)	175	血清検査	有	可		
9	ストップウォッチ(3個)	50	凝固系検査	無	可		
10	血液凝固系検査キット	200	凝固系検査	有	可		期限切れ
11	マイクローム	630	病理検査用	有	可		
12	電解質分析装置	3,800	尿、血清検査	有	可		
13	超音波発生装置	125	器具洗浄	有	可		
14	ラット5連ケージ	500	動物実験	有	否		
15	ラット代謝ケージ (15匹用、2台)	1,810	動物実験	有	否		

プロジェクト名 フィリピン国食品医薬品検定センタープロジェクト (動物実験分)
 単位=千円

機 材 実 施 計 画 書								
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項	延長后
1	軟水装置		動物飲水、特にマウス ラットの自動給水の漏 水防止		否		軟水の給水トラブル 進行中、結果 により軟水機の設置の必要あり	○
2	空調用コンプレッサー		A/C-6-1 (実験側) の 予備として		否		A/C-6-1 の除湿のためA/C 改造 がなされる場合には機種の変更 あり	○
3	円筒形 (小型) オートクレーブ		微生物モニタリングに必要 培地準備、用具の滅菌		可			○
4	クリーンベンチ		培地の調整、各種検体 の調整		否			○
5	消毒薬 第4級7%ヨウ素 3-F 塩		動物舎の消毒		否		フィリピン側が購入すべきものであ るが、現在まで現地代理店がない ため	延長前 (1991 年度)
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

専門家派遣計画表

1. 指導科目	医薬品理化学分析
2. 派遣期間・時期	1989年12月18日～1991年7月24日
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	当初計画では1年間の予定であったが、現地側からの要望により、任期延長。
4. 先方の希望内容	化学分析一般に関する技術指導を期待、尚、新しく、薬用植物の研究を始めたいので、この方面での指導を要望している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 食品、医薬品の理化学分析 2. 機器メンテナンス
6. 必要とされる携行機材・額	書籍、HPLCアクセサリ ca. 100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理組織標本作製
2. 派遣期間・時期	1991年4月より3ヶ月間
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	当初計画及び全体計画に具体的に述べられていないが、毒性試験の病理学における主要な分野である。
4. 先方の希望内容	・特に特殊染色に経験のある者
5. 派遣目的および具体的指導内容	・特殊染色標本作製のための固定法、染色法及びその原理を指導する。 ・病理学で特に緊用される特殊染色をラット諸臓器を用いて実施する。 ・実験的に疾病を発症させ、特殊染色による観察を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	簡易クリオスラット、各種染色試薬及び試薬瓶、包埋剤、各種特殊器材 1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	電気泳動
2. 派遣期間・時期	1991年5月より1ヶ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画、全体計画では具体的に述べられていないが、毒性試験の一分野である。
4. 先方の希望内容	血清電気泳動の原理、実際、診断に経験のある者
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・血清電気泳動による毒性学的診断を目的 ・各種動物血清の電気泳動による分画と染色、A/G比の算出
6. 必要とされる携行機材・額	電気泳動装置一式 約1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	眼毒性学
2. 派遣期間・時期	1991年4月より2ヶ月間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画、全体計画に具体的に述べられていないが、毒性試験の一分野である。
4. 先方の希望内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特に小動物の眼の肉眼的診断に経験のある者 ・ウサギの眼疾患についても経験があれば尚良
5. 派遣目的および具体的指導内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長期毒性試験の一環として、眼毒性の検出を目的 ・小動物の眼各所の肉眼的かつ器機を用いての診断 ・実験的緑内障の作製と診断
6. 必要とされる携行機材・額	眼底カメラ、散瞳及び縮瞳剤、フィルム、アルバム、眼内圧計、緑内障誘起剤 約1,000千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	毒性試験
2. 派遣期間・時期	1989年10月より1年9ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に基づき引き続き派遣する。
4. 先方の希望内容	・急性、亜急性、慢性毒性試験の指導。 ・生物検定試験の指導。
5. 派遣目的および具体的指導内容	・上記試験の実施による指導。 ・試験計画書の作成から最終報告書迄の各過程を指導。
6. 必要とされる携行機材・額	遠心機用比重計、病理関連器材、ガラス器具等 約70万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	実験動物の飼育・管理
2. 派遣期間・時期	1987年10月～1991年7月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	無償による動物舎の維持管理は当初フィリピン国側の役割であったが、結果的に動物生産の専門家の指導分野として強制された。
4. 先方の希望内容	動物実験に供する実験動物 (マウス・ラット・ウサギ・モルモット) の生産技術及びバリア維持技術の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	先方の希望に合致した目的 ①SPF動物の生産 ②動物舎の維持管理 ③動物の品質管理 ④動物飼料の製造 ⑤動物飼料の品質管理 ⑥滅菌機器の操作、管理 ⑦動物繁殖方式の指導
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

フィリピン共和国
食品医薬品検定センター

0-コスト負担事業計画書

- I. 事業名: プラント外盤整備費
- II. 目的: 水処理装置のシステムを自動化して、維持管理を簡便なものとする事を目的とする。
- ・必要性: 汚濁物質の流入により過負荷運転と十分な逆洗水量が確保できず、緊急に改善する必要がある。
 - ・緊急性: 緊急に改善する必要がある。
 - ・先方が負担できない理由: BFAD側ではこの件の予算は高額であり、確保する事に苦慮している為、当方の負担によって改善したい。但し、BFAD側では1991年予算に井戸に必要なポンプの購入を計上し、努力している。
 - ・効果: 食品・医薬品の安全性及び品質の確保を図る為に必要な試験・検査の充実と関連技術の向上ができる。
- III. 計画・経費: 計画としては三案あるが、工期とコストを考えると、沈澱+濾過(コンクリート)のC案を推薦致します。(水処理装置調査報告書参照)

経費: 沈澱槽工事一式	34,000,000円
井戸掃除一式	520,520円 (P. 92,950.00×5.6)
井戸掘、ポンプ購入・取り付け、	
配管工事一式	11,144,000円 (P1,990,000.00×5.6)
Total	45,664,520円

工期: 3.5ヶ月

IV. 経過報告書: 1~10参照(添付資料一覧表)

1. 1988年12月8日 ミニツ (MINUTES OF THE DISCUSSION)
2. 1989年3月31日 調査要請依頼書 (BFAD側より)
3. 1989年10月 水処理装置調査報告書
(改善案、予算¥34,000,000、工期3.5ヶ月)
4. 1990年9月 検体検数の比較表 (実績表)
5. 1990年9月 日・比予算の比較表
6. 1990年9月 1991年予算表 (フィリピン側予算)
7. 1990年9月 問題点 (汚濁物質の流入・写真添付)
8. 1990年9月 井戸掃除見積 (現地企業・P92,950.00×5.6=¥520,520)
9. 1990年9月 井戸掘、ポンプ購入・取り付け、配管工事一式見積
(現地企業・P1,990,000.00×5.6=¥11,144,000)
10. 1990年9月14日 臨時処置 (活性炭の取り替え) 結果報告・見積書
11. 1990年10月9日 フィリピン事務・宮本所長よりの依頼書
(業務公信・PP第1113号)

上記をご参照願います。

(12) スリ・ランカ

国立医学研究所

		1991年度												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
目標	①ウイルス学 ②細菌学 ③病理学 ④免疫学 ⑤実験動物 ⑥MLT教育	①ウイルス試薬製作の基礎的手技の定着と効果的利用 ②嫌気性菌による発病機構の解明とその感染予防 ③電子顕微鏡の技術定着と診断への応用 ④外科病理学の診断能力の向上 ⑤最近の血液検査法の技術定着 ⑥免疫学の基礎手技の定着						⑦実験動物の飼育種の効果的検討並びにマニュアル作製 ⑧内分泌検査法の定着 ⑨薬理学分析法の定着 ⑩検査データ・登録に基づく疫病の解明 ⑪MLT教育の改善						④
調査団の派遣	長期専門家	-----												
専門家の派遣	①林教授 (順天堂大学) ②コーディネーター川 嶋 ③電頭 小 詰 ④実験動物 中 村 ⑤病理 坂 本 ⑥MLT教育 (未 定)	---4 月着任----- -----5/31----- 3 月着任----- ---4 月着任----- -----92/5----- -----93/3----- -----92/4----- ---91/12 着任予定-----												
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 病理 大 西 (2) ウイルス 浜 田 (3) 免疫 小 島 (4) 実験動物 佐 藤 (5) 実験動物 藤 沢 (6) 薬化学 片 山 (7) 免疫 小 室	---1 カ月予定--- ---1 カ月予定--- ---1 カ月予定--- ---1 カ月予定--- ---2 カ月予定--- ---1 カ月予定--- ---1 カ月予定---												
研修員	(分野、氏名等) (1) ウイルス学 DR VITARANA (2) 生物製剤 DR WEEMALARATNE (3) 免疫 未 定 (4) 生化学 未 定	注：衛生昆虫学はMRI 側と討議 (ミッション来スの際)												
供与機材		▲仕様書提出												
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 熱帯性ウイルス疾病 W/S (2) 最近の細菌学的同定 W/S (3) 熱帯病診断技術 W/S (4) 実験動物 W/S	責(1) 五十嵐教授 任(2) 光山教授 者(3) 浜田教授 (4) 佐藤助教授												

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣	なし	調査団の種類（計画及び打合せミッション機材修理チーム） 理由：					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣	1名 1名 2名 1名 2名	分野 ①病理学 ②ウイルス学 ③免疫学 ④薬化学 ⑤実験動物 ⑥ ⑦	候補者があればその氏名 大西 義久 浜田 忠弥 小島 健一 小室 勝利 片山 教授 佐藤、藤沢	派遣時期 7～8月 7～8月 7～8月 未定 7～8月 11月	期間 1ヶ月 1ヶ月 1ヶ月 1ヶ月 2ヶ月 各1ヶ月ずつ	A1フォーム取付状況 1月開始予定 1月開始予定 1月開始予定 1月開始予定 1月開始予定	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと	
(3) 供与機材	40,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと			金額	時期	ウイルス試薬製作機材 30万円 病理診断用モノクローナル抗体 30万円 免疫学MLA測定用機材 60万円 薬化学分析機材 30万円 実験動物・繁殖用機材 60万円	
		①浜田専門家 30万円	②大西専門家 30万円	③小島専門家 50万円	④小室専門家 50万円	⑤片山専門家 30万円	⑥佐藤専門家 30万円	⑦藤沢専門家 30万円

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 林 教授	臨床診断学(リーダー)	3.4月より一年間		91/11をもってプロジェクトは終了 91/11をもってプロジェクトは終了
	② 川嶋 式	業務調整	89.5.1～91.5.31		
	③ 渡辺 比登志	MLT教育	90.4.18～91.4.17	交替	
	④ 小暮のり子	電子顕微鏡	91.5.17～92.5.16		
	⑤ 中村	実験動物	91.3月～93.3月		
	⑥ 坂本 直喜	病理学	91.4月～92.4月		
	⑦ 長岡	MLT教育	91.12月～92.12月 (予定)		
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望					備考
	計画	内容				
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)
	早期通報分 4名					
	年度末通報分 名	①DR. VITARANA	ウイルス	9月頃	10月間	
		②未定	免疫	7-8月頃	1年間	
		③未定	生化学	7-8月頃	1年間	
		④DR (MRS) WEEMALARATNE	ワクチン	7-8月頃	1年間	
		⑤				
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		30頁 オールカラー、英語、シンハリ語 タミル語、対和訳付
②技術普及広報費	800千円を希望	円	実験動物用広報パンフレット作製	
③現地セミナー開催費	6,000千円を希望	円	①熱帯性ウイルス疾病 ②細菌学 ③熱帯病診断技術 ④実験動物 ワークショップを開催する	
④技術交換費	700千円を希望	円	技術指導実費及び使用機材費	
⑤応急対策費	千円を希望	円	MLT学校実習テーブル 18台分	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		スリ・ランカ国立医学研究所プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	病理学 ウイルス学 免疫学 細菌学 他	モノクロナール 他 の抗体 機材 輸送費		合計 40,000
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性		新研究棟の完成により供与機器を利用して、モダンな技術供与が目的である。各専門家(長期、短期)派遣により日本における研修を終了した医師を中心に技術の定着をはかるものであり、スリ・ランカ国における当研究所の機能向上は国民健康の最も基本的な事項である。		
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否		
A470-A取付状況		(1)一括取付済 ②2年1月取付予定		

プロジェクト名：スリ・ランカ国立医学研究所プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	病理学 (長期 坂本 直喜)
2. 派遣期間・時期	4月から1年間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	病理学的検査手技の確立
4. 先方の希望内容	病理診断の精度向上
5. 派遣目的および具体的指導内容	標本作製技術の安定化 細胞組織化学の手技供与および免疫組織化学の技術定着
6. 必要とされる携行機材・額	モノクロナール抗体 50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	電子顕微鏡
2. 派遣期間・時期	長期 平成4年5月迄
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	今までの供与技術の定着化
4. 先方の希望内容	免疫電顕
5. 派遣目的および具体的指導内容	電顕に関する技術定着 電顕活用、特に技術の定着
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	小 室

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	薬化学
2. 派遣期間・時期	未定(2ヶ月程度 交渉中)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	薬理学(薬草学)を担当
4. 先方の希望内容	分析化学の精度向上
5. 派遣目的および具体的指導内容	スリ・ランカには、成分未知の薬草が存在するといわれている。本邦の分析化学の技術を導入することにより技術の向上をはかる。
6. 必要とされる携行機材・額	試薬、ガラス製品 30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	ウイルス病の試薬作製の基礎的手技の定着と効果的利用
2. 派遣期間・時期	1ヶ月間 平成3年7月15-8月15日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	MRIがスリ・ランカ国唯一のウイルス病診断施設であることから同施設の主要業務であるウイルス病診断法を指導する。
4. 先方の希望内容	ウイルス病診断キットの調製技術指導。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：MRIにおけるウイルス病診断体制の整備、並びに診断技術の指導 具体的指導内容 ①標準ウイルス抗原の調整法 ②診断用ウイルス抗体の調整法 ③単クローン抗体の調整法 ④①～③による診断キットの作成
6. 必要とされる携行機材・額	プラスチック容器類、ピペット類並びに試薬類 計 600千円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理学
2. 派遣期間・時期	平成3年7～8月(1カ月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	病理学診断法の定着
4. 先方の希望内容	診断の精度向上
5. 派遣目的および具体的指導内容	標本作製技術(光顕および電顕)の安定化と診断精度向上の指導
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	免疫学(1)
2. 派遣期間・時期	1991年7月中旬より1カ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	免疫学部門の整備(1) ヒト免疫グロブリンの免疫学的分析抗血清の作成
4. 先方の希望内容	骨髄腫などの血清免疫グロブリンの分析指導を期待している。
5. 派遣目的および具体的指導内容	骨髄腫パラプロテインの精製法 精製抗原による免疫血清の作成
6. 必要とされる携行機材・額	抗血清(各種抗ヒト血清蛋白成分) 高速液体クロマトグラフィーカラム (免疫グロブリン分離用)等 50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	免疫学 (2)
2. 派遣期間・時期	1991年11月中旬より1か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	免疫学部門の整備 (2) 細胞性免疫に関する検査研究の指導
4. 先方の希望内容	各種感染症に於けるリンパ球のサブクラス機能解析
5. 派遣目的および具体的指導内容	リンパ球サブクラス解析 培養リンパ球の機能検査 細菌傷害性Tリンパ球の機能 抗原感作リンパ球のトランスフォーメーション
6. 必要とされる携行機材・額	酵素標識抗リンパ球サブクラス r I L-2 培地 50万円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	実験動物ワークショップ
2. 目的:	実験動物飼育と繁殖の均一化 ・必要性 スリ・ランカでは均一な品質の実験動物の入手は極めて困難である。一方で、ワクチンや病原性微生物の検定や研究には常に入手動物の均一性が必須の条件である。幸い実験動物舎が完成したので飼育と繁殖についてワークショップを行ない動物供給の安定化をはかる。ちなみにスリ・ランカでは、このようなサブライセンターはなく先進国日本の技術移転の有力目標である。
3. 計画・経費	実験実習機材 謝礼 総計 (130万円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ワークショップ " ウイルス診断技術手技の定着と効果的利用"
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	ウイルス試薬はMRIでは、ほとんど作成が不能である。一方で患者数は極めて多いと推察され極めて緊急な事業である。また当初多額の試薬や機材を要する為スリ・ランカ国では、不可能な事業である。もし、これが成功すれば国民にとって大いなる福音となる。
3. 計画・経費	講義と共に実習を行なって技術の定着をはかる。 総計 (200万円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	" アーボウイルス" ワークショップ
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・アーボウイルスに関する情報普及および技術指導 ・スリ・ランカ国に於ける日本脳炎並びにデング熱対策の確立に資する。 ・日本脳炎並びにデング熱は例年罹患者が多く、一方有効対策を欠き早急な対策が求められていることによる。 ・予定講師のほとんどを国外から招致する必要がある ・その旅費滞在費負担に耐え難い。 ・アーボウイルス対策の具体的確立が期待される。
3. 計画・経費	講師 日本人4名 スリ・ランカ人1名 期間 5日間 実施日程 毎日一名の講師による 午前中講義 午後実技指導 スリ・ランカ人講師謝礼：10万円 実習費 150万円 総計 (160万円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ワークショップ " RECENT ADVANCE OF BACTERIAL IDENTIFICATION "
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	感染症は、当該国で解決すべき緊急な重要問題の一つである。一方現地では、近代免疫学手技を用いた研究検査に極めて乏しい現状である。改革の意志はあるが、当該国の経済状態からみて基礎医学の改革に応ずる余裕はない。このワークショップを通じて側面から飛躍的な発展を期待する。
3. 計画・経費	実習用機材費 200万円 謝礼 総計 (200万円)

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	スリ・ランカ政府はかつてない深刻なる財政危機を迎えている。即ち数十万人の主として中近東諸国での出稼ぎにより生じる送金がイラク紛争により激減したことと主要輸出品の国際価格低迷による収入減、永びく国内人種闘争に必要な財源、多額な世銀行負債等がある。このような事情からJICA援助に係る必要経費を来年度予算に計上することは、ほとんど不可能に見える。一点ずつ、そのつど必要に応じて保健省内に留保されている予算よりかろうじて支出されているのが実情である。来期(平成3年度)のために要請された年内予算3,900万ルピーに対して、3,300万ルピーしか予算が認められていない。 財政逼迫の理由から1990年度における新規職員採用は停止されていたが、大統領特別許可で厳重なる審査の末、10名のRESEARCH OFFICER(研究員)だけはMRIに採用された(1990年12月) 現政府による希望退職奨励策により、貴重なる経験を積んだ人材、研究員1名(昆虫学者)古参臨床検査技師10名、ラボオーダリー12名が退職した。退職者数は、MRI職員総数の約1割にも相当する。且つ退職者の空席は、補充されず平成2年度の追加卒業(13名)検査技師は、現在まで就職の機会を与えられていない現況である。平成3年度には少なくとも128名のMLT職員を保有すべきであるがMLTの増員は現況から判断して至難と推察される。

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>～ JICAに要望する点～</p> <p>1. JICAミッション来スの際、MRIプロジェクト事業遂行に当たり必要とされる財源、特に人員の確保をする必要を大統領に直接強く進言すべきである。</p> <p>2. 上述した事項が改善されるまで、JICAはO/T支払、交通費、機材引取り経費、図書購入費を含む総合的財政援助を継続すべきである。</p>

(13) 夕

イ

国立衛生研究所

		4	5	6	7	8	1991年度		11	12	1	2	3	(4)
						9		10						
目標	1) 診断微生物学・免疫学・病理学 2) 感染症・ウイルス疫学 3) 抗体製造技術・品質管理 4) 実験動物	1) 1-1 P. pseudomalleiの診断用抗体 1-2 肺炎性細菌学 1-3 リンパ球 症候群研究法 1-4 抗体製造研究法 1-5 免疫組織化学による感染症病理診断 2) 1-6 毒性試験としての病理組織学 2-1 検査室情報ネットワークシステム化 2-2 日本赤十字社 蚊の生態コントロール 2-3 日本赤十字社 分子疫学 2-4 蚊の分子疫学 3) 3-1 狂犬病ワクチン接種後の抗体検査法 3-2 狂犬病ワクチンの品質管理 3-3 無細胞百日咳ワクチンの製造 4) 4-1 実験動物の遺伝子学的モニタリング												
調査団の派遣	評価ミッション	9月中旬、一週間												
専門家の派遣	長期専門家 1) リーダー(金井)、細菌学兼任 2) 調整員(中島) 3) 微生物学(近藤) 4) ウイルス(津野) 2-1 短期専門家(要望順に) 1) 1-1 2) 1-2 3) 1-3 4) 1-4 5) 1-5 6) 1-6 7) 2-1 (上記) 8) 2-2 9) 2-3 10) 2-4 11) 3-1 12) 3-2 13) 3-3 14) 4-1	87/6/15 _____ 92/7/31 85/8/1 _____ 92/7/31 90/11/1 _____ 92/7/31 _____ 8月1日 _____ 92/7/31 _____ 8月 _____ 9月(1か月) (6か月) _____ 3月中旬 _____ 9月中旬 _____ 10月初旬 _____ 12月下旬(3か月) _____ 9月初旬 _____ 11月初旬(2か月) _____ 8月初旬 _____ 11月中旬 _____ 12月中旬(1か月) _____ 11月初旬(3か月) _____ 7月中旬 _____ 8月中旬(1か月) _____ 7月中旬 _____ 9月中旬(2か月) _____ 4月中旬 _____ 6月中旬 _____ 7月中旬 _____ 9月中旬(3か月) _____ 10月中旬 _____ 12月下旬 _____ 1月中旬(1か月) _____ 11月下旬(1か月半) _____ 1月上旬 _____ 3月上旬(2か月)												
研修員	1 細菌免疫学 2 分子生物学 3 抗体製造 4 生物製剤生化学 5 細菌学(大腸菌) 6 細菌免疫学 7 行政管理 8 行政管理	Mr. Siripong Na Nan 91/6---92/5 Miss Sumlee Pothipunya 91/4---92/3 Miss Nongluk Khanarat 91/10---92/9 Miss Duangjai Sahassananda 91/10---92/9 Miss Orn-anong Ratchirachenchai 91/11---92/10 Miss Sonboon Nakarnsri 91/9---91/11 Dr. Khunying Preeya Kashemsant 適時 Dr. Chongdee Wongpinairat 適時												
機材供与	全品目現地調達	90/1 A4フォーム提出 4月 現地調達申請 6月 資金示達 8月 入札及び契約 11-12月 納品、検収												
各種事業 ローカルコ スト負担	1 第4回年次リサーチセミナー 2 年報(第6号)の印刷製本 3 医科学局紹介小冊子の印刷製本	(セミナー開催費) (現地業務費臨時支給) (技術普及広報費) ▲申請 ▲申請 ▲実行 ▲12月初旬、二日開催 ▲申請 ▲実行												

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(1) 調査団派遣	9月頃を希望	調査団の種類(最終評価ミッション) 理由: 平成4年7月をもってプロジェクトが終了するため。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載
(2) 短期専門家派遣	13名を希望	分野	候補者氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	比古屋博士、とく神奈川推研
		1. P. pseudomalleiの診断	岐阜大江崎教授	8月20-1か月	一か月	1991年1月 一括取り付け予定	
		2. 嫌気性細菌学			六か月		
		3. リンパ球症候群研究法	吉田博士		六か月		
		4. 抗ウイルス研究法			二か月		
		5. 免疫組織化学による感染	倉田子研病理部		一か月		
		6. 毒性試験としての病理組織	国立衛試、内藤		三か月		
		7. 日本脳炎ウイルスの生態	長崎大和田教授		三か月		
		8. 日本脳炎ウイルスの分子疫	長崎大森田博士		一から三か月		
		9. ウイルスの分子疫学	札幌医大谷口専		三か月		
		10. 狂犬病ウイルス接種後の	化血研、時吉専		三か月		
		抗体検査法	門家		三か月		
		11. 狂犬病ウイルスの品質管	同、坂本専門家		三か月		
		理			三か月		
		12. 無細胞百日咳ウイルス	微研		四か月		
		製造			四か月		
		13. 実験動物の遺伝子学的	予研、浅野技官		二から三か月		
		的解析			二から三か月		
(3) 供与機材	25,560千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携行機材	14名X50万円 7000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載 長期専門家1名 短期専門家13名、計14名X50万円					内訳

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派選	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交代・延長の要望(各専門家からのヒアリング)	当該プロジェクト期間終了日は、1992年7月31日である。
	1. 金 井 興 美	プロジェクト・リーダー	87.6.15 - 92.7.31	90.8.1より二年間延長済	
	2. 近 藤 登 子	細菌学における生化学	90.11.1 - 92.7.31	当初派遣期間	
	3. 中 島 衛 平	調 整 員	85.8.31 - 92.7.31	90.8.1より二年間延長済	
	4. 津 野 正 朗	ラボ情報のコンピュータ管理	91.8.1 - 92.7.31		
				以上、派遣済長期専門家3名 新規要望長期専門家1名	

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(G) (カウンターパート受け入れ)	8 名を希望	候補者氏名	分 野	受け入れ希望時期	期 間	A2-3フォーム取り付け状況	A2-3フォーム締め切り 早期 64年3月 年度末 64年9月
	早期通報分 4 名 年度末通報分 4 名	1. Mr. Siripong Na Nan 2. Ms. Sumlee Pothipunya 3. Ms. Nongluk Khanarat 4. Ms. Duangjai Sahassananda 5. Ms. Orn-anong Ratchtrachenchai 6. Ms. Sonboon Nakarnsri 7. Dr. Khunying Preeya Kashemsant 8. Dr. Chongdee Wongpinairat	Bacterial Immunology Molecular Virology (JE) Biotechnology Technique Advanced Technique for Bio-Chemical Testing of Biological Product Bacteriology (E. Coli) Bacterial Immunology Administration & Management Administration & Management	One year One year One year One year 3 months 2 weeks 2 weeks	6-5月 4-3月 10-9月 10-9月 11-10月 9-11月 Anytime Anytime	JICAタイ事務所がDTECに対し、受け入れ枠を通報した後、DTECはDMSに対し候補者の選定を指示、DTECにおいて英語試験を実施。試験に合格後、候補者はDTECへA2-3フォームを提出。	
備考: 1990年度研修生受入要望分、NO. 4 Dr. Paichit (Virology in general) 及び、NO. 5 Dr. Chakradham (Administration for life science) がJICA予算の逼迫により受け入れ不可の場合は、1991年度の要望優先順はNO. 1, NO. 2がこの両名となり、Mr. SiripongはNO. 3となる。							

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費	720			
1 現地業務費臨時支給分	560千円を希望	1045千円	(詳細については、別添用紙に記入) (120,000 パーツ) 年報第6号の印刷製本費	
2 技術普及広報費	510千円を希望	円	(85,000 パーツ) 医科学局の紹介小冊子に係る印刷製本費	
3 現地セミナー開催費	600千円を希望	561千円	(100,000 パーツ) 第4回年次リサーチセミナーの開催費	
4 技術交換費	千円を希望	円	(1パーツ、円6円)	
5 応急対策費	千円を希望	円		
6 中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
7 プロジェクト基礎整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (項目名称にとられずに新規提案)				
プロジェクト事務所開所費 新規に事務所を開設する場合、相手側機関が提供することができず、また事務所備品を購入するにあたって、現地業務費及び携行機材費で対応するには無理があることが多いので、特別に以下の費用を賄う予算を設定する。 ▲事務所借上費 ▲車両購入費 ▲備品購入費 (コピー機械、家具一式、コンピューター、ファクシミリなど) ▲電話架設費				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		タイ国 国立衛生研究所		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	医科学機器	Fermenter他	22	25,560
		合計22品目		4,260 千パーツ 1パーツ=6円
		輸送費 全品目現地調達要望	合計	25,560
供与の目的	<p>最終年度(延長二年)の供与である。 過去六カ年にわたって供与した機材のメンテナンスを重視し、スペアパーツ類の供与を中心としている。</p> <p>また、新設のHealth Science Research Instituteに属する機材が多きを占めている。</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け ・今回供与の着眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性 				
現地調達の可否	可(全品目)			
A47ホ-ム取付状況	(1)一括取付済(12月20日、DTECへ送付)			

プロジェクト名：タイ国 国立衛生研究所

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額 (Baht)	用 途	総額指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Fermenter, Biostat MDC B Braun Diessel, Germany	960,000	For development of vaccine technique	有	可		
2	DNA Synthesizer, 391 Applied Biosystems	850,000	Synthesis DNA Primer for PCR assay	有	可		
3	Mouse Cage (1,000 sets) TM-PC-10A, Tokiwa, Japan	700,000	Mouse production	有	可		
4	DNA Photographic System Polaroid MP-4, USA	120,000	Preparation of DNA probe, bacterial inf.	有	可		
5	Accessory of CO2 Incu- bator, IT-41, Yamato, Japan	10 pcs	Use for repair	有	可		
6	JC Centrifugal Pump CDP, JC Hitachi, Japan	2 sets	Use for repair in Equipment Center	有	可		
7	2-way Valve for FCU VY 6030c1001, Yamatake	10 sets	Use for spareparts	有	可		
8	JC Centrifugal Pump CP 100x80B-515, Hitachi	4 sets	Use for repairing and spare	有	可		
9	Power Pack, MG-90 Japan Air Filter	4 units	Use for Air handling units	有	可		
10	Electronics spare part MG-90, Japan Air Filter	12 sets	Use for repair	有	可		
11	JC Centrifugal Pump RHP, JC, Hitachi	2 sets	Use for repair	有	可		
12	CL-6002 Separator	6 pcs	Use for repair	有	可		
13	Accessory of Gas Chro. 253-50, Hitachi	12 pcs 180,000	Use for repair	有	可		
14	Airborne Dust collector MD3, Sartorius	185,000	Collect dust in airway for Toxicology	有	可		
15	NI Resistance Bulb TY750B16, Yamatake	6 units 48,000	Use for repair	有	可		

プロジェクト名: タイ国 国立衛生研究所

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額 (Baht)	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
16	PH Electrode, 6328-IOC Horiba	3 units 24,000	For PH measurement	有	可		
17	Vinyl Isolator (Chamber only) TF1-IT, Tokiwa	30 sets 165,000	For maintenance of SPF free mice	有	可		
18	Rat Cage, TR-PC-200A Tokiwa	300 sets 645,000	For experimental rats	有	可		
19	Blower of animal isola- tor, T-VIF-O, Tokiwa	20 sets 133,000	To supply air to mouse isolators	有	可		
20	16 mm Planetary Micro filmer, Canofilmer 100	112,500	To improve work efficiency on in- formation system	有	可		
21	Sparepart, Connection HPLC & computer	48,000	For connecting HPLC and computer	有	可		
22	Accessories for com- puter, ZEOS	90,000	To receptive Thai language inside	有	可		

専門家派遣計画表 (1-1)

1. 指導科目	毒素原性P. pseudomalleiの診断用DNAプローブの開発
2. 派遣期間・時期	1991年8月(1か月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	クワの風土病類感染症については、当初はプロジェクトに結びつけず総合研究として実施したが、その一環である。
4. 先方の希望内容	最終目的として菌由来毒素の遺伝子構造の決定
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. P. pseudomalleiのgene cloningの実施 2. 診断用DNAプローブの開発
6. 必要とされる携行機材・額	専門家とカウパーと相談の上、50万円以内で
7. その他備考	岐阜大学医学部微生物室、江崎教授を専門家として希望

専門家派遣計画表 (1-2)

1. 指導科目	嫌気性細菌
2. 派遣期間・時期	6か月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初は設定されていたが、カウパーと対して留学のため実施が延期された。
4. 先方の希望内容	1. Clostridium difficile 毒素の精製とモノクローナル抗体の作製 2. 嫌気性菌の同定技術
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. CytotoxinとEnterotoxin 2. 菌では、ガス chromatography-MS 脂肪酸分析と遺伝学的的手法による菌同定
6. 必要とされる携行機材・額	カウパーと相談の上、50万円以内で、この研究室には専門家も来ていたので、予算の余裕は特別の配慮を。
7. その他備考	

専門家派遣計画表 (1-3)

1. 指導科目	リケツ7 症研究法
2. 派遣期間・時期	6 か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初の計画であったが、カウンターパートの転出、交代によって、再度の出発である。
4. 先方の希望内容	基本技術の導入によるリケツ7研究室の確立
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. リケツ7 分離技術 2. 抗原調整 3. 抗体精製 4. FITCによる血清診断 5. 免疫ポロキマー法
6. 必要とされる携行機材・額	専門家、カウンターパート相談により50 万円以内
7. その他備考	神奈川衛研の 吉田博士か 古坂博士を希望

専門家派遣計画表 (1-4)

1. 指導科目	抗ウイルス剤探索の分子生物学
2. 派遣期間・時期	2 か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画の感染症制御の一環として
4. 先方の希望内容	植物由来の抗ヘルペスウイルス剤の検討のために
5. 派遣目的および具体的指導内容	要求に具体性が乏しいので、事前に協力内容をさらに明確にする必要がある。2 か月では特定の技術の導入だけにとどまることになるが、そのほうが専門家は得られやすいであろう。
6. 必要とされる携行機材・額	カウンターパートと相談の上、50 万円以内でリストアップ
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表 (1-5)

1. 指導科目	免疫組織化学の感染症病理診断への利用
2. 派遣期間・時期	1か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	感染症研究のための病理学的手法の技術移転は、当初からの計画であったが、上記科目は1990年度の免疫蛍光抗体法の延長上にあるものである。
4. 先方の希望内容	細菌感染症の診断への利用を主目的に指導を受けたい。特にMeliodosisを対象に。
5. 派遣目的および具体的指導内容	上記の目的を短期間に果たすためには、専門家の来泰前にカウンターパートは病的材料の収集保存、ならびに器具、試薬等の準備に万全を怠っておく必要がある。1990年度の経験を参考にすれば、1991年度も成功を期待出来る。
6. 必要とされる携行機材・額	カウンターパートと協議の上、50万円の範囲内でリストアップ
7. その他備考	倉田 毅予研病理部長の指導を希望

専 門 家 派 遣 計 画 表 (1-6)

1. 指導科目	毒性試験としての病理組織学
2. 派遣期間・時期	3か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	病理組織学に関しては、標本作成技術がすでにMiss Natteewanに伝達され、定着している。本件に関しては、このことを前提に考えたい。
4. 先方の希望内容	1. 動物実験の取り扱いを含め、材料採取、標本作成技術 2. 標本の見方
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 動物の取り扱いに関しては、当初のDr. Tanawatに指導を受けるべきである。2. 標本 (病理切片) の作り方は、Miss Natteewanに指導を受けることができる。3. 標本の見方 (毒性試験として) は専門家の直接指導により反復して標本の見方の教示を受ける。
6. 必要とされる携行機材・額	50万円以内で専門家とカウンターパートとの相談としてリスト
7. その他備考	標本の見方は数々の経験が必要とする。その要領を専門家に教わる。国立衛試の毒性部の内藤博士の来泰を希望

専門家派遣計画表(2-1)

1. 指導科目	感染症ウイルスを目的とし、検査室情報のコンピュータによるシステム化
2. 派遣期間・時期	1年間(1991年3月 - 1992年7月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	感染症を対象とし、当プロジェクトの最終段階において実施すべき技術移転として、1990年度より開始した。
4. 先方の希望内容	・ 取り扱い対象病原体の拡張、・ 出力様式の追加拡充、・ 薬剤体制への解析等情報解析用プログラムの開発、・ LOISデータベース等、ユーザー用諸資料の作成、・ システムの実務的運用に関する技術指導と訓練、・ 検査室情報処理の感染症ウイルス事業への応用に関する教育と指導、・ 保健省の疫学情報処理を担当するコンピュータセンターの責任者から、今回のLOISを利用して、JY従来の疫学情報と検査室情報を並列に取り扱える旨、協力の要請、その他。
5. 派遣目的および具体的指導内容	
6. 必要とされる携行機材・額	50万円以内で専門家とカウンターで相談の上、
7. その他備考	津野正朗専門家の再来案による継続指導を希望

専門家派遣計画表(2-2)

1. 指導科目	日本脳炎のウイルス蚊の生態学とコントロール
2. 派遣期間・時期	3か月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初の重点項目で、このウイルス学との連携で仕事を進め、NIHの継続的研究テーマとして、
4. 先方の希望内容	コントロールを目的とし、ウイルス蚊の生態研究、特にウイルス学者との協力の要。
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 長崎大学熱帯研ウイルス部、和田教授、五十嵐教授の指導により、蚊のウイルス分離を重点的に実施。 2. 当地のJICAプロジェクト、NAHPIが宇本博士とも連絡をとって。 3. NIH内では医昆虫部とウイルス研との協力体制で。
6. 必要とされる携行機材・額	専門家とカウンターで相談の上、50万円以内で。
7. その他備考	長崎大学熱帯研和田教授を希望

専門家派遣計画表(2-3)

1. 指導科目	ウイルス(日本脳炎ウイルスからアザラシ熱ウイルスの分子生物学)
2. 派遣期間・時期	1 - 3か月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画で設定され、1987年度保井専門家による基本方針が提案された。しかし、以後1989年まで専門家を得られず、1991年2月、長崎大学熱帯研の五十嵐、森田二名の専門家を得て、比較的実質的な指導が開始された。
4. 先方の希望内容	日本脳炎ウイルス熱の分子生物学的診断と分子疫学の導入
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. PCR法、Transfection、DNAクローニング、DNAシークエンス解析法などの遺伝子工学の技術移転 2. そのほか研究に必要なウイルス分離に適切な検体採取法と保存、輸送技術の指導
6. 必要とされる携行機材・額	50万円以内で、専門家との交渉により決定される。
7. その他備考	長崎大学森田氏の再度の来寮を希望する。

専門家派遣計画表(2-4)

1. 指導科目	ロウウイルス群の分子生物学的研究
2. 派遣期間・時期	3か月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初からの継続で発表論文数も多く、成果が大きい。
4. 先方の希望内容	1. ELISA用ロウウイルスモノクローナル抗体の調整 2. ロウウイルスの遺伝学的解析法
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. 分子疫学への応用 2. ウイルス進化研究行として
6. 必要とされる携行機材・額	専門家との交渉により50万円以下で品目リストアップ
7. その他備考	札幌医大谷口専門家の継続指導を希望する。

専門家派遣計画表 (3-1)

1. 指導科目	狂犬病ワクチン接種後の抗体価検査法
2. 派遣期間・時期	3 か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画のワクチン製造技術移転のうち狂犬病ワクチンに於ける最終段階を以て、今年度の最重点項目である。
4. 先方の希望内容	1. ワクチン接種後の抗体価測定法 2. 狂犬病ウイルスに対するEIA用モノクローナル抗体作製法
5. 派遣目的および具体的指導内容	カンクーパートはウイルス部、生物製剤部双方から指導を受ける。ワクチン接種後の野外調査はイ側の仕事であり、その際の抗体測定法の標準化を重点的に実施する。
6. 必要とされる携行機材・額	専門家とカンクーパートとの協議により、50万円以下で選択
7. その他備考	化血研、時吉 前回 専門家の再指導を希望

専門家派遣計画表 (3-2)

1. 指導科目	狂犬病ワクチンの品質管理
2. 派遣期間・時期	1991年6月-8月、3か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画としてのワクチン製造の技術移転はこれにより完了
4. 先方の希望内容	白血病ウイルス否定試験を含めてQCの技術移転
5. 派遣目的および具体的指導内容	各種品質管理試験とこれまでの総括記録、製造マニュアルの作成
6. 必要とされる携行機材・額	50万円以下で。
7. その他備考	化血研、坂本専門家による継続指導を希望

専門家派遣計画表 (3-3)

1. 指導科目	無細胞百日咳ワクチンの製造
2. 派遣期間・時期	4か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初からの計画の一つであるが、専門家の来 泰がおくれており、プロジェクト期間中の完了 が危ぶまれる。
4. 先方の希望内容	早急の派遣
5. 派遣目的および 具体的指導内容	力価を満足させるワクチン製造のために、特 に培養条件の検討を重点的に。
6. 必要とされる携 行機材・額	カウンターパートと協議して、50万円以下 でリストアップ
7. その他備考	観音寺研究所からの専門家を希望

専門家派遣計画表 (4-1)

1. 指導科目	実験動物の遺伝的モック
2. 派遣期間・時期	2 - 3か月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画のうち微生物学的モックは完了し、最後 の技術移転項目として実施する。
4. 先方の希望内容	適切なコトラー、生化学的マーカーを取上げて実施。
5. 派遣目的および 具体的指導内容	モックの基本技術の導入
6. 必要とされる携 行機材・額	専門家とカウンターパートとの相談の上50万円以内で。
7. その他備考	予研防疫部技官の指導を希望

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト年報（第六号）の印刷製本
2. 目的：	1990年8月-1991年7月分のプロジェクト活動を年報として出版する。
・必要性	過去5カ年の年報出版の実績に基づき計画。
・緊急性	
・先方が負担できない理由	プロジェクトチーム主導の計画のため、予算を計上していない。
・効果	プロジェクトの体系的記録を残すためにも、また宣伝広報のためにも有意義である。
3. 計画・経費	<p>現地業務費臨時支給分</p> <p>年報1千部の印刷整本費（英文） 120,000パーツ</p> <p>1パーツ=6円</p> <p>総計（720千円）</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	医科学局紹介小冊子の印刷製本
2. 目的：	NIHの上部機関である医科学局の役割と任務に関する紹介本を発行し（医科学局とNIH及びNIHプロジェクトの相互関係にも触れて）ひろくタイ関係者にNIHの存在をアピールする。
・必要性	
・緊急性	
・先方が負担できない理由	宣伝広報費が予算に計上されていない。
・効果	過去二回、NIHプロジェクト及びNIHに係るパンフレットを作成かつ配布したが、好評であった。今回、医科学局及び各部の役割と任務、人事に関する紹介本を出すことにより、NIHそのものの目的、存在価値がより一層明確となる。
3. 計画・経費	<p>技術普及広報費</p> <p>2,000部 タイ語</p> <p>2,000部 英語、計4,000部発行</p> <p>100,000 パーツ</p> <p>1パーツ=6エン</p> <p>総計（600千円）</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	第四回年次リサーチセミナーの開催
2. 目的:	<p>技協による研究促進の成果をNIH, DMS内外に発表し、認識および交流を深める。</p> <p>・必要性 過去三年度セミナーを開いた実績の評価に基づいて計画する。</p> <p>・緊急性</p> <p>・先方が負担できない理由 過去三年間、相手側は、光熱費、備人費、消耗品費参加者の日当宿泊費などを負担してきた。</p> <p>・効果 過去三回の評価をすると、大きな効果がみられることは疑いない。</p>
3. 計画・経費	<p>12月初旬の二日間、NIH講堂、会議室において開催。あわせて、一階ロビーにおいてパネルの展示を行なう。</p> <p>参加者―― 医科学局サイエンティスト 大学関係者、保健省関係者</p> <p>セミナー開催費 Honorarium 5,000, Document 60,000, Stationeries 10,000, Printing 25,000, 各10万ハク 1ハク=6円 総計(600千円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点、要望事項
<p>タイ(国立衛生研究所(NIH))プロジェクト運営上の問題点(総論)</p> <p>1. 両国社会の構造要因</p> <p>1-1) 両国の 途上国援助の 基本理念と 相手国の 援助受入れ感覚 1-2) 援助形態としての要請とスタッフの 意識 1-3) JICAの 運営システムと相手国の 窓口(DTEC等) 制度</p> <p>以上、全ての 出発点であるが、現場でのプロジェクト実施が 順調である限り、問題意識に陥ることはない。</p> <p>1-4) 社会経済開発度</p> <p>クニはタイ 殆ど 問題に陥り、特にロビーにおいて、</p> <p>1-5) 文化(生活慣習、価値観、宗教、階級制度、教育制度など) 1-6) 民族気質</p> <p>以上、現場での活動に 微妙な 影響があるが、相互理解によって解決。</p> <p>1-7) 気候、風土 文明度の 向上によって改善される。</p>

問題点、要望事項
<p>2. 現場に於ける状況要因</p> <p>2-1) 運営委員会等による連絡調整のあり方</p> <p>問題ない。</p> <p>2-2) 技術協力に於ける専門家とのかつて-パート間のあり方(相互理解)</p> <p>2-3) Communicationに於ける言葉の問題</p> <p>以上、80%満足している。技術移転そのものに於いては、英語によるCommunicationに於けるほとんど問題ない。問題はむしろそれ以外の人間関係に於いて、感情移入の微妙な部分の中で発生する。</p> <p>タイ研究者も本当に英語を自由に話せる人はいない、専門家にしても同様である。表現に余裕がない。また、日本人はタイ人の英語を日本語に読み替えて理解し、タイ人は日本人の英語をタイ語に訳して反応する。そのため相互理解の距離がしばしばimpolite とうとらたり、立場の誤解につながり得る。しかし、この点の解決は、互いの人間性の本質を理解して善意に於ける以外にないであろう。</p> <p>2-4) 相手国機関に於ける人材リクルート、人事管理、階級社会、職階制など</p> <p>相手国の問題であって積極的に日本側から干渉できないが、いろいろ問題がある。例として、</p> <p>…………… 移転すべき技術はScientistとしてのかつて-パートに実施すべき</p>

問題点、要望事項
<p>あるが、現実には彼らの研究助手であるTechnologistに指導は方放りかたに効率的で定着度のいいことが多い。しかし、この形式と、専門家がかつて-パートのために「使われている」ことになりかねないで、現場で一工夫必要とする。</p> <p>…………… タイの職階性、階級制が日本より強いが、それによって、それを離れ人間関係を築く上まわる力を持ち、影響力を及ぼしている場合が少なくない。その辺の機微をキャッチしておくことがプロジェクト運営上必要とする。</p> <p>…………… タイ社会の急速な経済発展のため、人材が民間に流れる傾向が激しくなってきた。</p> <p>2-5) 研究に於ける創造力(知的生産性、技術力、研究標本収集等に対する相対的評価(価値観、尊敬度))</p> <p>タイ国内の問題であるが、プロジェクトと重要な関係をもつ。途上国の常として、日本の実質主義、技術的創造性よりも、教科書主義、教養番組的の閉鎖的の自己満足、それに同僚的の自己表現に傾斜しやすい。</p> <p>本当の意味での技術に対する尊敬念が乏しいから、「教えてもらう」という受身の心でなく、日本の技術をacceptして「使ってみよう」という潜在意識がどこにある。しかし、以上の点は悪意でなくタイ人の自然なライフと文化の問題であって、日本側はそれを善意に理解してやる以外にないであろう。貴重な時間を犠牲にして来泰する専門家が、タイに於ける時間を何らかの形</p>

問題点、要望事項
<p>有効にしようとは、タイにおける病原体の標本での知見以外にか、その標本に対しては、タイのパートナーに 過大な 価値観を 意識し、主張する。</p> <p>2-6) 相手国学会における階層別、分野別「イ」意識</p> <p>タイの 国内問題であるが、プロジェクトと重要な 関係をもつ。 医学会は、医者、薬剤師、獣医師、臨床検査技師という 出身別で強い「イ」意識があり、臨床検査技師に対しては 研究成果を 挙げて、それすら 医者から意識的に 無視される。 獣医師にしても同様である。 そうした 出身別、階層別の「イ」意識が 学会を 支配し、研究実績に 優先権があり、当NIII 研究促進プロジェクトに 限界があることになる。 とはい、解決策は、良い業績を 国際誌に 発表してNIIIの名を 国際的に 挙げておく 以外にないであろう。</p> <p>2-7) 国立研究機関と 大学間の 対立意識と 交流度</p> <p>タイの 国内問題であるが、プロジェクトと重要な 関係をもつ。 タイ社会における強い 階層 制度と 縄張り 意識によって、保健省と 大学の間には 基本的な 対立意識が 潜在している。 それに加えて、JICAの無償供与によるNIIIの 建物、施設は 大学（特にワフール大学）側の プレミアム 極めて大きく、NIIIに対するワフール 大学側の 意識的な 過小評価 になっている。</p>

問題点、要望事項
<p>しかし、現実においては、NIII 職員が 職をここで おくってワフール大学あるいはチュラロンコーン 大学の Master course に 再入学して勉強する例が 最近急増しており、こうした 形で 大学との 風通し、理解度が 改善される 可能性は 高いのではない。 しかし、まだ 時間を 要することであろう。</p> <p>2-8) 専門家 携行 機材の 通関事情</p> <p>いまだ 問題がある。</p>

(14) イ エ メ ン

結 核 対 策

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目 標	1) 国家結核対策組織改善 2) 予防診断治療技術の開発 3) 改善のための調査・研究 4) C/Pへの指導・助言	1) 国家結核対策組織改善 1-1. 保健省、地方の保健行政組織、医療施設を含めた結核対策組織の確立と助言 1-2. 結核患者の登録、報告システム標準化 1-3. 国立結核研究所及び2ヶ所のサブセンターを中心にして、結核対策従事者への研修、地方保健施設への巡回指導 1-4. 各州の結核対策コーディネーターの確固たる位置付けと業務の充実 2) 予防診断治療技術の開発 2-1. ケースカンファレンスの定例化と質の向上 2-2. 放射線、細菌検査部門のミーティングを定例化し技術の向上を図る 2-3. 胸部X線検査車を利用した放射線診断技術の改善 3) 改善のための調査・研究 3-1. 全国的ツ反サーベイの結果の分析 3-2. ケースホールディングに関するオペレーショナルリサーチ 3-3. 抗結核薬剤に対する初回耐性及び獲得耐性に関する調査 3-4. ポスター、ビデオ、テレビ・ラジオ放送によるキャンペーン 3-5. 国立結核センター及びサブセンターでの培養検査技術の確立 3-6. 当国における結核とエイズとの関係についての研究 4) C/Pへの指導・助言 4-1. 国家結核対策本部長への指導・助言 4-2. 国立結核センター所長への指導・助言 4-3. 国立結核センター、サブセンターの医師・放射線技師・検査技師に対する指導・助言											
調査団の派遣	エバリュエーション調査団	91/9 ←→											
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名等) 1) ナムル (未定) 2) 調整員 (横井 健二) 3) 臨床医学 (清田 明宏) 4) 放射線 (桑江 敏雄) 5) 細菌検査 (未定)	91/4 ←→ 92/8	90/7 ←→ 92/6	90/11 ←→ 92/8	90/11 ←→ 92/8	91/4 ←→ 92/8							92/8
	短期専門家(分野、氏名等) 1) 結核対策 (リナー・ネジメ) 2) 結核対策 (R3E/M/1/1/1/1/1) 3) 機材修理 (大栄電気) 4) 細菌検査 (R3E/M/1/1/1/1/1)	91/4 ←→	91/4 ←→	91/7 ←→	91/8 ←→	91/12 ←→	92/3 ←→						
研修員	1) 結核対策上級 (Dr. Omar) 2) 結核対策 (Dr. Abdul N.) 3) 結核対策 (Dr. Abdul R.) 4) 細菌検査 (Mr. Adnan)	91/6 ←→	91/7 ←→	91/7 ←→	91/9 ←→	91/11 ←→	91/11 ←→	92/1 ←→					
平成2年度繰越分	1) 健康教育 (Mr. Abdul B.) 2) M.E. 保守 (Mr. Abdul B.)	91/4 ←→	91/4 ←→	91/9 ←→	91/3 ←→								
供与機材		▲91/1 仕様書、A4フォーム提出 ▲91/6 現地調達分購入 ▲購送分現地到着											
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	1) 現地業務費臨時支給 2) 現地セミナー開催費 3) 任国外出張費	▲申請書提出 ▲事業実施 ▲申請書提出 ▲事業実施 (IUATLD運営会議) ▲事業実施											

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(1) 調査団派遣	91年9月を希望	調査団の種類（エバリュエーション） 理由：プロジェクト開始から90年8月に再延長したプロジェクトの実施状況、協力の成果、延長期間終了後の協力の有無、新規プロジェクトの可能性についての調査。					
(2) 短期専門家派遣	6名を希望 (延べ人数、9名)	分野	候補者があれば その氏名	派遣時期	期間	A-1フォーム取付け状況	チームリーダーの派遣がない場合 プロジェクト協力の締結りとして 結核対策シンポジウムに参加する 長期派遣の専門家が派遣されない 場合
		①結核対策指導	レシャード・カレット	91年7/12月	各2週間		
		②結核対策指導 (結核対策シナリオ)	加外国内委員3名	92年3月	1週間		
		③機材修理	大栄電気㈱、宇佐見氏	91年4月	3週間		
		④細菌検査	結研、藤木/鹿住	91年4/8月 92年2月	各2週間		
(3) 供与機材	21,000 千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載					
(4) 携行機材	7,000 千円を希望	専門家別の金額内訳及び購送希望時期 ①チームリーダー ワープロ/パソコン (150万円) 91年4月 ②細菌検査長期専門家 培養検査機材/試薬 (100万円) 91年4月 ③機材修理短期専門家 施設/機材スペアパーツ (300万円) 91年4月 ④結核対策短期専門家 ワープロ/パソコン消耗品 (50万円) 91年7月 ⑤細菌検査短期専門家 培養検査機材/試薬 (100万円) 91年4月					

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指導分野	派遣期間	交替・延長の要望	
	① 横井健二	調整員	90/6/29~92/6/28		
	② 桑江敏雄	放射線技術	90/11/13~92/8/31	協力期間が延長とならなくともフォローアップのため3ヵ月程度の延長が必要	
	③ 清田明宏	臨床医学	90/11/13~92/8/31	協力期間が延長とならなくともフォローアップのため3ヵ月程度の延長が必要	
	④	チームリーダー	91/4 ~92/8/31	長期派遣ができない場合は結核対策指導の短期派遣を希望する	
	⑤	細菌検査	91/4 ~92/8/31	長期派遣ができない場合は細菌検査指導の短期派遣を希望する	
	⑥				

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	4名を希望 早期通報分 4名 年度末通報分 4名	候補者氏名	分野	受入希望時	期間		
		① DR. OMAR MOHAMED THABET ② DR. ABDUL NASSER AYASH AHAMED ③ DR. ABUDUL RAHMAN BAHAR ④ MR. ADNAN HAMOOD HIDAR	結核対策指導者 結核対策4ヵ月 結核対策4ヵ月 結核対策細菌検査	91年6月 91年7月 91年7月 91年9月	1ヵ月 4ヵ月 4ヵ年 6ヵ月	集団コース 集団コース 集団コース 集団コース	イエメン結核対策本部長 アデン州結核対策コーディネータ タイズ共和国病院結核病棟部長 国立結核研究所検査部長
	平成2年度繰越分 2名	① MR. ABUDUL BARI AL-HAMADI ② MR. ABUDUL BARI AL-QUBATI	健康教育・統計 医療機器保守管理	91年4月 91年4月	1年 6ヵ月	個別研修 個別研修	国立結核研究所アシスタント 新付医療機器保守管理加外部長

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費				
①現地業務費臨時支給分	5,000千円を希望	2,540,000円	結核対策従事者（医師、細菌検査技師、保健夫、保健教育者等）に対する研修参加旅費、国立結核研究所とサブセンターから地方の保健施設に巡回指導を行なう際の交通費及び旅費。業務外の研究・調査に対する共同研究者謝金。	
②技術普及広報費	千円を希望	703,000円		
③現地セミナー開催費	2,500千円を希望	1,000,000円 (平成3年1月～3月累計)	プロジェクトの協力期間が終了に伴い、それまでの協力の成果及び現地の関係者の業績を取り纏めるシンポジウムの開催。平成4年3月を予定。	
④技術交換費	千円を希望	2,431,000円		
⑤応急対策費	千円を希望			
⑥中堅技術者要請対策費	千円を希望			
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望			
(8) 予算新規項目：				

プロジェクト名: イエメン結核対策

優先度	機 材 名 その仕様	金 額 (円)	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1.	結核菌培養検査用器具、試薬 (別添仕様書 b-1 ~ b-18)	2,450,860	国立結核研究所と2ヶ所のサレワでの培養検査の充実と、塗抹 陽性検査の地方への拡大。	有	否		
2.	放射線機材 (別添仕様書 b-19 ~ b-27)	2,015,475	国立結核研究所と2ヶ所のサレワでの放射線技術の向上をはかる	有	一部可		現地調達の方が低価格であり、 業者の育成となる。
3.	間接/直接X線フィルム、定着液 (別添仕様書 a-1, a-2, b-28)	2,255,000	直接フィルムは緊急および研究用。	有	可		現地調達の方が低価格である。
4.	細菌検査用顕微鏡/付属部品 (別添仕様書 b-29, b-30)	2,666,000	結核細菌検査の地方への拡大させるため地方の保健施設へ配布。	有	否		前年度と同じ機種が好ましい。
5.	パソコン/停電用バッテリー (別添仕様書 b-31, b-32)	5,020,000	結核対策のデータ処理、疫学統計の研究用。	有	可	現地にIBMの 代理店がある。	保守管理が可能であり、現地の研 究者が慣れ親しんでいる。
6.	スライドプロジェクター/スライド作成試薬 (別添仕様書 b-33, b-34)	410,700	調査・研究の成果を纏め、研修に利用する。	無	一部可	無償資金協力に よって供与され たものが故障。	現地調達によってパーツの供給、 メンテナンスが可能である。
7.	胸腔穿刺セット/吸引器 (別添仕様書 b-35 ~ b-37)	781,620	国立結核研究所と2ヶ所のサレワでの日常業務に必要、吸引器は 結核対策を地方への拡大させるため他の保健施設へ配布。	無	否		
8.	患者送迎用バス (別添仕様書 b-38)	4,995,000	国立結核研究所とアデンの結核患者送迎のため。	有	可		前年度と同じ機種がパーツの供給 等で都合が良い。
		合 計 20,594,655					

番号	機材名	仕様	メーカー名	数量	見積価格	現地調達可否
a-1	間接撮影用X線フィルム	コニカ ロールフィルム GS 70mm X 30.5 m		60本	US\$ 50 x 60 = \$ 3,000 (40,500円)	可
a-2	直接撮影用X線フィルム	コニカ 医療用フィルム 大角 (35 x 35) 50枚/箱 国際サイズ(30 x 40) 50枚/箱 四切 (25.4 x 30.5) 50枚/箱		40箱 40箱 50箱	US\$ 125 x 40 = \$ 5,000 (675,000円) US\$ 110 x 40 = \$ 4,400 (594,000円) US\$ 80 x 50 = \$ 4,000 (540,000円)	可
b-1	電子天秤	シイベル機械(株) エコノミー上皿 天びん、AJ-100 最大秤量 110g、風防付、220V仕様		6台	120,000円 x 6 = 720,000円	否
b-2	分注器	池本理科(株) NO.20 - 127 ディスベット、10ml、ボトル付		6個	22,000円 x 6 = 132,000円	否
b-3	試験官	池本理科(株) NO.80 - 591 リップ付 外径15mm、長さ105mm 外径18mm、長さ165mm		4,000本 2,000本	約 45円 x 4000 = 180,000円 約 50円 x 2000 = 100,000円	否
b-4	試験官用キャップ	栄研器材(株) 結核菌培養試験用、スリット付		10,000個	約 5円 x 10,000 = 50,000円	否
b-5	連続分注器	池本理科(株) NO.20 - 106 標準型 10ml		2個	約 20,000円 x 2 = 60,000円	否
b-6	三角フラスコ	池本理科(株) NO.80 - 511 目盛り付 2000ml		15個	約 2,000円 x 15 = 30,000円	否
b-7	ダイヤベン	井内盛栄(株) NO. 6 - 434-01		100本	約 4,500円 x 30 = 450,000円	否
b-8	染色バット	村中医療機器(株) NO.249-002-02、縦形10枚用、ガラス製		50個	1,100円 x 50 = 55,000円	否
b-9	ニクロム線	0.8mm x 2.5m		40個	約 2,800円 x 40 = 112,000円	否
b-10	ニクロム線挟	池本理科(株) NO.20-845 に類似したもので耐熱柄付		100個	約 200円 x 100 = 20,000円	否
b-11	塩基性フクシン	和光純薬工業(株) 534-00372 (1A308) 25g		40本	2,800円 x 40 = 112,000円	否
b-12	エタノール	和光純薬工業(株) 057-00451 (99.5v/v%) 3.0ℓ		10本	5,300円 x 10 = 53,000円	否
b-13	メチレンブルー	和光純薬工業(株) 534-00372 (1B429) 25g		40本	2,400円 x 40 = 96,000円	否
b-14	マラカイトグリーン	和光純薬工業(株) 021-02352 25g		40本	2,000円 x 40 = 80,000円	否
b-15	アニリン	和光純薬工業(株) 019-03996 500ml		10本	1,100円 x 10 = 11,000円	否
b-16	臭化シアン	和光純薬工業(株) 037-08592 25g		4本	2,600円 x 4 = 10,400円	否
b-17	プロピレングリコール	和光純薬工業(株) 164-04996 500ml		20本	960円 x 20 = 19,200円	否
b-18	抗結核剤	感受性試験用、SM (Streptomycin Sulfate 1G, 10 vial) INH (イソニアジド 25g 和光 090-01202) RFP (Rifadin Capsules 150g x 100 cap.)		10箱 10本 10箱	1,270円 x 10 = 12,700円 4,906円 x 10 = 49,060円 9,850円 x 10 = 98,500円	否
b-19	暗室ランプ	コニカメディカル(株) SMS三面暗室ランプ、SMS-6445 スペアランプ各10個付、220V仕様		3セット	約 10,000円 x 3 = 30,000円	否
b-20	X線現像液用ポリビン	コニカメディカル(株) ポリビン、5ℓ、広口、白色、茶色		各10個	1,300円 x 20 = 26,000円	否

番号	機材名	仕様	メーカー名	数量	見積価格	現地調達可否
b-21	X線現像用恒温槽		コニカメディカル(株) SMS恒温槽TX-752, SMS-6008 現像槽15ℓ、定着槽20ℓ 水洗槽60ℓ、220V仕様	1 台	550,000円 x 1 = 550,000円	否
b-22	間接X線フィルム用現像器		コニカメディカル(株) 70mmベルト式現像器、SMS-6151	3 個	100,000円 x 3 = 300,000円	否
b-23	暗室用分時計		コニカメディカル(株) 卓上、SMS-6511	3 個	7,200円 x 3 = 21,600円	否
b-24	皿付液温計		千代田メディカル(株) 60℃用	9 個	1,000円 x 9 = 9,000円	否
b-25	ステンレス現像タンク		コニカメディカル(株) ステンレス現像タンク、20ℓ	3 個	30,000円 x 3 = 90,000円	否
b-26	極光医療用増感紙		コニカメディカル(株) BM-III 大角 大四切 四切 六切	9 個 15 個 9 個 15 個	US\$ 155 x 9 = \$ 1,395 (188,325円) US\$ 120 x 15 = \$ 1,800 (243,000円) US\$ 95 x 9 = \$ 855 (115,425円) US\$ 65 x 15 = \$ 975 (131,625円)	否
b-27	フィルム保存用冷蔵庫			1 台	US\$ 2,300 x 1 = \$ 2,300 (310,500円)	可
b-28	X線フィルム定着液		Konifix 10ℓ用粉末(CFH)	300 袋	US\$ 10 x 300 = \$ 3,000 (405,500円)	可
b-29	細菌検査用顕微鏡		単眼顕微鏡 光源が電気と自然光の切替えが可能なもの	20 台	約 100,000円 x 20 = 2,000,000円	否
b-30	顕微鏡付属部品		オリンパス実習・研究用生物顕微鏡CHS用、鏡頭 CH-B145-W 接眼レンズ CWHK10 対物レンズ D100 アダプター 6V 20WHAL	2 個 10 個 30 個 200 個	約 8,000円 x 2 = 16,000円 約 10,000円 x 10 = 100,000円 約 5,000円 x 30 = 150,000円 約 200円 x 200 = 400,000円	否
b-31	パソコン		IBM Ps/2 Model 55SX-X31 system Unit, PC DOS 3.30, IBM 8512 Color/Graphics Display, 4019E Laser Printer 5.25"/1.2 Mb Diskette Drive, Ps/2 Mouse, PC Tools 5.5 Nafitha Rel 3.1, Wordperfect 5.1, Dbase 4	4 台	US\$ 9,000 x 4 = \$ 36,000 (4,860,000円)	可
b-32	パソコン用バッテリー		ユタカ電機製作所(株) DEFENSA Jr. UPS310PC	8 個	約 20,000円 x 8 = 160,000円	否
b-33	スライドプロジェクター			4 台	US\$ 380 x 4 = \$ 1,520 (205,200円)	可
b-34	スライド作成用試薬・フィルム		ナショナル・パナコピー KV-5100用 現像液 KV-51TK 108枚用 定着液 KV-15XE 25ml 洗浄液 KV-10cs 350ml カラースライドフィルム 108枚	10 箱 10 箱 10 箱 5 箱	7,800円 x 10 = 78,000円 2,200円 x 10 = 22,000円 1,300円 x 10 = 13,000円 18,500円 x 5 = 92,500円	否
b-35	胸腔穿刺セット		村中医療機器(株) NO.127-016-01 長尾式、サイズ中 17G 上記胸腔穿刺針用シリンジ、チューブ、排液ボトル	20 台	約 4,000円 x 20 = 80,000円	否
b-36	胸腔穿刺用注射針		村中医療機器(株) NO.127-006-01, 輸血針、ロック基本 1.2x40	3 打	540円 x 3 = 1,620円	否
b-37	吸引器		村中医療機器(株) NO.025-022-01, CD-1500 220V仕様、 ネブライザー兼小型吸引器ミニック、スペアーボトル付	10 台	約 70,000円 x 10 = 700,000円	否
b-38	患者送迎用バス		トヨタ コースター	4 台	US\$ 18,500 x 2 = \$ 37,000 (4,995,000円)	可

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	結核対策指導
2. 派遣期間・時期	1991年7月及び12月、各2週間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初からの派遣予定はないがプロジェクトチームリーダーの長期派遣ができない場合、プロジェクトの状況を把握している専門家の派遣が必要である。
4. 先方の希望内容	国家結核対策計画とプロジェクトの実施状況の検討及び問題点の解決。
5. 派遣目的および具体的内容	上記の内容に加え、プロジェクト協力期間終了を控えた、活動計画の見直し、現地側上層部との関係強化。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	森亨国内委員、レシャード・カレッド氏が候補者。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	結核対策指導 (結核対策シンポジウム)
2. 派遣期間・時期	1992年3月、1週間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初からの派遣予定はないがプロジェクトの協力期間終了に際し必要。
4. 先方の希望内容	これまでのプロジェクト協力の成果、及び現地国家結核対策計画の実状分析と将来への提言。
5. 派遣目的および具体的内容	上記内容と同じ。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	国内委員全員の参加を希望。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	機材・施設修理
2. 派遣期間・時期	1991年4月、3～4週間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初からの派遣予定はないがプロジェクト協力期間の終了に控え、無償資金協力で建てた施設及び供与した機材の点検、保守は必要。
4. 先方の希望内容	国立結核研究所、2ヶ所のサブセンターの電話交換機の修理、胸部X線検診車及びX線装置の点検・整備
5. 派遣目的および具体的内容	上記の内容に加えて、無償資金協力で建設された建物および施設全般の保守・管理。
6. 必要とされる携行機材・額	スペアパーツ (派遣が決定した時点で本人と調整のうえリストアップ)
7. その他備考	大栄電気の宇佐見氏は施設建設当時から関わっており、以前口頭での派遣承諾を得ている。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	細菌検査
2. 派遣期間・時期	1991年4月、8月、 1992年2月 各2週間
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初からの派遣予定はないが細菌検査専門家の長期派遣ができない場合、これまでのプロジェクトの状況を把握している専門家、もしくは結核細菌検査の専門家の派遣が必要。
4. 先方の希望内容	国立結核研究所とサブセンターの検査技術の評価とフォローアップ。
5. 派遣目的および具体的内容	培養試験、薬剤耐性試験技術の向上、アットランダムな採痰検査、研究活動。
6. 必要とされる携行機材・額	培養試験の資機材及び薬品
7. その他備考	結核予防会、結核研究所の藤木、鹿住女史が候補者

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地業務費臨時支給分
2. 目的	<p>(1)結核対策従事者（医師、細菌検査技師、保健夫健教育者等）に対する研修参加旅費。 (2)国立結核研究所とサブセンターから地方の保健施設に巡回指導を行なう際の交通費、旅費。 (3)業務外の研究・調査に対する共同研究者謝金。</p> <p>上記の活動の現地側の予算は増加しつつあるも未だ十分でなく、プロジェクトの終了迄に確実な成果と当国の結核対策に効果を上げるためには日本側で負担する必要がある。</p>
3. 計画・経費	<p>(1)国立結核研究所と2ヶ所のサブセンターで実施する研修は、年間200名を目標とし、対象者によって異なるが1～2週間とする。 (年間約250万円)</p> <p>(2)国立結核研究所と2ヶ所のサブセンターから近郊のヘルスセンターなどの保健施設への巡回指導及び調査を、月2回、3～5人のチームで実施。 (年間約150万円)</p> <p>(3)国立結核研究所と2ヶ所のサブセンターの医師技師を対象に、オペレーショナルリサーチの謝金を月毎に支払う。(年間約100万円)</p> <p style="text-align: right;">総計(500万円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地セミナー開催費												
2. 目的	プロジェクトの協力期間の終了に伴い、これまでのプロジェクトの成果を発表し現地側の自立を促すために、結核対策計画の評価と提言を与えるため昭和63年度、平成2年度に続き3回目の結核対策シンポジウムを開催する。												
3. 計画・経費	<table> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>交通費</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>会場借料</td> <td>300,000円</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>500,000円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総計(250万円)</p>	印刷製本費	1,000,000円	交通費	100,000円	通信運搬費	100,000円	会場借料	300,000円	諸謝金	500,000円	消耗品費	500,000円
印刷製本費	1,000,000円												
交通費	100,000円												
通信運搬費	100,000円												
会場借料	300,000円												
諸謝金	500,000円												
消耗品費	500,000円												

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
日本側の協力の継続/終了	現在当プロジェクトは1983年に協力を開始し1992年で終了する予定で、当初の目的の多くは目標に達してきていると思われるが、現地側はさらに協力を延長したい方向である。今後残る協力期間内の活動指針を確立するためにも、今の時期に協力期間終了後の方針を検討して戴きたい。
専門家の充実	現在プロジェクトの活動は充実しているが、前チームリーダーの活動されていた当時の5人体制(リーダー、調整員、臨床医師、放射線、臨床検査)になるよう専門家の確保及び充実を要望する。
高水準な職員C/Pの確保	当国には高等教育を受けた人材が少なく、指導教育した人材も異動してしまうことが多いので日常の業務に支障を来している。異動の原因には給与が低いことが上げられるので、研究費や謝金の枠を拡大して有能な人材を確保できる体制にしたい。 また任国外出張を利用した、国際機関との関係強化及びタンザニアなど結核対策の成果が顕著な国の視察、技術交換等を実施したい。

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		イエメン結核対策プロジェクト		
主 要 機 材 の 概 要	分野	品名	数量	金額(千円)
	細菌検査 放射線	①結核菌検査器具、試薬 ②放射線機材 ③間接/直接フィルム、現像液	多数 多数 多数	2,451 2,015 2,255
細菌検査 結核対策	④顕微鏡/付属部品 ⑤パソコン ⑥スライドワッシャー ⑦胸腔穿刺/吸引器 ⑧患者送迎用バス	多数 4台 4台 多数 2台	2,666 5,020 411 782 4,995	
		輸送費		405
		合計		21,000
供与の目的	①④については、結核細菌培養検査の拡充と塗抹陽性検査の普及のため。②③は研究所とサブセンターの放射線部門の技術向上のため。 ⑤については、調査研究データの処理と疫学統計用。⑥は無償資金協力で供与したものが故障で使用できなくなっているため。⑦は研究所とサブセンターの日常業務に不可欠である。 ⑧については、59年度に供与された車両が老朽し国立結核研究所の活動に支障が出てきており、1台を同研究所へ、1台はアデンに供与する。			
現地調達可否	(1)可 (一部機器は可能 ②③⑤⑥⑧) (2)否①④⑦			
A-471-A取付状	(2) 3年1月取付予定			

(15) エジプト

カイロ大学小児病院 (第2期)

		1991年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) 小児科学、小児外科学 2) 小児看護 3) 検査放射線等診断技術 4) 臨床医療機器保守管理 5) 視聴覚教育 6) 診療記録等管理	1) 小児科学、小児外科学 1-1 小児心疾患に関する診断治療に関する技術の向上 1-2 ICU管理の改善 1-3 小児外科学の向上 1-4 小児感染免疫・小児神経医学の向上 2) 小児看護 2-1 看護管理、看護教育							2-2 ICU、手術室看護、病棟管理の改善 3) 検査技術の向上 3-1 臨床病理の向上 3-2 放射線を含む診断技術の進歩 4) 臨床医療機器の保守管理 5) 視聴覚教育技術の向上 6) 診療記録管理の改善、コンピューター導入					
調査団の派遣	(1) 協議ミッション (2) 機材修理チーム				(1)					(2)				
専門家の派遣	長期専門家 1) リーダー、麻酔 2) 調整員 3) 医師 1. ICU (金川) 2. 小児心臓外科 (村上) 3. 小児麻酔 (伊藤) 4) 看護ICU (根反) 看護手術 (柴田) 5) 視聴覚教育 (牛山) 6) M.E. (丸山) 短期専門家 (分野、氏名等) (1) 小児循環器 (石沢) (2) 小児神経 (熊谷) (3) 小児外科 (岡松) (4) 小児看護 (未定) (5) 放射線技師 (中沢) (6) 病歴管理 (高橋、高井) (7) 小児心臓外科 (未定) (8) ボイラー点検 (未定) (9) 検査 (未定) (10) 中央配管 (未定) (11) 在庫管理 (未定)						91/6			91/8				
研修員	(分野、氏名等) (1) 医師 (小児科ICU) (2) 医師 (小児外科) (3) 看護婦 (ICU) (4) 看護婦 (ICU) (5) 看護婦 (手術) (6) M. E.		91/5						91/10					
供与機材														
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 技術普及広報費 (2) 応急対策費 (3) 臨時現地業務費		▲1	▲1	▲2	▲2		▲1	▲2			▲1	▲2	

1 : 申請書提出
2 : 事業実施

項目	専門チームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣	91年6月頃 及び10月頃	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム): 理由: R/Dにより決定 医療機器の老朽化したもの多く修理を要する				協議ミッション 機材修理チーム	機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと	
		① 小児循環器(心カテ他)	石沢 瞭	4-5月	3週間	未提出		
		② 小児外科	岡松 孝夫	5月	2週間	未提出		
		③ 小児神経	熊谷 公明	6月	2週間	未提出		
		④ 小児心臓外科	未定	4-5月	2週間	未提出		
		⑤ 小児看護	未定	92年2月	2週間	未提出		
		⑥ 放射線技師	中沢 靖夫	4-5月	2週間	未提出		
		⑦ 病歴管理	高橋、高井	10月	2週間	未提出		
		⑧ ボイラー点検	未定	6月	2週間	未提出		
		⑨ 検査	未定	10月	2週間	未提出		
		⑩ 中央配管	未定	11月	3週間	未提出		
		⑪ 在庫管理	未定	6月	3-6ヶ月	未提出		
(3) 供与機材	45,000 千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	6,600 千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと						
		① 伊佐	金額(円) 300,000	時期 4月	⑧ 柴田	金額(円) 500,000	時期 4月	
		② 金川	金額(円) 300,000	時期 4月	⑨ 河村	金額(円) 500,000	時期 4月	
		③ 伊藤	金額(円) 500,000	時期 4月	⑩			
		④ 村上	金額(円) 1,000,000	時期 6月	⑪			
		⑤ 牛山	金額(円) 1,000,000	時期 6月	⑫			
		⑥ 丸山	金額(円) 2,000,000	時期 6月	⑬			
		⑦ 根反	金額(円) 500,000	時期 4月				

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 伊佐 二久	チームリーダー 麻酔	88.6 - 91.6	交替希望	
	② 河村 恵子	調整員	88.8 - 91.8	交替希望	
	③ 金川 修造	小児科・ICU	89.8 - 91.8	交替希望	
	④ 村上 厚文	小児心臓外科	90.2 - 91.2	6ヶ月延長可	
	⑤ 伊藤 隆	小児麻酔	90.3 - 91.3	4ヶ月延長可	
	⑥ 牛山 雅英	視聴覚教育	89.12 - 91.12	交替希望	
	⑦ 丸山 昌明	医療機材保守管理	90.1 - 91.1	1年延長可	
	⑧ 根反 小春	小児看護	90.7 - 91.7	交替希望	
	⑨ 柴田 浩子	小児看護	90.7 - 91.7	交替希望	
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	6名を希望 早期通報分 3名 年度末通報分 3名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)
		① 未定	小児科 (ICU)	90.5 - 6月	9ヶ月		
		② 未定	小児外科	91.10 - 11月	9ヶ月		
		③ 未定	小児看護 (ICU)	91.5 - 6月	9ヶ月		
		④ 未定	小児看護	91.5 - 6月	9ヶ月		
		⑤ 未定	小児看護 (手術)	91.10 - 11月	9ヶ月		
		⑥ 未定	ME	91.8 - 9月	9ヶ月		
		⑦					
		⑧					
		⑨					
		⑩					
⑪							

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		
②技術普及広報費	800千円を希望	0円	広報用病院紹介パンフレット作成	
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	4,000千円を希望	0円	空調などの設備改善	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		カイロ大学小児病院(Ⅱ)		
主要 機材 の 概 要	分野	品 目	数量	金額(千円)
	小児外科 小児内科	ヘモオキシメーター他	11	
		輸送費		45,000
			合計	
供与の目的		小児科、小児外科の診断、治療上必要である。		
・全体計画における位置付け		一部は購入以来8年を経過し、老朽化のため更新の必要あり		
・今回供与の主要眼点		ICUにおける管理上、患者観察指導上必要である		
・技術移転上の役割		いずれも今年度緊急性あり		
・緊急性				
現地調達可否		(1) 可(一部機器は可能) (2) 否		
A47+L取付状況		(1) 一括取付済 (2) 3年1月取付予定		

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児循環器科 内科 2名、外科 2名
2. 派遣期間・時期	約2週間（うち心カテは1ヶ月）平成3年4月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	R/Dに小児心疾患の診断治療に関する技術の向上をあげており、現レベルを向上する要あり
4. 先方の希望内容	小児循環器疾患の診断、治療 小児循環器疾患の外科的手技
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児心疾患の診断技術向上 心エコー、心電図、レントゲン等総合的診断 同上 外科的適応、術中、術後管理
6. 必要とされる携行機材・額	心疾患診断治療に必要な機器 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児神経生理 2名
2. 派遣期間・時期	2週間 平成3年6月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	小児科診断はR/Dの重点項目であり、軌道に乗りつつあり、更に向上を要する。
4. 先方の希望内容	小児神経診断技術
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児神経診断技術向上のため
6. 必要とされる携行機材・額	診断に必要な消耗品類 約60万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児外科
2. 派遣期間・時期	約2週間 平成3年5月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	小児外科のうち診断技術向上はR/Dの項目としてあげられており、毎年ワークショップによる指導が必要である。
4. 先方の希望内容	小児外科、特に先天性胆道拡張症及び閉鎖症の診断治療
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児外科の向上 先天性胆道拡張、及び閉鎖症の診断、手術後管理の指導
6. 必要とされる携行機材・額	小児外科に必要な材料 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児看護
2. 派遣期間・時期	約1ヶ月 平成4年2月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	小児看護ワークショップはR/D項目に上げており、技術協力開始以来、毎年実施している。今回はプロジェクト(II)の重点である循環器疾患看護を主とする。
4. 先方の希望内容	循環器疾患看護実技面教育
5. 派遣目的および具体的指導内容	看護ワークショップ 特に実技面を重点とする 循環器疾患 術前、術後の看護 看護管理
6. 必要とされる携行機材・額	小児看護に必要な機材 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	放射線技術
2. 派遣期間・時期	約1ヶ月半 平成3年5月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	小児循環器疾患の診断技術向上は、R/Dマスクーブランとしてかかげられているが、心臓カテーテル検査はその主たるもので、この操作、管理に必要
4. 先方の希望内容	心臓シネアンギオグラフの操作、管理、維持
5. 派遣目的および具体的指導内容	シネアンギオ装置、CTスキャン等放射線機器の操作、管理の指導
6. 必要とされる携行機材・額	放射線技術指導に必要な機材 約30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	病歴管理
2. 派遣期間・時期	約1～2ヶ月 平成3年10月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	R/Dに診療記録管理の改善、コンピューターの導入があげられているが、現在最も遅れている分野で平成2年度のワークショップの成果を拡大する要あり。
4. 先方の希望内容	診療記録の管理技術 コンピューター準備
5. 派遣目的および具体的指導内容	病歴管理の基本、診療記録のフォーム作成、エジプトに適した管理の導入 コンピューター導入のためのフォーム
6. 必要とされる携行機材・額	病歴管理に必要な教材 約20万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	ボイラー機能チェック
2. 派遣期間・時期	約2週間 平成3年6月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	ボイラーは無償資金供与により1983年に設置されたが、以来8年以上経過し、その機能維持は病院全体の運営上極めて重要である。
4. 先方の希望内容	現有ボイラーの点検のおよび今後の方針決定
5. 派遣目的および具体的指導内容	現有ボイラーの点検 機能および損耗部分のチェック、修理、オーバーホール、耐用年数、全面的更新の要否、その方法等将来の方針決定
6. 必要とされる携行機材・額	ボイラー点検に必要な機材及び修理用スペアパーツ 約100万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	検査技術、管理
2. 派遣期間・時期	2～3ヶ月 平成3年10月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	R/Dに検査技術の向上があげられており、検査の精度管理に関し指導を要する。
4. 先方の希望内容	検査室管理、精度管理
5. 派遣目的および具体的指導内容	検査の精度向上 検査室管理技術 臨床病理の向上
6. 必要とされる携行機材・額	検査用機器 約30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	中央配管点検
2. 派遣期間・時期	3週間 平成3年11～12月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	中央配管は設置以来8年経過し、圧低下または閉塞により診療上障害を生じ、人命にもかかわり病院機能の低下につながるおそれあり
4. 先方の希望内容	中央配管のチェック、および警報装置、オート・ドレーン等取付
5. 派遣目的および具体的指導内容	中央配管の圧チェック、狭窄原因および部位の点検指導、改善
6. 必要とされる携行機材・額	中央配管点検のための機材(警報装置、オートドレーン等) 約300万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	在庫管理
2. 派遣期間・時期	3～6ヶ月 平成3年6月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	R/Dにおいて病院管理の専門家派遣があげられているが、プロジェクト(Ⅱ)に移行の段階において、在庫管理引継ぎが不良で、技協の実効を上げるためには在庫管理、指導が重要である。
4. 先方の希望内容	在庫管理指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	新增築部門の倉庫における医療機器、スペアパーツ等の管理および各セクションのニーズに適合する管理法の指導。
6. 必要とされる携行機材・額	在庫管理に必要な機材 約30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	チームリーダー
2. 派遣期間・時期	3年 平成3年6月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	プロジェクト (II) は、89年7月より94年6月まで続くが、現リーダーの任期が平成3年6月で終了する。引き継ぎ期間を考慮し6月から派遣を要する。
4. 先方の希望内容	プロジェクト・チームリーダー
5. 派遣目的および具体的指導内容	チームのまとめ、病院側及びJICA本部との連絡、エジプト側へのアドバイス等チームリーダーは必須である。
6. 必要とされる携行機材・額	事務及び管理用機器 約30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	調整員
2. 派遣期間・時期	3年 平成3年8月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	プロジェクト (II) は、89年7月から始まり94年6月まで続くが、現任者の任期が平成3年8月で終了する。引継ぎを含め8月から派遣が必要。
4. 先方の希望内容	プロジェクト・コーディネーター
5. 派遣目的および具体的指導内容	プロジェクトチーム、病院側、JICA本部間の調整、連絡、諸種の事務的処理、公金管理
6. 必要とされる携行機材・額	事務用機器 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児科、I C U
2. 派遣期間・時期	2年 平成3年8月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	Phase (II)プロジェクトにおいてI C U管理の向上をマスタープランとしてあげており、平成2年8月に現専門家の任期が終了する。
4. 先方の希望内容	I C U専門家 呼吸、循環管理、エコーその他小児科全般の技術
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児I C Uの管理指導 呼吸、循環の診断、管理及び心、腹部、頭部エコー その他全般に亘り指導
6. 必要とされる携行機材・額	小児I C Uにおけるモニター及び検査機器 約30万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児心臓外科
2. 派遣期間・時期	1年 平成3年2月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	プロジェクト(II)においては、特に心臓疾患の診断、治療に重点を置いており、現専門家の任期が6ヶ月延長した場合、平成3年8月に終了する。
4. 先方の希望内容	小児心臓外科、および心カテ、エコー等診断技術、外科的技術
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児心臓外科の指導 術前診断 治療 術後管理
6. 必要とされる携行機材・額	小児心臓手術に必要な機器 約100万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児麻酔
2. 派遣期間・時期	1年 平成3年3月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	小児外科(一般外科、心臓外科)の向上は重点項目であるが、麻酔の占める役は極めて重要である。
4. 先方の希望内容	幅広い麻酔技術の指導 呼吸、循環管理
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児手術の術前評価、管理 術中、術後の全身管理指導
6. 必要とされる携行機材・額	小児の術中、術後管理に必要な機器 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	小児看護
2. 派遣期間・時期	1～2年 平成3年7月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	小児看護の向上はエジプトの医療レベルの進歩のため、極めて重要でマスタープランにも重点項目としてあげている。現専門家の任期は平成3年7月で終了する。
4. 先方の希望内容	小児ICU 小児手術(循環器、一般外科)
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児看護の指導 特にICU管理 手術室管理 術前、後ケア 看護管理および教育
6. 必要とされる携行機材・額	小児看護に必要な機材 約50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	視聴覚教育
2. 派遣期間・時期	1～2年 平成3年12月
3. 当初計画（TSI） と全体計画での 位置付け	R/Dにおいて視聴覚教育技術の向上があげられており、現任者の任期は平成3年12月で終了する。
4. 先方の希望内容	視聴覚教育教材制作技術
5. 派遣目的および 具体的指導内容	視聴覚教育教材制作 写真記録撮影 スライド作成 VTRの撮影および編集
6. 必要とされる携 行機材・額	視聴覚教材作成に必要な機材 約100万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	医療機器保守管理
2. 派遣期間・時期	1～2年 平成4年2月
3. 当初計画（TSI） と全体計画での 位置付け	R/Dにおいて臨床医療機器の保守管理があげられており、現任者の任期は平成4年1月に終了する。
4. 先方の希望内容	医療機器の修理、保守、管理
5. 派遣目的および 具体的指導内容	医療機器保守管理技術 各種診断、検査、治療等医療機器の修理技術、保守管理技術
6. 必要とされる携 行機材・額	医療機器保守等に必要な機材 (プリント基板等) 約200万円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術普及広報費（病院パンフレット作成）
2. 目的：	広報用病院パンフレット作成
・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	中東で最大の小児専門病院として、内外より多数の来訪者があり、説明用のパンフレットが必要であるが、エジプト側の限られた予算では作成費が捻出できない。
3. 計画・経費	病院紹介パンフレット 英語版 3,000部 40ページ 写真40枚 総計（約80万円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	応急対策費
2. 目的：	空調などの設備改善
・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	プロジェクトも第2期に入り、増設部も機能を始めたが既設部の老化現象が目立ち始めた。場所によっては全く機能しない部分があり、修理を必要としているが、部品等現地で購入できないものがある。第2期のプロジェクトを効率よく行うためにも設備改善が必要である。
3. 計画・経費	主に空調関係 総計（約400万円）

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
日本側の問題点	
1. 長期専門家の任期と後任の件	1. 長期専門家の殆どが平成3年中に任期終了するが後任が未だに決定していないので、早急に決定し、具体化されるよう要望する。
2. 計画打合せミッション派遣の件	2. 実施協議のR/Dにおいて計画打合わせミッションの派遣が決定しているに拘らず、このための予算が無く、派遣も具体化していない。遅くも平成3年2月までに実現されるよう要望する。
エジプト側問題点	
1. 病院管理能力	1. 病院管理者が実情を把握していないため、管理運営面での欠陥が多い。頻回にアドバイスを行っているが対応が鈍い。更に根気強く行う予定。
2. 循環器科診断技術治療	2. 心カテチーム及び専門家の指導により、一応軌道に乗っているが、未だ初歩的で、更に継続的指導を要する。

問題点	要望事項、改善案、等
3. 専門家指導に対する対応	3. 反応が遅く実行が遅いため、専門家は不必要な労力と時間を強いられている。根気強い指導によらざるを得ない。
4. 供与機材の有効利用	4. 機器の共同利用など有効利用が悪く、これに対する対策に関しても、管理指導が拙い。アドバイスにより改善したい。
その他	1. カイロ在住エージェントの能力が低い。日本側メーカーの指導を要望する。 2. ローカルコスト負担が充分でない場合、ある程度日本側で充当する必要がある。

(16) ス ー ダ ン

ハルツーム教育病院

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1. 泌尿器科 2. 耳鼻科 3. 胃腸科 4. 麻酔科 5. 放射線科 6. 看護 7. 検査 8. 医療統計 9. 視聴覚 10. 医療機器	1. 1) PCNL術の確立 2) 慢性腎不全患者に対する治療の確立 (血液透析、腎移植等) 2. 1) 頸部食道癌における遊離空腸移植確立 2) 上顎癌手術の確立 3. 肝癌に対する塞栓療法 4. 局所麻酔の指導及び術前、術後管理の向上 5. リンパ管造影法、血管造影法							6. 看護管理、看護記録指導 7. 嫌気性菌同定、病理診断技術の向上 8. データー解析 9. 教材 (ビデオ、スライドetc) 作成指導 10. 保守管理指導のワークショップ充実				
調査団の派遣		-----											
専門家の派遣	長期専門家 1) 外科 2) 臨床検査 3) 医療機器 (技術者養成) 4) 視聴覚 ----- 短期専門家 (分野、氏名等) (1) 泌尿器科 (2) 耳鼻科 (3) 胃腸外科 (4) 胃腸内科 (5) 麻酔科 (6) レントゲン (7) 看護 (8) 病理 (9) 細菌 (10) 医療統計 (11) 医療機器 (聴力測定器)												
研修員	(分野、氏名等) (1) (2) (3) (4)	4/15 ----- 5/30 (普及セミナーの実施の為、計3名必要 1名は全期間、2名は後半2週間) 4/15 ----- 5/30 (計3名必要、理由は同上) 4/15 ----- 5/30 } 普及セミナー実施の為、3名必要 7/15 ----- 8/30 7/15 ----- 8/30 4/15 ----- 5/30 7/15 ----- 8/30							11/15 ----- 12/30 (計3名必要、理由は (1)に同じ) 11/15 ----- 12/30 (計3名必要、理由は 同上) 11/15 ----- 12/30 11/15 ----- 12/30				
供与機材		▲仕様書提出						▲現地費希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 広報費 (2) 中堅技術者養成 (3)	▲申請提出▲実施					▲申請提出					▲実施	

項目	専門家チームの要望						備考																																								
	計画	内容																																													
(1) 調査団派遣		調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由:					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																								
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと ①～④については、この他にセミナー要員として各科に2名(2W程度)を要望。 ⑧、⑨についてはセミナー要員を1～2名要請 ⑩耳鼻科関係、特に聴力測定器に問題がありメーカーから派遣される事を希望																																								
		①泌尿器科		4/15～5/30	1.5ヶ月																																										
		②耳鼻科		11/15～12/30	1.5ヶ月																																										
		③胃腸外科		4/15～5/30	1.5ヶ月																																										
		④胃腸内科		11/15～12/30	1.5ヶ月																																										
		⑤麻酔科		4/15～5/30	1.5ヶ月																																										
		⑥レントゲン		11/15～12/30	1.5ヶ月																																										
		⑦看護		11/15～12/30	1.5ヶ月																																										
		⑧病理		7月中旬～8月末	1.5ヶ月																																										
		⑨細菌		7月中旬～8月末	1.5ヶ月																																										
		⑩医療統計		4月中旬～5月末	1.5ヶ月																																										
		⑪医療機器		7月中旬～8月末	1.5ヶ月																																										
(3) 供与機材	30,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																													
(4) 携行機材	9,500千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>時期</th> <th>金額</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①泌尿器(カテーテル、ソフト類)</td> <td>80万円</td> <td>4月</td> <td>⑧病理(特殊染色液etc)</td> <td>80万円 6月</td> </tr> <tr> <td>②耳鼻科</td> <td>80万円</td> <td>10月</td> <td>⑨細菌(診断用血清etc)</td> <td>80万円 6月</td> </tr> <tr> <td>③外科(ビデオ、PTCD等etc)</td> <td>100万円</td> <td>4月</td> <td>⑩統計(パソコン等etc)</td> <td>100万円 4月</td> </tr> <tr> <td>④内科(消毒薬etc)</td> <td>50万円</td> <td>10月</td> <td>⑪視聴覚(PALビデオカメラetc)</td> <td>100万円 4月</td> </tr> <tr> <td>⑤麻酔科(キューラカテーテル)</td> <td>80万円</td> <td>4月</td> <td>⑫ME(工具、部品etc)</td> <td>100万円 4月</td> </tr> <tr> <td>⑥X線(現像液etc)</td> <td>50万円</td> <td>10月</td> <td>⑬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦看護(血圧計etc)</td> <td>50万円</td> <td>10月</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						項目	金額	時期	金額	時期	①泌尿器(カテーテル、ソフト類)	80万円	4月	⑧病理(特殊染色液etc)	80万円 6月	②耳鼻科	80万円	10月	⑨細菌(診断用血清etc)	80万円 6月	③外科(ビデオ、PTCD等etc)	100万円	4月	⑩統計(パソコン等etc)	100万円 4月	④内科(消毒薬etc)	50万円	10月	⑪視聴覚(PALビデオカメラetc)	100万円 4月	⑤麻酔科(キューラカテーテル)	80万円	4月	⑫ME(工具、部品etc)	100万円 4月	⑥X線(現像液etc)	50万円	10月	⑬		⑦看護(血圧計etc)	50万円	10月		
項目	金額	時期	金額	時期																																											
①泌尿器(カテーテル、ソフト類)	80万円	4月	⑧病理(特殊染色液etc)	80万円 6月																																											
②耳鼻科	80万円	10月	⑨細菌(診断用血清etc)	80万円 6月																																											
③外科(ビデオ、PTCD等etc)	100万円	4月	⑩統計(パソコン等etc)	100万円 4月																																											
④内科(消毒薬etc)	50万円	10月	⑪視聴覚(PALビデオカメラetc)	100万円 4月																																											
⑤麻酔科(キューラカテーテル)	80万円	4月	⑫ME(工具、部品etc)	100万円 4月																																											
⑥X線(現像液etc)	50万円	10月	⑬																																												
⑦看護(血圧計etc)	50万円	10月																																													

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①林 秀雄	外科			
	②才田 春夫	臨床検査調整	昭和62年11月28日～ 平成3年3月31日	延長(期間については未定)	
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望					備考	
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	3名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)	
	早期通報分 3名						①現在選考中
	年度末通報分 3名						②
							③
							④
							⑤
							⑥
							⑦
							⑧
							⑨
							⑩
	⑪						

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：スーダンハルツーム教育病院

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		
②技術普及広報費	300千円を希望	円	研究論文集の出版	
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	1,000千円を希望	円	地方の若手医師及び技術者養成訓練コース開設	
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名	ハルツーム教育病院			
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		Video Endoscope Set 他 gastroscope duodenalscope colonoscope camera 輸送費 etc		合計 30,000 千円
供与の目的	教育用機材及び修理用部品を重点に計画策定			
・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性				
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否			
A470-A取付状況	(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

専門家派遣計画表

1. 指導科目	泌尿器科
2. 派遣期間・時期	1991年4月中旬～1991年5月下旬
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	①Endourology(PCNL, TUL, TUR-Petc)技術の確立 ②慢性腎不全患者に対する治療の確立
5. 派遣目的および具体的指導内容	1. PCNL手技の指導及び術後管理 2. 経皮的腎瘻造設、Double J-Stent留置の適応と手技 3. 腎移植患者の術前、術後管理 4. Tissue Typing 用機器整備と技術指導
6. 必要とされる携行機材・額	Endourology 用カテーテル、スチン類 } 内視鏡消毒薬(idox) } 80万円 イソジンゲル }
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	耳鼻科
2. 派遣期間・時期	1991年11月中旬～1991年12月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	専門科としての耳鼻科学の確立
4. 先方の希望内容	頸部食道癌における遊離空腸移植 上顎癌根治治療手術
5. 派遣目的および具体的指導内容	適応症例の選択及び術式の供覧
6. 必要とされる携行機材・額	50万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	外科
2. 派遣期間・時期	1991年4月中旬～1991年5月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	消化器疾患に対する外科療法の技術移転、とりわけ肝癌に対する治療法
4. 先方の希望内容	肝切除術 肝動脈塞栓療法
5. 派遣目的および具体的指導内容	日本に於ける肝癌診断と治療の実際につき指導 現地に適する技術の選択と指導 必要物品の選択
6. 必要とされる携行機材・額	カテーテル等他 100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	内 科
2. 派遣期間・時期	1991年11月中旬～1991年12月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	消化器疾患に対する、内科的診断治療技術移転 肝疾患に対する診断。
4. 先方の希望内容	腹腔鏡検査の確立。
5. 派遣目的および 具体的指導内容	腹腔鏡検査を開始しているが、スタッフの訓練 が十分でないため、施行の実際につき指導が必要。
6. 必要とされる携 行機材・額	消毒薬 (グルタールアルデヒド) 他 50万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	放射線科
2. 派遣期間・時期	1991年11月中旬～1991年12月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	放射線科的診断技術の向上。
4. 先方の希望内容	リンパ管造影法。 選択的動脈造影法。
5. 派遣目的および 具体的指導内容	リンパ管造影法の手技の実際の指導。 血管造影に於けるカテーテルの選択等の実際の 指導。
6. 必要とされる携 行機材・額	現像液 大角フィルム カテーテル 等 50万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	麻酔科
2. 派遣期間・時期	1991年4月中旬～1991年5月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	外科系諸科の手術に対する安全な麻酔法、周術期管理の確立。
4. 先方の希望内容	局所麻酔法 術後管理 (人工呼吸の管理etc.)
5. 派遣目的および具体的指導内容	局所麻酔の実技指導 { 硬膜外麻酔 仙骨ブロック 腋窩神経ブロック など 術後管理の指導 術前管理の指導 : 術前訪問の確立
6. 必要とされる携行機材・額	自動血圧計等 100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	看護
2. 派遣期間・時期	1991年11月中旬～1991年12月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	看護管理、看護記録の確立により、治療成績の向上に寄与する。
4. 先方の希望内容	看護管理。 看護記録の確立。
5. 派遣目的および具体的指導内容	病棟看護を中心として患者管理を指導。
6. 必要とされる携行機材・額	血圧計など。 50万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	病 理 (医師、技師)
2. 派遣期間・時期	1991年7月中旬～1991年8月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	医師 診断技術の向上 技師 特殊染色法のルーチン化
5. 派遣目的および具体的指導内容	①診断技術の向上 ②ニューロステイン 脂肪染色 } 等の特殊染色の確立及 免疫学的染色法 } びルーチン化
6. 必要とされる携行機材・額	染色液、スライドクラスetc 80万円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	細菌学
2. 派遣期間・時期	1991年7月中旬～1991年8月下旬
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	嫌気性菌の同定
5. 派遣目的および具体的指導内容	①嫌気性菌の同定 ②自家性感受性テストの確立及びルーチン化
6. 必要とされる携行機材・額	培地 診断用血清類他 80万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	医療機器 長期1名(電子) 短期(ENT 機器専門)
2. 派遣期間・時期	1年 短期はENT と同時期: 1991年11月中旬～ 1991年12月下旬
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	
4. 先方の希望内容	電子、電気、設備機器に関する現地エンジニアの訓練
5. 派遣目的および具体的指導内容	長期 1) 電気、電子に関する基礎的講義と実技によるテクニシャンの養成 2) ワークショップの充実 短期 ENT 関連機器の修理及び調整
6. 必要とされる携行機材・額	スペアパーツ類 80万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	医療統計
2. 派遣期間・時期	1991年4月～1991年5月下旬
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	各科にて蓄積された情報を処理し、今後の運営計画に寄与する。
4. 先方の希望内容	コンピューターを使用した患者カルテ管理
5. 派遣目的および具体的指導内容	IBMの小型コンピューターを導入予定であり、将来的に増設する可能性もあり、これを利用し、患者情報を整理し、統計を作成する。
6. 必要とされる携行機材・額	コンピューター ソフト 等 100万円
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	若手医師の技師訓練コース					
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	内視鏡、超音波診断装置を使った医療か、高度な技術を要する手術等は、地方の医師にとってあまり経験出来ないものであり、未だその技術には信頼性が薄い。従って高度医療を地方にも広げる意味で本計画を策定した。					
3. 計画・経費	<table border="0"> <tr> <td>胃腸科</td> <td rowspan="4">} がそれぞれのタイトルに基づいて一週間前後のコース</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科</td> </tr> <tr> <td>泌尿器科</td> </tr> <tr> <td>検査科</td> </tr> </table> <p>を各1回ずつ開く。 講師料 交通費 宿泊費(含む日当) 消耗品費</p> <p style="text-align: right;">総計(1,000千円)</p>	胃腸科	} がそれぞれのタイトルに基づいて一週間前後のコース	耳鼻科	泌尿器科	検査科
胃腸科	} がそれぞれのタイトルに基づいて一週間前後のコース					
耳鼻科						
泌尿器科						
検査科						

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>問題点</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現地側と国内支援機関との相互理解が不十分である。 2. 現地とJICA HDQ相互の事務連絡に時間を要する。その為に誤解も生じている。 <p>要望事項</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上記1. に関し、支援機関の実務者レベルでの調整役を決め、現地とのパイプ役として出張してもらいたい。 ②研修員の受け入れ及びその日程を早目に通知(最低2週間前)に願いたい。一渡航準備に時間がかかる為。 ③携行機材の発送を早目をお願いしたい。一引き取りに時間がかかるため。 ④機材送付の案内(到着予定日、フライトetc)を事前にTLXで連絡して欲しい。 ⑤プロジェクトカウンターパートの受け入れ人数を早目に知らせたい。一今年度は3名予定していたが、2名しか送り出していない。あと1名も受け入れて欲しい。 ⑥医療機器の長期専門家を派遣して欲しい。一現地テクニシャン養成が必要。 ⑦プロジェクトの延長又は、新規プロジェクトの発足により、何らかのサポートが必要であるが、前向きに検討頂きたい。 ⑧供与機材としての消耗品を認めて頂きたい。

(17) ガ ー ナ

野口記念医学研究所

ANNUAL WORK PLAN

		1990年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) ウイルス学 2) 疫学 3) 栄養学	ガーナ保健省、国際機関(WHO・UNICEF)との連携 1-1 初初カチン 効果調査 1-2 ウイルス性疾患の実験室・血清学的診断の確立 1-3 AIDSサバイバル 1-4 ワクチン保存と力価測定				2-1 感染症サバイバル(疾病状況・住民登録他) 2-2 マリヤ疫学調査 2-3 初初カチン 効果調査(WHOとの協力) 2-4 新三種混合ワクチン効果調査				3-1 離乳と乳児期栄養 3-2 ビタミン不足(特にビタミンA) 3-3 無機質欠乏症の調査			
調査団の派遣		←→イリイション プロジェクト協力期間：平成3年9月30日まで											
専門家の派遣	長期専門家 1) リーダー 疫学(堀) 90/12 2) 疫学(三村) 90/1 3) 栄養学(木戸) 90/4 4) 調整員(江口) 89/6												
	短期専門家 1) ウイルス学 2) ウイルス学 3) 栄養学(北野) 4) 栄養学 5) 疫学(神谷)												
研修員	1) ウイルス学 (Mr. Magnusen) 2) 疫学 (Mr. Mensah) 3) 栄養学 (Mr. Harrison)												
供与機材	5,000 千円 ▲感染症機材	△仕様書A. Form提出 ▲現地調達分前送資金 ▲本邦購送分現地着											
各種事業ロカル 負担事業、等	現地業務費臨時支給 技術普及広報費	△申請書提出 ▲現地購入 △申請書提出 ▲Bulletin発行											
△：申請 ▲：事業実施													

項目	専門家チームの要望						備考																						
	計画	内容																											
(1) 調査団派遣	5月頃を希望	調査団の種類(エバリュエーション) 理由: 5ヵ年計画プロジェクトの最終年にあたりこれまでの協力活動につき包括的および分野別に評価を行なう。また、ガーナ側より要請されている新規プロジェクトの協力内容について協議し、内容の妥当性および日本側協力の可能性について検討する。																											
(2) 短期専門家派遣	5名を希望	分野	候補者氏名	派遣時期	期間	A170-A取付状況	(別紙専門家派遣計画表に先方の希望内容、派遣目的、指導内容、携行機材を記述)																						
		①ウィルス学		1991年4月～	3ヵ月	派遣可能性をリーチ会議にて検討後A170-A提出依頼の予定																							
		②ウィルス学		1991年4月～	3ヵ月																								
		③栄養学	北野	1991年3月～	4ヵ月																								
		④栄養学		1991年6月～	4ヵ月																								
		⑤疫学	神谷	1991年4月～	6ヵ月																								
		⑥																											
(3) 供与機材	5,000千円を希望	別紙機材実施計画書に記載																											
(4) 携行機材	短期専門家分 4,000千円を希望 長期専門家分 1,700千円を希望	<p>新規派遣専門家</p> <table border="0"> <tr> <td>①ウィルス学</td> <td>500千円</td> <td>派遣時に同時携行</td> </tr> <tr> <td>②ウィルス学</td> <td>500千円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>③栄養学</td> <td>1,000千円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>④栄養学</td> <td>1,000千円</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>⑤疫学</td> <td>1,000千円</td> <td>〃</td> </tr> </table> <p>派遣中の専門家</p> <table border="0"> <tr> <td>⑥堀</td> <td rowspan="3">1,500千円</td> <td rowspan="3">4月</td> </tr> <tr> <td>⑦三村</td> </tr> <tr> <td>⑧江口</td> <td>200千円</td> <td>4月</td> </tr> </table>					①ウィルス学	500千円	派遣時に同時携行	②ウィルス学	500千円	〃	③栄養学	1,000千円	〃	④栄養学	1,000千円	〃	⑤疫学	1,000千円	〃	⑥堀	1,500千円	4月	⑦三村	⑧江口	200千円	4月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 派遣中3専門家(堀、三村、江口)の申請分(凡、サブリーダー名に申請の予定) - 1,700千円。フィールドで使用する医薬品、故障機材のスベアパーツ類および緊急に必要な生じた資材機材の申請分。 </div>
①ウィルス学	500千円	派遣時に同時携行																											
②ウィルス学	500千円	〃																											
③栄養学	1,000千円	〃																											
④栄養学	1,000千円	〃																											
⑤疫学	1,000千円	〃																											
⑥堀	1,500千円	4月																											
⑦三村																													
⑧江口			200千円	4月																									

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家	氏 名	指導分野	派遣期間	交替・延長の要望	
	① 堀 浩樹	疫学・リーダー	1990年12月12日～1991年12月11日	延長	
	② 三村 嘉寿夫	疫学	1990年 1月28日～1991年 4月30日	交替	
	③ 木戸 康博	栄養学	1990年 4月 8日～1991年 4月 7日	交替	
	④ 江口 秀夫	業務調整	1989年 6月14日～1991年 9月30日	延長	
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
		候 補 者 氏 名	分 野	受入希望時期	期間	A2-374-A取付状況	
(6) カンクパート受入	3名を希望 早期通報分 3名 年度末通報分 名	① Mr. Albert F. Magnusen ② Mr. George E. Mensah ③ Mr. Erric Harrison ④ ⑤	ウイルス学 疫 学 栄養学	1990年 4月6日 1990年 4月6日 1990年 4月6日	1年 1年 1年	国内委員会にて受 入内諾を得た後正 式のA2-374-A提出 依頼の予定	(受入希望機関) 国立予防衛生研究所 三重大学 徳島大学
	第3国研修(個別)	Mr. J. B. Ashigbee	寄生虫学	1990年 4月6日	1年		711の熱帯医学研究所-7117- 住血吸虫の研修
	文部省国費留学 (JICA特別枠)	Dr. B. D. Akanmori	免疫学	1990年 4月6日	2年		群馬大学医学部寄生虫学教室 (鈴木守教授)

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名: ガーナ野口記念医学研究所プロジェクト

医療協力部

項目	専門家チームの要望			備考
	計画	2年度実績	内容	
(7)ロ-コスト負担経費				
①現地業務費臨時支給分	1,000千円を希望	0千円	疫学調査のフィールドで使用する医薬品の現地購入。栄養学調査フィールド調査費用	
②技術普及広報費	600千円を希望	500千円	Noguchi Bulletinの発行(1回)	
③現地セミナー開催費	0千円を希望	829千円		
④技術交換費	1,000千円を希望	432千円	ケニヤ国中央医学研究所との技術交換(感染症に関する研究及びフィールドワークへの実践)	
⑤応急対策費	0千円を希望	0千円		
⑥中堅技術者養成対策費	0千円を希望	0千円		
⑦プロジェクト基盤整備費	0千円を希望	0千円		
<p>(8) 予算新規項目: ジャーナル等定期購読支援費</p> <p>専門分野の英文ジャーナルを整備することは極めて大切な事であるが予算が限られているため図書類の整備までには手がまわらないという現状である。図書類については専門家の携行機材、供与機材で対応可能であるがジャーナル等の定期刊行物については購入が不可能なため文献コピーサービスにより情報の提供を受けている。しかし、この場合には文献がある特定のC/Pに利用されるのみで研究所スタッフの共有とはならず、また、情報入手までに時間も要する。については文献コピーサービスのシステムはこれまで通り存続させたうえで最も基本的な英文ジャーナル10種程度の定期購読の契約を可能にする予算が望ましい。</p>				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ガーナ野口記念医学研究所プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	ウィルス学 栄養学 疫学 その他	試薬類、 A77クリット 遠心機、ペビスケル 検体収集用資機材 機材のスベアパーツ類 4,500千円 輸送費 500千円		
			合計	
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性	プロジェクト最終年度にあたり、各協力分野で必要な機材およびこれ迄に供与した機材の消耗品類・スベアパーツ類を中心にリストを作成する。 予算が限られているため、高価な機械の新規購入を控え、検体収集用・分析用の資材と試薬類が主である。			
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能 調査中) (2) 否			
A47+M取付状況	(1) (2) 2年1月取付予定			

専門家派遣計画表

野口記念医学研究所プロジェクト

1. 指導科目	ウイルス学
2. 派遣期間・時期	1991年 4月から3ヶ月 (短期専門家1名) 1991年 6月から3ヶ月 (短期専門家1名)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	これまで実施してきたウイルス学ユニットへの技術協力を継続し、特に1991年度は、WHOとの協同研究であるポリオワクチン効果調査に関し、抗体価測定にかかわる技術協力を行なう。
4. 先方の希望内容	①ポリオワクチン接種後抗体価測定の研究指導 ②乳幼児下痢症患者からのロタウィルス検出に関する研究指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	(目的) 現在実施されているウイルス学ユニットへの技術協力を継続するとともに同ユニットに対し、ポリオワクチン接種後の抗体価測定及びロタウィルスの検出、ならびに、データの解析・論文作成等の指導を行なう。 (指導内容) ①ロタウィルス 接種後中和抗体価測定技術指導 ②ロタウィルス 分離同定に関する技術指導 ③分離ロタウィルスの野生株、ワクチン株の判定に関する技術指導 ④ロタウィルス電子顕微鏡的解析に関する指導
6. 必要とされる携行機材・額	抗体価測定のため必要な検査器具及び試薬 約 50万円 ロタウィルス分離のために必要な検査器具及び試薬 約 50万円 概算額 100万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

野口記念医学研究所プロジェクト

1. 指導科目	栄養学
2. 派遣期間・時期	1991年 3月から4ヶ月 (短期専門家1名) 1991年 6月から4ヶ月 (短期専門家1名)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	これまで実施してきた栄養学ユニットへの技術協力を継続し、特に1991年度は、無機質欠乏症および栄養状態判定について重点項目として協力を行なう。
4. 先方の希望内容	無機質欠乏症の調査・研究指導 栄養素欠乏時の免疫学的栄養状態判定法に関する研究指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	(目的) 現在実施されている栄養学ユニットへの技術協力を継続するとともに同ユニットに対し無機質分析法・免疫学的栄養状態判定法・データの解析・論文作成等の指導を行なう。 (指導内容) 1991年度の重点項目の無機質欠乏症および免疫学的栄養状態判定法については ①無機質欠乏症に関する調査・研究方法の指導 ②無機質の分析法についての指導 ③免疫栄養学の概説 ④免疫学的栄養状態判定法についての指導 ⑤調査研究データの統計学分析法の指導
6. 必要とされる携行機材・額	無機質分析のため必要な検査器具及び試薬 約 100万円 免疫学的栄養状態判定のために必要な検査器具及び試薬 約 100万円 概算額 200万円
7. その他備考	1) 離乳と乳児期栄養 2) ビタミン欠乏症 (特にビタミンA) の研究指導はある程度成果が得られたが、3) 無機質欠乏症に関しては、本年度の重点項目として研究指導を行なう必要がある。また栄養状態と免疫機能は密接な関連性があり、今後のテーマとして取り組んでいきたい。

専門家派遣計画表

#-野口記念医学研究所加外

1. 指導科目	疫学
2. 派遣期間・時期	1991年 4月から6ヶ月 (短期専門家1名)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	これまで実施してきた疫学ユニットへの技術協力を継続し、特に1990年 7月より開始されたポリオワクチン効果調査について重点的に協力を行なう。
4. 先方の希望内容	小児科医の立場から乳幼児感染症における疫学的調査・研究の指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	<p>(目的) 現在実施されている疫学ユニットへの技術協力を継続するとともに特に1990年 7月より開始された効果調査を引続き実施・指導を行なう。</p> <p>(指導内容) ①現在フィールドステーションで行なっている疾患サーベイランスの調査方法の指導 ②フィールドステーションで実施している医療活動の指導 ③研究データの統計学的解析法の指導</p>
6. 必要とされる携行機材・額	<p>①疾患サーベイランスに必要な検体採取器材 100万円 ②診療活動に必要な医薬品 150万円</p> <p style="text-align: right;">概算額 250万円</p>
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地医薬品費(医師日寺支系合) #-野口記念医学研究所加外
2. 目的	<p>疫学調査のフィールドで使用する医薬品の現地購入</p> <p>・必要性 野口研疫学ユニットは、現在4つの村(G.FETTF, G.ONVADZE, G.OSTEN JUKWA, G.MPRUMEN)で疫学のフィールド調査を実施し、疾病状況・人口動態の調査、ワクチンの接種ならびに、家族計画指導・健康教育を行っているが、特に乳幼児の疾病状況・出生率調査のため、村でクリニックを開設している。</p> <p>・緊急性</p> <p>・先方が負担できない理由 今後ともフィールド調査を継続的に行うため、村におけるクリニックの開設とそこで使用する医薬品の確保は必要不可欠である。これまで医薬品は、専門家の携行機材により対応してきたため日本の医薬品を使ってきたが、今後現地で購入可能な医薬品については現地調達に漸次変えていきたいと考えている。また、これまで医薬品の管理は、日本人専門家が行っていたが現地購入の医薬品についてはローカルスタッフに管理を移管し計画的な運用と在庫管理の手法を取得させたいと考えている。</p> <p>・効果 過去の経緯から全面的な野口研側負担に急に変更することは不可能であり、また、現地研究費からの支出の場合にも負担額が大きく他の活動に支障が生じるので現地業務費の臨時支給を申請する。</p>
3. 計画・経費	<p>医薬品の現地調達分として 50万円</p> <p style="text-align: right;">総計(500千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地栄養学調査臨時支給 (野口記念医学研究所加算外)
2. 目的	<p><u>栄養学調査のフィールド調査費</u></p> <p>・必要性 野口研栄養学ユニットは、ガーナ北部のUPPER EAST地区において就学前の児童を対象とした栄養学的調査を行っているが平成3年度も引き続き同地区で研究を継続する計画である。また、同地区ではイギリスの援助でビタミンAの大掛かりなプロジェクト (VAST) が実施されており、野口研に分析協力が依頼されている。</p> <p>・緊急性 したがって、フィールド調査の実施と、VASTとの打合せのため専門家業務出張が見込まれる。ガーナ側の研究予算は乏しく負担は難しい状況にある。</p> <p>・先方が負担できない理由 同一地区での栄養学的データを多角的に収集することが可能となる。また、他の機関との連携を図ることができる。</p> <p>・効果</p>
3. 計画・経費	<p>フィールド調査の実施 40万円</p> <p>内訳：交通費 (DIESEL) 15万円 車両 2台</p> <p>人件費 15 " 現地補助員謝礼</p> <p>インテグ 5 "</p> <p>フィールド用品 5 "</p> <p>VASTとの打合せ業務出張2回分 10万円</p> <p style="text-align: right;">総計 (500千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術普及広報費 (野口記念医学研究所加算外)
2. 目的	<p><u>Noguchi Bulletinの発行 (1回)</u></p> <p>・必要性 20年にわたるガーナに対する保健医療協力により同国の保健衛生に対し多大な貢献をしてきたが、当研究所の存在と活動内容が広く知れわたっているとは言いがたい。1989年 8月に開催したカンファレンス1990年の離乳食セミナーなどがマスコミに報道され知名度はかなり上がったものと思われるが当研究所の研究内容・業績を広く国内外に知らしめるためにはさらに広報活動が必要と判断する。</p> <p>・緊急性 当研究所紀要 "Bulletin of Noguchi Memorial Institute for Medical Research"は研究所内各ユニットにおける研究成果を発表するための機関誌として1987年より年2回発行しているものである。</p> <p>・先方が負担できない理由 プロジェクト協力期間が 9月30日までである事を考慮し、期間内に発行が見込まれる1回分を申請する。</p> <p>・効果</p>
3. 計画・経費	<p>Bulletinの発行</p> <p>年2回 (1991年 6月-vol.1, 12月号-vol.2),各 300部印刷のうち vol.1の発行分として60万円</p> <p style="text-align: right;">円</p> <p style="text-align: right;">総計 (600千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術交換費 (※-野口記念医学研究所プロジェクト)
2. 目的	<p>ケニア中央医学研究所 (KEMRI) との技術交換</p> <p>・必要性 当研究所の疫学ユニットが中心となって実施しているフィールド調査のデータと KEMRI のが行っているモデル地区での活動の結果につき意見交換</p> <p>・緊急性 ・討議を行うことにより、双方が蓄積してきた調査の手法・基礎研究と研究結果のフィールドへの還元方法等の技術交換を行う。</p> <p>・先方が負担できない理由 双方ともに日本からの技術協力の歴史が長いプロジェクトでありアフリカ地域における基礎医学研究を行っていることから共通する部分も多く有意義なものと思われる。</p> <p>・効果 1990年11月には酒徳前リーダーおよびProf. Nkrumah 所長が KEMRI を訪問し共通点を確認しており、今年度は具体的なテーマを設定し技術交換を実施したいと考える。</p>
3. 計画・経費	<p>KEMRI への訪問時期は先方の意向を確認した上で決定し、期間は1週間から10日間の日程とする。出張者は、日本人専門家およびカウンターパート2名とする。</p> <p>支出</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 域内旅費 (運賃、日当、宿泊料) 2. 現地活動費 (車両備上費、通信運搬費、会議費等) <p style="text-align: right;">約 100万円</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

ガーナ野口記念医学研究所プロジェクト

1. エバ調査団	<p>本プロジェクトは平成3年9月30日を持って当初の協力期間を終了することになる。平成3年度は最終年度にあたるため、これまでの協力活動についての評価を行い、これをもとに今後の方向性について日・ガ双方が協議する必要があり、エバリユエーション調査団の派遣をお願いしたい。また、評価の観点としてどのような指標を使うかを通知いただき、現地サイドで資料を準備する必要があれば早めに連絡をいただくようお願いいたします。これまでの日本側からの投入実績については、コンピューター入力されているデータを医療協力部から送付して下さい。</p>
2. 研究予算	<p>ガーナ側予算の大部分がスタッフの人件費と施設運営費に使われていて、研究費用予算が極めて厳しい状況にあるためJICAの現地業務費から支援してきたことはこれまでも指摘してきたとおりです。然しながら、現地業務費の定額支給額に変更がないにもかかわらず現地の物価は上昇しており、とりわけガーナ人スタッフの出張手当ての大幅な増額、海岸危機以降のガソリンの高騰はフィールド活動の実施の場合に多額の支出が必要とする様になり対応に苦慮しています。これまでは定額支給分の中でのやりくりをしてきましたが、今後は臨時現地業務費を申請することが必要になると予想されます。</p>
3. STC	<p>研究活動を実施するためには野口研内のScientific and Technical Committee (STC) で承認を受ける必要があります。ところがSTCは年に2～3回しか開かれないため、とりわけ短期専門家の場合は、あらかじめプロトコルを送付してガーナ側に研究内容を伝えないと派遣中に研究を開始できないという事態が生じることも予想され得ます。</p>
4. 機材の輸送 (温度管理品)	<p>温度管理品は、できるだけ赴任する専門家が同時携行することが望ましいのでご配慮下さい。空送に要する費用よりもバイハンドによるエクセス料金のほうが安い場合もあると予想されます。</p>
5. 第3回国研修	<p>平成2年度の第3回国研修(個別)で、フィリピン熱帯医学研究所で当初昨年8月から研修予定と内定していたMr. Ashigbeeの受入が4月以降の受入れに延期となりました。同人は、マラリア・住血吸虫の研修を希望しており、この分野は野口研としてもWHO/TDRとの連携を図りたいとの計画ですので本研修の実施につきご配慮下さい。</p>

栄養学 1. 他機関との連携	<p>ガーナの栄養問題解決のためには、保健省をはじめとしてガーナ大学食品栄養学部、UNICEF、WHO等の国内外機関と連携して研究を進めることが重要であると思われます。平成2年度は、ガーナ北部のUPPER EAST地域において就学前児童を対象に栄養調査を保健省と共同で行いましたが、このような調査研究をさらに発展させる必要があると考えます。また、9月には野口研で離乳食セミナーを開催し、小児栄養の重要性について討議しました。内容はもちろんのこと、栄養問題に携わる関係者が集まり討議する機会をもてたことはきわめて有意義でした。</p>
2. 機材の有効活用	<p>種々の栄養素分析機がJICAから供与されていますが、それらの危機の維持管理が、十分とは言えません。供与機材を有効に活用するためにもテクニカルスタッフの充実が望まれます。他のユニット、他の研究機関からのサンプル分析依頼も増えており、信頼できるデータを提供するためにも機材の維持管理が重要と思われます。</p>
3. スタッフの有効配置	<p>現在栄養学ユニットには9名のスタッフが配置されていますが、ユニットヘッドによる各研究テーマへの有効配分が不十分です。今後ともユニットの運営について協議していく必要があります。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項
【疫学ユニット】

1. 現在進行中の研究課題及び活動項目

- A. 薬剤耐性マラリアの疫学的検討
- B. ADPワクチン効果調査
- C. ポリオワクチン効果調査
- D. 新生児におけるマラリア抗体価の推移と初感染に関する検討
- E. フィールドステーションに於ける感染症サーベイランス調査並びに医療サービス
- F. フィールドステーションに於ける住民教育（家族計画、経口補液の普及、衛生環境改善のための教育など）

現在疫学ユニットでは以上のも項目につき実施検討中である。

本プロジェクト開始時に協議された協力基本計画（マスター・プラン）のうち貧血の疫学的調査についてまだ実施されていないので、関係各ユニットと協議の上、同研究に着手したい。

2. スタッフ

現在疫学ユニットではユニットヘッドのDr Afariを中心に、1名の研究者（コンピューター部門）と2名の技術者が研究活動に従事している。2名の看護婦としてのポストがあるが、1名は日本に研修中であり、1名は病気のため休職中である。他に大学卒業後ナショナルサービスのシステムを経て、保健省より4名のスタッフが配属されている。現在実質的な研究活動は、これに日本人専門家2名を加えた合計9名で実施されている。上記研究課題を遂行するにあたって、このスタッフ内容は決して十分とはいえない。慢性的な人員不足に悩まされている。毎年のごとく野口研に対してスタッフの増員の要望を提出しているが、いまだ改善されていない状況である。今後ともスタッフの増員を要望する予定である。

3. 派遣専門家の人選について

疫学ユニットの専門家として、酒徳専門家の後任に堀専門家が派遣されたが、その際堀専門家より提出された履歴書の専門分野としての研究内容に疫学部門が含まれていないため、野口研所長は堀専門家の受け入れに難色を示した。この件につき桜井、神谷両国内委員より日本に於ける研究システムの相違と堀専門家が疫学ユニットの専門家として十分にトレーニングを受けている旨についての説明が野口研所長に対して補足された。今後このようなトラブルが生じないように、派遣専門家の通達について専門家派遣の少なくとも6ヶ月前に実施し、事前に双方の合意が得られるよう改善する必要があると思われる。また同様、野口研側の人事権に納得できない点があれば、JICAより改善要求のできるシステムの確立を要望する。

4. プロジェクト終了後の問題

現在野口研には10のユニットが存在しているが、実際JICAより援助の恩恵を受けているのは、専門家の派遣されているウイルス学ユニット、栄養学ユニット及び疫学ユニットの3ユニットに限ら、日本への研修員もこの3ユニットから人選されている状況である。他のユニットのスタッフから不満の声が聞かれ、スタッフの研究意欲にも影響していることは否定できない。あくまでも私案であるが今後ユニットの再編成により、例えば微生物部門、生化学部門、免疫学部門と大きく分類し、各々に日本人専門家が所属し、そのもとにウイルスユニット、栄養ユニットなどをおくことにより、スタッフ全員が平等にJICAの援助を享受できるとともに、日本人専門家の研究分野も拡大され、3.に挙げたような問題も解決されるものと思われる。

また野口研は現在JICAによってのみ援助が行われており、それに携わる我々日本人専門家は野口研の運営状況について詳細に把握することが可能な状況にある。ところで今回野口研所長と供に、ケニア中央医学研究所（KEMRI）を視察する機会を得た。その際、所長は複数の国際援助機関の入ったKEMRIの活動状況に大いに関心を示しており、今後野口研も同様な運営機構にする構想を持っていることが言葉のはしはしに伺えた。反面KEMRIの日本人専門家からは、そのようなシステムの結果、KEMRI全体の把握が難しく、研究活動の実施にあたり何等かの支障を来していることは否定できないとの不満の声が聞かれた。この件に関し、JICAの基本方針を提示してもらいたい。

(18) ケ ニ ア

感染症研究対策

		1991年度													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
目標	寄生虫学 1) 住血吸虫症対策 2) 糸状虫症研究 疫学対策 動物モデル開発	1) 住血吸虫症対策 1: プラジカンテルによる集団治療の効果判定 2: より効果的衛生教育の検討と資料作成 3: 貝対策の試行 イ) 貝 浚 い ロ) 住民の水接触地のコンクリート化						2) 糸状虫症対策 A) 疫学対策 イ) 調査地の決定 ロ) センサス: 地区作製 ハ) 基礎データの調査 ①住民の仔虫保有率、有病率 ②媒介蚊決定、媒介蚊の生態						B) 動物モデル開発 C) 幼虫 in vitro 飼育法の改善	
調査団の派遣	計画調査打ち合わせ団	91:4													
専門家の派遣	長期専門家 ①藤巻 康教 (糸状虫症) ②塚本 増久 (住血吸虫) ③高橋健一郎 (住血吸虫) ④未 定 (糸状虫症)	90:6 ————— 91:6 90:7 ————— 91:8 91:5 ————— 92:4 91:9 ————— 92:8													
	短期専門家 (分野、氏名等) ①青木 克巳 (国内委員) ②嶋田雅暁 (衛生教育資料作成) ③野田 伸一 (貝対策)	91:7 ————— 91:8 91:8 ————— 91:10 91:8 ————— 91:10													
研修員	(分野、氏名等) ① Mr. Migui (尿からの細胞診)	91:7 ————— 92:6 1992年よりの住血吸虫症慢性病像の理解に対応するため													
供与機材	20,000千円 (別紙参照)														
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	①カウンターパート旅費支援 (フィールド調査時)														

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	ケニアにおける細菌性下痢症の実態調査と細菌性下痢症制御	*-----* *-----* *-----* 1) 現地 (ナイロビ: マリンディ) 雇用の技術員 予備調査 及びナイロビの教育 (初め2月はKEMRIで、その後マリンディ病院で基本的扱いを修熟させる) 2) マリンディ病院検査室内に、本プロジェクト用の検査室を開設する。 1) マリンディ地区 (病院及び地区) からの検体で下痢症糞便の分離作業 2) ケニアでのカウンターパート、日本人専門家によるマリンディ分離株の詳細な解析 マリンディ地区 ケニアでの病原因子の解析											
調査団の派遣	計画調査打ち合わせ団	91:4											
専門家の派遣	長期専門家 ①大村 寛造 (細菌学) ②山川 清孝 (細菌学)	91:2-----92:1 91:7-----92:6											
	短期専門家 (分野、氏名等) ①田爪 正義 (細菌学) ②武士 甲一 (細菌学) ③飯田 哲也 (細菌学)	91:2-----91:4 91:4-----91:6 91:10-----92:2											
研修員	(分野、氏名等) ①Joice M. Kimata (細菌学) ③ ④	91:6-----92:1											
供与機材	10,000千円 (別紙参照)												
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	①基盤整備費 ② ③	マリンディ病院内にプロジェクト専用の検査室開設のための改造費、設備費、機器購入費等											

平成3年度年間計画

ANNUAL WORK PLAN

プロジェクト名: ケニア中央医学研究所感染症研究対策(肝炎部門)

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) 肝炎診断 2) 肝炎ウイルスの検索 3) ウイルス-マーカー 試薬製造	1) 肝炎診断 1-1 患者血清の収集 1-2 肝機能検査の実施 1-3 検査結果の解析とコメント 1-4 肝疾患画像診断			2) 肝炎ウイルス検索 2-1 各種ウイルスマーカー測定 2-2 A型 B型 C型 D型肝炎の疫学 2-3 輸血後感染症対策				3) ウイルス-マーカー 試薬製造 3-1 HBs 抗原キット 3-2 HBs 抗体キット 3-3 キットの評価				
調査団の派遣	計画打ち合わせ	91:4											
専門家の派遣	長期専門家 ①古賀 満明 (肝炎診断) ②飯田美佐江 (肝炎診断)	90:1 ————— 92:1 91:12 ————— 92:12											
	短期専門家(分野、氏名等) ①矢野 右人 (肝炎診断) ②坂口 正剛 (肝炎診断) ③井上 長三 (肝炎診断) ④小堺由香里 (肝炎診断) ⑤八橋 弘 (肝炎診断) ⑥松村 伸之 (肝炎診断)	91:5 — 91:6 91:5 ————— 91:7 91:5 ————— 91:7 91:9 — 91:10 91:10 ————— 91:11 91:12 ————— 92:2											
研修員	(分野、氏名等) ① Francis M. Mbugua (ウイルス学) ② Grace W. Kuria (ウイルス学)	91:6 ————— 92:5 91:6 ————— 92:5											
供与機材	20,000千円(別紙参照)												
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	①現地セミナーの開催 (肝疾患診断技術の普及)	91:10 ————— 92:1											

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	ロウイルスを中心としたウイルス性下痢症の対策と診断システムの確立	1) 都市と辺境の下痢症の比較、特に病院を含んだ疫学的検索 2) フィールド選択のためのパイロットスタディと検体収集 3) ロタウイルスの形態的、血清学的検索 4) ウイルス下痢症の診断システムの一般化											
調査団の派遣	計画調査打ち合わせ団	91:4											
専門家の派遣	長期専門家 ①足立 憲昭 (小児科) ②小林 延道 (衛生学)	90:9 ————— 91:9 91:5 ————— 92:4											
	短期専門家 (分野、氏名等) ①千葉 峻三 (国内委員) ②浦澤 正三 (衛生学) ③中田 修二 (小児科)	92:2 ————— 92:2 ————— 92:2 —————											
研修員	(分野、氏名等) ① ②												
供与機材	10,000 千円 (別紙参照)												
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	① ② ③												

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名:ケニア中央医学研究所感染症研究対策プロジェクト

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(1) 調査団派遣	有り	調査団の種類(計画打ち合わせ及び機材修理) 理由: *プロジェクト2年度目であり、計画打ち合わせ調査団を4月中旬に予定 *全プロジェクトから引き継いだ供与機材の点検・修理の必要がある。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと *機材修理チーム派遣を希望する *終了プロジェクトでの供与機材の中に修理の必要なものがある
(2) 短期専門家派遣	有り	分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと *国内委員としての助言、衛生教育計画と糸状虫疫学調査 *地域住民に対する衛生教育資料作成 *住血吸虫感染症対策 *国内委員の立場での助言と肝炎ウイルス診断 *肝炎患者画像診断 *肝炎疾患のウイルスマーカー *肝炎診断 *肝炎診断 *肝炎診断 *フィールド選定と実験室準備 *技術指導 *国内委員としての助言と指導 *国内委員としての助言と指導 *成果の中間評価と助言、指導 *成果の中間評価と助言、指導
(3) 供与機材	65,000 千円を希望	別紙参照(機材実施計画書)					
(4) 携行機材	6,900千円	金額	時期	金額	時期		
寄生虫部門	1,200千円	①400,000	7月	④400,000	5月		
肝炎部門	2,900千円	②400,000	8月	④400,000	2月		
ウイルス性下痢症	1,200千円	③400,000	8月	④400,000	4月		
細菌性下痢症	1,600千円	④900,000	5月	②400,000	10月		
		⑤400,000	5月	③400,000	5月		
		⑥400,000	9月	④400,000	2月		
		⑦400,000	10月	⑤400,000	2月		
		⑧400,000	12月				

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替: 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリングの結果を記載のこと)	
	① 赤井契一郎 #	チームリーダー: 病理学	90.7.24-92.7.23	予定通り	#印: 現在着任し、業務遂行中
	② 塚本 増久 #	住血吸虫症: 寄生虫学	90.7.24-91.8.23	予定通り	
	③ 藤巻 康教 #	糸状虫症: 寄生虫学	90.6.28-91.6.27	延長予定(文部省の許可が必要)	
	④ 高橋健一郎	住血吸虫症: 寄生虫学	91.9 -92.8	未 定	
	⑤ 未 定	糸状虫症: 寄生虫学	91.5 -92.4	未 定	
	⑥ 古賀 満明	ウイルス性肝炎: 内科	91.1.18-92.1.17	未 定	
	⑦ 飯田美佐江	ウイルス性肝炎:	91.12 -92.12	未 定	
	⑧ 足立 憲昭 #	ウイルス性下痢症: 小児科	90.9.12-91.9.11	予定通り	
	⑨ 小林 延道	ウイルス性下痢症: 衛生学	91.5 -92.4	未 定	
	⑩ 大村 寛造	細菌性下痢症: 微生物学	91.2 -92.1	未 定(厚生省の許可が必要)	
	⑪ 山川 清孝	細菌性下痢症: 微生物学	91.12 -92.11	未 定	

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望					
	計 画	内 容				
(6) カウンターパート受入	合計 4名を希望 早期通報分 3名 年度末通報分 1名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!) 計画: 平成3年度以降の技術協力をより効果的に実施する観点にたつて感染症プロジェクトの各部門より1名ずつ選択した。加えて、前プロジェクト時代には技術移転の機会が少なかった領域に重点を置いた。 No.4寄生虫学分野の一名は担当国内委員の強い要請
		① Francis Muturi Mbugua	ウイルス学 (肝炎)	1991年6月	1年間	
		② Grace Wangui Kuria	ウイルス学 (呼吸器)	1991年6月	1年間	
		③ Joyce Mukani Kimata	細菌学	1991年6月	6月間	
		④ David K. Migui	寄生虫学 (細胞診断)	1991年12月	1年間	

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細については別添用紙に記載のこと)	
① 現地業務費増額分 寄生虫 肝炎 ウイルス下痢 細菌下痢	13500千円を希望	円	1) フィールド調査日当・宿泊、調査用車両ガソリン代、カウンターパート旅費支援、及び一般診療経費** (薬品代を含む) 2) 電子顕微鏡(二台)の定期点検とオーバーホール料金 3) フィールド調査用車両の保険金支払い(5台分)	一般診療経費**：フィールド調査においては、地域住民の協力が不可欠であるが、過去の事例から、診療チームを編成し、並行して無償の一般診療に当たることが最も効果的である。前プロジェクトではこのための人件費、交通費、薬品代等は現地業務費で賄っていたが、遠隔地域のフィールド数が増した本プロジェクトにおいては大幅な負担増が予想される。
② 技術普及広報費	5000千円を希望	0円	農村地域住民の各種疾病に対する衛生教育の普及を図るために必要な各種教材開発用経費(ビデオ撮影、編集、複製、ビデオ機器購入等)	
③ 現地セミナー開催費	4500千円を希望	0円	肝疾患、特にウイルス性肝炎を中心としたセミナーの開催	
④ 技術交換費	1500千円を希望	0円	ガーナ国野口研との下痢症、肝炎、住血吸虫の対策に関する技術交換(4人分旅費、調査経費)	
⑤ 応急対策費	2000千円を希望	0円	高額機器(電子顕微鏡、高速超遠心分離器など)の修理	
⑥ 中堅技術者養成対策費	2000千円を希望	0円	ケニア医学中央研究所における肝炎診断薬、臨床検査の紹介とその普及	
⑦ プロジェクト基盤整備費	2500千円を希望	0円	細菌性、ウイルス性下痢症のフィールド調査に必要な、マリンディ病院内の実験室の整備、充実	
<p>(8) 予算新規項目：(プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)</p> <p>1) ケニア側若手研究員の学会出席出張費の補助：国家財政が逼迫し、国際学会への道が殆ど閉ざされている現状から、若手研究者の意欲発揚の観点からも効果的である。(年間2名。)</p> <p>2) 奨学金制度：日本に限らず他の先進国での研究、交流に道を開く(年間1名)。研究交流の国際化。</p> <p>3) カウンターパートフィールド調査旅費の支援：国の財政逼迫はプロジェクトのフィールド調査を阻害しかねない。(分担比率は十分検討の要あり)</p> <p>4) 図書館の整備(JICAライブラリー)：ケニア最大の医学研究所で、立派な図書館を持つが、内容は極めてお粗末である。仏作って魂入れずの例えの如し。研究意欲向上のために図書室の整備が重要。JICAライブラリーを提唱したい。</p> <p>5) プロジェクト別機材修理特別予算：医学研究分野では高価、且つ、精密な機器が多い。まして本プロジェクトのように協力の期間が長くなるに従い機械数が多くなると当然の結果として、維持、修理に要する経費、労力は大幅に増加する。従って、供与済み機材の定期的な点検・修理、あるいは消耗部品の補充に必要な予算の計画的な措置、修理のための短期専門家の派遣などの制度的対応が必要と思われる。</p> <p>6) 付属病院活性化の為に診断試薬の供給</p>				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ケニア中央医学研究所感染症研究対策		
主 要 機 材 の 概 要	分野	品目	数量	金額(千円)
	1) 寄生虫	ビデオ作成、撮影-映写機一式、VTR-モニター		20,000
	2) 肝炎	ELISA easy reader、超遠心機用ローター、超音波診断装置クリーンベンチ、オートクレーブ、	19	20,000
	3) ウイルス性下痢症			10,000
	4) 細菌性下痢症	四輪駆動車、培養恒温庫、恒温器	30	10,000
	5) 共通部門	キャビネット、コンピューター 輸送費		5,000
		合計	65,000	
供与の目的 : 全体計画における位置付 : 今回供与の主眼点 : 技術移転上の役割 : 緊急性	<p>各部門毎に纏めると以下のごとくである。</p> <p>1) <u>寄生虫対策</u>: 地域住民の衛生教育の普及、感染員対策、新プロジェクト糸状虫の諸設備。ビデオ作成並びに河川工事費、ラボ設備費。</p> <p>2) <u>肝炎対策</u>: 肝炎-肝ガン疫学調査のため画像診断機器、試薬、継続事業として試薬作成設備</p> <p>3) <u>ウイルス性下痢症</u>: フィールド作業に並行してラボ作業の充実が緊急課題、機器の設備に重点を置く。血清のウイルス学的検索。</p> <p>4) <u>細菌性下痢症</u>: マリンディ病院内における現地ラボの開設の為の諸設備、交通手段としての車両。</p> <p>5) <u>データのコンピューター化、ファイリングシステム充実</u>、資料の散逸を防ぐ。</p>			
現地調達の可否	(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否			
A474-4取付状況	(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

プロジェクト名：ケニア中央医学研究所感染症研究対策（細菌性下痢症部門）

優先度	機 材 名 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守：修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	嫌気システム 1個	200,000		B B L			
2	上皿電子天秤 1個	215000		シイベル			
3	デシケーター 1個	150,000					
4	硫酸槽 2個	26,000		上 同 特大			
5	乾燥台 2個	56,000		上 同			
6	ガステーブル 1個	10,000					
7	ロータリーカルチャー 1個	230,000					
8	ローター（遠心機）1個	224,000					
9	試験管ミキサー 2個	48,000		井内盛 栄堂			
10	蓄庫（引戸式） 1個	37,000					
11	ブンゼンバーナー 3個	10,500		柴田科 学			
12	椅子 3個	33,000		PLUS			
13	キャビネット	20,000		ヤマト 科学			
14	薬品器具棚	30,000		ヤマト 科学			
15	ステンレス作業台	50,000		ヤマト 科学			

プロジェクト名：ケニア中央医学医学研究所感染症研究対策（細菌部門）

優先度	機 材 名 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守：修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
16	滅菌缶 12個	100,000		井内盛 栄堂			
17	クーラー 1個	500,000					
18	オートスチル (蒸留装置) 1個	380,000		ヤマト 科学			
19	給水口ユニット 1個	320,000		上 同			
20	恒温機 2個	740,000		上 同			
21	培養恒温庫 1個	800,000		太平洋 サービス			
22	乾熱滅菌機 1個	540,000		ヤマト 科学			
23	棚板 2個	11,000					
24	アウトクレーブ 1個	375,000		平山製 作所			
25	オートクレーブ 1個	470,000		上 同			
26	冷凍冷蔵庫 1個	998,000		ナシュ オナル			
27	冷凍冷蔵庫 1個	70,000		上 同			
28	ピベット洗浄器 1個	338,000		ヤマト 科学			
29	ウォーターバス 2個	13,000		上 同			
30	生物顕微鏡 1個	250,000		オリ ン パス			

プロジェクト名：ウイルス性下痢症

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
3 1	ストップコックグリス(50g)		4	ト-レ シリコ			
3 2	ディスクリフ		5				
3 3	ビバット-エド (コ-F無し)		2				
3 4	スライドビューワ-	8,000	2	エニカ			
3 5	体重計 乳児用		1				
3 6	体重計 成人用		1				

プロジェクト名：ウイルス性下痢症

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	Ultrasonic Cleavers (Branson) 5200J4 (Code:291392)	268.000	1	ヤマト			
2	Automatic Steam Sterilizer IS-320 (10-0902)	470.000	1	R.K.I			
3	Microplate Miniwasher (MW-1)	350.000	1	R.K.I			
4	Gel Drier (AE-3700)		1	ATTO			
5	Ice Maker (F-120B)		1	キタキ			
6	Dry Ice Maker (3761-R10)		1	イキモト			CO ₂ ガス及びその他の部品付き
7	Clean Bench ADW-130 (127122)	1,070,000	1	ヤマト			
8	Deep Freezer MDF-391AT	3,716,000	2	サンヨー			
9	Ultrasonic Cell Breaker Powersonic Model 50	567,000	1				チタン合金ホーン付き
10	Dakopatts Rota screening ELISA Kit		20	ダコパツ			
11	slide projector	154,200	1	イーモ			
12	プリンター (PC-PR 201B) NECパーソナルコンピュータ用	99,000	1	NEC			
13	ブラフイム (4in×125F.T.ROLL)	16,000	5	アメリカン カンパニー			
14	Black & white PRINTING PAPER (FM-1) JP (12 × 15inch)		200	フジ			
15	微量チューブ (MS-4503W) 2ml	120,000	1,000	入ミモ			

プロジェクト名：ウイルス性下痢症

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
16	Antibiotics for tissue culture アンギン	13.540	10	スクイフ			
17	Antibiotics for tissue culture ペニシリンG	13.540	10	万有			
18	バナービ-用 KV-50FM	122.400	6	ナショナル			
19	バナービ-用 KV-51TK	55.200	6	ナショナル			
20	バナービ-用 KV-10CS	4.650	3	ナショナル			
21	バナービ-用 KV-15XE	7.350	3	ナショナル			
22	ネリスビツ管(滅菌) (10ml)		2.000	ニッスイ			
23	検便容器A型 (スプーン付き)		1.000	馬野 化学			
24	7%マイロン(20mlアンプル)		100	大塚			
25	Dulbecco Modified Eagle's MEM		5	ニッスイ			
26	AgNO ₃ (500g)		5	ワコ			
27	Formaldehyde(Formalin) (500ml)		5	ワコ			
28	p-nitrophenyl phosphate, disodium salt (1g)		3	ワコ			
29	フルオロカーボン(クワイアロソルベント) (500ml)		10	ダイキン			
30	ピケットチップ (QSP-110-N, Capacity 1-100)		10.000	クオリティ サイエンス フィク プラスチック			

プロジェクト名：ケニア共和国感染症対策肝炎プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	H B s 抗原用 R P H A キット	420,000	B 型肝炎キャリア調査	有			
2	H B e 抗原、抗体測定キット	1,300,000	キャリアに置ける肝炎ウイルスの 増殖性	無			
3	H C V キット	225,000	C 型肝炎疫学調査	有			
4	スピッツ	100,000	検体保存	有			
5	フィッシュ注射針 23ゲージ	50,000	採血用	無			
6	H B ワクチン	1,800,000	B 型肝炎対策	有			
7	デルタ抗体キット	430,000	デルタ肝炎疫学調査	無			
8	H B c 抗体 E I A キット	820,000	自然感染とワクチン効果の 鑑別	有			
9	ガラスカラム (フィルター付)	40,000	H B s 抗原キット作成	無			
10	超音波穿刺用マイクロバックス 1式	1,800,000	肝炎早期診断	有			
11	パーソナルコンピュータ ①本体 PC-9801EX2	348,000	疫学調査の解析	有			
12	②モニター KD854N	84,000	〃	有			
13	③プリンター PC-PR201B	99,000	〃	有			
14	超遠心器用ローター	1,850,000	H B s 抗原キット作成	有			
15	ELISA easy reader	2,270,000	各種 E I A 測定	有			

プロジェクト名：ケニア共和国感染症対策肝炎プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
16	携帯用超音波診断装置	5,000,000	肝癌早期診断	有			
17	肝機能検査試薬	2,100,000	肝機能検査の充実	有			
18	プレートミキサー	90,000	EIA 測定用	有			
19	プレートインキュベーター	125,000	EIA 測定用	有			
20	チップウォッシャー	150,000	チップの洗浄	有			サーマル化学
21	マイクロプレート	500,000	HBs 抗原・抗体の測定	有			バイテック 120穴 V 型 パーマネット マッシュ 付
22	マイクロリリューサー	400,000	HBs 抗原・抗体の測定	有			バイテック 25 μl 用
23	Pipetman	50,000		有			gilson社 1,000 μl 用
24	一般器具類（研究室用）	2,403,500	診断試薬作成用				
25	試薬	577,000	診断試薬作成用	有			
26	-20℃冷凍庫	250,000	Sample保存用				
27	恒温振盪水槽	420,000	測定用	有			Advantec TS-30G
28	Perista pump	200,000	診断試薬作成用	有			atto ST-1301P
29	フラクショナルコレクター	380,000	診断試薬作成用	有			Advantec SF-100

プロジェクト名：住血吸虫症 - 1

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	ニュークリボア メンブレン(12μm) 25箱	500,000					
2	フラジカントール 3函	400,000					
3	シリンジ 10ml 10箱	37,000					
4	シリンジ 20ml 10箱	31,000					
5	尿採集容器 150ヶ	39,750					
6	飲水用くみたて槽 2ヶ	126,000					
7	排水ポンプ 2ヶ	184,000					
8	ホース 30m	50,000					
9	テント	118,000					
10	スリッピングバック 10ヶ	98,000					
11	セメント 5トﾝ	126,000			現地 購入		
12	砂利 5トﾝ	87,500			現地 購入		
13	砂 20トﾝ	210,000			現地 購入		
14	針金 100m	210,000			現地 購入		
15	プラスチック手袋 10箱	30,000					
	計	2,247,250					

プロジェクト名：住血吸虫症-2

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	小型宣伝車						
2	ビレット						
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：フィラリア症-1 (CMR①)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	実体顕微鏡(2)	394,000					
2	ダブル-ムファイバ- 照明装置	120,000					
3	フラクシヨコレクター	135,000					
4	振動防止機	42,500					
5	細胞 4種類	181,000					
6	組織培養用フラスコ	69,000					
7	組織培養用 ビベット(10ml)	24,750					
8	組織培養用 ビベット(2ml)	17,500					
9	サンプルバイアル 2,000個 (5ml)	136,000					
10	ランセット 10,000枚	107,500		無			
11	バスケールビベット 2,000本	22,000					
12	試験管立て 10個	19,000		無			
13	スライドガラス 500枚	8,400					
14	バイアルラック 5ヶ	4,500					
15	バイアルラック 用蓋 5ヶ	2,250					

プロジェクト名：フィラリア症-2 (CMR②)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	ヘパリン処理 ヘマトクリット 毛細管 10箱	10.000					
2	プラスチック手袋 10箱	30.000					
3	酢酸 5本	6.250					
4	計	1.329.650					
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：フィラリア症-3 (BSRC①)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スベアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	生物顕微鏡 (3)	1,248,000					
2	実体顕微鏡 (3)	591,000					
3	冷蔵庫	150,000					
4	ラトツバランス	296,000					
5	ふ卵器	250,000					
6	卓上遠心器	250,000					
7	pHメーター	117,000					
8	組織培養用 フラスコ (25cm ²) 3箱	207,000					
9	組織培養用 フラスコ (75cm ²) 2箱	64,000					
10	遠沈管 (15ml) 2箱	54,000					
11	遠沈管 (50ml) 2箱	39,600					
12	組織培養用 ペトリ皿 (φ35mm) 1	25,000					
13	組織培養用 ペトリ皿 (φ60mm)	31,500					
14	組織培養用 ピペット皿 (1ml) 500本	31,000					
15	組織培養用 ピペット皿 (5ml) 500本	47,500					

プロジェクト名：フィラリア症-4 (BSRC②)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 様 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	組織培養用 ピペット(10ml) 500本	49,500					
2	スライドガラス 10箱	16,800					
3	中水チューブ	45,400					
4	植物培養用 ピンセット 10本	8,000		無			
5	外科剪刀 10本	46,000		無			
6	懐中電灯 10個	10,000			現地 購入		
7	計	3,327,300					
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

プロジェクト名：フィラリア症-5 (CRCQ)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その仕様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	生物顕微鏡 (3)	832,000					
2	ニュークリスタルメンブレン 30箱	570,000					
3	Swin-Lokホルダー 50ヶ	200,000					
4	テルモシリンダ 5ml 30箱	78,000					
5	テルモシリンダ 10ml 40箱	148,000					
6	注射針 18G 30箱	26,100					
7	注射針 21G 2箱	1,560					
8	注射針 22G 2箱	1,600					
9	スライドガラス 40箱	67,200					
10	カバースリップ 30箱	270,000					
11	ハケバック 容器 200ヶ	28,000					
12	スピック 2箱	16,700					
13	アス-ルII 2ヶ	13,800					
14	テント 2ヶ	236,000					
15	発電機	195,000					

プロジェクト名：フィラリア症-6 (CRC②)

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	血圧計	12,000					
2	体温計 1箱	6,000					
3	聴診器	17,800					
4	体重計	18,000					
5	採血管	360,000					
6	キャンピングガス	10,000			現地 購入		
7	スリーピングバッグ 5ヶ	49,000					
8	計	3,156,760					
9							
10	フィラリア症 総計	7,813,710					
11							
12							
13							
14							
15							

専門家派遣計画表

1: 指導科目	1) 住血吸虫症-糸状虫症、 2) 肝炎 3) ウイルス性下痢症、 4) 細菌性下痢症
2: 派遣期間: 時期	長期11名(1年)、短期15名(1-5月)
3: 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画に基づき作業予定に沿った派遣計画で、各部門ごとに交代時期は打ち合わせ済みである。大きな変動はない。
4: 先方の希望内容	1) 可能な限りの長期派遣(少なくとも2年) 2) 出来るだけ学位取得者 3) 詳細な専門家の履歴書
5: 派遣目的および具体的指導内容	1) 寄生虫病関係: 衛生教育、貝撲滅の指導、疾病の慢性化の病態、媒介動物の飼育、実験動物の開発。 2) 肝炎対策: 診断方法の確立と癌との相関性の研究、臨床検査技術の導入、診断薬作成の大量化。 3) ウイルス性下痢症: 都市化とロタウイルスの問題、ウイルス性下痢症の診断システムの一般化 4) 細菌性下痢症: 細菌性下痢症の実態把握と、その制御、その為の現地での技術者の指導、教育。
6: 必要とされる構行機材: 額	9,300千円
7: その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1: 事業名	保健医療協力事業	
2: 目的:	<p>本件プロジェクトのケニア側実施機関である中央医学研究所は日本国政府により過去11年に亘り、無償、技協と援助が続けられ、東アフリカ随一の医学研究所に発展した。併し、国の経済発展段階は尚途上であり、この一年間は寧ろ悪化し、ガソリン、公共料金の大幅値上げ、15%以上の物価上昇で国の財政逼迫は顕著で、改善の見通しはくらしい。当研究所も今後ともに財政困難が続くことは必至で、高額機器の維持、修理もおぼつかない。ローカルコスト支援の増額がない限り、プロジェクトの発展はない。特に以下の事業に対して負担が必要である。</p> <p>1) 現地業務費増額 イ) フィールド調査日当・宿泊、調査用車両ガソリン代、薬品代、カウンターパート宿泊費補助、 ロ) 過去プロジェクト購入機器の維持、整備費、 ハ) 電子顕微鏡維持費(定期点検、オーバーホール)、 ニ) 海外学会出張旅費支援(2名)、 2) プロジェクト発足に伴う基盤整備費(7171の増設) 3) 奨学金制度の新設 4) 図書館蔵書の整備、充実(JICAライブラリーの創設) 5) 技術セミナー開催費(肝炎部門) 6) ガーナとの技術交換費 7) 技術普及広報費(部門別視聴覚教材の作成) 8) 中堅技術者養成対策費(肝炎部門)</p> <p>ローカルコスト支援の効果として研究所の財政が安定し、その活動の活性化が期待出来る。</p>	
3: 計画: 経費	1) 現地業務費増額分	19,000千円
	イ)	13,500
	ロ)	2,000
	ハ)	2,500
	ニ)	1,000
	2) 基盤整備費	2,500
	3) 奨学金制度の新設	1,000
	4) 図書館の整備充実	1,000
	5) 技術セミナー開催 (肝炎患診断技術の普及)	4,500
	6) ガーナとの技術交換費(4名)	1,600
	7) 技術普及広報費	5,000
	8) 中堅技術者養成対策費	2,000
	総計(36,600千円)	

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点：要望事項
日本側の問題点	<p>1) <u>プロジェクトのサイズ</u>： 4人の専門家ですべての技術指導することに限界がある。一部門常時2名、計10人は必要。専門家の確保に難易度があり、それが相手側に理解されないと技術援助、指導の意味が薄れ、誤解を招くこともあり得る。又、部門間で指導方法に競合するようなことは避けることが必要である。</p> <p>2) <u>専門家の問題</u>： イ) 本来の役割である技術移転活動から逸脱し、自己本意の研究になりすぎると協力関係が疎外され、プロジェクトは日本人専門家の為であるとの誤解を招く。 ロ) 専門家が交代すると内容、方法が全く違うと言う不満がケニア側にある。 ハ) 派遣期間が短く、体制が整った時、帰国時期と言うジレンマがある。仕事の計画性、継続性が必要である。</p> <p>3) <u>現地業務費の増額と運営の改善</u>： ケニア側の負担能力が非常に低いので、次の点に積極的に配慮する必要がある。 イ) ガソリン代、宿泊費補助、ロ) 国際学会の旅費援助、ハ) 内外の奨学金制度の適応、ニ) 図書購入費の援助、</p> <p>4) <u>高額機器の維持、修理の問題</u>：プロジェクトが長期化するに従い高額機器が多くなり、維持、管理上の問題が顕在化してくる。定期点検、オーバーホール等のために必要な技術の供与と経費の補填を行う必要がある。</p> <p>5) <u>供与済機材の問題</u>：折角供与した機器が利用されず、また故障のまま放置されていることも稀でない。多くの場合消耗部品、交換部品の補充が必要であり、これらについてもローカルコストの支援を考慮する必要がある。その場合の部品購入、修理作業等の事務的処理の簡素化と能率向上を図ることも肝要である。</p> <p>6) 本研究所の様に<u>複数の援助機関による活動を持つ場合</u>、ケニア側に夫々を比較する傾向が生じるので、柔軟に対応出来る工夫が欲しい。</p> <p>7) 現地と<u>国内委員会の連絡</u>をより緊密にする必要がある。</p> <p>8) 本プロジェクトは歴史が長くことから、ケニアの政治、経済、<u>国民性、習慣、風習</u>に添った援助を更に研究する必要がある。財政的側面を含め画一性を廃して柔軟に対応することが肝要であろう。</p>

(19) サ ン ビ ア

感 染 症

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	(1) ウイルス学 (2) 小児科学 (3) 機材保守管理	1) ウイルス学 1-1 検査室建設 1-2 検査材料の採取及び扱い方の徹底 1-3 ウイルス分離、培養法の確立 1-4 ウイルス血清検査の確立			2) 小児科学 2-1 HIV 及びTORCH の母子感染率の把握 2-2 乳幼児下痢症の原因診断及び治療の確立 2-3 水頭症の原因分析 2-4 心エコー法診断技術移転 2-5 心エコーを用いたリウマチ性心疾患分析 2-6 HIV 陽性児の追跡調査			3) 機材保守管理 3-1 パソコンを利用した機材管理システムの確立 3-2 電子顕微鏡等、高度医療機器保守管理					
調査団の派遣		←計画打合せ						←機材修理					
専門家の派遣	(1) チーム・リーダー (渡 辺) (2) 小児科学 (松 村) (3) 機材保守管理 (清 水) (4) ウイルス学 (押 谷) (5) 臨床病理学 (6) 調整員 (7) 機材保守管理後任	90/7											92/7
		90/10											92/10
		88/6			91/6								
			91/5										93/5
				91/6									93/6
		91/1											93/1
			91/5										93/5
短期専門家 (分野、氏名等)	(1) 検査室建設 (清水建設) (2) (3) (4) (5) (6) (7)	91/11				91/8							
研修員	(分野、氏名等) (1) Dr. Kalima Pota (ウイルス学) (2) Mr. Harry Mussa Banda (ウイルス学) (3) Mr. Thomas Nyam (医療機器) (4)	91/2											92/2
		91/2											92/2
		91/2											92/2
供与機材	5,000万円	▲仕様書提出						▲現地着希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 検査室建設 (2) (3) (4)	90/11	着工				90/7	完成					

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調 査 団 派 遣	8月頃を希望	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム) 理由:検査室完成後の、当プロジェクトの方向付けを明確にする					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと 一般医療機械、臨床検査機器の修理 X線管球交替調整、現地テクニシャンに対してセミナー
(2) 短 期 専 門 家 派 遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		①					
		②					
		③					
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
(3) 供 与 機 材	50,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携 行 機 材	千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 時期 金額 時期 ①清水 1,000万円 91/3 ③ ②渡辺、松林 出来るだけ早く④ ④ ⑤ ⑥ ⑦				①パーソナルコンピューター(マッキントッシュ) 英語版ソフト ②HIV 抗体用キット(PA) ×3,000 HIV ウェスタンブロットキット ×3,00 HBS 抗原キット ×2,000 HBS 抗体キット ×2,000 HBe 抗原キット ×2,000 HBe 抗体キット ×2,000 HBc 抗体キット ×2,000	

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 渡辺 正博	チームリーダー 小児科学	90/7 ~ 91/7	92/7まで延長交替	
	② 松林 信幸	小児科学	90/10 ~ 92/10	交替	
	③ 清水 正一	医療機械保守	88/6 ~ 91/6	交替	
	④ 押谷 仁	ウイルス学			④新検査室完成1~2ヶ月前に派遣を希望 現時点では7月完成予定
	⑤	医療機械保守	91/5 ~ 93/5		
	⑥	業務調整員	91/1 ~ 93/1		⑥出来るだけ早い時期の派遣を希望
	⑦	臨床病理学	91/6 ~ 93/6		
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家チームの要望						備考				
	計画	内容									
(6) カウンターパート受入	3名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	A2-3フォームは 90/7に提出済み	(早期通報分については、平成3年3月までに、年度末通報分については、平成3年7月末までに、A2-3フォームを取り				
	早期通報分 3名										
	年度末通報分 名							① Kalima Pota (医師)	ウイルス学	91/2	1年間
								② Harry Mussa Banda (検査技師)	ウイルス学	91/2	1年間
								③ Thomas Nyambe	医療機械保守 (電子顕微鏡)	91/2	1年間
								④			
								⑤			
								⑥			
								⑦			
								⑧			
								⑨			
	⑩										
	⑪										

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	800千円を希望	円	コピー機購入	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	300千円を希望	700千円	専門家の部屋、及び倉庫にバググラバーを取り付ける。	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

専門家派遣計画表

1. 指導科目	ウイルス学
2. 派遣期間・時期	1991年5月～1993年5月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	本プロジェクトは、ウイルス疾患中心に行うためその中核になる。
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	検査室の運営。 ウイルス学的検査の確立。
6. 必要とされる携行機材・額	本人と相談の上決定する。
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	臨床病理学
2. 派遣期間・時期	1991年6月～1993年6月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	ウイルス学以外の検査の中核となる。
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	新検査室の運営。 臨床病理。
6. 必要とされる携行機材・額	本人と相談の上決定。
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	業務調整員
2. 派遣期間・時期	1991年1月～1993年1月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当プロジェクトを行うにあたり、日本側と現地側との調整を行う。
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	機材保守管理
2. 派遣期間・時期	1991年5月～1993年5月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	電子顕微鏡等の高度医療機器を使用するためのささえとなる。
4. 先方の希望内容	電子顕微鏡も扱える人材。
5. 派遣目的および	機材保守管理。
6. 必要とされる携行機材・額	本人と相談の上決定。
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ザンビア感染症プロジェクト
2. 目的:	<p>専門家の部屋及び倉庫の安全性を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 専門家の部屋にはパソコン、カメラといった高価なものがおいてある。倉庫も同様。 ・緊急性 1990年12月18日専門家の隣家のガラスが割られ、タイプライターが盗まれた。たまたま隣の部屋であっただけ、いつ、我々の部屋にはいられるかわからない。 ・先方が負担できない理由 資金難。 ・効果 部屋の安全性を確保出来る。
3. 計画・経費	<p>渡辺、松林、清水専門家の各部屋と倉庫にパーグラバーを取り付ける。</p> <p style="text-align: center;">材料費 200,000円 人件費 100,000円</p> <p style="text-align: right;">総額(300,000円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	ザンビア感染症プロジェクト
2. 目的:	<p>コピー機購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・書類コピー、文献コピーに必要。 ・緊急性 ・UTHには、我々が使用できるコピー機はない。 ・先方が負担できない理由 ・先方には、買う資金がない。 ・効果 ・書類整理に役立つ。 ・その都度、JICA OFFICEに行かなくてすむ。
3. 計画・経費	<p>コピー機及び、スペアパーツ</p> <p style="text-align: center;">800,000円</p> <p style="text-align: right;">総額(800,000円)</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
	<p>1. 前新生児プロジェクトと現在の感染症プロジェクトの関係扱い方が不明瞭。実際は、検査室建設以外は前プロジェクトの延長で行なっている。現地としては、前プロジェクト（Dブロック）から手を引くことは好ましくない。Dブロックもfollow up していかないと今まで行ってきたことが無駄になってまう。</p>
	<p>2. 現プロジェクトの機材は未だ供与されていないが、前プロジェクトの機材は清水専門家の報告にあるように他の場所に移されたり、ひどい場合は他病院やプライベートに使されている。現地の人達は供与されたらどう使おうが勝手と思っている。清水専門家赴任後の機材は管理されているが、それ以前のは不明のものが多い。もし、それについて調査するのなら、そのための専門家が必要である。</p>
	<p>3. 専門家の部屋が狭く、設備も悪く、セキュリティーも悪い。盗難にも時々あう。UTH側に言っても解決しないため、ローカルコスト負担で本棚、バークラバーを設置しようと思う。</p>
	<p>4. 機材管理のワークショップがない。現在15㎡の部屋に3人のテクニシャンがいて、清水専門家の事務所兼ワークショップとなっている。UTH側に要求しても何の返事もない。</p>
	<p>5. 1990年6月にルサカに着いた平成元年度供与機材がまだUTH側が倉庫会社より引き取っていない。このような事務的手続きが悪いのはコーディネーターがいないため。（日本側、ザンビア側とも）早急のコーディネーター派遣を希望する。</p>

(20) ボリヴィア

サンタクルス総合病院

項目		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目 標	1) 小児科 2) 外科 3) 内科 4) 産婦人科 5) 放射線 6) 病理 7) 看護管理 8) 病院管理 9) 医療機器整備	1)1-1 小児科における診療・治療技術の向上 1-2 小児ICUにおける診療技術(患者管理)の向上 1-3 新卒医師における基本診療技術の向上 2)2-1 産婦人科診療技術の向上 2-2 産婦人科診療技術の向上 2-3 産婦人科診療技術の向上 2-4 産婦人科診療技術の向上 2-5 産婦人科診療技術の向上											
①計画打合せ調査団 ②修理チーム		2W											
専門家の派遣	長期専門家(分野・氏名・人数等) 1) 内科(循環器、呼吸器、泌尿) 1名 2) 小児科 1名 3) 放射線科 1名 短期専門家(分野・氏名・人数等) 1) 小児科(小児ICU・新生児) 1名 2) 内科 ①(ファミリープラクティス) 1名 ②(循環器) 1名 ③(呼吸器) 1名 ④(感染症) 1名 ⑤(生体・移植) 1名 3) 外科 ①(腹部外科) 2名 ②(胸部外科) 1名 ③(泌尿器) 1名 ④(整形外科) 1名 ⑤(耳鼻咽喉科) 1名 4) 産婦人科 1名 5) 病理 1名 6) 麻酔科 1名 7) 看護管理 2名 8) 病院管理 3名	1 Y			1 Y			1 Y					
研 修 員	1) 総務 JUAN CARLOS JIMENEZ 2) 事務 FELIPE MOLINA 3) 社(経理) JUAN JUSTINIANO 4) 経理 REINA MARTHA CRUZ 5) 血球科 SORIA ESCALANTE 6) 経理 JORGE MONASTERIO V. 7) 経理 ERNESTO SIRVA 8) 小児科 ORLANDO JORDAN J.		6M	4M			6M	6M	4M	6M			
供与機材	社(経理) JUAN JUSTINIANO												
各種事業 ローカルコスト 負担事業等	1) 現地教科書作成①葉緑集 ②症例集 ③各部診療マニュアル 2) プロジェクト広報(①視聴覚を利用) (②病院年報) 3) 中堅技術者要請対策費(①施設整備費/②設備費) 4) 技術交換費(シャーガス病における技術交換)												

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考																																				
	計 画	内 容																																									
(1) ① 調 査 団 派 遣 ② 機 械 修 理 チ ー ム	① 7月頃を希望 ② 8月頃を希望	調査団の増強(計画及び打合せ調査団・機修修理チーム) 理由: ①プロジェクトも後期に入り、今後の技術協力における方針の検討及び方向づけを明確にする必要性から希望する。					機修修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと ②当病院は供与されてから5年を迎え病院施設機器等に故障が目立ち始めている。医療機器の専門家は派遣されているか種類の範囲が広く対応し切れないのか現状である。以上の理由により派遣を強く希望する。																																				
(2) 短 期 専 門 家 派 遣	1 名 1 名 1 名 1 名 1 名 2 名 1 名 1 名 1 名 1 名 1 名 1 名 1 名 2 名 3 名 1 名	分野 ① 小児ICU・新生児 ② 循環器 ③ 内科呼吸器 ④ 内科感染症 ⑤ 寄生虫・熱帯病 ⑥ 経腸外科 ⑦ 胸腸外科 ⑧ 泌尿器 ⑨ 整形外科 ⑩ 皮膚科 ⑪ 耳鼻咽喉科 ⑫ 麻酔科 ⑬ 産婦人科 ⑭ 病理 ⑮ 看護管理 ⑯ 病院管理 ⑰ 内科7)19-25274	候補者氏名	派遣時期	期間	AIフ - ム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																				
				9 月 6 月 5 月 10 月 7 月 9 月 12 月 12 月 12 月 12 月 12 月 5 月 5 月 7 月 5、9、12月 5 月	3カ月 3カ月 3カ月 3カ月 3カ月 1カ月 2カ月 2カ月 2カ月 2カ月 3カ月 3カ月 2週間 3カ月 3カ月	1月開始予定 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上 同 上																																					
(3) 供 与 機 材	70,000 千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																									
(4) 携 行 機 材	1,560千円 を希望	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">専門家別に金額内訳及び派遣希望時期について記載のこと</th> <th colspan="2">金額</th> <th colspan="2">時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①田邊 保</td> <td>①佐久間 文久</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オーバーヘッドプロジェクター</td> <td>医療機器スペアパーツ</td> <td>300千円</td> <td>5月</td> <td>520千円</td> <td>5月</td> </tr> <tr> <td>②三好 知明(外科専門家)</td> <td>③本田 五月</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>経腸外科用手術器具</td> <td>看護用品</td> <td>90千円</td> <td>5月</td> <td>230千円</td> <td>5月</td> </tr> <tr> <td>循環系疾患治療用器具</td> <td></td> <td>420千円</td> <td>5月</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						専門家別に金額内訳及び派遣希望時期について記載のこと		金額		時期		①田邊 保	①佐久間 文久					オーバーヘッドプロジェクター	医療機器スペアパーツ	300千円	5月	520千円	5月	②三好 知明(外科専門家)	③本田 五月					経腸外科用手術器具	看護用品	90千円	5月	230千円	5月	循環系疾患治療用器具		420千円	5月		
専門家別に金額内訳及び派遣希望時期について記載のこと		金額		時期																																							
①田邊 保	①佐久間 文久																																										
オーバーヘッドプロジェクター	医療機器スペアパーツ	300千円	5月	520千円	5月																																						
②三好 知明(外科専門家)	③本田 五月																																										
経腸外科用手術器具	看護用品	90千円	5月	230千円	5月																																						
循環系疾患治療用器具		420千円	5月																																								

	専 門 家 チ ー ム の 要 員				備 考
	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
(5) 長期専門家派遣	① 田 邊 謙	リーダー（小児科兼任）	90/4/16--91/5/17	1年間の任期延長申請中（国内委員会においては承認を得ている）	
	② 本 田 五 月	看護管理	89/12/2--91/12/1	任期延長については現在検討中（もし、延長しない場合は、T S Iに基づき後任要員を行う）	
	③ 三 好 知 明	一般外科	90/11/21--92/11/20		
	④ 佐久間 文 久	医療機器保守整備	90/12/4--91/12/3	延長については現在のところ予定なし	
	⑤ 磯 東 一 郎	調整員	88/3/13--91/3/12	任期延長については現在検討中	
	⑥ 現在未定	内科 （循環・呼吸・感染）	91/5--92/4（希望）	新規 A1フォームは1月取付予定	
	⑦ 現在未定	放射線	91/10--92/9（希望）	新規 A1フォームは1月取付予定	
	⑧ 現在未定	小児科	91/7--92/6（希望）	新規 A1フォームは1月取付予定	
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(6) カウンターパート受入	8名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	A1フォーム取付状況	(早期通報分については、年3月までに、年度末通報分については、年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)
	早期通報分 8名	① Mr. JUAN CARLOS JIMENEZ	病院管理	6月	4カ月	1月開始予定	
	年度末通報分 名	② Dr. FELIP J. MOLINA	小児科（栄養・消化科）	8月	6カ月	同上	
		③ Dr. JUAN JUSTINIANO	循環器内科	8月	6カ月	同上	
		④ Miss. REINA MARTHA CRUZ	臨床看護	8月	9カ月	同上	
		⑤ Dr. SORIA ESCALANTE	血管外科	8月	4カ月	同上	
		⑥ Dr. JORGE MONASTERIO V.	顔面外科	11月	6カ月	同上	
		⑦ Mr. ERNESTO SILVA	医療機器整備	5月	4カ月	同上	
		⑧ Dr. ORLANDO JORDAN J.	一般小児科	1月	6カ月	同上	
		⑨					

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		サンタクルス総合病院プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	放射線機器	CTスキャナー 他	1台	
		輸送費 7,000千円		77,000
			合計	
供与の目的		<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院としての総合的な機能の向上を目的として、全体計画の中で目指している第3次医療の充実を図るため必要不可欠な機材であると考え。 ・特に事故による頭部外傷患者が多く、その他にも脳神経腫瘍、肝胆道系の疾患も多く、CTの必要性は非常に大きいと考えられる。 ・総合病院としてのレベルアップにおいて果たす役割は大きい。 ・プロジェクトが4年目に入るため次年度を希望 		
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否		
A470-A取付状況		(1) 2年度1月予定		

プロジェクト名： サンタクルス総合病院プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	CTスキャナー	7000 万円	画像診断用機器	無し	可能	特殊医療機器で あるためメンテナンス を第一優先する	数年内に製造が中止されそうな 消耗及びスペアパーツは是非購入し たい
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

-1-

1. 指導科目	内科
2. 派遣期間・時期	1991年 5月より 1年間以上
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・TSI 及びその後の病院側との協議により平成3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	内科学全般についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：内科領域全般における診療技術水準の向上。 指導内容：X線に対する内科の全領域における中級以上の医療技術指導。レントゲンに対する基礎的医療技術及び医学的知識の伝達。 結核を初めとする後進国型の疾患を、近代的な手法を導入することによって、病院における新たな医療の方法を確立することのできるような 人材を育てる。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

-2-

1. 指導科目	放射線科
2. 派遣期間・時期	1991年10月より 1年
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・プロジェクトチームと病院側との協議により平成3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	放射線科についての経験、特に CT に関する経験の豊富な専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：社会情勢の変化によって、必要性が高まってきた CT についての基礎及び臨床指導。 指導内容：古典的なレントゲン写真についての臨床指導。血管撮影等の特殊撮影の技術指導。 CTの基礎と臨床実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画表

-3-

1. 指導科目	小児科
2. 派遣期間・時期	1991年 7月より 1年以上。
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり現在 1名が長期で派遣されているが、 <i>チームリーダー</i> との兼任のため臨床指導は事実上不可能であるので、小児科専任の専門家の派遣が必要である。
4. 先方の希望内容	小児科全般特に NICU についての経験と指導のできる専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：小児科全般及び特に NICU の基礎的な技術指導。 指導内容：小児科病棟の管理運営方法についての指導。NICU での疾患治療・病児の扱い方等の臨床指導。一般小児科の主要疾患における診断・治療主義指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画表

①

1. 指導科目	小児科 (小児 ICU, 新生児)
2. 派遣期間・時期	1991年9 月より 3 ヵ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・ 小児科全般についての経験と指導能力のある専門家で特に NICU 及び新生児についての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：小児科領域、特に NICU 及び新生児についての指導。 指導内容：NICU 及び新生児に関する取り扱い <i>システム</i> の確立と基本的技術の指導。 その他一般小児科の扱いに関する実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

②

1. 指導科目	内科（一般内科、プライマリケア、ファミリープライス）
2. 派遣期間・時期	1991年 5月より 3 ヶ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・ 内科全般についての経験と指導能力のある専門家で特に <i>プライマリ・ケア</i> についての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：内科領域、特に <i>プライマリ・ケア</i> についての指導。 指導内容： <i>プライマリ・ケア</i> についての講義及び臨床実技指導。 その他一般内科診療に必要な基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

③

1. 指導科目	内科（循環器）
2. 派遣期間・時期	1991年 6月より 3 ヶ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・ 病院側と当技協チームとの協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・ 内科（循環器）についての経験と指導能力のある専門家で特に心電図・心 ECG についての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：内科（循環器）全般・心電図・心 ECG についての指導。 指導内容：循環器疾患・心電図・心 ECG についての講義及び臨床実技指導。 その他一般内科の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

④ 専門家派遣計画表

④

1. 指導科目	内科(呼吸器)
2. 派遣期間・時期	1991年 5月より 3 月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	・病院側と当技協 f-aとの協議により平成 3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・内科(呼吸器)についての経験と指導能力のある専門家で特に胸部 レイフ写真の読影・結核の扱い方等についての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的:内科(呼吸器)全般・胸部 レイフ写真読影についての指導。 指導内容:呼吸器疾患(特に結核)・胸部 レイフ写真読影についての講義及び臨床指導。 その他一般内科の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

⑤ 専門家派遣計画表

⑤

1. 指導科目	内科(感染症)
2. 派遣期間・時期	1991年10月より 3 月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	・病院側と当技協 f-aとの協議により平成 3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・内科(感染症)についての経験と指導能力のある専門家で特に結核・細菌感染症・肝炎・寄生虫症等の扱いについての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的:内科(感染症)全般の診断及び治療法の指導。 指導内容:感染症全般・特に結核・細菌感染症・肝炎・寄生虫症等に関する臨床指導。 その他一般内科の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

⑥

1. 指導科目	内科（寄生虫・熱帯病）
2. 派遣期間・時期	1991年 7月より 3 ヵ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・病院側と当技協 ｴｰﾑとの協議により平成 3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	・内科（寄生虫・熱帯病）についての経験と指導能力のある専門家で特に シｰｽﾞ病についての指導を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：内科（寄生虫・熱帯病）特に シｰｽﾞ病の診断及び治療法の確立。 指導内容：内科（寄生虫・熱帯病）全般・特に シｰｽﾞ病の診断法の確立及び治療 シｽﾃﾑ 作りの指導。 その他一般内科の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

⑦

1. 指導科目	外科（腹部・一般）（ 2名）
2. 派遣期間・時期	1991年 9月より 1 ヵ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・TSI にのっとり病院側との協議により平成 3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	外科（腹部・一般）についての経験と指導能力のある専門家で特に 9月に開催される外科学会での講演を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：外科（腹部・一般）についての臨床指導及び学会での講演。 指導内容：外科（腹部・一般）全般についての臨床指導及び 9月にウヰｰｸ ﾍﾞﾝﾁﾝ で開催される外科学会での講演。 その他一般外科の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

⑧ 専門家派遣計画表

1. 指導科目	外科(胸部)
2. 派遣期間・時期	1991年12月より2ヶ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	・TSI にのっとり病院側との協議により平成3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	外科(胸部)についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的: 外科(胸部)についての臨床指導。 指導内容: 外科(胸部・一般)全般及び胸部外傷性疾患治療の臨床実技指導。 その他胸部外科一般の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

⑨ 専門家派遣計画表

1. 指導科目	外科(泌尿器)
2. 派遣期間・時期	1991年12月より2ヶ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	・TSI にのっとり病院側との協議により平成3年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	泌尿器科についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的: 外科(泌尿器)についての臨床指導。 指導内容: 外科(泌尿器)全般、特に前立腺肥大・尿道狭窄の内視鏡的手術の実技指導。 その他泌尿器科一般の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	添付資料参照
7. その他備考	

専門医派遣計画表

添付資料

泌尿器科専門医にかかわる携行機材

<p>6. 必要とされる携行機材・額</p>	<p>① 糸状誘導ワイヤ一式 <small>(既用の糸状ワイヤ 20本 既用の金網ワイヤ 一式)</small> 約 20万円</p> <p>② 経尿道的切除用 サージカルユニット (リカバ) <small>現在のサージカルユニットは出力が弱い</small> 約 200万円</p> <p>③ 金属ワイヤ (ファイバ型) 一式 (クイック) <small>現在 Fr.20 より太いワイヤが揃っていない</small> 約 20万円</p> <p>④ 内視鏡用ビデオ装置一式 (クイック) <small>TUR 用に 2114 内蔵の、同時撮影装置が必要</small> 100 万~200 万円</p>
------------------------	--

専門医派遣計画表

30

1. 指導科目	外科 (整形外科)
2. 派遣期間・時期	1991年12月より 3 ヵ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	整形外科についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的: 外科 (整形外科) についての臨床指導。 指導内容: 整形外科全般、特に交通事故・労務災害等による外傷性疾患治療の実技指導。 その他整形外科一般の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画表

㊦

1. 指導科目	外科（耳鼻咽喉科）
2. 派遣期間・時期	1991年12月より 2 ヶ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・病院側と当技協 チームとの協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	耳鼻咽喉科についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：耳鼻咽喉科疾患の治療についての臨床指導。 指導内容：耳鼻咽喉科疾患全般、特に頭頸部外科手術の実技指導。顕微鏡下手術・内視鏡下手術の実技指導。頭頸部外科の基礎（解剖生理・病態等）についての講義。耳鼻咽喉科疾患一般の扱いに関する基本的技術の指導と実技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	内視鏡下手術用 セット（耳鼻咽喉科）約 180万円 内視鏡（直、前方、120°、60°、90°）
7. その他備考	

専門家派遣計画表

㊧

1. 指導科目	外科（麻酔科）
2. 派遣期間・時期	1991年12月より 2 ヶ月
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	・TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	麻酔科についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：麻酔科臨床及び手術室の管理運営についての臨床実地指導。 指導内容：麻酔科技術全般の実技指導。術前術後の患者管理の実際。 その他手術室の運営管理についての指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画表

㊦

1. 指導科目	産婦人科
2. 派遣期間・時期	1991年 5月より 3 ヵ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	産婦人科についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：1990年 9月に開棟した産婦人科病棟の状況・診療 144等の現状把握と分析。技術協力計画の作成。 指導内容：産婦人科領域における主要疾患の診断・治療手技指導。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画表

㊧

1. 指導科目	臨床病理
2. 派遣期間・時期	1991年 5月より 3 ヵ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	・ TSI にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	臨床病理についての経験と指導能力のある専門家を望む。
5. 派遣目的および具体的指導内容	目的：臨床病理に関する基礎的な技術指導及び一般臨床医に対する CPC。 指導内容：病理標本の採取法・作製法・染色・判読方法などの基礎的技術指導及び一般臨床医に対しての臨床病理検討会 (CPC) の開催。
6. 必要とされる携行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

㊦

1. 指導科目	看護管理 (2名)
2. 派遣期間・時期	1991年 7月より 2週間
3. 当初計画 (TS1) と全体計画での位置付け	・TS1 にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	看護管理についての経験の豊富な専門家で、1992年に開催が予定されている ワークショップでの講演。
5. 派遣目的および 具体的指導内容	目的：1992年に開催が予定されている ワークショップで、看護管理についての講演を行う。
6. 必要とされる携 行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

㊧

1. 指導科目	病院管理 (3名)
2. 派遣期間・時期	1991年 5、9、12 月に 3か月。
3. 当初計画 (TS1) と全体計画での位置付け	・TS1 にのっとり病院側との協議により平成 3 年度技術協力計画に盛り込む。
4. 先方の希望内容	病院管理についての実務経験の豊富な専門家で、現場での実務指導の出来る人を望む。
5. 派遣目的および 具体的指導内容	目的：病院管理の各分野の合理的 システム を確率 するための指導を行う。 指導内容：各分野 (医事業務・経理・AMT 管理 等) において、近代的病院経営を行うために 必要な基礎的事務手続きの実地指導を行う。
6. 必要とされる携 行機材・額	現在検討中
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地語教科書（各科主要疾患マニュアル作成）
2. 目的：	内科、外科、小児科等の主要疾患に関する処置手順マニュアルを作成することにより各医師の知識を確実なものにするとともに、診療レベルを向上させることを目的とする。
・必要性	各科のレベル向上のためには必要不可欠
・緊急性	11月頃支給希望
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、今年度は教育・研究活動予算も付けられたが、分野が広いため各科には十分な予算が支給されず、この経費捻出は不可能であるため
・効果	今年度の実績もあり効果は大いに期待できる
3. 計画・経費	<p>外科では1989年後期より実施されており、1990年からは病院の方針として各科部長を中心に計画が進められている。今年度は、外科、内科、小児科、産婦人科において主要10疾患の診断・治療マニュアルがほぼ完成しており、来年度は、その他の主要疾患について今年度の計画を生かしより充実したものを作成すべく進めている。</p> <p>経費</p> <p>部数各科300部（外科、内科、小児科、看護部／頁数70・写真入り）</p> <p>印刷代 US\$ 5,600 写真代(顔紙) US\$ 300 合計 US\$ 5,900 796.5千円 (US\$1=135円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	症例集作成
2. 目的：	学術的な研究の基礎作りを目的とする。
・必要性	病院教育部より特に強い要請があり計画されたプログラムである。当病院においては、診察圏が広範囲にわたり特殊な症例も少なくない。今後の学術的な研究に非常に有益である。
・緊急性	7月支給希望
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、今年度は教育・研究活動予算も付けられたが、分野が広いため各科には十分な予算が支給されず、この経費捻出は不可能であるため
・効果	症例研究を通じて現地スタッフのレベル向上に非常に有効である。
3. 計画・経費	<p>計画</p> <p>1) 1990年1月より特殊な症例についての検討会を各科にて行う。 2) その資料を整理しつつ11月迄に症例をまとめる。 3) 12月より原稿をまとめ印刷を開始する。(約30症例を計画している。)</p> <p>経費</p> <p>作成印刷費 写真代(714A版) US\$ 200</p> <p>印刷代 頁数 70 (カラー写真入り) 部数 250 US\$ 2500 合計US\$ 2700 (US\$1=135円/364.5千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	業績集作成
2. 目的:	レジデント教育の一環として毎年1回レジデントの研究発表が行なわれているが、その内容が殆ど残されていない。教育部活動の向上と学術的研究の基礎を養うことを目的とし、計画された。
・必要性	教育活動を通じてスタッフ及びレジデントのレベルの向上に必要性大である。
・緊急性	11月頃の支給を希望する。
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、今年度は教育・研究活動予算も付けられたが、分野が広いので各料には十分な予算が支給されず、この経費捻出は不可能であるため
・効果	レジデントのみならず、医師スタッフのレベル向上と学術的研究の基礎を養うために有効
3. 計画・経費	<p>計画</p> <p>1) 教育部・各科教育担当医師並びに各専門家を 通じて各レジデントの研究テーマについて指導 を行なう。</p> <p>2) 発表はサンタクルス市内のレジデント全員に より行なわれるため、研究発表の中で優れたもの を選出し業績集に納めその他はレジメを載せる。</p> <p>経費</p> <p>①資料作成費 フィルム代(スライド及び一般フィルム) US\$300 コンピューターディスク購入費 US\$280</p> <p>②印刷費 300部(100頁、写真入り) US\$2,500 合計 US\$3,080 (US\$1=135円/415.8千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト広報(年報作成) 経費
2. 目的:	1) ポリビア保健者並びに医療機関への病院活動 広報 2) 病院活動の年間比較並びに各科診療部の活動 比較
・必要性	病院活動のまとまった記録が殆どないため必要 度は非常に高い
・緊急性	11月支給希望
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、広報費予算 も前年度より増額しているが、総体的な予算が少 ないため上記プログラムの広報活動費を十分捻出 することは不可能と思われるため
・効果	病院の広報のみならず、各科の活動比較並びに 年毎の比較に非常に有益と考える。
3. 計画・経費	<p>1991年1月より各科の診療カードックスを 利用し診療内容の記録をまとめ1992年1月に 集計を行ない年報をまとめる。</p> <p>内容は、内科、外科、小児科、産婦人科、IC U、救急外来の資料の他に、病院の概略並びにJ ICA技術協力の活動実績を載せる。</p> <p>経費</p> <p>印刷費: US\$4,100 発行部数250(180頁・写真入り)</p> <p>資料作成のための消耗品購入費 US\$300 (コンピューター用ディスク購入)</p> <p>合計 US\$4,400 (US\$1=135円/594千円)</p>

ロ・カルコスト負担事業計画表

1. 事業名	プロジェクト広報計画 (健康広報)																
2. 目的:	病院内外における地域医療サービス並びに母子保健活動の中で保健教育を基としたプロジェクト広報活動を行なう。																
・必要性	当病院は、2次・3次医療の充実だけでなく地域医療サービス面においても推進している。この面で保健教育を通じての広報活動は、必要性が高い。																
・緊急性	6月に支給希望																
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、広報費予算も前年度より増額しているが、総合的な予算が少ないため上記プログラムの広報活動費を十分捻出することは不可能と思われるため																
・効果	サンタクルス市民に対する病院活動の広報に効果的であるとともに地域医療の面でも有益であると期待は大きい。																
3. 計画・経費	<p>1989年2月より行なわれている外来及び小児科病棟での保健衛生、母子保健教育を促進し院外においても活動を発展させるとともに、これらを通じて当病院についても一般市民にアピールする。今後は視聴覚教材も積極的に利用してゆく計画である。</p> <p>経費</p> <table border="0"> <tr> <td>視聴覚教材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td>US\$ 1800</td> </tr> <tr> <td>ビデオデッキ</td> <td>US\$ 650</td> </tr> <tr> <td>8mmビデオカメラ</td> <td>US\$ 1700</td> </tr> <tr> <td>写真代 (74156、印刷代)</td> <td>US\$ 250</td> </tr> <tr> <td>ビデオ制作費</td> <td>US\$ 300</td> </tr> <tr> <td>消耗品購入費</td> <td>US\$ 250</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>US\$ 5450</td> </tr> </table> <p>(US\$ 1 = 135円 / 735.8千円)</p>	視聴覚教材		テレビ	US\$ 1800	ビデオデッキ	US\$ 650	8mmビデオカメラ	US\$ 1700	写真代 (74156、印刷代)	US\$ 250	ビデオ制作費	US\$ 300	消耗品購入費	US\$ 250	合計	US\$ 5450
視聴覚教材																	
テレビ	US\$ 1800																
ビデオデッキ	US\$ 650																
8mmビデオカメラ	US\$ 1700																
写真代 (74156、印刷代)	US\$ 250																
ビデオ制作費	US\$ 300																
消耗品購入費	US\$ 250																
合計	US\$ 5450																

ローカルコスト負担事業計画表

1. 事業名	診療技術巡回指導 (健康相談)
2. 目的:	病院内外における地域医療サービスの向上と技術移転を目的に周辺都市にて講習会を行なう。
・必要性	現在の技術協力活動の成果を周辺都市の医師に技術移転してゆくためには必要不可欠
・緊急性	6月に支給希望
・先方が負担出来ない理由	病院の運営状態は安定しつつあり、各予算も前年度より増額しているものの、総合的に予算規模が少ないため上記プログラムの実施に当り活動費を十分捻出することは不可能である。
・効果	技術協力が当病院内だけにとどまらず、より効果的に技術移転がサンタクルス周辺部にまで行なわれることへの期待は大きい。
3. 計画・経費	<p>昨年度には救急診療マニュアルの作成も終え、現在、専門家も加わり周辺都市の依頼に応え講習会活動を行なっており、高い評価を得ている。来年度には下記の4カ所にて、各3日間、計12日間を計画している。</p> <p>実施予定地</p> <ol style="list-style-type: none"> ①モンテローロ (当地より60km) 3日間 ②サマイバタ (当地より130km) 3日間 ③バヤグラツェ (当地より220km) 3日間 ④トリニダ (当地より600km) 3日間 <p>必要経費</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊費: 9日 x 7人 (9日 x 1名 + C/P7名) x US\$ 30 = US\$ 1890 2. 昼食: 12日 x 7人 x US\$ 10 = US\$ 840 3. 交通費: (トリニダ) 7人 x US\$ 100 = US\$ 700 4. 運転手賃金: 9日 x US\$ 50 = US\$ 450 5. その他経費: US\$ 600 合計 \$ 4, 480 (604.8千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	シャーガス病における技術交換（技術交換費）
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担出来ない理由 ・効果	<p>シャーガス病における臨床情報と基礎情報の交換及び病理学的・免疫学的診断技術の習得</p> <p>我が国に導入されるシャーガス病について特異的抗体検査法を開発している。特異抗体検査法を開発する際、シャーガス病の臨床情報と免疫学的・病理学的情報との交換が不可欠である。このため、先方から臨床情報と免疫学的・病理学的情報との交換を依頼している。先方の臨床情報と免疫学的・病理学的情報との交換は、このプロジェクトの目的達成に不可欠である。</p> <p>8月支給希望</p> <p>病院の運営状態は安定しつつあり、今年度だけ教育・研究活動予算も付けられたが、教育・研究分野が広いので十分な予算が支給されずこの経費は出は不可能であるため</p> <p>シャーガス病における疫学調査並びに診断技術のレベル向上に大きな効果が期待できる。</p>
3. 計画・経費	<p>計画</p> <p>当病院スタッフ1名と当技術協力チームより1名専門家をブラジル・ペルナンブコ熱帯病研究所に派遣し、当病院の臨床研究情報と基礎情報との交換並びに診断方法について検討を行なう。</p> <p>経費</p> <p>旅費（ブラジル レシフェ迄） US\$ 1060 × 2名 = US\$ 2120</p> <p>宿泊費（専門家の号/医療3号） 13泊 × 11600円 × 2名 = 301.6千円</p> <p>口当 14日 × 3890円 × 2名 = 106.4千円 合計408千円</p> <p>資料購入費 US\$ 1,000 車両借り上げ費 US\$ 300 US\$ 合計 3420 = 461.7千円 総計869.7</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
日本側の問題点	<p>1) 現地側は、機材の減価償却を出すための資産評価を行なう試みがあるが、無償供与時に必要かつ適切な情報の提供がなかったため難渋している。</p> <p>2) 研修員の出国手続きに時間がかかるため、できるだけ前広に通知願いたい。</p> <p>3) CP研修に際し、その家族の私費による渡航まで禁止しているが、いかにも前時代的処置で日本の感覚が疑われる。</p>
現地側の問題点	<p>1) R/D 締結時にその機能が明確でなかった病院運営運営委員会が、病院開院後 3年目にして（7ヵ月 開始後 2年目）法定位置付けが明確にされないままその権限を強化し、病院の最高の決定機関であるとの主張のもとに活動を活発化し始めた。もとより R/Dには運営委員会との関係についての条項は含まれていないので、7ヵ月側は主に以下の点に関してその対応に苦慮している。</p> <p>1-1) 運営委員会設置に関する厚生省令とその後に出た定款（案）との間に多くの論理上の矛盾点が存在する。</p> <p>1-2) この定款（案）が中央政府によって正式に承認されていないにもかかわらず、この定款によって委員会が運営されている。（前病院長の辞任もこの定款の規定に基づいて行われた。）</p> <p>1-3) 運営委員は医療関係者ではないので、医療についての基本的な7ヵ月側に問題がある。</p> <p>1-4) 中央政府の指導に対して運営委員会が必ずしも従うとは限らない。それに対して7ヵ月側はその活動の根拠をR/Dに置いているため、現場での問題の解決に困難を感じることもある。</p> <p>1-5) 以上の点に関して日本の外務省筋は全く理解していない。</p>

(21) ブラジル

ペルナンブコ大学免疫病理学センター

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) プロジェクト全体の 総括および纏め 2) 臨床研究部門の整備	1) プロジェクト全体の 総括および纏め ①C/P機関への委嘱 ②経過、業績の纏め ③プロジェクト後の具体案の作成 2) 臨床研究部門の整備 ①内視鏡、超音波、放射線の技術移転 ②管理部門の整備											
調査団の派遣	合同運営会議	—											
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名等) 1) 建野正毅(リーダー) 2) 横山はるみ(調整員) 3) 横山耕治(生化学)	86/9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	91/5
	短期専門家(分野、氏名等) 1) 三浦左千夫(寄生虫学) 2) 専門家(電子顕微鏡) 3) 専門家(内視鏡) 4) 専門家(内視鏡) 5) 専門家(超音波) 6) 専門家(放射線) 7) 南嶋洋一(ビールス)	87/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		90/4	—	91/4									
研修員	(分野、氏名等)												
供与機材													
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	1) 現地業務費臨時支給	▲申請書 提出		▲事業実施									

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容					
(1) 調査団派遣		調査団の種類（計画及び打ち合わせミッション機材修理チーム） 理由：第6回合同運営会議に出席のため					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと 下痢症ビールス全般に関する指導 食道静脈瘤の診断法および凝固等の治療法の指導
		①ビールス学 ②内視鏡	南嶋洋一	平成3年4月 平成3年4月	2ヶ月 2ヶ月	済み 済み	
(3) 供与機材	0千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携行機材	1500千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 時期 ①南嶋洋一 500千円 4月 ②内視鏡 500千円 4月 ③建野正毅 500千円 4月					

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①				
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名： _____

医療協力部

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(6) カウンターパート受入	名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、2年3月までに、年度末通報分については、3年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)	
	早期通報分 名							①
	年度末通報分 名							②
								③
								④
								⑤
								⑥
								⑦
								⑧
								⑨
								⑩

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名:ペルナムプロ大学免疫病理学センター

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績		
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	1,000千円を希望	1,004千円	プロジェクトの纏めとして業績集を作成する	2年度実績は現在申請中
②技術普及広報費	0千円を希望	0千円		
③現地セミナー開催費	0千円を希望	2,451千円		2年度実績の内 1,214千円分は現在申請中
④技術交換費	0千円を希望	0千円		
⑤応急対策費	0千円を希望	5,118千円		
⑥中堅技術者養成対策費	0千円を希望	0千円		
⑦プロジェクト基盤整備費	0千円を希望	0千円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名				
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		他		
		輸送費		
			合計	
供与の目的				
<ul style="list-style-type: none"> ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性 				
現地調達可否	(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否			
A47-a取付状況	(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

プロジェクト名: _____

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専門家派遣計画表

1.指導科目	ビールス学
2.派遣期間・時期	2ヶ月、平成3年4月より
3.当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	ビールス一般の纏め
4.先方の希望内容	下痢症ビールスの診断法、培養法の指導
5.派遣目的および具体的指導内容	ビールス領域の纏め ロタおよびアデノビールスの特殊診断法 サイトメガロビールスの纏め
6.必要とされる携行機材・額	診断に要するキット類 ウイルスプレート、サイトメガロビールス試薬 アデノウイルス試薬等 約50万円
7.その他備考	

専門家派遣計画表

1.指導科目	内視鏡
2.派遣期間・時期	2ヶ月、平成3年4月より
3.当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	臨床研究部門の設置に伴う専門家
4.先方の希望内容	内視鏡による治療法の指導
5.派遣目的および具体的指導内容	内視鏡全般の指導 食道静脈瘤の診断法および凝固法の指導 内視鏡下での手術法の指導
6.必要とされる携行機材・額	特殊鉗子類 特殊薬品類 約50万円
7.その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	現地業務費臨時支給
2. 目的: ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	プロジェクト業績集の作成 ・過去5か年間の研究開発業績を整理。 ・プロジェクト終了までわずかしかない。 ・大学の予算が極端に少なく、業績集等作成の余裕はない。 ・①研究開発活動の纏めになる。 ②研究開発業績を対外的に知らせることができる。 ③宣伝効果が大であり、将来のグラント等の獲得の手懸かりになり得る。 ④プロジェクトの効果を知らせることができる ⑤将来定期的に業績集を作成するための第1歩になる。
3. 計画・経費	①本研究所でなされた仕事で、既にパブリッシュされたものを纏める。 ②学会で発表したサマリーを纏める。 ③オリジナル論文を掲載する。 (経費) 製本代 約80万円 論文整理 約20万円 合計 約100万円

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
①プロジェクト後の問題	①基礎研究部門に関しては、ほぼ初期の目的を達成することができたが、経済的なサポートが見込み薄の途上国では日本の援助なしにはレベルの維持は絶望的である。日本の技術協力で達成した研究開発の水準を維持し、かつより発展させるためには当分の間、規模を縮小した協力の継続が必要である。
②臨床研究部門の立ち後れ	②臨床研究部門の活動の開始が大幅に遅れたために、技術移転が殆どできない状況である。機材類の整備も余りなされていない。プロジェクト後も何等かの形でフォローすべきである。
③プロジェクト評価の一定したスケールがない。	③研究開発プロジェクトにおけるプロジェクト目的の設定は難しい。研究設備を据付け、利用できるようにすることだけか、その上に研究開発活動が活発に行なわれるようにするのか(この場合は論文数、学会発表数になる)学問のトップレベルの研究活動ができるようにし、先進国の研究者が利用できるようにまでするのか、それとも他におくのか、関係者の意見の統一が必要である。

(22) ブ ラ ジ ル

カンピーナス大学消化器病

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調 査 団 派 遣		調査団の種類（計画及び打合せミッション機材修理チーム） 理由：プロジェクト開始一年目に際し計画打ち合せ					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短 期 専 門 家 派 遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		① 消化器外科					
		② 消化器内科					
		③ 寄生虫病診断					
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
(3) 供 与 機 材	6,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携 行 機 材	千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと					
		①	金額	時期	⑤	金額	時期
		②			⑥		
		③			⑦		
		④			⑧		
		⑤			⑨		
		⑥			⑩		
		⑦			⑪		

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	①島袋 哲	チーフアドバイザー	90/11~93/11		
	②三沢 巧	調整員	90/11~92/10		
	③				
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望					備 考
	計 画	内 容				
(6) カウンターパート受入	名を希望 早期通報分 3名	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	(早期通報分については、3年3月までに、年度末通報分については、3年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)
	年度末通報分 名	①未	消化器内科	未 定		
		②未	寄生虫病診断			
		③ブラングリーゼ所長	準高級			
		④				
		⑤				
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				
		⑩				

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名: ブラジル国カンピーナス大学消化器病診断研究センター

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	600千円を希望	0円	現地調達車両に関する整備費並びに保険料等	
②技術普及広報費	千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	千円を希望	円		
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者育成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ブラジル国 カンピーナス大学消化器病診断研究センター		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		超音波診断装置 他 器具		
		輸送費		
			合計	6,000
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要眼点 ・技術移転上の役割 ・緊急性	超音波診断装置は本年度ポータブル型が供与されるが(12月現在未着)、現地測は精度の高い大型器材の供与を強く希望している。また、本年度供与器材より洩れた病理部門の器材を計画した。			
現地調達可否	(1) 可(一部機器は可能) (2) <input checked="" type="checkbox"/> 否			
A474-A取付状況	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

プロジェクト名ブラジル国カンピーナス大学消化器病診断センター

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	超音波診断装置	協議中			否		
2	顕微鏡（写真装置付き）				否		
3	クリオスラット				否		
4	落射蛍光顕微鏡				否		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	消化器内科及び消化器外科
2. 派遣期間・時期	本年度供与機材の到着時期に合わせて派遣を希望
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIを具体化した
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	具体的指導指導内容並びに携行機材に就いては本リーダー会議期間中に国内支援機関の富山医科薬科大学と協議したい。
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	寄生虫病診断
2. 派遣期間・時期	本年度供与機材の到着時期に合わせて派遣を希望
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	TSIを具体化した
4. 先方の希望内容	
5. 派遣目的および具体的指導内容	診断用抗原作成 虫体及び虫卵抗原の作成及び抗原精製
6. 必要とされる携行機材・額	成球大学と協議中
7. その他備考	

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
	<p>本プロジェクトは本年7月6日に発足し、リーダー及び調整員は11月に着任したばかりである。本年度分供与器材も未到着であり、プロジェクト実施上の問題点に関しては未だ十分に把握仕切れていない。</p> <p>現地側ガストロセンターの受け入れ準備は、施設整備及び人員配置の面で着々と行なわれており、問題は少ないと思量される。</p> <p>よって、来年度以降専門家のスームズな派遣と供与器材の年度内早期供与が望まれる。</p>

(23) ドミニカ (共)

消化器病研究臨床

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1)内視鏡、超音波診断、X線検査技術移転の年次計画達成 2)臨床検査医学(生化学、血清学、微生物学、病理学)技術移転年次計画達成 3)小児科学(感染性下痢対策)の技術移転 4)感染性下痢症の実態とドミニカ国の保健指標の把握(疫学)												
調査団の派遣	計画打合せ調査団												
専門家の派遣	長期専門家(分野・氏名等) 1)寺尾 英夫(チームリーダー) 2)武蔵 英史(業務調整) 3)山田 行雄(X線検査技術) 4)菅原 弘一(臨床検査医学) 5)藤田 康子(疫学) 6)中野 忠男(臨床検査医学)												(3月着任) (任期13ヶ月)
	短期専門家(分野・氏名等) (1)青木 一雄(公衆衛生医学) (2)原主 礼(消化器病学) (3)橋山 繁生(病理科学) (4)平松 公三郎(小児科学) (5)曲 康弘(臨床検査医学) (6)中野 忠男(同上) (7)未定(東芝ベックマン、器械据付) (8)未定(消化器病学・外科) (9)内田 謙一(消化器病学・外科) (10)内山 留(小児科学) (11)宮田 彬(原虫学)												(任期6ヶ月) (任期4ヶ月) (任期3ヶ月) (任期2ヶ月) (任期3ヶ月) (任期6ヶ月) } セミナー開催 (10日間)
研修員	7分野、氏名等 (1)アラセリス・ヘルマン(臨床検査) (2)ルイス・サンチェス・リマルド(消化器病学) (3)未定(小児科学) (4)												(任期6ヶ月) 着任時期未定 着任時期未定
供与機材													別紙参照
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1)セミナー開催費 (2)センター完成、業務内容等パンフレット作成及び配布 (3)運転手、通訳雇用費等												

項目	専門家チームの要望						備考																																																
	計画	内容																																																					
(1) 調査団派遣		<p>調査団の種類(計画及び打合せミッション) 理由:昨年、プロジェクト総括責任者であるドミニカ国の保健大臣が、次いでプロジェクト実施上の責任者であるアイバル病院院長が変更になった。元院長はドミニカ国側の調整員となったが、これ返数回に亘り派遣された調査団との交渉及び内容が、保健大臣、新院長に十分伝達されていない。プロジェクト実施に大きな支障となっている。調査団を早急に派遣し、計画を詳細に説明し、円滑な運営を計る必要がある。</p>					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと																																																
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと																																																
		①公衆衛生医学、疫学	青木 一雄	91/3.1~91/6.30	4ヶ月																																																		
		②消化器病学、内科	児玉 礼二	92/6.1~92/11.30	6ヶ月																																																		
		③病理学	横山 繁生	92/6.1~92/9.30	4ヶ月																																																		
		④小児科学	平松 公三郎	92/8.1~92/11.30	4ヶ月																																																		
		⑤臨床検査医学(生化学)	曲 廣弘	92/5.1~92/7.31	3ヶ月																																																		
		⑥臨床検査医学(血清学)	中野 忠男	92/7.1~92/8.31	2ヶ月																																																		
		⑦器械据付、保守		92/5.1~92/7.31	3ヶ月																																																		
		⑧消化器病学、外科	未 定	92/12.1~93/5.31	6ヶ月																																																		
		⑨消化器病学、外科	内田 雄三	92/12.1~93/12.10	10日																																																		
		⑩小児科学	内山 聖	92/12.1~93/12.10	10日																																																		
		⑪原虫寄生虫学	宮田 彬	92/12.1~93/12.10	10日																																																		
(3) 供与機材	44,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと																																																					
(4) 携行機材	千円を希望	<p>専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>①</th> <th>金額(千円)</th> <th>時期</th> <th>⑤</th> <th>金額(千円)</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>92年11月</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>300</td> <td>92年5月</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>300</td> <td>92年5月</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>300</td> <td>92年7月</td> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>300</td> <td>92年4月</td> <td>⑨</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>300</td> <td>92年6月</td> <td>⑩</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>300</td> <td>92年4月</td> <td>⑪</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					①	金額(千円)	時期	⑤	金額(千円)	時期					300	92年11月	②	300	92年5月	⑥			③	300	92年5月	⑦			④	300	92年7月	⑧			⑤	300	92年4月	⑨			⑥	300	92年6月	⑩			⑦	300	92年4月	⑪			
①	金額(千円)	時期	⑤	金額(千円)	時期																																																		
				300	92年11月																																																		
②	300	92年5月	⑥																																																				
③	300	92年5月	⑦																																																				
④	300	92年7月	⑧																																																				
⑤	300	92年4月	⑨																																																				
⑥	300	92年6月	⑩																																																				
⑦	300	92年4月	⑪																																																				

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 寺尾 英夫	チームリーダー	90/12.12-92/3.31	保留	
	② 武藤 史	業務調整	90/8. -		
	③ 山田 行雄	X線検査技術	90/8. ~		
	④ 菅原 弘一	臨床検査医学	91/3.1-92・3.31	交替	
	⑤ 藤田 康子	看護学	91/3.1-92・3.31		
	⑥ 中野 忠雄	臨床検査医学	92/3.1-93・3.31	交替	
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望					備 考
	計 画	内 容				
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	<p>（早期通報分については、平成3年3月までに、年度末通報分については、平成3年7月末までに、A2-3フォームを取り</p> <p>平成2年度分積残し分の1名の枠の確保を希望する。 ルイス・サンチエス・リマルドが研修終了してドミニカ共和国に帰国後、若手の医師の研修医の派遣を希望する。</p>
	早期通報分 1名					
	年度末通報分 3名	①アメリス・M77	臨床検査医学 生化学	5月中旬	6ヶ月	
		②ルイス・サンチエス・リマルド	内科学 消化器病学	8月下旬	6ヶ月	
		③未 定	小児科学	8月下旬	6ヶ月	
		④未 定	内科学 消化器病学	2～3月	6ヶ月	
		⑤				
		⑥				
		⑦				
		⑧				
		⑨				
	⑩					
	⑪					

プロジェクト名：ドミニカ共和国消化器疾患研修・臨床

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 その 仕 様	金 額 (千 円)	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	全自動高速電気泳動装置 (ファルマシア、Phast- system、18-1600-01)	1,700	蛋白、核酸(ロウイン) の電気泳動と染色	有	不 明	使用のゲルは全て当該社製のものを使用する必要 あり。	
2	フラスココレクター (ファルマシア、レディフラスコ、18- 1003-64)	230	カラムからの試料の分取	有	不 明		
3	パーソナルコンピューター (NEC、PC9801-RA51)	1,400	臨床検査データの記 録と統計処理	有			
4	生化学自動分析機 試薬 (東芝、パケテックス5用)	12,000		有	可		現地での稼働状況により 購入量が大きく変わる可 能性がある。 (算出根拠1日25件、月 1,000件の検体数を6ヶ月 分としてある。)
5	生化学自動分析機 試薬 (パケテックス550用)	6,000		有	否		
6	コーンカウンター、血液ガス 測定用機等の試薬	1,500			可		
7	細菌、ウイルス、血清学 (HBS、HBC など) 用試薬	12,000			一部可		
8	血液バンク用抗血清等	1,500			一部可		
9	その他	3,670					
10	X線フィルム	4,000		無	可		現地の利用状況により購入量 が変わる可能性があり。
11							
12							
13							
14							
15							

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	臨床検査医学 (長期)
2. 派遣期間・時期	1992年3月1日から1年以上 (菅原 弘一専門家の後任)
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	アイバール病院全体をカバーする中央検査部を拡充、充実することがこのプロジェクトのポイントの一つである。これ迄本病院での中検の機能は無きに等しかったこと、検査項目が多いことから、技術移転には相当の努力と期間が必要である。TSIでは各年次短期派遣になっているが、これを変更し、しばらくは長期専門家の存在が不可欠である。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	臨床検査全分野にわたる長期の技術指導。
6. 必要とされる携行機材・額	有効期限の短かく、冷蔵の必要な試薬類。 30万円
7. その他備考	生化学、血清学、輸血検査に10年以上の経験を有し、スペイン語会話能力を有するものが望ましい。

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	消化器病学 (短期)
2. 派遣期間・時期	(1) 92年6月1日～11月30日 (6ヶ月) (2) 92年12月1日～ 93年5月31日 (6ヶ月) (1) の後任
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	本プロジェクトの中心的課題は消化器性疾患の診断学、治療学の技術移転である。 当初の予定通り、6ヶ月交代で短期消化器病学専門家を派遣し、計画を予定通り遂行する。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	現チームリーダーも消化器病専門家であるが、短期専門家はチームリーダーを補佐し、内視鏡、超音波診断、X線写真読影技術などの指導を行なう。
6. 必要とされる携行機材・額	業務遂行上必要な各種診断器械のパーツ、消耗品など。 各30万円
7. その他備考	経験年数6年以上、スペイン語もしくは英語の会話能力を有するもの。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理学 (短期)
2. 派遣期間・時期	92年6月1日～92年9月30日(4ヶ月)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	臨床検査医学の中で病理学標本の診断能力の向上は、単に消化器疾患のみならず、全般的医療レベルの向上に不可欠なものである。当初の予定通り短期専門家の派遣を行い、予定通り計画を遂行する。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	アイバール病院の病理には、既にかなり訓練された病理医もあり、短期専門家により今回は病理標本作成技術と一般病学診断学の指導を行なうことにより、すみやかに診断技術の向上が期待できる。
6. 必要とされる携行機材・額	業務遂行上必要な消耗品。 30万円
7. その他備考	経験10年以上、英会話能力を有することが望ましい。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	小児科学 (短期)
2. 派遣期間・時期	92年8月1日～92年11月30日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	乳幼児の感染性下痢症の罹患率、死亡率はドミニカ共和国の疾病統計によると常に最上位にあり、このプロジェクトにおける小児科学の果たす役割は大きい。当初の計画通り、短期に専門家を派遣し、計画を実行する。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	小児下痢症の最新の治療法、輸液(経口、非経口)を指導する。また、この疾病の背景にあり、予後と大きく関わり合っている低栄養、免疫力低下の実態を把握し、その改善を考える。
6. 必要とされる携行機材・額	業務遂行上必要な消耗品 30万円
7. その他備考	経験10年以上、英会話、スペイン語会話能力を有することが望ましい。

専門家派遣計画表

1. 指導科目	臨床検査医学(短期)
2. 派遣期間・時期	(1) 92年5月1日～92年7月31日 } (2名) (2) 92年7月1日～92年8月31日 }
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	中央検査部の整備は大きなポイントの1つであるが、中でもドミニカ国の強い要望で無償援助で設置することになった生化学自動分析装置の円滑な稼働開始は重要である。しかし同国は水、電気、電圧事情が不安定なため、TSIを変更し、稼働開始時に経験豊富な専門家を追加短期派遣し、万全を期す。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	既に滞在している菅原長期専門家も専門は臨床検査医学であるが、本来は細菌学であり、これらの短期専門家は最新の生化学自動分析装置について経験豊富な生化学、血清学が専門が望まれる。
6. 必要とされる携行機材・額	生化学自動分析装置の試運転に必要な小さいパーツ、試薬類。 各 30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	器械据付と保守(短期)
2. 派遣期間・時期	1992年5月1日～1992年7月31日
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	生化学自動分析装置の円滑な稼働開始が強く望まれるので、TSIに追加してメーカー側から上記の専門家を短期で派遣することを強く要望したい。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	生化学自動分析装置の保守、修理方法を指導する。
6. 必要とされる携行機材・額	30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	消化器疾患に関するセミナー開催（短期）
2. 派遣期間・時期	1992年12月1日から10日間（3名）
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置付け	当初のTSI通りセミナー開催を行う。
4. 先方の希望内容	特になし。
5. 派遣目的および具体的指導内容	既に滞在しているチームリーダーに (1) 肝炎ウイルス（B型）と肝硬変、肝癌（仮題） 短期専門家に (2) 消化器疾患の最新の外科的治療法（仮題） (3) 電解質代謝異常と乳幼児下痢（仮題） (4) 原虫性下痢症最近の話題（仮題） と題してセミナーを開催すると同時に現地の消化器疾患の実態を知る。
6. 必要とされる携行機材・額	なし。
7. その他備考	医学領域の通訳が必要である。

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	消化器疾患センター開設に伴う当プロジェクトの広報（普及広報費）
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	無償資金協力により、完成した消化器疾患センターの施設内容と今後の当プロジェクトの活動内容をドミニカ共和国の医療関係者や一般市民に広報することは、今後のプロジェクト活動の拡大、民衆へのとけ込みに不可欠である。 1991年6月 プロジェクトの存在、目的、活動内容をより多くの人々に知らせることができる。
3. 計画・経費	総計（ 円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	消化器疾患に関するセミナー（セミナー開催費）
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<p>ドミニカ共和国に頻度の高い消化器疾患を一、二、取り挙げ、これを内科、小児科、外科、ウイルス学、寄生虫原虫学の立場から最新の情報、技術などを日本から招待する短期専門家に講演して貰う。</p> <p>消化器疾患は非常に巾広い疾患から成り立っているが、その一つを取り挙げてもその原因、発病病理、臨床像、治療法は非常に多様である。このように消化器疾患を真に理解するにはいろいろな観点からこれを総合的に捕える必要がある。</p>
3. 計画・経費	総計（ 円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	運転手及び通訳の雇い上げ
2. 目的： ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果	<p>特に短期専門家のための運転手と通訳の雇用</p> <p>ドミニカ共和国は1日に数時間しか電気が供給されない。道路に信号機はあるが、実際には無きに等しい。特に交差点の通り抜けは、事故に連がる危険が多い。また、同国はスペイン語圏であり、短期専門家が短い期間に業務を遂行するには、数人の専門家に1人位の割合で通訳を雇うことが切望される。</p>
3. 計画・経費	総計（ 円）

平成2年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ドミニカ共和国消化器疾患研究・臨床		
	分野	品目	数量	金額(千円)
主 要 機 材 の 概 要	臨床検査	フクシヨコレクター、生化学自動分		
	X線、	析用試薬など		21,230
	超音波診断	X線フィルム		4,000
	臨床検査	全自動高速電気泳動装置、		15,100
	疫学	コンピューター、微生物、血清学試薬		3,670
	その他			不明
		輸送費	合計	44,000+ 輸送費
供与の目的 ・全体計画に ける位置付 ・今回供与の 眼点 ・技術移転上 役割 ・緊急性		臨床検査、殊に生化学自動分析器の運転用試薬の供与に重点をおいたが、ドミニカ共和国側の予算獲得状況及び検査料収入の予定が未知な現在、暫定的に算出した。		
現地調達可否	(1) 可 (一部試薬は可能) (2) 否			
A474-4取付状況	(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定			

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
ドミニカ共和国の問題点	<p>1. プロジェクト実施体制の不備</p> <p>昨年、まず保健大臣が、次いでプロジェクト実施上の責任者であるアイバル病院院長が更迭され、それぞれ新しい人になった。前院長はプロジェクトの調整員として留まったが、現在病気療養中である。これまでの両国間の交渉、打合せ内容が、新大臣、院長に殆んど伝わっていきなく、その上、大臣、院長、調整員の意志疎通に感情的行き違いが存在する。</p> <p>そのためか、双方で、合意済みのプロジェクトサイトであるセンターに配置すべき医師、検査技師等の配置予定、新採用、勤務体制の一部見直し等がまだ行なわれていない。</p> <p>また、予算面の裏付けが不確定のままである。</p> <p>1月から始まる今年度分の要求額は知らされているが全額認められたとしても、これに人件費も入っているのか否か、センターの特別枠として配布されるものか、アイバル病院全体に増額の形で配分されるのかも不明である。</p> <p>また、検査料も一部の人は寄付の形で徴収することにドミニカ国側では一致しているようであるが、まだ実施策は出来上がっていない。</p> <p>このままでは、プロジェクトの実質上の開始時期である6月以降、プロジェクト運営には非常に困難を伴うであろうことは必至である。早急に運営体制の確立が望まれる。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
ドミニカ共和国の問題点	<p>2. 電気事情、物価上昇、インフレーション</p> <p>ドミニカ共和国の電気事情は非常に悪い。それが、湾岸危機によりさらに悪化、このためセンターに備え付けの自家発電機のフル操業が余儀なくされ、機能が急速に低下する恐れが大である。また、自家発電用灯油の絶対的不足、値上り、そしてその他の物価の値上がりでプロジェクトを圧迫する恐れが非常に大きい。</p>
日本側の問題点	<p>短期専門家の言葉の問題</p> <p>当プロジェクトを進めるに当り、日本側の問題点は特に短期専門家の言葉の問題である。ドミニカ共和国の公用語はスペイン語であるので、短期専門家であっても時間が許せば是非東京でのスペイン語研修を受けてもらえることを希望する。少なくとも英語で相手と意志疎通が可能であることは必須条件である。</p>

(24) ホンデュラス

看護教育強化

ANNUAL WORK PLAN (実績表)

プロジェクト名: ホンデュラス看護教育強化計画

		8	9	10	1990年度			3
					11	12	1	2
目標	1. カリキュラムの検討 2. カリキュラムの状況把握 3. 地域実習における指導法の改善(状況把握)							
調査団の派遣	R/D調査団	—— 8/16 R/D調印						
専門家の派遣	長期専門家(分野, 氏名等) (1)菅原 能子(チームリーダー)	10/2着任(任期2年)						
	(2)九筈 逸郎(業務調整)	9/17着任(任期2年)						
	(3)大場 正子(看護教育-教育理論)	10/2着任(任期2年)						
	(4)朝倉 正子(看護教育-外科看護)	11/30着任(任期1年)						
	短期専門家(分野, 氏名等)	なし						
研修員	(分野, 氏名等)予定者 (1)マルコ チュリオ カランサ (2)ホルヘ メディーナ (3)リリアナ メヒーア	研修生の選出(3名) 11/2 A-2.37t-4を経済企画省に提出 12/4 A-2.37t-4大使館着						
供与機材		10/9機材リストアップ 11/15承認, 前渡資金送金 12/18機材配布開始 10/25現地調達申請提出 11/19機材購入開始						
各種事業	(1)臨時現地業務費(参考図書調査旅行)	11/8申請書提出 12/3承認 1/7-1/11調査旅行実施 12/11前渡資金送金						
ローカルコスト負担事業, 等	(2)プロジェクト基盤整備費(申請中)	10/11プロ基盤合同会議 11/26プロ基盤申請書提出						

平成3年度年間計画

ANNUAL WORK PLAN

プロジェクト名 ホンデュラス看護教育強化計画

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標 *ブレックダウンは別表	1. 看護教育技術の向上 2. カリキュラムの検討改善 3. 地域実習における指導方法改善 4. 教材開発技術に向上 5. 教本の開発及び改善												
調査団の派遣	計画打ち合せ調査団												
専門家の派遣	長期専門家 1) チームリーダー 2) 調整員 3) 看護教育-教育理論 4) 看護教育-外科看護 (予定)												
	5) 看護教育-母子看護												
短期専門家(分野, 氏名等)	(1) 看護教育-カリキュラム分析												
	(2) 看護教育-地域看護 (3) 看護教育-教育原論 (4) 保健調査 (5) 教材開発												
研修員 (分野, 氏名等)	(1) 看護学校教育・学校管理												
	(2) 公衆衛生看護教育 (3) 外科看護教育 (4) 保健行政・計画												
供与機材		4月 実施計画書の作成			7月 購入手続開始					10月 前渡資金受払報告書提出			
各種事業 ローカルコスト 負担事業, 等	(1) 臨時現地業務費												
	(2) 技術普及広報費 (3) 応急対策費 (4) 教科書作成費 (5) セミナー開催費 (6) プロジェクト基礎整備費												

技術移転計画-ブレークダウン- (1/5) 平成3年度

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 看護教育技術の向上												
1) 一般外科領域における教育技術の向上												
a. 学内における外科基礎看護技術の指導方法												
b. 臨床実習における外科基礎看護技術の指導方法												
2) 救急領域における教育技術の向上												
a. 学内における指導方法												
b. 臨床実習の場面における指導方法												
3) 一般外科及び救急領域におけるモデル指導案の作成												
a. 現状の分析												
b. 文献の検索												
c. モデル案作成												
d. 原案の試行												
e. 評価・報告												
4) マニュアル作成												92年度から
5) 経過の評価												
	<p>看護教育技術として包括されている広い分野の中から、立ち上がり時期の90年・91年に外科及び救急領域に的を絞った理由として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホンデュラス側が強化ポイントとしている母子看護、外科看護、地域看護の中の一つであること。 2. 長期派遣専門家の専門分野が外科領域に集中していること。 <p>が挙げられる。</p>											

技術移転計画－ブレイクダウン－ (2/5)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2. カリキュラムの検討改善												
1) 現行カリキュラムの検討												
2) 現行カリキュラムと教授計画及び実施の現状把握												
3) 各地域の保健状況の把握												
4) カリキュラム編成の実際と展開の指導												
5) 経過の評価												
6) 改善に関する提言												93年度から
	看護教育のレベル向上にとって、非常に重要かつ大きなテーマであり、当国の社会背景、保健の現状、看護教育のあり方など マクロな視点から、より実質的な改善へのアドバイスを行うことを目標にして、初年度及び2年度は、現状の把握を主体とした活動計画とする。											

技術移転計画－ブレイクダウン－(3/5)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
3. 地域実習における指導方法の改善												
1) 地域保健状況の調査分析による把握												
a. 状況の視察												
b. 地域訪問・面談の実施												
c. 集会への出席・開催												
d. 調査の実施												
2) 保健教育分野における指導方法の改善												
a. 母子保健分野での展開												
b. 感染症対策分野での展開												
c. その他の分野												
3) 保健所内実習での指導方法の改善												
a. 基礎看護技術の展開についての指導												
b. 家庭訪問指導における看護職員の役割												
4) 経過の評価												
	准看護婦の教育内容の大部分を占めるテーマであり、活動計画は具体的なポイントを手がかりにして実施していく。											

技術移転計画－ブレイクダウン－(4/5)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4. 教材開発技術の向上												
1) INICEとの教材開発に関する協調												
2) 教材の現状調査												
a. 保有教材数と状況, 及び使用現状調査												
b. 備品管理の現状調査												
3) 現状分析, 問題点に関する意見交換												
4) 教材作成の実際と指導												
5) 強化された新教材を用いてのデモンストレーション												
6) 経過の評価												
	オリジナルな教材の開発と供与材として強化された教材の活用指導の2つの分野において、技術の向上を目指す。											

技術移転計画-ブレークダウン-(5/5)

項 目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
5. 教本の開発及び改善												
1) 教本活用の現状調査												
2) 現在保有の教本の内容検討												
3) 教師らとの意見交換												
4) 教本作成の実際												
a. 母子保健分野の教本												
b. 公衆衛生分野の教本												
c. 外科基礎技術の教本												
d. その他												
5) 経過の評価												
	現在保有している教本の改訂及び新分野の教本作成を実施し、それが学生の手元に届き、活用されることを目標とする。											

プロジェクト名: ホンデュラス共和国看護教育強化計画

	専門家チームの要望				備 考
	内 容				
長期専門家派遣	氏 名	指導分野	派遣期間	交替、延長の要望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	(1)菅原 能子	チームリーダー	90.10.01-92.09.30	保留	
	(2)九筈 逸郎	調整員	90.09.17-92.09.16	延長	
	(3)大嶋 正子	看護教育	90.10.01-92.09.30	保留	
	(4)朝倉 正子	看護教育	90.11.29-91.11.28	交替	
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
	(10)				
	(11)				
	(12)				
	(13)				
	(14)				
	(15)				

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：ホンデュラス看護教育強化計画

項 目	専門家チームの要望				
	計 画	内 容			
(6)カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間
	早期通報分 3名	(1)ミリアン チャン	看護教育・学校管理	91.07-91.12予定	6カ月
	年度末通報分 1名	(2)准看護学校から1名	公衆衛生	91.07-91.12予定	6カ月
		(3)大学から1名	外科看護	91.10-92.03予定	6カ月
		(4)ルイス エスコト	保健行政・計画管理	91.09予定	1カ月

プロジェクト名: ホンデュラス共和国看護教育強化計画

項目	専門家チームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣		調査団の種類: 計画及び打ち合せ調査団 理由: 厚生省の方針で1991年1月より、USAIDの協力を得て全国4カ所(ワカワカ、マナ、マナ、マナ、マナ)に臨時の准看護学校を設立し、地域医療の向上を押し進める計画が出された。臨時の准看護学校の教育内容が既存の3校(プロジェクトの対象校)と同一のため今後新規4校の取扱及び関係調整が問題となってくる					臨時准看護学校計画は別様式 "プロジェクト実施上の問題点・要望事項"のホンデュラス側の問題点②を参照。	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があれば その氏名	派遣期間	期間	A174-4の取付状況		
		(1)看護教育-カリキュラムの検討	高橋 百合子	1991.6-1991.8	3M	1991年1月		
		(2)看護教育-公衆衛生看護		1992.1-1992.2	2M	1991年8月		
		(3)看護教育-看護教育原論	伊藤 暁子	1992.1月末	2W	1991年8月		
		(4)保健調査	池田 高治	1991.9-1992.3	6M	1991年4月		
		(5)教材開発		1992.1-1992.3	3M	1991年8月		
		(6)						
		(7)						
(3) 供与機材	45,000千円を希望	別紙の機材実施計画書の通り						
(4) 携行機材	1,400千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載の事 金額(千円) 時期 金額(千円) 時期				保健調査専門家には携行機材とは別に調査費が必要である。		
		(1) 300	91年5月	(5) 300	91年12月			
		(2) 300	92年1月	(6)				
		(3) 200	92年1月	(7)				
		(4) 300	91年8月	(8)				

プロジェクト名: ホンデュラス共和国看護教育強化計画

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機材名・その仕様	金額	用途	銘柄指定 有無	現地調達 可否	保守・修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に当たっての 留意事項
1	実習用マネキン 京都科学 M32-11-103	3912,000	看護教育用 (12)	有	可		現地商社を通じて部品購入
2	(付属) 導尿用シュミレーター 男性タイプ	420,000	.. (12)
3	実習用マネキン 京都科学 M15-11-211	2280,000	.. (3)
4	筋肉注射用シュミレーター 殿部用 京都科学	2976,000	.. (12)
5	血管注射用シュミレーター 京都科学 M50-11-26	1500,000	.. (6)	現地にて修理可能	..
6	(付属) 交換血管 京都科学 M50-11-269-02	30,000	.. (15)
7	ギャジベッド 手動式, マット付き	2700,000	.. (15)	無	..	現地にて修理可能	
8	車両 マイクロバス TOYOTA ハイエース	3400,000	.. (2)	有	..	現地にて修理可能	現地に代理店有り
9	バイタルサインBERYモデル 京都科学	4320,000	.. (12)	
10	小児用ベッド	1440,000	.. (12)	無	..		
11	乳児用ベッド	840,000	.. (12)		
12	コンピューター IBM	2800,000	.. (2)	有	..	現地にて修理可能	現地に代理店有り
13	血圧計	240,000	.. (30)	無	..		
14	ビデオデッキ VHS方式	560,000	.. (7)	現地にて修理可能	現地販売店を通して部品購入
15	参考図書類 スペイン語版	3000,000		

* () 内は調達数を表す。

プロジェクト名: ホンデュラス共和国看護教育強化計画

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機材名・その仕様	金額	用途	銘柄指定 有無	現地調達 可否	保守・修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に当たっての 留意事項
16	聴診器 ARMSTRONG	30,000	看護教育用 (30)	有	可		
17	聴診器(TWO WAY式) ARMSTRONG	51,000	.. (30)		
18	オーバーヘッドプロジェクター専用ランプ 3M	210,000	.. (70)		
19	スライドプロジェクター専用ランプ KODAK	56,000	.. (70)		
20	実物反射投影機専用ランプ BUHL	210,000	.. (70)		
21	低圧持続吸引器 ミズキ MSP-210	330,000	.. (6)		
22	吸引器 ミズキ MSP-211	360,000	.. (6)		
23	O ₂ ボンベ流量計 ムナカ 27-001-01	108,000	.. (6)	現地にて修理可能	
24	O ₂ 吸入計量器 ムナカ 27-002-01	30,000	.. (6)		
25	体重計ベビー用	120,000	.. (12)	無	..		
26	身長計ベビー用	90,000	.. (12)		
27	ケリーボード	198,000	.. (18)		
28	ビッチャー	240,000	.. (30)		
29	洗面器	150,000	.. (30)		
30	洗面台	240,000	.. (12)		

* () 内は調達数を表す。

プロジェクト名：ホンデュラス共和国看護教育強化計画

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機材名・その仕様	金 額	用 途	銘柄指定 有無	現地調達 可否	保守・修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に当たっての 留意事項
31	手指消毒用ブラシ缶	210,000	看護教育用 (14)	無	可		
32	手指消毒用ブラシ缶スタンド	385,000	.. (7)		
33	手指消毒用ブラシ	105,000	.. (120)		
34	ベッドブラシ	30,000	.. (60)		
35	胃管カテーテル	18,000	.. (60)		
36	ネラトンカテーテル	36,000	.. (120)		
37	バルンカテーテル	36,000	.. (120)		
38	サクションチューブ	36,000	.. (120)		
39	O2カメラ	36,000	.. (120)		
40	O2マスク	27,000	.. (60)		
41	リゲーター浣腸用	90,000	.. (30)		
42	点滴スタンド	360,000	.. (12)		
43	翼状針	3,000	.. (30)		
44	頭床台	450,000	.. (15)		
45	オーバーテーブル	600,000	.. (15)		

* () 内は調達数を表す。

プロジェクト名: ホンデュラス共和国看護教育強化計画

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機材名・その仕様	金額	用途	銘柄指定 有無	現地調達 可否	保守・修理上の留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に当たっての 留意事項
46	ネブライザー 松岡 070-003-01	360,000	看護教育用 (6)	有	可		
47	体温計	300,000	.. (120)	無	..	現地にて修理可能	
48	レコーディング アンネ ノルウェイ レーダム社	1350,000	.. (3)	有	
49	レサシベピー	480,000	.. (3)	無	..		
50	人体解剖模型 京都科学 A9 G-130, 11-009	3600,000	.. (6)	有	..		
51	小児ファン便模型 京都科学 C31-12-103	234,000	.. (6)	有	..		
52	教育テープ	79,500	..	無	..		

* () 内は調達数を表す。

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名：ホンデュラス共和国看護教育強化計画

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
7. ローカルコスト負担経費				
(1)現地業務費臨時支給分	233 千円を希望	233,000円	1992年度供与機材として購入する書籍類の市場調査を実施する。	
(2)技術普及広報費	580 千円を希望	0 円	大学看護学科設立25周年を利用したの当プロジェクトの紹介及び准看護学校入学案内	
(3)現地セミナー開催費	1,420 千円を希望	0 円	2000年に向けての看護婦像セミナー、新教材を使つての授業展開セミナー	
(4)技術交換費	0 千円を希望	0 円		
(5)応急対策費	3,550 千円を希望	0 円	CERARH SUR, CERARH NORTE の教室環境改善及び供与機材保管倉庫の修理工事	
(6)中堅技術者要請対策費	0 千円を希望	0 円		
(7)プロジェクト基盤整備費	22,000 千円を希望	0 円	看護教員研修センター建設工事	申請書提出済み
(8)教科書作成費	1,500 千円を希望	0 円	外科基礎技術看護教本、母子保健教本、公衆衛生技術教本作成	
8. 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称に関わらずに簡潔に記載の事）				
(1)通訳派遣制度・・・短期専門家の派遣に際し、技術移転上、語学が非常に重要と思われる場合は、通訳を日本から同行させる。				
(2)奨学金制度・・・准看護婦養成校の生徒に対して、厚生省は奨学金を支給しているが、勉学を続けるには不十分なため途中で退学するものが出ている。そこでプロジェクトから勉学優秀であるが経済的に困難な状況にある生徒に対し、奨学金を付与する。				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		ホンデュラス共和国看護教育強化計画		
主	分野	品目	数量	金額(千円)
要 概 材 の 概 要	看護教育	基礎的外科手術用具	120	300
		実習用マネキン	15	6,192
		人体解剖模型	6	2,460
		血管注射用シュミレーター	12	2,976
		バイタルサインBERYモデル	12	4,320
		カテーテル類	300	1,080
		図書類		3,000
		車両	2	3,400
		他		
		送料		0
		合計	45,000	
供与の目的		学内での授業展開及び実習場面での指導を強化することを目的とする。		
全体計画における位置づけ				
今回供与の主眼点		1.学内での実習指導、実習に用いられるマネキン、シュミレーター類を初年度に引続き強化する。 2.初年度に充足できなかった2校につき、地域実習用に用いられる車両の配置をする。 3.看護用品のうち、基礎看護技術移転に必要なものを新しく強化する。		
技術移転上の役割		カウンターパートと共に行う授業計画の展開、教授方法の改善に役立つ。		
緊急性		大		
現地調達可否		(1)可(100%可能) (2)否		
A471-4取付状況		(1)一括取付済 (2)3年1月取付予定		

*参考:平成2年度現地調達率実績表を別添付する。

平成2年度供与機材調達リスト

国別番号	品目	単価	数量	金額
1	ギンジベッド	1155	15	17325
1	静脈血管注射用血管	15	30	450
	(小計)			17775
2	タイプライター		9	10437
2	車両		6	105340
2	ラジオカセット		7	1100
2	印刷機	4497	6	26982
2	ビデオデッキ	535	7	3745
2	コピーマシーン		7	45736
2	ビデオ装置設置台		7	3949.09
2	床頭台	350	15	5250
2	テレビ	1075	7	7525
	(小計)			210064.09
3	マイクロフォン装置	1250	7	8750
3	モニター	282	15	4230
3	耳、口、口腔内診察セット	553	4	2213
3	実物反射投影機(ランプ付き)		7	12187
3	フロント	569	12	6828
3	カメラ	1068	8	8544
3	ソックス	2625	6	15750
3	履診器		90	720
3	注射器			647
3	ビデオカメラ	4910	7	34370
3	手動式人工蘇生セット	297	9	2673
3	モニター(ランプ付き)		7	3829
3	体温計	18	120	2160
3	血圧計	58	60	3480
3	コンピューター		1	13077
3	スライドプロジェクター(ランプ付き)		7	6195
3	基本的な外科手術用機器セット	590	30	17700
3	体重計	283	6	1698
	(小計)			145051
	合計			872890.09

注)国別番号で、1は日本 2はホンデュラス 3はアメリカ合衆国を表す。

前渡し資金受取から機材入手までに所用した期間

1か月以内	2か月以内	3か月以内	4か月以内
1	2か月以内(47.7%)	3か月以内(38.9%)	4
(8.6%)	ホンデュラス国内で調達する機材	アメリカ合衆国から調達する機材	(4.8%)
現地調達分		日本から調達する分	

専門家派遣計画表

(長期)

1. 指導科目	看護教育-外科看護-
2. 派遣期間、時期	1991年11月1日より2年間(朝倉専門家の後任)
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	当国の看護教育の強化ポイントとして打ち出しているのが、母子保健、地域看護、外科領域での看護であり、プロジェクトの初期から全期間を通し強化していくポイントになっている。
4. 先方の希望内容	病院実習、保健所実習の場において指導方法の改善の検討・アドバイスができる経験と技術を有する日本人教師との協調。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	外科領域での教師の指導方法の向上を学内教育及び自習場面において図っていくことを目的として、教授案の検討、学内での授業展開、実習指導に関するアドバイスをを行う。
6. 必要とされる携行機材・額	基礎的外科手技看護教育機械類 参考図書類 文房具類 30万円
7. その他備考	1)看護学校教師の資格を有するもの、または臨床指導者として3年以上の実習指導経験のあるもの 2)スペイン語会話能力のあることが望ましい

専門家派遣計画表

(短期)

1. 指導科目	看護教育-カリキュラム分析・検討-
2. 派遣期間、時期	1991年6月初旬から8月下旬までの3カ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	カリキュラムの改善はR/Dに明記され、移転計画目標の中の1つであり、看護教育強化の基礎となる重要ポイントである。
4. 先方の希望内容	カリキュラムについての基本的な考え方、日本の看護教育におけるカリキュラムの現状等を焦点として集中的に相互の意見交換を行う。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	先着の専門家による当国の保健状況の把握、看護教育の現状把握を基礎にして、カリキュラムに関するテーマに焦点を当て准看護学校教師及び看護大学教師らと、会議やセミナー等を通して分析・検討し、今後の方針を求める。
6. 必要とされる携行機材・額	参考図書類 デモンストレーション機材類 30万円
7. その他備考	テーマが専門的なことと、短期間での効果を狙うことから通訳の便宜を申請する。

専門家派遣計画表

(短期)

1. 指導科目	看護教育－看護教育原論－
2. 派遣期間、時期	1992年1月中旬から下旬の2週間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	看護教育強化の原点としての理論であり、日本におけるその分野の頂点にある専門家の短期派遣を受けて計画の補強をする。
4. 先方の希望内容	これからの看護、看護教育の展望について、広い視点から示唆を受ける機会を望む。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	看護教育に携わる教師及び各病院の指導的立場にある看護婦を対象にして、"2000年を目指して求められる看護婦像"及び"看護教育のあり方"について、講演会を開催する。
6. 必要とされる携行機材・額	参考図書類 視聴覚資料 20万円
7. その他備考	厚生省看護教育研修研究センター、伊藤所長の講演を望む。 通訳の便宜－日本からの同行を希望

専門家派遣計画表

(短期)

1. 指導科目	看護教育－公衆衛生看護－
2. 派遣期間、時期	1992年2月上旬から3月下旬までの2カ月間
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	当国が看護教育の強化ポイントとして打ち出しているのが母子保健、地域看護、外科領域での看護であるが、現在着任している長期専門家で当分野を担当するものがないため、このテーマを補強する必要がある。
4. 先方の希望内容	保健所の末端活動を通して展開されている地域保健活動のあり方や、地域での実習のあり方について意見の交換を望む。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	地域看護のあり方、地域で活動する看護要員に求められるものなどの概念を通して、実習指導を強化するためのアドバイスをを行う。 地域保健分野での調査活動。
6. 必要とされる携行機材・額	看護用品 デモンストレーション用機材 図書類 30万円
7. その他備考	

専門家派遣計画表

(短期)

1. 指導科目	保健調査
2. 派遣期間、時期	1991年9月から1992年3月までの6カ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	全ての強化項目を適切に遂行するためには、現状把握が必要かつ重要である。 またホンデュラス政府は、当国の政策として、地域医療の強化を押し進めている。 従って、地域における疾病状況及び医療サービスの現状を具体的に調査する必要がある。
4. 先方の希望内容	カウンターパートに調査方法及びデータ分析方法の技術移転を希望。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	実際に地方に入り、フィールド調査を行う。 人々の食生活、栄養摂取量、環境衛生、年齢別男女別の疾病率、疾病の種類、病気の処置方法、地方保健所との関わり、衛生昆虫(マラリア蚊、シャーガス病を媒介するカメムシ)の発生状況など広い範囲における調査を行い、准看護学校のカリキュラム改善のための基礎資料を作る。
6. 必要とされる携行機材・額	調査機材類 参考図書 文房具類 30万円
7. その他備考	看護教育に限らず、広く社会学的調査の経験を持ちスペイン語の堪能な人。 できればラテンアメリカの医療事情に詳しいこと。 *携行機材以外に特別に調査費が必要と思われる。

専門家派遣計画表

(短期)

1. 指導科目	教材開発
2. 派遣期間、時期	1992年1月初旬から3月下旬までの3カ月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置づけ	R/Dの中で移転目標として挙げられているもので、プロジェクトの活動開始約1年を経たところで、今後につなぐ目的から、作成された教材の分析と次年度以降への方向性を求める。
4. 先方の希望内容	当国の現状に、より適した教材の開発及びアドバイス。
5. 派遣目的及び具体的指導内容	教材開発を目指した取り組みの現状分析と、具体的な作成のための指導及び全体的なアドバイス。
6. 必要とされる携行機材・額	参考教材類 参考書類 文房具類 30万円
7. その他備考	1)看護教育の分野に限定せず、教材開発にあたって いる各大学の該当分野からの専門家 2)スペイン語の堪能な人

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	参考文献調査旅行（臨時現地業務費）
2. 目的:	1992年度供与機材の策定に当たり各学校が使用しうる参考文献の市場調査を行う。
・必要性	参考図書が一切販売されていないホンデュラスで、特に英語を理解できない教師にとって、スペイン語でかかれた教本は、授業の効果的な運営や独自の教本作成に必要不可欠である。
・緊急性	8月支給希望
・先方が負担できない理由	ホンデュラス人カウンターパートの分については1990年度の実績通り、厚生省が日当の支給を約束しているが、航空券の購入は予算的にむずかしいと判断している。
・効果	教師のみならず、生徒も直接利用できる教本の整備は教育学習活動を容易にし、又生徒の授業内容の理解を助ける上で十分な効果が期待できる。
3. 計画・経費	平成2年度同様、日本人専門家2名とホンデュラス人カウンターパート1名でチームを組み、メキシコ市への4泊5日の旅行を次年度の供与機材検討にはいる前の9-10月頃に計画している。
	総計（233千円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	大学看護学科開設25周年記念事業に関連した当プロジェクトの広報（技術普及広報費）										
2. 目的:	大学が行う看護婦の活動・看護教育の紹介の企画と協合して、当プロジェクトの活動内容を紹介する。										
・必要性	プロジェクトの立ち上がり時期にあつて、ホンデュラスの医療関係者及び一般市民への活動広報は、今後の活動の拡大・民衆へのとけ込みに不可欠である。										
・緊急性	1991年9月										
・先方が負担できない理由	当方の必要性にのつとした計画であるため、先方からの支出の理由は薄い。										
・効果	プロジェクトの存在、目的、活動をより多くの人々に知らせることができる。										
3. 計画・経費	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">会場設営費</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> <tr> <td>パンフレット作成費(1000部)</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> </tr> <tr> <td>展示物(ビデオ等)作成費</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td>雑費</td> <td style="text-align: right;">20,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">280,000円</td> </tr> </table>	会場設営費	150,000円	パンフレット作成費(1000部)	60,000円	展示物(ビデオ等)作成費	50,000円	雑費	20,000円	合計	280,000円
会場設営費	150,000円										
パンフレット作成費(1000部)	60,000円										
展示物(ビデオ等)作成費	50,000円										
雑費	20,000円										
合計	280,000円										
	総計（280千円）										

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	医療施設のない地区の子女を対象にした入学案内 (技術広報費)
2. 目的:	医療施設のない地区での保健活動に当たる准看護婦を希望する者へ教育を受ける道があることを広報すると共に、当プロジェクトの活動を紹介する。
・必要性	医療サービスを受けていない住民が、国民の1/3を占めており、国家保健計画ではこれらの地区を解消することが大きな柱となっている。 そこで地域に定着する准看護婦を養成するために、医療サービスの届かない地区の子女に准看護学校の存在を広報し、入学者を募ることは意義のあることである。
・緊急性	1991年8月
・先方が負担できない理由	現在も費用のかからない広報活動に努力はしているが、パンフレットや入学案内等の予算はない。
・効果	医療施設のない地区解消の一助となる。
3. 計画・経費	広報用パンフレット作成 用紙代及び印刷代 60円*5000枚 総計(300千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	CERARH SUR 供与機材収納庫修理工事(応急対策費)
2. 目的:	CERARH SUR の供与機材の保管状況の改善及び紛失損傷の防止
・必要性	平成2年度から機材を供与しているが、施設の老朽化及び土地の気候条件が高温多湿なため、機材を保管管理する上で早急に倉庫を改善する必要がある。
・緊急性	6月(緊急性大)
・先方が負担できない理由	当准看護学校の運営費となる政府予算がきわめて少額であり、機材保管の改善費までカバーできない。
・効果	機材の盗難防止、通風条件の改善、日光遮断の対策を取り機材の長期にわたる適切な保管が可能となる。
3. 計画・経費	機材倉庫の改善費 ・天井修理 ・照明改善 ・棚設置 ・一部壁修理 ・窓枠修理 総計(1,500千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	CERARH NORTE 供与機材収納庫修理工事（応急対策費）
2. 目的:	CERARH NORTE の供与機材の保管状況の改善及び紛失損傷の防止
・必要性	平成2年度から機材を供与しているが、施設の老朽化及び土地の気候条件が高温多湿なため、機材を保管管理する上で早急に倉庫を改善する必要がある。
・緊急性	6月（緊急性大）
・先方が負担できない理由	当准看護学校の運営費となる政府予算がきわめて少額であり、機材保管の改善費までカバーできない。
・効果	機材の盗難防止、通風条件の改善、日光遮断の対策を取り機材の長期にわたる適切な保管が可能となる。
3. 計画・経費	機材倉庫の改善費 天井修理 換気設備設置 一部壁修理 窓枠補強 <p style="text-align: right;">総計（1,500千円）</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	CERARH SUR 学習環境改善工事（応急対策費）												
2. 目的:	CERARH SUR の学習環境の整備をする。												
・必要性	大きな教室が2つあるのみで、生徒を小グループに分けて授業を展開することはできない。特に視聴覚機材を使った授業では、たとえ日本人専門家が効率的な教授方法を教えても、今の教室環境ではその技術が活かしきれない。												
・緊急性	1991年9月												
・先方が負担できない理由	厚生省から准看護学校に出される予算はほとんどなく、今まで環境整備にかかる資金は、生徒の拠出金かバザーから小さな利益金で賄ってきたが、学習環境の整備を行うには余りにも小さい額である。												
・効果	高温多湿な同地区で、通風と照明及び教室の条件を改善することにより教育に及ぼす効果は大きい。												
3. 計画・経費	<table border="0"> <tr> <td>大教室を仕切る扇舞式壁</td> <td style="text-align: right;">200,000円</td> </tr> <tr> <td>照明の改善</td> <td style="text-align: right;">80,000円</td> </tr> <tr> <td>天井修理</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> </tr> <tr> <td>壁の修理</td> <td style="text-align: right;">60,000円</td> </tr> <tr> <td>通風の改善</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">550,000円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総計（550千円）</p>	大教室を仕切る扇舞式壁	200,000円	照明の改善	80,000円	天井修理	60,000円	壁の修理	60,000円	通風の改善	150,000円	合計	550,000円
大教室を仕切る扇舞式壁	200,000円												
照明の改善	80,000円												
天井修理	60,000円												
壁の修理	60,000円												
通風の改善	150,000円												
合計	550,000円												

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	新教材を使つての授業展開セミナー（セミナー開催費）	
2. 目的:	視聴覚教材を用いての教授方法を学習するセミナー	
・必要性	生徒が授業内容の理解を増す上で、視聴覚教材の使用は不可欠であるが、板書教育に慣れた教師にとっては頭で効果が理解できても取り付きにくい方法である。そこで各学校の教師を召集し、新教材の作成、使用方法、教育効果などの学習会を開催する。	
・緊急性	1991年9月	
・先方が負担できない理由	教師たちは教授方法の改善を前向きに考えているが、予算の裏付けが無い。	
・効果	現在いる教師の教育方法を向上させる手段として、視聴覚教材の利用は不可欠であり、教育効果に果たす役割は計りしれない。またプロジェクトを成功に導く最も有効な手段の一つでもある。	
3. 計画・経費	セミナー参加者の旅費	5000円*50人 250,000円
	資料作成費	50,000円
	消耗品費(ビデオテープ等)	20,000円
	セミナー会場借料	10,000円*7日 70,000円
	諸謝金	10,000円
	雑役務費	20,000円
	小計	420,000円
	3回開催予定	総計(1,260千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	看護教育概論セミナー（セミナー開催費）	
2. 目的:	1990年から2000年にかけて求められる看護婦像をテーマに、日本から講師を招き講演会を行う。	
・必要性	看護教員のみならず一般看護婦それぞれが共通して持たなければならない看護目標を大きな視点で捕らえる必要がある。	
・緊急性	1992年1月	
・先方が負担できない理由	実施のための経済的裏付けが無い。	
・効果	看護職に当たる者の視点の拡大と、これからの目標を明確にするための効果は大きい。また日本の看護教育の牽引力となっている立場の人との直接のふれ合い、意見交換から両国の親善が深められる。	
3. 計画・経費	会場費	10,000円*3日
	資料印刷費	300円*100部
	雑費	20,000円
	小計	80,000円
	2回分	
		総計(160千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	公衆衛生技術教本作成（教科書作成費）
2. 目的:	公衆衛生教育展開のためのオリジナル教本を作成する
・必要性	厚生省が管轄する准看護婦養成学校においては、各教師が自らの経験を通して作ったテキスト及び講義ノートを使用しているため教授内容にばらつきがある。 統一した教本を作成することにより指導内容、学習達成度のばらつきを改善することができる。 また教本は教師の手元だけにあるものではなく、学生にも配布されて、学習が進められる必要がある。
・緊急性	1991年8月
・先方が負担できない理由	現行作成のための編集委員会、編成編集のための場所の提供、最小限の必要雑貨の準備までは相手側が負担できるが教本作成のための印刷・製本費は額が大きいため当面支出される見込みはない。
・効果	統一された教本により、個々の教師のレベルに委ねられていた授業内容を、基本となる点で統一し、生徒に一定の知識を与える指針ができる。
3. 計画・経費	用紙代、印刷代、製本代 1000円/冊*500冊 総計（500千円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	外科基礎看護技術教本作成（教科書作成費）
2. 目的:	外科看護教育展開のためのオリジナル教本を作成する
・必要性	厚生省が管轄する准看護婦養成学校においては、各教師が自らの経験を通して作ったテキスト及び講義ノートを使用しているため教授内容にばらつきがある。 統一した教本を作成することにより指導内容、学習達成度のばらつきを改善することができる。 また教本は教師の手元だけにあるものではなく、学生にも配布されて、学習が進められる必要がある。
・緊急性	1991年8月
・先方が負担できない理由	現行作成のための編集委員会、編成編集のための場所の提供、最小限の必要雑貨の準備までは相手側が負担できるが教本作成のための印刷・製本費は額が大きいため当面支出される見込みはない。
・効果	統一された教本により、個々の教師のレベルに委ねられていた授業内容を、基本となる点で統一し、生徒に一定の知識を与える指針ができる。
3. 計画・経費	用紙代、印刷代、製本代 1000円/冊*500冊 総計（500千円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	母子保健教本作成（教科書作成費）
2. 目的:	母子保健教育展開のためのオリジナル教本を作成する
・必要性	厚生省が管轄する准看護婦養成学校においては、各教師が自らの経験を通して作ったテキスト及び講義ノートを使用しているため教授内容にばらつきがある。 統一した教本を作成することにより指導内容、学習達成度のばらつきを改善することができる。 また教本は教師の手元だけにあるものではなく、学生にも配布されて、学習が進められる必要がある。
・緊急性	1991年8月
・先方が負担できない理由	現行作成のための編集委員会、編成編集のための場所の提供、最小限の必要雑貨の準備までは相手側が負担できるが教本作成のための印刷・製本費は額が大きいため当面支出される見込みはない。
・効果	統一された教本により、個々の教師のレベルに委ねられていた授業内容を、基本となる点で統一し、生徒に一定の知識を与える指針ができる。
3. 計画・経費	用紙代、印刷代、製本代 1000円/冊 * 500冊 総計（500千円）

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	看護教員訓練所設置工事（プロジェクト基盤整備費）
2. 目的:	看護教員が短期間に集中的に訓練を受けるためのセンター建設工事
・必要性	本プロジェクトの対象校が、准看護学校3校と自治大学看護学科3校と6校にまたがっているため、教師の訓練を効率的、具体的に行うには専門家の活動拠点が不可欠である
・緊急性	1991年6月
・先方が負担できない理由	以前から看護教員及び看護婦の現任教育の重要性を政府は認識していたが、センター建設には多額の経費がかかるため実現できないでいる。
・効果	研修センターに教員を集め、供与機材を使用して、デモンストレーション、教材開発、研究会、グループワークが効果的に行われ、日本人専門家による技術移転が促進される
3. 計画・経費	テグシガルバ准看護学校の横の敷地（厚生省所有地）に2階建て約700m ² のセンターを建設する。 工期は1991年6月から12月までの7カ月間 申請書は1990年12月提出済みである。 総計（22,000千円）

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
<p>日本側の問題点 1. 専門家の派遣に関する事</p>	<p>専門家の派遣に当たって全専門分野における共通の問題と思われるが、言葉の問題がある。 実技指導を主とするものにはデモンストレーションの手法、視聴覚教材の活用などにより効果を高める方策があるが、概念や理論を展開する分野へのアドバイスには言葉が重要な手段となる。当プロジェクトの目標から活動計画の実施に当たってアドバイザーとしての役割を果たす部分が多く、長期専門家を申請するに当たってはスペイン語会話能力の条件をつける場合が多い。 一方、日本側で専門家を選出する場合には、看護学校の教師としての資格を持ち、スペイン語能力を併せて持っているものはほとんどいないといっても過言ではない現状にある。 (要望) 国際技術協力に対して興味を持ち、意欲のある看護教育関係者に対して当プロジェクトの存在、目標、活動企画等の具体的な教宣活動を積極的に行うためのアイデアや準備が必要である。そのためこれから逐次派遣される人に対して少なくとも1年前からスペイン語修得のための手段を講ずるべきと考える。 個人で習得の方法を求めるのが原則であろうが、現実には非常に困難である。 派遣決定以前にJICAの研修システムを活用できるか、職場の理解協力が得られるか等種々の問題があると思うが、早急な対策を望みたい。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
<p>日本側の問題点 2) 備人費の支給対象項目に関わるもの</p>	<p>現地業務費支給基準によって、タイピスト、運転手、補助人夫などの臨時備上が認められているが、専門家活動を補佐する秘書や通訳に対する項目が無い。 短期専門家として絞られたテーマをごく短期間に計画実施する場合は上記役割を担う人の有無及びその能力が効果に及ぼす影響は非常に大きなものであると思われる。 (要望) 現地において備人の可能な場合には業務費支給の道が開かれることを望む。 関連事項として 国によっては現地で通訳が確保されない場合がある。ホンデュラスはこのケースに該当するため、短期専門家の派遣に当たっては、専門家と共に日本から通訳が派遣される体制を希望する。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
ホンデュラス側の問題点	
1) 経済面での問題	<p>1. 当プロジェクトの運営に限ったことではなく、当国が抱える国の経済力の低さが直接影響を及ぼす結果であり、当面解決の方策は無い。 プロジェクトの活動予算も努力の姿勢は評価されるが、実際に活用できる予算の具体化は非常に困難な状況にある。しかし相手側の努力は物質面、資金面を除き、人的な条件で最大の協力姿勢が示されている。 プロジェクト構成面では、運営責任者、ホンデュラス側コーディネーター、事務管理者の任命、秘書、運転手の提供があり、さらに厚生省内での調整業務については、総局長自らが中心になって活動の円滑化を図っている。 厳しい予算の中で事務所専用の電話の申請手続きが既に行われたことも、努力の成果として評価される。</p> <p>2) 当プロジェクトの活動が厚生省管轄の准看護学校3校、自治大看護学科3校の計6校にまたがり、またマカシカ、サンパド・ロス・ラ、フォルテカ、マシカの4市に及ぶことから、連絡、連携、共同の活動で代表者が会する必要のある場合、ホンデュラス側が支給する旅費に厳しい制限がある。 日当宿泊料が支給されることは希で、自治大の場合はほとんど支給不可能の状態にある。</p>

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項								
ホンデュラス側の問題点									
2) 臨時准看護婦養成施設の新設、活動開始	<p>現政府の保健政策として打ち出された地域保健活動の強化計画に関し、その活動を担う准看護婦の増加養成のため、緊急案として暫定准看護学校の設立案が出され、実施に移された。</p> <p>内容の概略</p> <p>1) 養成実施地区</p> <table border="0"> <tr> <td>1. サンタロサデコハン(コハン県)</td> <td>130名</td> </tr> <tr> <td>2. エスペランサ(インティブカ県)</td> <td>95名</td> </tr> <tr> <td>3. マシカ(アランティダ県)</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>4. モスキティア(グアラニアス県)</td> <td>10名</td> </tr> </table> <p>2) 緊急養成数 250名</p> <p>3) 新規採用・養成した教師数 15名</p> <p>4) 計画実施財源</p> <p>A. I. Dが人件費(教師の手当)と奨学金を支給 厚生省が必要機材、消耗品費として予算の一部を支出</p> <p>5) 計画、人材養成 厚生省人的資源局が担当</p> <p>6) 養成活動の支援・補佐 既存の准看護学校の教師。</p> <p>1990年8月16日に調印されたR/Dには、この点が触れられておらず、調印が行われた時期には、既にこの計画案があったと推測することは容易であるが、日本には全く知らされずに経過した。 12月3日から2週間にわたり、新教師のためのオリエンテーション、講習会、カリキュラム作成のための会合が厚生省で実施された。 とりあえずモスキティアを除く3校は1991年1月から、</p>	1. サンタロサデコハン(コハン県)	130名	2. エスペランサ(インティブカ県)	95名	3. マシカ(アランティダ県)	15名	4. モスキティア(グアラニアス県)	10名
1. サンタロサデコハン(コハン県)	130名								
2. エスペランサ(インティブカ県)	95名								
3. マシカ(アランティダ県)	15名								
4. モスキティア(グアラニアス県)	10名								

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	問題点、要望事項
ホンデュラス側の問題点	<p>10カ月間の学内教育を開始する予定である。准看護婦の養成レベルの向上をメインテーマにした当プロジェクトと、この新設された養成施設が関わりの無いものとは考え難いため、状況を把握すべきと判断し、その方策をとっている。</p> <p>尚、現時点では1991年に限った一時的な養成とされている。</p>
3)セクト主義による問題	<p>厚生省内部の各部課が上意下達のシステムを持っているにもかかわらず、半独立組織のような意識を持ち、自分の利益になることなら賛成するが、利益にならない事はそれがたとえホンデュラスの医療水準を向上させるものであっても、反対かあるいは何等かの形で妨害しようとする傾向がある。幸い我々のプロジェクトは厚生総局長の強い後押しで、順調に進んでいるが、逆にこれが他のセクションの反感をまねき、横のつながりや協力を失わないかと懸念する。</p>

(25) パラグアイ

シャガス病等寄生虫症研究

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		1991年度											
目標	1) 寄生虫学・疫学 2) 生化学・分子生物学 3) 免疫学 4) 病理学 5) 臨床・臨床検査	1) 寄生虫学・疫学 1-1 パラグアイ産TC株の系代維持 1-2 パラグアイ産TC株の生物学的特性 1-3 媒介昆虫の染色体分析 2) 生化学・分子生物学 2-1 スキゾデームによるパラグアイ産TC株の分析 2-2 PCR法によるシャーガス病の診断 3) 免疫学 3-1 TC感染の防御免疫機構 3-2 TC感染による自己免疫機構の解析 3-3 ワクチン開発実験 4) 病理学 4-1 TC感染動物の病理組織像 4-2 TC感染動物の免疫組織化学的検索 4-3 シャーガス病患者の病理解剖 5) 臨床・臨床検査 5-1 シャーガス病患者の臨床像 5-2 臨床検査室の精度管理											
調査員の派遣	巡回指導	←→											
専門家の派遣	長期専門家 (分野、氏名等) 1) リーダー 寄生虫学 (坂本信) 病理学 (所沢剛) 2) 寄生虫学 (藤田修) 3) 業務調整 (秋元陽子)	90/3 → 91/9 90/8 → 91/9 ← 93/4 90/4 → 92/4											
	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 寄生虫学 (齊藤) (2) 免疫学 (山下) (3) 分子生物学 (江下) (4) 臨床検査 (山田) (5) 病理学 (小室) (6) 内科学	91/7 ← 91/10 91/8 ← 91/11 91/4 ← 91/10 → 92/3 91/5 ← 91/8 91/6 ← 91/8 → 91/12											
研究員	(分野、氏名等) (1) 学長 (Dr.ベルガンサ) (2) 機材保守 (Ing.タカオカ) (3) 免疫学 (Dra.レギサモン) (4) 細胞免疫学 (Dra.カブラル)	91/5 ← 91/6 91/5 ← 92/1 91/4 ← 92/3 91/8 ← 91/11											
供与機材		△ 仕様書提出 △ 現地着希望											
各種事業 コ－カルコスト 負担事業、等	(1) 応急対策費 (2) 技術普及広報 (3)	△ 申請書提出 △ 申請書提出 △ 事業実施 △ 事業実施											

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調査団派遣	8月頃を希望	調査団の種類(巡回指導) 理由: 技術的事項全般についての指導・助言					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短期専門家派遣	7名を希望	分 野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフ。ーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		① 寄生虫学	斉藤	91・7	3ヶ月		
		② 免疫学	山下	91・8	3ヶ月		
		③ 分子生物学	江下	91・4	6ヶ月		
		④ 病理学	小室	91・5	3ヶ月		
		⑤ 臨床検査	山田	91・9	6ヶ月		
		⑥ 内科学		91・6	2ヶ月		
		⑦ "		91・10	2ヶ月		
(3) 供与機材	50,000 千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 抵行機材	15,000 千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと					
		①	金額	時期	⑧	金額	時期
		②			⑨		
		③			⑩		
		④			⑪		
		⑤			⑫		
		⑥			⑬		
		⑦					

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 坂本信	リーダー	90.3-91.3	延長希望(91.9まで)	
	② 所沢剛	リーダー	91.9-93.4		
	③ 藤田修	寄生虫学	90.8-92.8		
	④ 秋元陽子	業務調整	90.4-92.4		
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考				
	計 画	内 容									
(6) カウンターパート受入	4 名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、3 年3 月までに、年度末通報分については、3 年7 月末までに、A2-3フ。ームを取り付けること!!)				
	早期通報分 4 名							① Dr.ベルガンサ	学長	91.5	1ヶ月
	年度末通報分 名							② Ing.タカオカ	機材保守	91.5	8ヶ月
								③ Dra.レギサモン	免疫学	91.4	1年
								④ Dra.カブラル	細胞免疫学	91.8	3ヶ月
								⑤			
								⑥			
								⑦			
								⑧			
								⑨			
								⑩			
⑪											

平成3年度プロジェクト実施計画（総括表）

プロジェクト名： シャーガス病等寄生虫症研究プロジェクト

医療協力部

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		
②技術普及広報費	2,000千円を希望	円	研究報告書出版	
③現地セミナー開催費	1,000千円を希望	円	感染症セミナー	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	3,000千円を希望	円	小動物実験施設	
⑥中堅技術者養成対策費	千円を希望	円		
⑦プロジェクト差控整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目：（プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと）				

平成3年度供与機材実施計画書

プロジェクト名		シャーガス病等寄生虫症研究プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
		他 落射蛍光顕微鏡 顕微鏡用テレビカメラ装置 肉眼顕微鏡写真撮影装置 自動血球計 生化学検査用比色計 輸送費	合計	
供与の目的 ・全体計画における位置付け ・今回供与の主要点 ・技術移転上の役割 ・緊急性		シャーガス病実験モデルにおける 病理組織学的研究の充実及び臨床 検査部門の強化		
現地調達可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) <input checked="" type="radio"/> 否		
A474-M取付状況		(1) 一括取付済 (2) 2年1月取付予定		

プロジェクト名：シャーガス病等寄生虫症研究プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 その 仕 様	金 額	用 途	銘柄指 定有無	現地調 達可否	保守・修理上の 留意点	スペアパーツ、試薬等、購入に あたっての留意事項
1	落射蛍光顕微鏡						
2	顕微鏡用テレビカメラ装置						
3	肉眼顕微鏡写真撮影装置						
4	自動血球計算機						
5	生化学検査用比色計						
6	ドライアイス製造機						
7	オービタル・シェーカー						
8	自記温湿度計						
9	光学顕微鏡						
10	恒温槽						
11	PHメーター						
12	電子天秤						
13	マグネチックスターラー						
14	ホットプレート						
15	電子レンジ						

専門家派遣計画表

1. 指導科目	寄生虫学
2. 派遣期間・時期	91.7-91.10
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	寄生虫の生物学的研究
4. 先方の希望内容	一般寄生虫の同定
5. 派遣目的および具体的指導内容	シャーガス病患者及びT. cruzi感染動物の消化管寄生虫の同定並びにその駆虫
6. 必要とされる機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	免疫学
2. 派遣期間・時期	91.8-91.11
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	免疫学
4. 先方の希望内容	T. cruziに対する感染防御機構の免疫学的解明
5. 派遣目的および具体的指導内容	T. cruziの各ステージに対する単クローン抗体の感染阻止能力の検討
6. 必要とされる機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	分子生物学
2. 派遣期間・時期	91.4-91.10
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	分子生物学
4. 先方の希望内容	遺伝子工学的手法を用いたワクチンの開発
5. 派遣目的および具体的指導内容	パラグアイ株 <i>T. cruzi</i> の DNA塩基配列の解明に関わる技術の指導
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	病理学
2. 派遣期間・時期	91.5-91.8
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	病理学
4. 先方の希望内容	心臓病の形態病理
5. 派遣目的および具体的指導内容	実験動物を用いてのシャーガス病の心臓病変の病理学的解析
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	臨床検査
2. 派遣期間・時期	91.9-92.3
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	臨床検査
4. 先方の希望内容	臨床的研究における臨床検査データの精度管理
5. 派遣目的および具体的指導内容	IICS臨床検査室のシステム化 臨床検査室における血液一般検査及び免疫血清学的検査の指導
6. 必要とされる携行機材・類	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	内科学
2. 派遣期間・時期	91.6-91.8
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	臨床的研究
4. 先方の希望内容	循環器疾患の臨床
5. 派遣目的および具体的指導内容	超音波 (エコー) を用いた 循環器疾患の画像診断の指導
6. 必要とされる携行機材・類	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	内科学
2. 派遣期間・時間	91.10-91.12
3. 当初計画(151)と全体計画での位置付け	臨床的研究
4. 先方の希望内容	消化器疾患の臨床
5. 派遣目的および具体的指導内容	ファイバースコープを用いた消化器疾患の診断の指導
6. 必要とされる機材・額	
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	小動物実験施設								
2. 目的:	<p>本プロジェクトの特徴である実験動物を用いた免疫学、生化学的研究は前年までのサルの飼育室の整備によりかなりの研究成果がみられているが、これらの成果を更に有効に臨床、病理学などの研究に具するためにはどうしても系統のはっきりした実験動物としてのマウス、ラット等のゲッ歯類が必要である。現在IICSにはこれらゲッ歯類の飼育室は非常に狭く過度の密集状態で動物が飼育されている。さらにはこれら実験動物の生理状態を一定に保つための空調機器もなく非常に不適当な環境である。よってIICS本館3階の一部にゲッ歯類専用の動物施設をく設置することが望まれている。</p>								
3. 計画・経費	<p>IICS本館3階のスペースを小動物実験施設として改良する計画</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>改良工事</td> <td>2,000,000</td> </tr> <tr> <td>空調設備</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td>マウス・ケージ</td> <td>500,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="border-top: 1px solid black;">3,000,000円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総計(3,000千円)</p>	改良工事	2,000,000	空調設備	500,000	マウス・ケージ	500,000		3,000,000円
改良工事	2,000,000								
空調設備	500,000								
マウス・ケージ	500,000								
	3,000,000円								

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	プロジェクト研究報告書出版								
2. 目的:	年次報告書の作成								
<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果 									
3. 計画・経費	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>印刷代</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>翻訳代</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>発送代</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">2,000千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総計 (2,000千円)</p>	印刷代	1,000	翻訳代	500	発送代	500	2,000千円	
印刷代	1,000								
翻訳代	500								
発送代	500								
2,000千円									

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	感染症セミナー開催								
2. 目的:	プロジェクト及びIICSによる免疫学、寄生虫学を中心とした感染症セミナーを91年8月に計画中である。								
<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 ・緊急性 ・先方が負担できない理由 ・効果 									
3. 計画・経費	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>会場費</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>通訳代</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border-top: 1px solid black; text-align: center;">1,000千円</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総計 (1,000千円)</p>	会場費	500	通訳代	300	旅費	200	1,000千円	
会場費	500								
通訳代	300								
旅費	200								
1,000千円									

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

問題点	要望事項、改善案、等
	<p>1) 機材保守管理に関する問題 当プロジェクトに於いては種々の実験用機材及び各種診断用医療機器が配備されているがその保守管理は機種が多様性、修理用パーツの不足などで困難を極めている。機材整備の専門家の派遣を受け整備点検に当たってもらったが滞在期間が短期間であり又何度も日本より派遣するのは不可能でどうしても現地において人材の育成を計る必要がある。そのためには各種機材の保守管理のための研修員を日本に送ることを検討する必要がある。</p> <p>2) 学会、論文等での研究成果発表の費用 本プロジェクトはその活動目的の一つとしてシャーガス病を中心とした感染症の基礎的研究がある。この研究活動の中で得られた研究成果を海外の学会で発表したり科学論文を学会雑誌等にて掲載することは非常に重要なことである。しかしながらそれに関わる予算が不足しているのは今後成果発表の機会を少なくする危険性があるので検討する必要がある。</p>

(1) インドネシア

家族計画・母子保健

項目	専門家のチームの要望						備考	
	計画	内容						
(1) 調査団派遣		調査団の種類（計画及び打合せミッション機材修理チーム） 理由：					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと	
(2) 短期専門家派遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	A1フォーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと	
		① 衛生統計	兵井 伸行	未定				
		② 地域保健		6月	1か月			
		③						
		④						
		⑤						
		⑥						
		⑦						
(3) 供与機材	千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと						
(4) 携行機材	1,000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 時期 金額 時期 ① ワープロ/プリンター 早い時期 ⑤ ② ⑥ ③ ⑦ ④ ⑧ ⑤ ⑨ ⑥ ⑩ ⑦ ⑪						JICA本部と互換性のある、表計算など 会計処理に使えるもの、またプリンターはインクリボンを頻りに交換しなくてもよいもの トランスは当地にて購入可能

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① チームリーダー				
	② 山下 市子	母子保健	'90/1.29 - '92/1.28	延長可	
	③ 岩柳 信也	業務調整	'90/1.29 - '92/1.28	帰国	後任の派遣は12月より1年間 インドネシア語のできる人が望ましい
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項目	専門家のチームの要望						備考
	計画	内容					
(6) カウンターパート受入	2名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間	日本における地域保健活動、特に地方における保健婦活動と住民活動	(早期通報分については、 年3月までに、年度末通報分については、 年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること！)
	早期通報分 2名	① 人選中	地域保健	5月頃	2週間		
	年度末通報分 名	②	地域保健	5月頃	2週間		
		③					
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		⑨					

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	2,000千円を希望	円	専門家域内旅費等 詳細別添参照	
②技術普及広報費	2,000千円を希望	円 Rp22,425千	地域におけるFP/MCH活動を促進させるための各種印刷物を発行する	
③現地セミナー開催費	1,020千円を希望	円 Rp24,989千	1 健康開発と住民参加 保健所スタッフが地域保健における住民参加の重要性を再認識し積極的に支援できるようにする	
④技術交換費	千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	5,280千円を希望	6,286千円	1 産後による異常妊娠の早期発見 詳細別添参照 2 住民組織の強化と住民参加 詳細別添参照 3 広報車による広報活動の効果的運営方法の仕方 詳細別添参照 4 婚前 新婚カップルに対するFP/MCH教育 詳細別添参照	
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
貧困国対策費	1,200千円を希望			
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成2年度供与博材実施計画書

プロジェクト名		家族計画・母子保健プロジェクト		
	分野	品目	数増	金額(千円)
主要 機 材 の 概 要	医療機材	助産婦キット		現在調査中
	検査機器			
	教育用機材	IEC キット AV 機材		
	衛生統計	コンピューター		
	情報通信	無線機		
	事務機器	印刷機 複写機 送付費	合計	
供与の目的		<ul style="list-style-type: none"> 母子保健サービス(産後による出産)の向上 検査能力(とくに妊婦のリスク)の向上 住民への家族計画母子保健教育 衛生統計の整備 リファレンスシステムの強化 7PMの強化 		
<ul style="list-style-type: none"> 全体計画における位置付け 今回供与の主要眼点 技術移転上の役割 緊急性 				
現地調査の可否		(1) 可 (一部機器は可能) (2) 否		
A4フォーム取付状況		(1) 一括取付済 (2) 3年2月取付予定		

プロジェクト名: _____

機 材 実 施 計 画 書							
優先度	機 材 名 義 そ の 仕 様	金 額	用 途	銘 柄 指 定 有 無	現 地 調 達 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	ス ペ ア パ ー ツ 、 試 験 等 、 購 入 に あ た っ て の 留 意 事 項
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1) FP/MCH/ECH 向上 2) マタニティ システム 強化 3) IECG 強化	1 1-1 産婦のハイリスクに係る知識及びお産技術の向上			2 2-1 妊婦カードの普及 2-2 住民参加の強化			3 3-1 モーバイル活動の質的向上 3-2 新婚カップルに対する家族計画指導					
調査団の派遣		-----											
専門家の派遣	長期専門家 1) チェリーナ 2) 母子保健 3) 業務調整	派遣要請中											

	短期専門家 (分野、氏名等) (1) 地域保健 (2) 衛生統計 (3) (4) (5) (6) (7)												
研修員	(分野、氏名等) (1) 地域保健と母子保健 (2) 地域保健と家族計画 (3) (4)												
供与機材	現地調査希望	仕様書提出											

各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 中堅技術者養成対策費 (2) 技術普及広報費 (3)	現地調査開始 6月実施 7月実施											

専門家派遣計画表

1. 指導科目	衛生統計
2. 派遣期間・時期	1991年 未定 数回
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	当初計画通り
4. 先方の希望内容	平成2年度に引き続き 国立公衆衛生院 兵井専門家
5. 派遣目的および具体的指導内容	ポシアンド (ヘルスポスト) のインディケーター開発にかかる助言
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

専門家派遣計画表

1. 指導科目	地域保健と住民参加
2. 派遣期間・時期	1991年6月 1ヶ月
3. 当初計画 (TSI) と全体計画での位置付け	相手側より強く希望 専門家チーム来イ時に確認済
4. 先方の希望内容	愛育班活動等住民参加による 地域保健に携わる保健婦
5. 派遣目的および具体的指導内容	愛育班活動等の紹介 住民参加による 地域保健促進活動計画の助言
6. 必要とされる携行機材・額	
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	技術普及広報
2. 目的:	印刷物を通して 広く コムタエツ内 の家族計画・母子保健活動の促進を図る。
・必要性	地域保健にとって 住民の理解は不可欠であり その手段として 広報活動は重要である。
・緊急性	5月 支給
・先方が負担できない理由	広報費予算 比較 等しく多く のスク、リーフレット 外国からの 援助金に依る現状である。
・効果	スク、リーフレットによって 地域住民が 家族計画・母子保健活動に 理解を示し より積極的に 参加することを 期待する。
3. 計画・経費	<p>家族計画に係るリーフレット $Rp300 \times 20,000 = Rp 6,000,000$</p> <p>家族計画 / 母子保健に係るリーフレット $Rp800 \times 20,000 = Rp16,000,000$</p> <p>住民参加促進用ステッカー $Rp300 \times 20,000 = Rp 6,000,000$</p> <p style="text-align: right;">総計 (2,000千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	健康開発と住民参加
2. 目的:	地域保健における 住民参加の促進を図るための 知識及び 技術の取得
・必要性	地域保健にとって住民参加は 必要不可欠であり その指導的立場にある 保健所等の スタッフ の育成は 必要。
・緊急性	
・先方が負担できない理由	来年度の インドネシア 側予算の 伸びは 見込 期待できない状況に 加え JICA の カスタ 負担に 頼ることは 同事業の実施は 不可能である。
・効果	保健医療従事者の 指導により 保健事業に対する 住民参加が 促進される。
3. 計画・経費	<p>98 保健所 スタッフ 39PPLKB 8 職職員 145</p> <p>旅費 145人 x Rp43000 = 6,235,000</p> <p>インストラクター 4人 x Rp55000 x 3日 = 660,000</p> <p>教材費 145人 x Rp20000 = 2,900,000</p> <p>消耗品 145人 x Rp15000 = 2,175,000</p> <p>謝金 6人 x Rp30000 x 3日 x 2回 = 1,080,000</p> <p>会場借上 Rp250000 x 3日 x 2回 = 1,500,000</p> <p style="text-align: right;">総計 (1,020 千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	産婆による異常妊娠の早期発見
2. 目的:	産婆による異常妊娠の早期発見 知識・技術の向上
・必要性	「1」国産産婆による出産介助は70-80%と高く乳児死亡率の高い原因の一つであり産婆教育は重要である。
・緊急性	7月頃
・先方が負担できない理由	来年度のインドネシア側予算の伸びと並んで期待できない状況に於てJICA側-コスト負担に頼らざるに同事業の実施は不可能である。
・効果	衛生的分娩介助及び異常妊娠の早期発見と保健所への紹介を通じて乳児死亡率 妊婦死亡率の低下が期待される。
3. 計画・経費	<p>研修員</p> <p>助産婦 98人 2日間</p> <p>産婆 490人 4日間</p> <p>旅費 5,880千円</p> <p>研修資材 2,950千円</p> <p>消耗品 1,980千円</p> <p>謝金 1,520千円</p> <p>総計 (870千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	住民組織の強化と住民参加
2. 目的:	村落家族計画・母子保健普及員の制度化及び育成。
・必要性	地域保健にとって住民参加は必要不可欠でありそれと併せて同普及員の育成は重要である。
・緊急性	8月頃
・先方が負担できない理由	来年度のインドネシア側予算の伸びと並んで期待できない状況に於てJICA側-コスト負担に頼らざるに同事業の実施は不可能である。
・効果	家族計画・母子保健に係る情報を同普及員を通じて住民に伝達され住民参加が促進される。
3. 計画・経費	<p>普及員 3000人</p> <p>交通費 3000人 x Rp4000 x 2日 =24,000,000</p> <p>教材 3000人 x Rp1500 = 4,500,000</p> <p>150t x Rp25000 = 3,750,000</p> <p>謝金 6人 x 30% x Rp10000 = 1,800,000</p> <p>消耗品 3000人 x Rp1000 = 3,000,000</p> <p>総計 (2,590千円)</p>

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	広報車による広報活動の効果的運営方法の仕方
2. 目的:	広報車による広報活動の効果的運営ができるようになる。
・必要性	世銀00-次期 中部シマ州全県に対し広報車を配置 されその効果的運営は重要である。
・緊急性	7月頃
・先方が負担できない理由	来年度のインドネシア側予算の伸びはほど期待でき ない状況に於てJICA側コスト負担に頼らば同事業の 実施は不可能である。
・効果	広報車活動の効果的運営が期待される。
3. 計画・経費	40 モーター車- イストラク- 10 6日間 旅費 40人 x Rp55000 = 2,200,000 実習旅費 50人 x Rp43000 x 2日 = 4,300,000 交通費 Rp300000 x 2台 x 2日 = 1,200,000 教材費 45人 x Rp 10000 = 450,000 消耗品 45人 x Rp 15000 = 675,000 謝金 6人 x Rp30000 x 4日 x 2回 = 1,440,000 教材作成の旅費 10人 x Rp55000 x 2 = 1,100,000 総計 (800 千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	婚前・新婚 カップルに対するFP/MCH教育
2. 目的:	婚前・新婚 カップルに対し適切なFP/MCH教育・指導が できるようになる。
・必要性	「有 国」における識字率は 非常に低く家族計画 母子保健 知識は低く ニュ-カップルに対する適切な指導は不可欠である。
・緊急性	7月頃
・先方が負担できない理由	来年度のインドネシア側予算の伸びはほど期待でき ない状況に於てJICA側コスト負担に頼らば同事業の 実施は不可能である。
・効果	適切な指導によって受講者のFP/MCH に対する理解と実行 者数の増加が期待される。
3. 計画・経費	49保健所 X 3 = 147人 3日間 交通費 147人 x Rp5000 x 3 = 2,205,000 教材費 Rp250 x 30000部 = 7,500,000 消耗品 147人 x 15000 = 2,205,000 謝金 6人 x Rp3000 x 3日 x 5ヶ所 = 2,700,000 総計 (1,020 千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	妊婦カード (KMS TBU HAMIL) の普及
2. 目的:	カダラ (地域保健活動員) に対し妊婦カードの重要性を理解し妊婦カードの普及を図る。
・必要性	ボアノウ (ボアノウ) で働くカダラ 妊婦カードの重要性を理解し妊婦カードの普及を図る上で必要。
・緊急性	
・先方が負担できない理由	来年度のインドネシア側予算の伸びはほど 期待できない状況に於て JICA のコスト負担に頼らざるに 同事業の実施は不可能である。
・効果	実施地域内の妊婦全員が同カードを携帯する。
3. 計画・経費	既に平成2年度に印刷した同カードの普及の モニタリング等の費用 貧困国対策費に 総計 (円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	臨時現地業務費
2. 理由:	専門家の業務に必要であって定額分では不足が生じる
3. 支出目的	
域内旅費	シカサ 2泊3日 x 24回 宿泊費 = Rp 4,800,000 日当 = Rp 1,200,000 運賃 = Rp 7,200,000 加シカサ 6/月 x 12 x Rp 100,000 = Rp 7,200,000
通信運搬費	電話代 Rp 1,500 x 10m x 48 = Rp 1,800,000 Rp 4,500 x 10m x 24
備人費	補助員 Rp 300,000 x 4m = Rp 1,200,000 ナ化サ Rp 200,000 x 4m = Rp 800,000
消耗品費	文房具 Rp 50,000 x 12m = Rp 600,000
調査謝金	調査分析 Rp 500,000 x 2件 = Rp 1,000,000 研究委託 通訳 Rp 80,000 x 10日 = Rp 800,000
	TOTAL Rp 27,560,000
	総計 (約 2,000千円)

ローカルコスト負担事業計画書

1. 事業名	貧困国対策費	
2. 理由:	専門家の業務に必要であって相手国側が負担しえないカウンターパートのための経費	
3 支出目的		
域内旅費	カウンター Rp55,000x48 回x2人 = Rp 5,280,000 運転手 Rp10,000x10 回x12ヶ月 = Rp 1,200,000	
交通費	カウンター Rp 3,000x50 人x12 回 = Rp 1,800,000	
調査謝金	翻訳 Rp 5,000x 300ページ = Rp 1,500,000	
消耗品費	文房具等 Rp 150,000 x 12 月 = Rp 1,800,000 ガソリン Rp 450 x50Lx10/m x 12 = Rp 2,700,000	
備人費	補助員 Rp 300,000x6m = Rp 1,800,000	
印刷製本費	印刷製本代Rp 1,000x 500 部 = Rp 500,000	
	TOTAL Rp 16,580,000	
	総計 (約 120千 円)	

プロジェクト実施上の問題点

インドネシア
家族計画プロジェクト
山下 市子

1 チームリーダーの不在

プロジェクト発足1年を過ぎているのに、いまだチームリーダー不在のままである。特にプロジェクト立ち上がりの初年度は、プロジェクトの企画、管理、の責任者としてリーダーの存在は重要で、相手国にとっても、「日」側の代表者が不在であることは問題である。現在、専門家と業務調整員の2人は、ジャカルタより約600km東のプロジェクトサイトに滞在しているが、プロジェクト実施に関する決定は、中央のBKKBN、保健省である。連絡網の不備なこの国で中央とプロジェクトサイトとの連絡、調整をするのは至難の技である。又、上意下達の間であるからつねに中央機関の関係者との接触を持つことによりお互いの理解を深め、良い人間関係を作り、ひいてはプロジェクト実施に良い影響を与えるものと思われるが、現状ではとても人手不足で、中央との密な連絡が出来ない事による影響が、プロジェクト実施の支障となっている。

2 BKKBN、保健省の疑、横の連携が悪い。

(1) 中央の問題

「日」側から見ればまるで2つのプロジェクトを実施している感がある。プロジェクト発足当初は誰がプロジェクトの担当者で、誰がBKKBNと保健省の取りまとめを行うのか明らかでなかった。そのために調整員はテニスボールのごとく両方の調整に奔走しなければならなかった。現在は担当者は絞られてきたが、横の連絡調整はあまりないようである。

(2) 中部ジャワの問題

中央と同じBKKBNと州衛生局、そして県衛生部の3カ所の機関がプロジェクトに関係しているが、自主的な横の連絡などはない。3カ所の機関からのメンバーによるプロジェクトのワーキンググループがあるが、議長であるBKKBN所長、州衛生局長は殆ど出張で不在の時間が多いため代理が決まっているが、会議の結果などを報告していいなかったため中央で検討する時期が遅れ、予算獲得が出来ないという事があった。又、所長、局長と同じく、ワーキンググループメンバーの出張が多くて運営会議を持つことがとても困難で、会議の計画をたてても延期になることが多く、活動計画も全て遅れがちである。

3 ローカルコスト不足による問題

(1) 専門家同行費

専門家がプロジェクトサイトを訪問するとき、「イ」側から誰かを同行するように指示があるにもかかわらず、その日当を「日」側へ請求してくる。しかし「イ」側の基準に従うと、専門家のプロジェクトサイト訪問の回数を減らさなければ、予算の殆どはカウンターパートの日当で消費されてしまう。そこでプロジェクトとしての基準を決めたが、安いためか殆ど同行することはない。

(2) 活動費

プロジェクトで活動計画を立てると、それを1つのプロジェクトとし、そのためのワーキンググループをつくり、この活動に係るすべての費用(会議費、準備をする協賛、タイピスト、ドライバー等の人件費、モニタリングの日当一州・県レベル、トレーニング費、等)を要請してくる。このことにより当初計画していた活動を今のところ見合わせている。この発想はUSAIDや他の国際機関からきており、JICAのプロ技協がまだ充分理解されていない理由にもよるともわれる。

(2) ネットワーク

家族計画・母子保健

		1991年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	1. 家族計画母子保健活動の強化 2. IEC活動の強化 3. 母子保健活動の継続実施	1. 家族計画母子保健活動の強化 1-1. 母子保健クリニックサービスの充実 1-2. 母子保健関連の情報収集方法の促進 1-3. 地域保健担当者に対する母子保健研修の実施 1-4. 母子保健業務の手引きの作成 1-5. モーバイルクリニックバンの管理と有効活用					2. IEC活動の強化 2-1. AVルームの有効活用 2-2. 保健教育用ビデオの制作(2本制作予定) a. ナラヘルスホストの活動状況紹介 b. 母子保健教材 2-3. ビデオバンの管理と有効活用			3. 母子保健活動の継続実施 3-1. 基礎調査インパクトサーベイで得られた統計指標の活用 3-2. 母親学級の組織化と活性化			
調査団の派遣	評価調査団	91.8 ←→											
専門家の派遣	長期専門家(分野、氏名) 1. 業務調整(碓賢治)	→91.10											
	短期専門家(分野、氏名) 1. IEC(日浦賢一) 2. IEC(近藤好一) 3. 公衆衛生(西田茂樹)	91.5 ←→			→91.8			91.9 ←→			91.6 ←→91.7		
研修員	(分野、氏名) 1. 家族計画母子保健(Dr. Pandey) 2. 家族計画母子保健(Mr. Dangi) 3. IEC(Mr. Bhattarai)	91.9 ←→91.10					91.9 ←→91.10			91.7 ←→91.3			
供与機材	贈送機材 現地調達機材	▲仕様書提出			▲仕様書提出			▲現地着希望					
各種事業 ローカルコスト 負担事業等	技術普及広報事業 技術交換事業 母子保健研修の実施 ビデオ制作の実施 ラジオ放送室改築工事	▲申請書提出 ▲事業実施 ▲事業実施(申請書は前年度に提出) ▲事業実施(申請書は前年度に提出) ▲事業実施(申請書は前年度に提出) ▲事業実施(申請書は前年度に提出)											

項目	計画	専門家チームの要望 内 容					備考
		1. 調査団の派遣	8月頃を希望	調査団の種類 : 評価調査団 理由: 91年10月6日プロジェクト終了に伴うプロジェクト評価			
2. 短期専門家の派遣	3名を希望	分野	候補者があれば その氏名	派遣時期	期間	A1フォーム 取付け状況	別紙の専門家派遣計画表に各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと
		1. IEC	1. 日浦賢一 (JICA沖縄国際研修センター)	91.5-91.8	3箇月	取付済	
		2. IEC	2. 近藤好一 (カメラのきむら)	91.9-91.9末	1箇月	取付済	
		3. 公衆衛生	2. 西田茂樹 (国立公衆衛生院)	91.6-91.7	1箇月	取付予定	
3. 供与機材	3500千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
4. 携行機材	250千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 1. IEC専門家 : 100千円、91年5月/100千円、91年9月 2. 公衆衛生専門家 : 50千円、91年6月					

項目	専門家チームの要望				備考
	内 容				
5. 長期専門家派遣	氏名	指導分野	派遣期間	交替・延長の要望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	1. 碓 賢治	業務調整	89.10.5-91.10.6	91年10月6日(R/D終了時)まで	

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

項目	専門家チームの要望						備考
	計画	内容		受入希望時期	期間	A2-37a-4取付状況	
5. カウンターパート受入	3名を希望	候補者氏名	分野	91年9月	1.5箇月	未取付	(早期通報分については3年3月までに、年度未通報分については3年7月末までにA2-3フォームを取付けること!)
	早期通報分3名	1. Dr. Kalyan Raj Pandey (保健省FP/MCH局長)	家族計画母子保健	91年9月	1.5箇月	未取付	
	年度末通報分 名	2. Mr. Tek Bahadur Dangil (中央地域事務所公衆衛生担当官)	家族計画母子保健	91年7月	10箇月	未取付	
		3. Mr. Prakash Bhattarai (保健省FP/MCH局IEC課AV担当官)	IEC				

平成3年度プロジェクト実施計画(総括表)

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

項目	専門家チームの要望		備考
	計画	2年度実績	
7. ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について詳細について別添用紙に記載のこと)
1) 現地業務費臨時支給分	7,900千円を希望	9,540千円	母子保健業務にかかる研修 ビデオ制作の実施 ラジオ放送室改築工事
2) 技術普及広報費	3,500千円を希望	3,416千円	母子保健/家族計画にかかるフリップチャート作成 プロジェクト総括報告書(英文)作成
3) 現地セミナー開催費	千円を希望	円	
4) 技術交換費	2,200千円を希望	円	トルコ人口教育促進プロジェクトとの技術交換事業
5) 応急対策費	千円を希望	円	
6) 中堅技術者養成対策費	千円を希望	円	
7) プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円	
8. 予算新規項目:(プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)			

平成3年度供与器材実施計画書

プロジェクト名		ネパール家族計画母子保健プロジェクト		
	分野	品目	数量	金額(千円)
主要器材の概要	IEC	オーディオ/ビデオ機材		20,000
		オフィス用事務機器		2,000
	MCH	医薬品、医療小器具		13,000
		輸送費費		2,000
		合計		37,000
供与の目的		評価調査団との協議により、母子保健活動・IEC活動の強化を再確認した		
*全体計画における位置付け		IEC活動の強化をしていくうえでのAVルームの充実及び地域保健活動の充実		
*今回供与の主眼点		母子保健活動とIEC活動を統合したなかで、地域保健の向上を図る		
*技術移転上の役割		91年9月にはプロジェクトサイト到着 (本プロジェクトの終了は91年10月であるため)		
*緊急性				
現地調達可否		1. 可(AV機材を除いて現地調達可能) 2. 否		
A470-4取付状況		1. 一括取付済 2. 平成3年3月取付予定		

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

機材実施計画書							
優先度	機材名 その仕様	金額(千円)	用途	銘柄指定 有無	現地調達 可否	保守・修理上の留意点	スペアパーツ試薬等購入にあたっての留意事項
1	カラーカメラ式	2,000	スタジオ用	有	否		
2	UマテックVTR S-VHS VTR	2,500	調整室用	有	否		
3	ビデオモニター、7台	1,000	調整室用	有	否		
4	オーディオ機材	5,000	調整室/ラジオ放送室用	有	否		
5	テロップカメラ式	1,000	調整室用	有	否		
6	VTRアクセサリ	2,000	調整室用	有	否		
7	ビデオ編集システム	5,000	編集室	有	否		
8	野外撮影用ビデオ機材一式	1,500	野外撮影用	有	否		
9	医薬品	10,000	モデル地区のヘルスポスト用	有	可		
10	医療小器具	3,000	モデル地区のヘルスポスト用	有	可		
11	オフィス用事務機器	2,000	保健省FP/MCH局、中央 地域事務所用	有	可		
12							
13							

専門家派遣計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 指導科目	IEC
2. 派遣期間・時期	1991年5月中旬より3箇月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に則り派遣を希望する
4. 先方の希望内容	・ビデオ制作における技術指導
5. 派遣目的及び具体的指導内容	・IEC活動強化のためのビデオ制作における技術指導 1) AVルームの有効活用 2) 保健教育用ビデオの制作(2本制作予定) a. ナラヘルスボスの活動状況紹介 b. 母子保健教材 3) ビデオパンの管理と有効活用
6. 必要とされる携行機材・金額	現在検討中
7. その他備考	

専門家派遣計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 指導科目	IEC
2. 派遣期間・時期	1991年9月より1箇月
3. 当初計画(TSI)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に則り派遣を希望する
4. 先方の希望内容	IEC機材の据え付け、機材メンテナンス及び技術指導
5. 派遣目的及び具体的指導内容	・91年度供与予定機材/IEC機材(ビデオ・ラジオ機器)の据え付け及び技術指導
6. 必要とされる携行機材・金額	現在検討中
7. その他備考	・91年度供与予定機材/IEC機材(ビデオ・ラジオ機器)のプロジェクトサイト到着後同専門家の派遣は必要不可欠である

専門家派遣計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 指導科目	公衆衛生
2. 派遣期間・時期	1991年6月より1箇月
3. 当初計画(TS1)と全体計画での位置付け	当初計画と全体計画に則り派遣を希望する
4. 先方の希望内容	・家族計画母子保健活動にかかる技術指導
5. 派遣目的及び具体的指導内容	・家族計画母子保健活動にかかる技術指導 1) 母子保健関連の情報収集方法の促進 2) 基礎調査インパクトサーベイで得られた統計指標の活用 3) 母子保健研修の実施 4) 母親学級の組織化と活性化
6. 必要とされる携行機材・金額	現在検討中
7. その他備考	

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	母子保健/家族計画にかかるフリップチャート作成 (技術普及広報事業)
2. 目的:	母子保健家族計画に関する知識の向上
・必要性	モデル地区における地域保健の向上
・緊急性	91年7月実施予定
・先方が負担できない理由	予算の大半が人件費、消耗品購入費に充当されており、教材開発経費の捻出が不可能であるため
・効果	母子保健家族計画サービス活動の促進及び強化
3. 計画・経費	91年5月より母子保健課長、IEC課長、専門家、都公衆衛生所長、中央地域事務所担当官で構成される作成企画委員会を設置し、教材開発にかかる準備業務を推進させる 経費 フリップチャートI(産前検診・予防接種・栄養) フリップチャートII(経口補水液・出産間隔・急性呼吸器系疾患) 各1000部、30枚綴り 上記印刷物にかかる印刷製本代 3,000千円 総計(3,000千円)

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	JICA家族計画母子保健プロジェクト英文総括報告書 (技術者及広報事業)
2. 目的:	母子保健家族計画業務にかかる知識の向上
・必要性	モデル地区における地域保健の向上
・緊急性	91年7月実施予定
・先方が負担できない理由	予算の大半が人件費、消耗品購入費に充当されており、教材開発経費の捻出が不可能であるため
・効果	母子保健家族計画サービス活動の促進及び強化
3. 計画・経費	91年5月より母子保健課長、IEC課長、専門家、郡公衆衛生所長、中央地域事務所担当官で構成される作成企画委員会を設置し、報告書作成にかかる準備業務を推進させる。 経費 JICA家族計画母子保健プロジェクト英文総括報告書 1000部、30ページ 上記印刷物にかかる印刷製本代 500千円 総計(500千円)

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	トルコ人口教育促進プロジェクトとの技術交換 (技術交換事業)
2. 目的:	IEC活動業務の促進
・必要性	ビデオの制作及びラジオ番組の制作にかかる知識技術の向上
・緊急性	91年5月実施予定(5月中旬に計画しているIEC短期専門家派遣前に実施希望)
・先方が負担できない理由	技術交換研修にかかる経費の捻出が不可能であるため
・効果	IEC活動の促進及び強化
3. 計画・経費	トルコ人口教育促進プロジェクトで実施している次の活動視察及び情報の交換 ・保健省コミュニケーションセンター強化活動 ・IECメディア制作技術移転活動 ・IECパイロットセンターの活動支援 ・IEC調査活動 ・スタッフ研修活動 経費(人数:1名専門家、3名カウンターパート、日数:14泊15日) 日当 320千円 宿泊 900千円 航空券取得費 900千円 雑費(出国税、旅行保険等) 80千円 総計(2,200千円)

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	母子保健/家族計画業務にかかる研修 (現地業務費臨時支給分)
2. 目的:	母子保健家族計画に関する知識及び技術の向上
・必要性	モデル地区における地域保健の向上
・緊急性	91年4月より6月中旬まで実施(6月中旬より本格的な雨季が始まるため6月以降に実施すれば研修予定者の参加に困難が予想される)
・先方が負担できない理由	予算の大半が人件費・消耗品購入費に充当されており、研修経費の捻出が不可能であるため
・効果	母子保健家族計画サービス活動の促進及び強化
3. 計画・経費	91年2月より母子保健課長、専門家、郡公衆衛生所長、中央地域事務所担当官で構成される研修委員会を設置し、研修にかかる準備業務を推進させる 経費(研修予定者:500名) 調査研究謝金(講師謝金) 400千円 資機材購入費 300千円 消耗品費(事務用品) 1,300千円 域内旅費(研修参加、実習旅費) 2,000千円 印刷製本費(教材費) 500千円 借料損料(研修会場借料) 400千円 総計(4,900千円)

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	ビデオ制作の実施 (現地業務費臨時支給分)
2. 目的:	IEC活動の強化
・必要性	IEC活動強化のためのビデオ制作における技術指導
・緊急性	91年5月より実施(IEC短期専門家派遣時期にあわせる)
・先方が負担できない理由	予算の大半が人件費・消耗品購入費に充当されており、教材開発費の捻出が不可能であるため
・効果	IEC活動の促進及び強化
3. 計画・経費	91年5月よりIEC課長、IEC課担当官、専門家で構成される制作企画委員会を設置し、制作業務を推進させる 制作予定本数:2本 1. ナラヘルスホストの活動状況紹介 2. 母子保健教材 経費 調査研究謝金(翻訳料・出演者謝金) 200千円 資機材購入費(ビデオテープ) 200千円 消耗品費(ガソリン代) 200千円 域内旅費 400千円 (シナリオ作成のための調査、撮影設計、ロケーションのための日当宿泊料) 総計(1,000千円)

プロジェクト実施上の問題点、要望事項

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

問題点	要望事項、改善案、等
1. 専門家の不在	90年10月よりプロジェクトR/D期間が1箇年延長されたが、長期専門家は業務調整員のためのため、IEC及び公衆衛生分野の短期専門家派遣を強く要望する
2. 保健省の機構改革	90年7月より本プロジェクトのカウンターパート機関である家族計画母子保健プロジェクトは保健省の一部局として統合された。ついで、87年より推進されていた保健省の機構改革がおおむね完了したことに伴い、地域レベルのヘルスワーカーの位置付け及び人員配置が明確になったので、91年4月よりヘルスワーカーを対象とした母子保健にかかる研修を実施致したいところ前向きに検討願いたい。

ローカルコスト負担事業計画書

プロジェクト名 ネパール家族計画母子保健プロジェクト

1. 事業名	ラジオ放送室改築工事の実施 (現地業務費臨時支給分)						
2. 目的:	IEC活動の強化						
・必要性	IEC活動強化のためのラジオ番組制作における技術指導						
・緊急性	91年5月より実施(IEC短期専門家派遣時期にあわせる)						
・先方が負担できない理由	予算の大半が人件費・消耗品購入費に充当されており、改築工事費の捻出が不可能であるため						
・効果	IEC活動の促進及び強化						
3. 計画・経費	FP/MCH局IEC課では週2本ラジオ番組を制作しているが、ラジオ放送室の建物の老朽化に伴い、番組制作においていろいろな支障がでてきているため、上記改築工事を実施致したい。 <table border="0"> <tr> <td>経費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資機材購入費</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>雇人費(人夫代)</td> <td>500千円</td> </tr> </table>	経費		資機材購入費	1,500千円	雇人費(人夫代)	500千円
経費							
資機材購入費	1,500千円						
雇人費(人夫代)	500千円						
総計(2,000千円)							

国名：ネパール

プロジェクト名：家族計画母子保健プロジェクト

1. (ワーカルコスト負担を含めた相手国側の財政事情とその問題点)

90年7月発表されたBUDGET SPEECH (ネパールの会計年度は7/16-7/15)によれば、国家開発予算の約65%を外国からの援助(借款、贈与)に求めている。

そして、本プロジェクトのカウンターパート機関である保健省FP/MCH局の予算の大半(約75%)が人件費、旅費に充当されており、家族計画母子保健にかかる活動経費は若干予算計上されているだけである。

したがって、各種の活動経費についてはUSAID(米国国際開発庁) UNFPA(国連人口活動基金)等の資金援助で賄われているのが実情である。

このような現状のなかで、教材開発費・機材購入費・機材保守管理費・研修経費・施設改善費等にかかる経費の捻出はほぼ不可能である。

持続的発展に資する技術協力プロジェクト実施上の問題点

2. (1.の問題がカウンターパート等相手国側の人的、組織的側面等他の側面にどう影響を及ぼしているか、また、これらの問題に対して我が方が果たすべき役割は何か)

相手国側の厳しい財政事情のため、JICAプロジェクトにかかる活動経費のなかで本来相手国側が負担すべき費目について、何らかの対応を迫られることが多い。

例えば、モデル地区内での教育訓練や地方巡回指導を実施しようとする場合カウンターパートとの合同行動になるが、カウンターパートにかかる相手国側の旅費支給が困難のため、プロジェクト活動が制限される。

また、プロジェクト活動のスムーズな運営には、どうしてもカウンターパートの勤務時間外の協力が必要になるが、相手国側からの超過勤務手当の支給が不可能なため、プロジェクト活動が限定される。

については、現地業務費の一層の拡充を行ない、相手国側の実情やプロジェクトの内容を検討して、現地業務費の弾力的な活用を可能にしていきたい。

また、新規にカウンターパート育成支援経費等の予算要求を行なうことが必要になってきている。

(3) スリ・ランカ

人 口 情 報

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
目標	①人口センサス協力	準備期間(集計システム作成等)							91年	Data作成の協力			
	②データベースの開発と利用	Data Baseの機能改善							人センサス調査	91年Data Baseの更新			
調査団の派遣		↔ 巡回指導											
専門家の派遣	(1) チーム・リーダー (2) コンピュータ (3) 人口学 (4) 人口統計 (5) 業務調整員												
	短期専門家(分野、氏名等) (1) 人口学(人口、出生力推計) (2) 統計(サフリングゲーム) (3) コンピュータ(統計パッケージ) (4) (5) (6) (7)												
研修員	(分野、氏名等) (1) コンピュータ (2) コンピュータ (3) 人口学 (4) 統計												
供与機材	別添紙参照のこと												
各種事業 ローカルコスト 負担事業、等	(1) 中堅技術者養成対策 (2) (3) (4)												

項 目	専 門 家 チ ー ム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(1) 調 査 団 派 遣	平成3年7月に於ける2週間	調査団の種類(計画及び打合せミッション機材修理チーム):プロジェクト巡回指導調査団 理由:プロジェクトの進捗状況を現地にて視察し把握するとともに、R/D及びTSIの方向性の再確認及び相手国側の要望事項への対応など、必要性があればTSIの見直し等を行なう。					機材修理チーム派遣希望がある場合にはその旨記載のこと
(2) 短 期 専 門 家 派 遣		分野	候補者があればその氏名	派遣時期	期間	AIフ。ーム取付状況	別紙の専門家派遣計画表に、各専門家の派遣目的、指導内容等を先方機関と協議の上、可能な限り記載のこと 詳細は、専門家派遣計画表を参照下さい。
		①人口学		平成3年8月上旬より	3ヶ月間	未取付	
		②統計		同上	3ヶ月間	未取付	
		③コンピュータ		平成3年10月上旬より	3ヶ月間	未取付	
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
(3) 供 与 機 材	40,000千円を希望	別紙の機材実施計画書に記載のこと					
(4) 携 行 機 材	18,000千円を希望	専門家別に金額内訳及び購送希望時期について記載のこと 金額 時期 金額 時期 ①CANNON ワカ 30万円 1991年4月 ④ ②CANNON レーザプリンター60万円 1991年4月 ⑤ ③富士通オアシス 30万円 1991年4月 ⑥ ④コンピュータ周辺 30万円 1991年4月 ⑦ ⑤文房具一式 30万円 1991年4月 ⑧ ⑥合 計 :180万円 ⑨ ⑦					

	専 門 家 チ ー ム の 要 望				備 考
	内 容				
(5) 長期専門家派遣	氏 名	指 導 分 野	派 遣 期 間	交 替 ・ 延 長 の 要 望 (各専門家からのヒアリング結果を記載のこと)	
	① 水田 広実	業務調整	自昭和63年1月19日 至平成 4年11月29日	平成2年11月30日から平成4年11月29日 まで延長が決定している。	
	② 西 文彦	コンピュータ・ プログラミング	自昭和63年2月 1日 至平成 3年 1月31日	平成2年11月30日から平成3年1月31日ま で延長が決定しており、更なる延長はない。	
	③ 山下 登	チーム・リーダー	自平成元年4月 1日 至平成 4年11月29日	平成2年11月30日から平成4年11月29日 まで延長が決定している。	
	④ 石田 保夫	人口統計	自平成2年11月30日 至平成 4年11月29日	平成2年11月30日から平成4年11月29日 まで派遣が決定している。	
	⑤ 杉田 幸司	コンピュータ・ プログラミング	自平成2年11月30日 至平成 4年11月29日	平成2年11月30日から平成4年11月29日 まで派遣が決定している。	
プロジェクトからの 要望	⑥ 花田 恭	人口学	可能な限り早期 至平成 4年11月29日	人口学の長期専門家が是非とも必要である。同氏 は(現在、JICA専門員)は平成2年3月か ら4月にかけて短期派遣専門家として赴任してお り、最適任の専門家である。	
	⑦				
	⑧				
	⑨				
	⑩				
	⑪				
	⑫				
	⑬				
	⑭				
	⑮				

項 目	専 門 家 チ ーム の 要 望						備 考
	計 画	内 容					
(6) カウンターパート受入	4名を希望	候補者氏名	分野	受入希望時期	期間		(早期通報分については、平成3年3月までに、年度末通報分については、平成3年7月末までに、A2-3フォームを取り付けること!!)
	早期通報分 2名	① Mr. Tharasu	コンピュータ	7 月	1ヶ月		
	年度末通報分 2名	② Mr. Vijaratune	コンピュータ	7 月	1ヶ月		
		③ Mr. M.R.N.A.Fernand	人口統計	2 月	1ヶ月		
		④ Mr. L.P.de Silva	人口学	2 月	1ヶ月		
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		⑨					
		⑩					

項 目	専門家チームの要望			備 考
	計 画	2年度実績	内 容	
(7) ローカルコスト負担経費			(具体的計画内容を簡潔に記載するとともに、詳細について別添用紙に記載のこと)	
①現地業務費臨時支給分	千円を希望	円		
②技術普及広報費	800千円を希望	円		
③現地セミナー開催費	6,000千円を希望	円		
④技術交換費	700千円を希望	円		
⑤応急対策費	千円を希望	円		
⑥中堅技術者養成対策費	1,920千円を希望	1,920千円を予定	※平成2年度予算: 1,920千円の前渡資金を要請、現在当資金の受け入れを待っている。 基礎コース: マイクロ・コンピュータの基礎研修(3コースを計画、10人/1コース) 中級コース: 統計解析パッケージ、ローカルエリア・ネットワーク、マッピングシステム等の研修。コンピュータを利用した人口分析及び統計解析(5コースを計画、10人/1コース)	詳細はローカルコスト負担案計画書及び平成3年度・事業計画書を参照して下さい。
⑦プロジェクト基盤整備費	千円を希望	円		
(8) 予算新規項目: (プロジェクトの円滑な運営を図る上で必要と思われる予算新規項目があれば、項目名称にとらわれずに簡潔に記載のこと)				

平成3年度・供与機材実施計画書

プロジェクト名		スリランカ人口情報プロジェクト		
主要機材の概要	分野	品目	数量	金額(千円)
	コンピュータ機器及び周辺機器	O.M.R	1	10,000/-
		Cartridge Tape Drive for Main Computer	1	12,000/-
	その他	Cartridge Tape Drive for PC	25	10,000/-
		Hard Disk	5	3,000/-
		Software for Main Computer	1	4,000/-
		Software for PC	1	2,000/-
		合計		41,000/-
	==		===== 約40,000/-	
その他周辺機器として				
供与の目的	(目的)			
・ 全体計画に於ける位置づけ	hard-Disk の増設、及び back-up system の強化をはじめとした、より一層の利用効率の向上を目指す。			
・ 今回供与の主眼点	業務が極めて円滑に進行している部局に対してコンピュータシステムを増設する事により、そのニーズに対応する。			
・ 技術移転上の役割	(全体での位置付け)			
・ 緊急性	人口センサスに対するシステムの強化、及びデータベースの機能向上を図る。			
現地調達可否	(1) <input checked="" type="radio"/> (一部機器は可能) (2) 否			
A474-A取付け状況	(1) 一括取付け済 (2) <input checked="" type="radio"/> 平成3年取付け予定			

プロジェクト名：スリ・ランカ人口情報プロジェクト

機 材 実 施 計 画 書								
優先度	機 材 の 名 称	金 額 (Rs)	用 途	銘 指 定 有 無	現 地 調 査 可 否	保 守 ・ 修 理 上 の 留 意 点	数 量	合 計 額 (Rs)
1	OMR	2,500,000	各種サーベイに係る集約業務の効率向上のため	検討中	検討中	検討中	1	2,500,000
2	CARTRIDGE TAPE DRIVE For IBM 9370	3,000,000	テープ管理、及びBack-upの効率を上げる為	有	可	なし	1	3,000,000
3	CARTRIDGE TAPE DRIVE For IBM PS/2	100,000	同上	有	可	なし	25	2,500,000
4	ERASABLE DISK DRIVE For IBM PS/2	800,000	人口センサスト、F1プログラム検索、アスタ及びアスタ	有	可	なし	2	1,600,000
5	HARD DISK For IBM PS/2	150,000	業務量から判断して、増設が必要となる	有	可	なし	5	750,000
6	UPS BATTERY For DENSEI	40,000	同上	有	可	なし	5	200,000
7	UPS BATTERY For SENTURIAN	3,000,000	人口センサスト時に増設が必要となる	有	可	なし	1	3,000,000
8	VM/CSP For IBM 9370	1,000,000	データベースを一般に公開する	有	可	なし	1	1,000,000
9	STRUCTURED RPG For IBM PS/2	500,000	人口センサスト集約の効率化に必要となる	有	可	なし	1	500,000
10	MAIN MEMORY EXPANSION 2MB	500,000	PCの機能拡張の為に必要となる	有	可	なし	5	250,000
11	MATH-CO-PROCESSOR	500,000	同上	有	可	なし	15	750,000
12	IBM PS/2 Model180 With PERIPARALS	800,000	統計局に於いて、各課業務の効率向上のため	有	可	なし	5	4,000,000
13	IBM PS/2 Model130 With PERIPARALS	200,000	同上	有	可	なし	5	1,000,000
14	PHOTO COPIER	500,000	情報処理の効率向上のため	有	可	なし	2	1,000,000
15	NETWORK ADAPTOR	1,000,000	ネットワークの構築のため	有	可	なし	1	1,000,000

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	プロジェクト、チームリーダー（長期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成2年11月30日から平成4年11月29日
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	プロジェクト全体の総括管理 1) 人口センサス結果利用へのアドバイス 2) 人口統計データベースの構築へのアドバイス
4. 先方の希望内容	1) 人口センサス集計への協力と支援、並びにサンプルフレームデータベース作成への技術支援 2) 人口統計データベースの開発、構築、運営等への協力と助言
5. 派遣目的および具体的指導内容	マスタープランに基づいたプロジェクトの運営、管理を行い、プロジェクトチームを総括する 1) 人口統計データベースの構築と運営管理への助言と技術指導 2) 人口統計データベースの各種行政利用の促進 3) 統計システムの改善とコンピュータ化の促進 4) ローカルコスト負担事業の提案 5) その他、プロジェクトに於ける各種プログラムの企画、計画立案及び全体計画の把握を行い運営管理、技術移転の進捗状況、将来計画につき相手国と協議するなど、プロジェクト全体の総括管理を行う
6. 必要とされる携行機材、額	文房具一式 総額：約300千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	コンピュータ、プログラミング（長期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成2年11月30日から平成4年11月29日
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	人口センサス集計システム、人口統計データベースの更新及び利用のためのコンピュータシステムの設計とそれらの技術指導
4. 先方の希望内容	人口センサス集計システムに対する技術指導及び人口統計データベースの更新、利用の技術指導
5. 派遣目的および具体的指導内容	人口センサス集計及びデータベース更新、並びにデータベース利用のネットワークシステムの構築等に関する技術指導（具体的指導内容） 人口センサス集計に於けるデータ受付、入力、集計、分析、編集、及び人口統計データベースの更新、ネットワーク利用促進の技術指導
6. 必要とされる携行機材、額	コンピュータ、マニュアル 総額：約300千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	人口統計（長期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成2年11月30日から平成4年11月29日
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	人口統計データバンクにインプットするデータ（主として人口センサスの）の収集、結果編成、評価及び同データの利用促進に関する技術指導
4. 先方の希望内容	同 上
5. 派遣目的および具体的指導内容	人口センサス及びその他の人口関連サーベイの実施に関する技術指導、同データのデータベース化及びその利用促進に係る技術指導 （具体的指導内容） 1）91年センサスに関し、下記分野の技術指導を行う 1. 企画、実施、結果編成、結果の分析、評価等 2. マスターサンプルフレームの作成 3. 人口地図等の作成 4. センサスデータのデータベース化、更新等 2）その他の人口関連統計調査の実施、結果編成及び同データのデータベース化等に係る技術指導 3）人口統計データバンクの利用促進等に関する技術指導
6. 必要とされる携行機材、額	ワードプロセッサ：一式 銘柄（富士通オアシス） 総額：約300千円
7. その他備考	

専 門 家 派 遣 計 画 表

1. 指導科目	人口学（長期派遣）
2. 派遣期間、時期	平成2年11月30日から平成4年11月29日
3. 当初計画（TSI）と全体計画での位置づけ	人口統計データバンクに入力された人口データに基づく国レベル及び地方別人口データの推計及び予測と同データの利用促進に係る技術指導
4. 先方の希望内容	同 上
5. 派遣目的および具体的指導内容	1）人口動態統計（移動統計を含む）の作成に係る技術指導 2）国及び地方別人口の予測と、その技術指導 3）社会経済人口データの推計と、その技術指導 4）生命表の作成と、その技術指導 5）上記に関するワークショップの実施 6）人口センサスの世帯統計の分析評価
6. 必要とされる携行機材、額	
7. その他備考	